

**THE ARCHIVAL MATERIALS ON JAPANESE MODERN HISTORY AT
THE ARCHIVES, HOOVER INSTITUTION**

Accession No.	Title	No. of ms. box
1989-J1	荒木貞夫 (Araki Sadao) Collection	9
1989-J2	入江俊郎 (Irie Toshio) Collection	1
1989-J3	篠田治策 (Shinoda Jisaku) Collection	11
1989-J4	濱田徳海 (Hamada Tokkai) Collection	5
1989-J5	平沼騏一郎 (Hiranuma Kiichiro) Collection	2
1989-J6	矢野豊次郎 (Yano Toyojiro) Collection	20
1989-J7	Miscellaneous items on pre-World War II domestic affairs in Japan	6
1989-J8	Miscellaneous items on pre-World War II and post-war in Japan	3
1989-J9	Issues of post-World War II farmers in Japan	1
1989-J10	Materials about Nihon Yusen	1
1989-J11	Journals of local assembly meetings in Nagano Prefecture, Meiji period (1868-1912)	1
1989-J12	Paul Goforth Collection	1
1989-J13	Newspaper items on Sino-Japanese War, 1894-1895	1
1989-J14	Issues of post-World War II Japanese constitution	1
1989-J15	International Military Tribunal for the Far East	4
1989-J16	Issues regarding Ryukyu	1
1989-J17	Post-World War II communist movement in Japan	3
1989-J18	Post-World War II labor movement in Japan	1

1989-J19	Post-World War II public safety issues in Japan	1
1989-J20	Leaflets regarding U.S.-Japan Security Treaty	1
1989-J21	Post-World War II elections in Japan	1
1989-J22	Miscellaneous items on post-World War II Japan	2
1989-J23	Maps	5

**A CATALOG OF THE JAPANESE HISTORICAL MATERIALS
AT THE HOOVER INSTITUTION, STANFORD UNIVERSITY**

Shinoda Jisaku Collection

Araki Sadao Collection

Hiranuma Kiichiro Collection

スタンフォード大学フーバー研究所所蔵

日本関係 史料目録

	box Number
篠田 治 策 文 書	11-21
荒 木 貞 夫 関係文書	1-9
平 沼 騏一郎 関係文書	27-28

借出法 について

1. Research Request 用紙 (黄紙) に記入
2. Collection title
Japanese Modern History Manuscript Collection
3. Box number
11-21

スタンフォード大学フーバー研究所所蔵 日本関係 史料目録

九州大学21世紀COEプログラム（人文科学）
「東アジアと日本：交流と変容」第三ユニット

九州大学21世紀COEプログラム（人文科学）「東アジアと日本：交流と変容」第三ユニットでは事業推進の一環として2003年度・04年度、在米東アジア関係資料の調査をおこなってきた。対象となった機関はカリフォルニア大学バークレー校の東アジア図書館およびスタンフォード大学フーバー研究所の二箇所である。2003年度の調査は2004年1月8日から14日にかけて、カリフォルニア大学バークレー校とスタンフォード大学を訪れ、フーバー研究所では篠田治策文書の調査・目録作成をおこなった。2004年度の調査は対象をスタンフォード大学フーバー研究所に限定し、04年11月20日から27日にかけて渡米、篠田治策文書に関する作業を継続するとともに、荒木貞夫関係文書・平沼騏一郎関係文書を対象とした目録作成を行った。今回、ここに紹介するのは、上記調査の成果である篠田治策文書・荒木貞夫関係文書・平沼騏一郎関係文書の目録である。

付記 それぞれの調査に参加したメンバーは以下の通りである。

2003年度調査	〈大学院人文科学研究院〉	安藤 保	中島 楽章
	〈大学院比較社会文化研究院〉	高野 信治	中野 等
	〈韓国研究センター〉	松原 孝俊	
	〈大学院生〉	倉本 潤子	榊原 隆宏
		新城 道彦	石橋 道秀（いずれも比文）
2004年度調査	〈大学院比較社会文化研究院〉	有馬 学	中野 等
	〈韓国研究センター〉	松原 孝俊	
	〈大学院生〉	内山 一幸	藤田 理子
		官田 光史	山口 華代（いずれも比文）

付記 本調査にあたっては、フーバー研究所 Director of Library and Archives であるDr. Elena S. Danielson、Stack ManagementのSupervisor Ms. Maria Quinonez ほかライブラリアンの方々の全面的なご協力を賜った。また東京外国語大学アジア・アフリカ研究所の中見立夫氏に貴重なアドバイスを頂いた。記して謝意を表したい。

篠田治策文書目録

篠田治策は朝鮮総督府の吏員から、朝鮮李王家の公務を運営する李王職次官、ついで長官となり、1924年設置された京城帝国大学の初代総長に就任した人物として知られる。文字通り、日本が朝鮮を植民地として支配のすすめていくプロセスを実務のレベルで支えた人物といえる。1935年（昭和10）8月12日勲一等瑞宝章をうけ、「間島」の処理にあたった経歴から『間島問題の回顧』、『白頭山定界碑』などの著作を有する。フーバー研究所は第二次大戦後の一時期、「満州国」研究に専心したが、そのころ（1950～60年代）「満州国」に関する資料を網羅的に収集した。篠田治策文書もそうしたものの一つである。フーバー研究所が保管していた文書群はその後、日本人研究者（現在のところ特定されず）によって項目別に分類されて11boxesに分置され、現在に至っている。その高い歴史的価値から同文書については、これまでいくつかの調査がなされたが、正式な詳細目録は作成されてはいない。内容は一見して明らかなように、日本の植民地支配を実態的に明らかにする史料群といえ、植民地研究・植民地史料研究にも大きく資すると思われる。

なお、本目録の作成・校訂は松原孝俊、高野信治、中野 等、倉本潤子、榊原隆宏、新城道彦、石橋道秀、内山一幸、藤田理子、官田光史、山口華代が担当した。次に簡単な凡例をあげておく。

I 個々の文書群における配列はフーバー研究所での所蔵形態に従っている。また、これに基づいて目録上の番号を付している。すなわち、フーバー研究所におけるboxおよび文書の番号はそのまま採用し、必要な場合には、COE調査団の判断で下位分類を付して、個別史料一点ごとの番号を与えた。

II 個々の史料については、以下の順にデータを掲げている。

【box番号】 文書番号 [Stanfordの番号]

文書名 作成者 作成年月日 内容（宛先等） 備考（丁数・用紙種類等）

micorfileの有無

【1】 1 [Ts Japan/K7Ko41]

江華島條約關係資料

【1】 1-1

江華島條約締結當時及前後事業

資料蒐集掛 高宗十三年丙午

1, 「江華島條約」、2, 「江華島條約締結當時の朝鮮国情——大院君執政以來鎖國(事大排外)主義」、3, 「江華島條約締結直前之日鮮關係及朝鮮人之斥倭事情」、4, 「江華島條約締結當時の朝臣の反対意見(斥洋斥和)」、5, 「江華島條約賛否に関する廟堂の議論——賛成もしない拒否もしない唯そうですねと」、6, 「急転直下日本側の主張を納むるに至りし事情」, 「付録参考件」7, 「甲戌乙亥史/丹農李建初著」、8, 「付録参照件」「塩浦儒生白樂寛疏」、9, 「東亞浪人尹孝定著韓末秘史(昭和六年二月十七日より東亞日報連続掲載)最後六

墨書、墨書「資料蒐集掛」、小丸印「能和」、罫線「李王職実録編纂用紙」、この綴りは李能和による編纂。

【1】 1-2

江華島條約

丙子五月

1, 「丙子正月二日、館守日人口陳書謄本(日使日記第一第七枚)」、2, 「正月四日、問情辞縁(日使日記第一卷第十七枚)」、3, 「正月五日、承政院日記311, 28」、4, 「正月十三日、承政院日記、311, 64」、5, 「正月十九日、問答句語(黒田清隆と井上馨が朝鮮国大官と練武堂にて正月十七日に会見したときの記録)、日使日記第一卷六十枚」、6, 「正月二十日、承政院日記、311, 115」、7, 「正月二十一日、問答句語(黒田清隆と井上馨が朝鮮国大官と練武堂にて正月十九日に会見したときの記録)、日使日記第一卷、六十五枚」、8,

墨書、罫線「李王職実録編纂用紙」、李能和による編纂物

【1】 1-3

朝鮮二使節ヲ派遣スルノ旨意

明治9年1月14日

1, 明治八年十一月二十日外務大臣寺島宗則からの訓令。2, 森有礼と沈大臣との会見一問一答。3, 「機密別信第二号の1、明治九年一月廿日、森有礼。寺島宗則外務卿殿」、4, 「明治九年一月十四日付け訓令」、5, 「明治九年一月十九日」付け訓令、6, 明治九年一月十五日」

ペン書き罫紙、

【1】 1-4-1

謹將朝鮮陪臣金充植投通密書照鈔恭呈

「李文忠公(李裕元)全集奉稿四十二卷」、李王職編輯用紙

【1】 1-4-2

論日本派遣入朝鮮—李鴻章の朝鮮開国について
の意見—

光緒元年12月23日

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-3

答上左相—朴珪寿の開国意見—

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-4

丙子正月十日 京畿監司閔台鎭以濟物津問情馳
啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-5

丙子正月十一日 江華留学趙秉式以訓譯問情馳
啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-6

丙子正月十三日 因政院啓稟有是命

李王職編輯、ペン書き

【1】 1-4-7

丙子(李太王十三年)正月十三日(日省録) 接見
副官尹滋承倭人間情馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-8

丙子(李太王十三年)正月十四日

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-9

丙子正月十五日 江華判官朴齊近以後人入城計
数馳報

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-10

丙子正月十六日 大官申根以接見彼使問答馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-11

丙子正月十六日 京畿監司閔台鎬以彼船踰孫石項馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-12

丙子正月十七日 江華判官朴齊近以後人大副官入來馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-13

丙子正月十八日 京畿監司閔台鎬以彼人問答馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-14

丙子正月十九日 大官申■以彼人問答宴饗馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-15

丙子正月二十日 飭客使迎接紛遯之弊 命京外竊発各別禁戢

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-16

丙子正月二十日(日省録)

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-17

丙子正月二十日 未付(承政院日記)(日省録全文)

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-18

丙子正月二十一日大官申■以彼人問答及條約冊子騰上馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-19

丙子正月二十一日 東萊府使洪祐昌以火輪船問情馳啓

李王職編輯、ペン書き

【1】 1-4-20

丙子正月二十二日 日省録

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-21

丙子正月二十三日 日省録

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-22

丙子正月二十二日 江華判官朴齊近以後彼人閱式馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-23

丙子正月二十三日 京畿監司閔台鎬以異船碇馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-24

丙子正月二十三日 命前司諫張皓根重推原■還給 命崔益鉉■因原疏還給

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-25

丙子正月二十四日 命條規裁断知委接見大臣

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-26

丙子正月二十四日 江華留守趙秉式以彼船移碇馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-27

丙子正月二十四日 命日本通商條約等節爛加商確

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-28

丙子正月二十四日 江華留守趙秉式以彼人互換出入馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-29

丙子正月二十六日 江華留守趙秉式以彼船始無運動馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-30

丙子正月二十七日 京畿監司閔台鎬以彼人下陸■望馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-31

丙子正月二十九日 大官申■陳■乞収成命賜批

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-32

丙子正月二十九日 大官申■副官尹滋承以彼人
出去馳啓

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-4-33

丙子正月三十日 命條約冊子批准吊構下送

李王職編輯用紙、ペン書き

【1】 1-5

王華館、元子冊封問題

1-1「江華島條約締結當時及前後事業」中の「9、『東
亜浪人尹孝定著韓末秘史(昭和六年二月十七日より東
亜日報連続掲載)最後六十年遺事——玉華館の元子
冊封問題)』の日本語翻訳」、李王職罫紙

【2】 1

韓末外交秘史

下書き、謄写版、133丁

【2】 2 [Ts Japan/K7sh19]

大正八年シベリアにおける朝鮮

「浦塩派遣軍政務部調査及び篠田治策意見 露領極東
ニ於ケル韓国人の狀態」(表紙墨書き)

【2】

露領極東ニ於ケル韓国人の狀態

明治四十年十二月 統監府外務部編

(目次)1、韓国移民 2、戸数人口 3、職業 4、労働 5、
居留地区及生活狀態 6、交通及来住 7、納税及旅券
8、衛生・教育・宗教 9、韓人ト外国人トノ關係
在ウラジオストックの日本人貿易事務官が統監府提出し
た報告書。沿海州南部の地図有、印刷

【2】 2

日韓關係諸資料

浦塩派遣軍政務部囑託朝鮮總督府事務官 山崎真雄
大正九年

裏表紙の内側に「篠田様 田中源市 安江」

【2】 2-1

在外鮮人懷柔二関スル件

手稿、ペン書、罫紙「平安南道」、4枚

【2】 2-1-1

目録

山崎真雄 明治16年1月12日

12枚、2-1-2以下の標題目録、但し 部分は散逸(目
録にあって現物はなし)

【2】 2-1-2

在漢城弁理公使竹添進一郎来信写

井上外務卿殿宛、冒頭に「機密第一号」有

【2】 2-1-2

(別表)在外施療機關各所所要經費概算

自筆、ペン書、罫紙「平安南道」、2枚

【2】 2-1-2-1

〔具申書〕

〔弁理公使 竹添進一郎〕〔明治16年1月12日〕

漢城に駐屯の兵に關し具申

2-1-1目録には「竹添弁理公使朝鮮事情内報」とあり、
井上外務卿宛、機密第1号の写

【2】 2-1-2-2

〔具申書〕

〔在漢城 弁理公使竹添進一郎〕〔明治16年1月12日〕

総理事務衙門・内務衙門・外務衙門新設の件、朴泳孝
内話の件、堀本教練の兵百名の件、日本派出の公使に
税則の談判委任の件、海底電線の件
井上外務卿宛、機密第2号の写

【2】 2-1-2-3

〔申請書〕

〔特命全權大臣朴泳孝〕〔朝鮮開国491年11月28日〕

日本人7名雇入の件

日本弁理公使竹添進一郎宛、甲号の写

【2】 2-1-3

ホルワット長官ニ交渉スヘキ要点

露領内の朝鮮人独立陰謀を企てるもの達が、ウラジオス
トックなどで3月中旬(年は不明)に独立宣言をした。彼
らに対する検挙取締を要請する内容。

自筆稿、ペン書き、罫紙「陸軍」、2枚

【2】 2-1-3

在朝鮮臨時公使外務書記官島村久来信写

釜山事務官 洪承均 大正十二年十月三十日

外務卿代理參議伊藤博文殿宛

冒頭に「甲号」とあり

【2】 2-1-3-1

在朝鮮臨時代理公使島村久ヨリノ機密信写

〔在朝鮮臨時代理公使 外務書記官島村久〕

〔明治17年2月20日〕

在旅順口提督宋慶兵隊を引率し渡韓の件、朝鮮国波
乱の件

2-1-1目録には「島村代理公使機密来信四通」とあり、

外務卿代理 参議伊藤博文宛

【2】 2-1-3-2

在朝鮮臨時代理公使島村久ヨリ機密来信写

〔在京城臨時代理公使外務書記官島村久〕

〔明治17年2月〕

大院君の帰国に際し朝鮮の状況に関する韓圭稷談話

外務省代理 参議伊藤博文宛

【2】 2-1-3-3

在朝鮮国京城島村臨時代理公使ヨリノ機密信写

〔在朝鮮臨時代理公使 外務書記官島村久〕

〔明治17年5月5日〕

4月28日当国王殿下内謁の際の談話

外務卿井上馨宛

【2】 2-1-3-4

吳大徴ト面会往復ノ事

貴我両国互いに兵隊を当地に差し置くことに関して

機密第1号の写

【2】 2-1-3-5

日記抄録

1月12日分、清兵演習の件

【2】 2-1-4

在朝鮮臨時代理公使島村久ヨリ機密来信写

星野桂吾 昭和三年四月

外務卿代理参議伊藤博文殿宛

8丁

【2】 2-1-4-1

極東露領ニ於ケル朝鮮人ノ取締及ビ懷柔ニ関スル
意見書

10箇条の意見書(草案)

意見書の草稿、自筆、ペン書き、罫紙「平安南道」、10
枚

【2】 2-1-4-1

〔報告〕

〔臨時代理公使近藤直鋤〕〔明治18年1月16日〕

左議正・右議正退職の件

2-1-1目録には「近藤代理公使来簡」、外務卿伯爵井上
馨宛、機密第2号の写

【2】 2-1-4-2

対朝鮮人方針ニ関スル意見書

篠田治策 大正8年2月

大谷軍司令官宛の意見書(草案)、ロシア革命によって、

極東ロシアの治安が悪化し、不逞朝鮮人に対する取締
が不可能になったので、次の3点の場合、強圧手段を取
りうる。「1, 国家自衛権の発動に基く場合。2, 軍の安全
を保つ必要なる場合。3, 秩序維持に必要な場合」。
なお、懷柔策マニュアル10, 調査事項14を付記。
自筆、ペン書、罫紙「平安南道」、5枚。罫紙「東京三越
製」5枚。

【2】 2-1-4-2

〔上申書〕

〔臨時代理公使近藤直鋤〕〔明治18年1月16日〕

先般締結の条款に基き当国政府より使臣我が国へ派遣
の義

外務卿伯爵井上馨宛、機密信第3号の写

【2】 2-1-4-3

〔上申書〕

〔臨時代理公使近藤直鋤〕〔明治18年1月18日〕

清国使節帰国の模様につき山田敬徳を移民方に遣わ
し談話の件

外務卿伯爵井上馨宛、機密信第4号の写

【2】 2-1-4-4

十八年一月十八日穆氏ト談話抄録

〔明治18年1月〕

清国使節近日帰国の模様について、李鴻章の考えに
ついて

【2】 2-1-5

在朝鮮国京城島村臨時代理公使ヨリ機密来信写

星野桂吾 昭和三年七月調

外務卿井上馨殿宛

16丁

【2】 2-1-5

明治十八年三月二日於神戸港 ブランクリー氏英
領事アストン氏トノ問答

清兵を韓城より撤回することにつき英国の反応

2-1-1目録には「ブランクリー氏英領事アストン氏問答」
とあり

【2】 2-1-6

西四辻公堯 昭和五年秋

臨時代理公使近藤真鋤→外務卿伯爵井上馨殿

冒頭に「機密第一號」とあり、20丁

【2】 2-1-6

〔記〕

朝鮮事件について

2-1-1目録には「朝鮮事件横浜ヘラルド抄訳」とあり、1月12日付横浜ヘラルド

【2】 2-1-7

日記抄録

不明

26丁

【2】 2-1-7-1

井上角五郎密書之事

〔臨時代理公使高平小五郎〕〔明治20年7月25日〕

朝鮮政府において事変に対し疑惑の内聞ある件

2-1-1目録には「同井上角五郎密書之事二通」とあり、外務大臣伯爵井上馨宛、「二十年八月六日接受」(朱書)とあり、機密第90号の写

【2】 2-1-7-2

井上角五郎日記

〔乙酉4月〕

事変につき竹添進一郎に関する件

写

【2】 2-1-8

来信写

臨時代理公使近藤真鋤→外務卿伯爵井上馨殿

冒頭に「機密第二號」とあり、28丁

【2】 2-1-9

来信写

明治十六年一月十二日

臨時代理公使近藤真鋤→外務卿伯爵井上馨殿

冒頭に「機密第三號」とあり、30丁

【2】 2-1-10

来信写

明治十七年二月二十日

臨時代理公使近藤真鋤→外務卿伯爵井上馨殿

冒頭に「機密第四號」とあり、32丁

【2】 2-1-11

十八年一月十八日 穆氏ト談話抄録

明治十七年二月

33丁

【2】 2-1-12

明治十八年三月二日 於神戸港 ブランクリー氏英領事アストン氏トノ問答

十七年五月五日

35丁

【2】 2-1-13

朝鮮事件について論評

明治十八年一月十六日

42丁

【2】 2-1-14

井上角五郎密書之事

一月十二日分

臨時代理公使高平小五郎→外務大臣伯爵井上馨殿

冒頭に「機密第九十號」とあり、43丁

【2】 2-1-15

井上角五郎日記

明治十八年一月十六日

47丁

【2】 2-2

〔目録〕

〔成田〕

草稿

「成田氏寫シ」とあり(ペン書)、「近藤」印あり、堅綴、野紙(野紙銘に「李王職」とあり)、鉛筆書、5丁

【2】 2-2-1

西伯利亞移住朝鮮人二関スル意見書

大正10年3月14日

朝鮮併合によりすべての朝鮮人が帝国臣民となり、露領内の朝鮮人も日本帝国領事の保護下にある。「(1)朝鮮人移住問題、(2)朝鮮人の保護取締問題、(3)朝鮮引渡問題、(4)朝鮮人の国籍問題、」

タイプ、カーボン、野紙「平安南道」、16枚

【2】 2-2-1

草稿目録

明治十八年一月十六日

「成田氏寫シ」とペン筆の 有、鉛筆書き、「李王職」用箋使用

【2】 2-2-2

在露領排日朝鮮人取締二関スル私見

朝鮮総督府通訳官 木藤克也 大正7年10月3日

「第1, 此際彼等に斧鉞うい加へざるは将来に胎す所の禍根を益大なるものあり。第2, 露国官憲に依て不逞鮮人の取締をなすことは絶望なること。第3, 不逞鮮人の多くは独探及至過激派の見方にして連合軍の敵なり。第4, 今日我軍の武威を籍りて不逞鮮人の手入をなさば他日我軍を撤退後に於て鮮人等は今日隠忍したる悪感を一時に勃発するの患なきや。第5, 不逞鮮人処分の方法。第6, 目的遂行の手段」

手書、カーボン紙、9枚

【2】 2-2-2

草稿目録(篠田の自筆カ)

明治十八年一月十八日

下書き及び目次案・史料の書き抜き

鉛筆書き、「李王職」用箋使用

【2】 2-2-2

大正七年十月三日 在露領排日朝鮮人取締ニ関スル私見

朝鮮総督府通訳官 木藤克也

手書、9枚

【2】 2-2-3

在間島末次吉次より篠田事務官宛書簡

大正8年5月15日

在外朝鮮人の取締を目的に、警視末松吉次を西シベリアに派遣すべしという2箇条の提案書。

手書、カーボン紙、4枚

【2】 2-2-3

大正八年五月十五日 在間島末次吉次より篠田事務官宛書簡

手書、4枚

【2】 2-2-4

露領在住朝鮮人統治ニ関スル意見提出ノ件

大正10年3月4日

「第1に、露領西伯利に於て鮮人の多く散在する地方に我が官庁を新設し、朝鮮事情に精通せる官吏を其の長に任命すること。第2に、日露両国の合併事業として一大拓殖会社を設立すること」

大正十年三月四日 浦潮派遣軍指令部政務部囑託事務官山崎真雄より平安南道知事篠田宛に送達された表紙(浦発第43号の文書番号有)を添付。表紙は罫紙「陸軍」。ガリ版「大正十年二月露領在住朝鮮人統治ニ関スル意見」が添付(9枚)

【2】 2-2-4

大正十年三月四日 浦潮派遣軍指令部政務部囑託事務官山崎真雄より篠田宛書簡 露領在住朝鮮人統治ニ関スル意見提出ノ件

手書、浦発第43号の文書番号有、表紙は陸軍纂、「大正十年二月露領在住朝鮮人統治ニ関スル意見」が添付(9枚)

【2】 2-2-5

篠田次官宛書簡

手書、5枚、差出人判読不明

【2】 2-3

【草稿】

壬申の変乱始末、変乱後の漢城光景、彼我交渉案件、人心漸く支那に口離せんとす、貨幣鑄造、大院君の帰国を促すもの漸く多し、雜記(金玉均日本に赴んとす、金玉均朴泳孝の無分別、疑獄事件、口署局の設置、李容口の復命、漢城旬報の発足、軍隊の新組織、吳口口の天津行、日本公使館の建築、竹添公使の帰朝、最恵国条款の口口、豆満江流域に於ける清韓国境問題)「近藤」印あり、堅綴、罫紙(罫紙銘に「李王職」とあり)、鉛筆書、62丁

【2】 2-3

義人李周會氏法要及事蹟一並に其の弔祭方法に就て一写

昭和三年十二月執行

目次 一、李周會將軍事蹟及其遺族 二、李周會氏三十三回弔法要概状 三、経過報告及建碑其の計画について葛生能久氏報告 四、李周會氏に就て大崎正吉氏追懷談 五、閔妃事件と当時の政局安達謙蔵氏追懷談

表紙1丁、本文11丁、ガリ版刷

【2】 2-3-1

不逞朝鮮人取締施行細則(12条)大正十四年七月八日

朝鮮総督府警務局長 三矢宮松、朝鮮総督府警務課長 國友尚謙、中華民国奉天省全省警務局長 于珍 大正14年7月8日

中国奉天省内に居住する不逞朝鮮人の取締施行細則
手書、カーボン紙、3枚(中国奉天省内に居住する不逞朝鮮人の取締施行細則)

【2】 2-3-2

不逞朝鮮人取締施方ニ関シ双方ノ協定(8条)大正十四年七月十一日

朝鮮総督府警務局長 三矢宮松、奉天全省警務局長 于珍

手書、ガリ版、1枚

【2】 2-3-3

奉天全省清郷章程

在奉天日本総領事館

9章47条から成る奉天全省清郷章程の日本語訳文
タイプ、一部手書、18枚、罫紙「在奉天日本総領事館」

【2】 2-3-4

朝鮮ニ於ケル従来ノ帰化法ニ就テ

渡辺彰か？(篠田の鉛筆メモから判断)

経国大典以後の法典に見る帰化法に関する報告書
手書、7枚、罫紙「平安南道」。

【2】 2-3-5

1899年編纂露国法律全書

第十輯第三章中(第836条～第857条)、外国人ノ帰化ニ関スル法規
手書、カーボン紙、罫紙「陸軍」。5枚

【2】 2-4

王宮秘話

「大院君引退ノ裏面宙合棲埋銀掘出しの一幕活殺自在の明成皇后 木春山人」とあり
「李王職」用箋使用、和文タイプ、13丁

【2】 2-4-1

露文ヨリ再譯文書

「檄文」「獨立運動反對宣言書」「蘇城住民の情況」「北満地方朝鮮人ノ状態」
罫紙「陸軍」、大正8年にウラジオストックで配布された「獨立運動及對宣言書」の日本語訳、5枚。原文は朝鮮語。

【2】 2-4-2

沿海黒龍州及北満州地理鮮人移住ノ沿革

「鮮人移住ノ沿革」(篠田メモ)。
罫紙「陸軍」。1917年発行「商業学校教師の地理書」(ゴルザドーフスキー著)、2枚

【2】 2-4-3

在露領朝鮮人ノ人口其他

1911年及び1913年の沿海州、黒竜江など4州の人口調査(帰化人19,647人、非帰化人45,240人、計64,887人)
罫紙「陸軍」、3枚、カーボン紙

【2】 2-4-4

朝鮮人の職業

「露領に居住する朝鮮人中十中の八、九分迄は農業者」(冒頭部)
罫紙「陸軍」、5枚、カーボン紙

【2】 2-4-5

朝鮮人ニ対スル保護及特典、就中帰化鮮人ニ対スル土地配給法

1861年制定の法律によって、ロシア人に対して100「デ

ンヤケン」の土地が与えられたが、帰化朝鮮人に対して15「デニヤケン」のみ。

罫紙「陸軍」、2枚、カーボン紙

【2】 2-4-6

鮮人露国移住ノ沿革

1862年13戸が最初の移住者。以後、沿海州内の朝鮮人は、1898年—23,000人、1899年—27,000人。1902年—32,298人。1907年—46,430人。
「ピリアムーリエ」151号掲載論文の日本語訳、10枚、カーボン紙

【2】 2-4-7

在露領朝鮮人ノ職業

「カザリノフスカ」氏調査の沿海州南部地域の朝鮮人
罫紙「陸軍」、2枚、カーボン紙

【2】 2-4-8

千九百十二年ニ至ル露国極東ニ於ケル鮮人ニ付キテ

露国極東ニ於ケル鮮人ニ付キテ(14枚)、極東ニ於ケル鮮人ノ農業状態ニツキテ(7枚)、極東農業上ニ於ケル鮮人部落ノ統計ニツキテ(9枚)、極東ニ於ケル鮮人ノ一般生活状態ニツキテ(16枚)、『『ホネト』区に於ける鮮人の状態につきて』(10枚)、「極東に於ける鮮人の帰化につきて」(8枚)、「農業上鮮人労働に関する『サビツキ』大佐の意見」(6枚)

1912年、ロシア外務省における沿黒龍州黄色人調査委員長グラーベによる調査報告書の部分訳(表紙見返しメモ)、罫紙「陸軍」、カーボン紙、本日本語訳の全文は、2-4-11にあり。

【2】 2-4-9

農業上鮮人労働ニ関スル「サビツキ」大佐ノ意見

【2】 2-4-9

露領浦塩方面在住朝鮮人ニ対スル懷柔施設ノ概況

山崎真雄 大正9年

大正9年、浦潮派遣軍政務部囑託/朝鮮総督府事務官
山崎真雄著、ガリ版

【2】 2-4-10

極東西伯利ニ於ケル水稻事業ト朝鮮人

山崎真雄
ガリ版

【2】 2-4-11

極東露領ニ於ケル朝鮮人ノ状況

1912年、ロシア外務省における沿黒龍州黄色人調査委員長グラーベによる調査報告書の日本語全訳

【2】 2-5

去ル廿六日御内示ノ朝鮮学制ニ関スル復申

明治四十四年四月廿九日

穂積八束→関屋総督府学務局長殿

「欄外之朱書ハ寺内総督自ラ青鉛筆ヲ以テ書入レラレル文字ナリ」とあり、謄写版、表紙1丁、本文13丁

【2】 2-6

「李接公陰謀事件顛末」

乙未(明治二十七年)勾引された公(省略不明)の事件への関与を書き留めたもの、「李接公実録」よりの引用。

「李王職」用箋使用、和文タイプ、8枚

【2】 2-7-1

書簡

十二月八日

李熙成→篠田先生、同封書類(2-7-2)の送付状 河合久助なる人物が所有する同書類が日朝人間に悪影響を与える可能性が高いと判断されるので書き上げの上焼き捨てを乞う

【2】 2-7-2

朝鮮統治に関する意見書

「土 持主河合久助(可王為)」の付箋あり。40年10月4日曾根統監宛とあり、書き出しは「来年ハ先帝ノ慣用手段即チ復統監ト駐劄軍司令官トノ離間中傷及統監ト副統監トノ離間ナリ此策ヲ実行センカ為ニハ種々ノ手段ヲ用ユヘク」とあり

【2】 3

韓国亡失ノ源(ママ)因

謄写版、60丁、筆で頭注が施されていた

【2】 3-1 Ts Japan/k7H11

関東大震災當時朝鮮人ノ感想

釜山出張中避難民及地方民ヨリ探聞シタル感想等 一、東京朝鮮人問題ニ対スル避難民ノ感想 二、東京ニ於ケル救護ニ対シ避難民ノ感想 三、釜山ニ於ケル救護ニ対シ避難民ノ感想 四、東京朝鮮人問題ニ対スル地方民ノ感想 五、流言飛語取締ニ関スル所見 六、東亜日報社及基督教青年會ノ活動ト御用新聞ノ無関心 表紙墨書、表紙破損(要修復)、謄写版、17丁、洪承均より朝鮮総督男爵齋藤実へ提出されたもので、提出文書名は「避難民及地方民ノ感想ニ関スル報告」、提出文書1頁目に「秘」の朱印(円印)有
negative microfilm

【2】 3-2

在満鮮人に就て〔第一〕附在満鮮人思想団体の概

況

最近一般朝鮮人の政治に対する思想が一変したとの立場より「在満鮮人」の理想を究明し、なぜ中国官憲が彼らを圧迫したかを追及する

活字、21頁、表紙右下に「以印刷換謄寫」有

【2】 3-3

在満鮮人思想団体分析の概要〔第二〕附高麗協和國建設籌備委員會に就て

正義府・参議部・新民府・ダームル青年党(ダームルは回復と云ふ朝鮮の古語)・労働党・高麗革命党・新人同盟会・南満青年総同盟・韓人會などのそれぞれの団体の沿革・位置・主義・制度・経済などについて記す、最後に「高麗協和國建設籌備委員會に付て」を付す、また「在満鮮人思想団体分布図」綴込

謄写版、18頁

【2】 4

「朝鮮人の満洲進出 朝鮮銀行・領事館・満鉄・関東庁調査」

李周會氏三十三周年法要残務所(黒龍会自由倶楽部内)

各種文書を綴ってある表紙

【2】 4-1

間島各社別韓清住民数比較図

明治四十三年元月

1枚

【2】 4-2

間嶋(東部)略図

【2】 4-3

鴨緑江右岸及渾江流域居住韓人ノ状態(在安東領事館調査書摘要)

第一、西間島又ハ西壘島ノ沿革 第二、韓人移住分布状況 第三、韓国移民の耕耘 第四、韓国移住人口並ニ鴨緑江兩岸人口対照 第五、韓国移住民司法行政第六、韓民移住ノ原因 第七、韓国移住ト清韓両国官民トノ關係 第八、清国ノ国境政策ト對韓国移民政策 第九、韓国移民ノ保護及取締

印刷(こんにやく版)、20枚

【2】 4-4

朝鮮銀行月報臨時増刊 朝鮮人ノ南満洲移住状況

第一、南北満洲ニアル朝鮮人口 第二、朝鮮人移住ノ沿革 第三、移住鮮人ノ生業 第四、鮮人ニ対スル日本官憲ノ態度 第五、鮮人ニ対スル支那官憲ノ態度 第六、移住鮮人ト支那人トノ折合 第七、鮮人移住ノ将来

印刷、12頁

【2】 4-5

満洲ニ於ケル移住鮮人ノ状況

第一章、移住鮮人分布状態 第二章、移住ノ沿革 第三章、移住ノ動機 第四章、移住ノ経路 第五章、生活状態 第六章、宗教及教育 第七章、鮮人人間ノ関係 第八章、朝鮮人組合 第九章、結論

大正五年十一月発行、発行所安東県民団内朝鮮人組合、非売品、目次+37頁

【2】 4-6

大正五年七月 満洲在住朝鮮人ノ現状ト其ノ救済問題

石津半治

第一 在満朝鮮人ノ現状 一、在満鮮人ノ現在数 二、在満鮮人ノ分布 三、在満鮮人ノ職業 四、鮮人來住ノ原因 五、小作方法 六、小作料 七、鮮人小作ノ経済 八、鮮人來住ノ効果 九、鮮人ノ社会的宗教的状态 十、鮮人救済ノ必要 十一、鮮人移住地方ニ於ケル水田適地 第二、鮮人救済ノ方法並ニ其ノ計画 一、鮮人救済ノ方法 二、鮮人救済ノ要項並ニ其効果 第三、南満鮮人拓殖会社ノ事業並ニ其利廻

謄写版、12頁

【2】 4-7

間島ノ富源 大正九年偕行社記事(特号)総目録

陸軍二等主計正 平山多次郎 大正十年一月五日発行

一、間島ノ意義 二、間島「墾土」ノ地域 三、人口 四、交通 五、物資 六、有望ナル経済的事業 七、所見調査地図一般

発行者香月鉄一 発行所偕行社、口絵+7頁

【2】 4-8

吉林地方朝鮮人ノ現状調

一、近来朝鮮人ノ満洲移住ノ原因 二、居住鮮人ノ各県別戸数人口職業並原籍 三、鮮人ノ産業状況 四、鮮人ノ教育状況 五、鮮人ノ衛生状況 六、鮮人間ニ行ハルル宗教 七、鮮人ノ組織セル団体 八、鮮人間ノ金融機関 九、鮮人ノ日本官憲ニ対スル態度 十、支那官憲ニ対スル態度 十一、鮮人部落ノ有力者位歴

謄写版、写、南満洲鉄道株式会社原稿使用

【2】 4-9

大正十年十一月調 満洲に於ける朝鮮人の経済及金融状況

朝鮮銀行調査部

(一)間島地方 一、朝鮮人の一般経済状況 二、朝鮮人の金融状態 (二)安東県地方 一、在住鮮人 二、在住鮮人の職業並其の資力 三、金融状況 (三)奉天

地方 一、朝鮮人の移住状況 二、奉天省に於ける鮮人戸口 三、在満鮮人の経済的地位 (四)吉林地方 一、朝鮮人の省内居住戸数 二、朝鮮農民の耕地面積 三、朝鮮農民の小作慣例 四、収獲状況 五、農業に關し改善を要する点

印刷、満洲における朝鮮銀行支店、出張所の報告書に基き領事館その他の調査を参照編述したもの、目次+34頁

【2】 4-10

朝鮮人概況

関東庁警務局 大正十年

一、緒言 二、朝鮮人移住ノ状況 三、移住鮮人分布ノ状況 四、水田経営ノ状況 五、移住鮮人ノ我施設ニ対スル感想 六、鮮人生活ノ状況 七、保民会其他自治団体ノ状況 八、朝鮮人教育状況及其機関 九、鮮人救恤及診療機関 十、支那官憲徴税状況 十一、支那官憲ノ鮮人保護取締状況 十二、知足農村ノ状況 十三、不逞鮮人ノ状況

謄写版、丸秘の印。

【2】 4-11

新民屯副領事調査管内移住朝鮮人現状調査

大正12年1月25日

一、近来鮮人ノ満洲移住原因 二、居住鮮人ノ戸数並人口(新民・彰武県) 三、鮮人ノ職業 四、産業状況 五、朝鮮人ノ教育状況 六、朝鮮人ノ衛生状況 七、朝鮮人間ニ行ハルル宗教 八、朝鮮人ノ組織セル団体 九、朝鮮人間ノ金融機関 十、朝鮮人ノ日本官憲ニ対スル態度 十一、朝鮮人ノ支那官憲ニ対スル態度 十二、部落有力者ノ経歴

ペン、印刷、南満洲鉄道株式会社原稿使用

【2】 4-12

東蒙方面ニ於ケル鮮人ノ現状

鄭家屯公所 大正12年1月中調

一、近来鮮人ノ満蒙移住ノ原因 二、居住鮮人ノ各県別戸数及人口並原籍 三、鮮人ノ職業 四、鮮人ノ産業状況 五、鮮人ノ教育状況 六、鮮人ノ衛生状況 七、鮮人間ニ行ハルル宗教 八、鮮人ノ組織セル団体 九、鮮人間ノ金融機関 十、鮮人ノ日本官憲ニ対スル態度 十一、鮮人ノ支那官憲ニ対スル態度 十二、鮮人部落有力者ノ経歴 十三、其他(東蒙水田ノ将来及鮮人ノ移住ニ就テ) 附、鮮人水田小作者経済状態、鄭家屯朝鮮人会規則、東蒙各地在留鮮人道別人口表、遼遼三江口地方水田位置図

カーボン、南満洲鉄道株式会社原稿使用

[2] 4-13

新民屯副領事調査管内移住朝鮮人現状調査

大正12年1月25日

一、近來鮮人ノ滿洲移住原因 二、居住鮮人ノ戸数並人口(新民・彰武県) 三、鮮人ノ職業 四、産業状況 五、朝鮮人ノ教育状況 六、朝鮮人ノ衛生状況 七、朝鮮人間ニ行ハルル宗教 八、朝鮮人ノ組織セル団体 九、朝鮮人間ノ金融機関 十、朝鮮人ノ日本官憲ニ対スル態度 十一、朝鮮人ノ支那官憲ニ対スル態度 十二、部落有力者ノ経歴
ペン、印刷、南滿洲鉄道株式会社原稿使用、表紙+10枚

[2] 4-14

東蒙方面ニ於ケル鮮人ノ現状

鄭家屯公所 大正12年1月中調

一、近來鮮人ノ滿蒙移住ノ原因 二、居住鮮人ノ各県別戸数及人口並原籍 三、鮮人ノ職業 四、鮮人ノ産業状況 五、鮮人ノ教育状況 六、鮮人ノ衛生状況 七、鮮人間ニ行ハルル宗教 八、鮮人ノ組織セル団体 九、鮮人間ノ金融機関 十、鮮人ノ日本官憲ニ対スル態度 十一、鮮人ノ支那官憲ニ対スル態度 十二、鮮人部落有力者ノ経歴 十三、其他(東蒙水田ノ将来及鮮人ノ移住ニ就テ) 附、鮮人水田小作者経済状態、鄭家屯朝鮮人会規則、東蒙各地在留鮮人道別人口表、通遼三江口地方水田位置図
カーボン、南滿洲鉄道株式会社原稿使用、表紙+目次2枚
他13点

[3] 1 [Ts Japan/K7C54]

朝鮮獨立騒擾事件概要

大正12年頃カ

1p宣言書、3p頁第二號誨文、5p朝鮮総督ニ提出セル文書、14p米大統領ウィルソン氏ニ提出セル文書、19p騒擾事件ノ概要 事件發生ニ於ケル民心ノ傾向、21p同天道教側 同耶蘇教側、22p同佛教側、23p同学生側 同貴族其他ニ対スル運動、24p同東京留学生ト本件トノ關係 同婦人団体獨立運動、25p同国権返還ノ請願及獨立援助ノ嘆願、26p同騒擾事件ト在外排日鮮人トノ關係、29p朝鮮人ノ感想取調書 内地論評、37p朝鮮統治策(日本及日本人、植原悦郎)、38p同私案、40p朝鮮騒擾ト文官總督制(大香町人)、42
表紙右上に「秘」の丸印有、冊子、謄写版、58頁、諸資料(雑誌記事など)を集成したもの
negative microfilm

[3] 2 [Ts Japan/K7F97t]

不逞事件ニヨツテ得タル朝鮮人側面観

國友尚謙

包紙・上書、墨書、2丁、破損有、包紙裏面「昭和十年十一月九日撮影 松平(欠)」

negative microfilm

[3] 2-1 [Ts Japan/K7F97t]

不逞事件ニ依ツテ観タル朝鮮人

國友尚謙稿 大正12年頃カ

第一発覚ノ端緒、第二調査進行ノ経過 一伊藤統監暗殺計画 二李完用暗殺計画 三統監暗殺計画 甲明治四十三年度ノ暗殺計画 乙明治四十四年度ノ暗殺計画、第三新民会 一新民会ノ組織 二新民会ノ目的 三新民会ノ事業 四新民会員数 五新民会ノ仮称 新民会機関新聞、第四暗殺不成功ノ原因、第五朝鮮人 一朝鮮人ノ心理 二現今ノ思潮 三学校及青年、第六耶蘇教 一西人宣教師 二耶蘇教徒、第七西北人ト南方人、第八将来ノ朝鮮人

目録2丁、本文222丁、序文有、冊子、墨書、表紙右上に「秘」朱印有、著者國友尚謙ハ警視(当時)。

negative microfilm

[3] 2-2 [Ts Japan/K7F97t]

不逞事件ニ依ツテ得タル朝鮮人ノ側面観

取調主任警視 國友尚謙稿 大正12年頃カ

朝鮮民間ノ勢力および教育状況ノ分析、「身分及年齢別」「学校及年齢別」「学問ノ新旧及年齢別」ノ統計分析より「不逞ノ志ヲ懷ケル徒ハ青壮年間ニ多ク、且ツ新学問ヲ修メタル者ヲ最トスルコトハ極メテ注意スヘキ現象」とノ見通しを記す

附録として安重根關係ノ記事を載せる、本文54丁、附録21丁、冊子、墨書、朱字ノ書込み有

negative microfilm

[4] 1-1 [#10]

〔間島勘界事実〕

仮表紙

丙戌(光緒12年)・丁亥(光緒13年)・戊子(光緒14年)の3冊を合本したもの、朱書にて「フーヴァ図書館 日本事ム所 九月分」とあり

[4] 1-2

丙戌(光緒十二年)間島勘界事実ニ

コンニャク版、表紙1丁、本文21丁、間島に関する諸資料を集成したもの

[4] 1-3

丁亥(光緒十三年)間島勘界事実三

コンニャク版、表紙1丁、本文63丁

【4】 1-4

戊子(光緒十四年)間島勘界事実四

コンニャク版、表紙1丁、本文17丁

【4】 2 [#28]

間島ニ関スル鐘城郡郷庁ノ公文書

統監府 明治40年9月

明治15~17年頃鐘城郡郷庁公文書写、白頭山定界碑考(丁鏞大韓疆域号卷九)、邑面明訴舛他

冊子、謄写版、表紙1丁、序文2丁、本文60丁、序文に間島問題について材料とするために作成した旨を記す

【4】 3 [Ts Japan/F1 J24Sa]

間島ト日韓及ヒ北満州トノ関係

統監府臨時間島派出所長斎藤李治郎

明治41年12月

(目次)1、間島ノ位置 2、間島ノ地勢并ニ統治 3、資源及ヒ交通 4、間島ト北韓トノ関係 5、間島ト北満州トノ関係 6、日本ト間島トノ関係 7、結論

冊子、墨書、罫紙、罫紙銘に「統監府」とあり、朱書での訂正あり、仮表紙、目次1丁、序文1丁、本文30丁

【4】 4 [#12]

清国政府来覆 間島問題境界論覚書ニ対スル意見

明治12年6月

清国政府の覆文には積極的所見はなく、また有力な資料もないことを指摘する

冊子、コンニャク版、仮表紙、表紙1丁、本文44丁

【4】 5 [#29]

間島一班

(目次)1、間島ノ名称・面積・戸口及氣象 2、間島ト外部トノ交通(1)龍井村清津間(2)龍井村吉林村(3)龍井村敦化村(4)龍井村琿春間(5)龍井村寧古塔間(6)龍井村鐘成間(7)龍井村茂山間(8)龍井村穆城間 3、間島内ノ重ナル部落(1)局子街(2)龍井村(3)頭道溝(4)銅佛寺(5)東盛湧街(6)湖川街(7)長洞 4、間島ノ農業 5、間島ノ商業(1)農産物輸出額ノ概算(2)局子町ニ於ケル商習慣(3)局子街ニ於ケル金融機関及貨幣(4)間島全般ニ於ケル貨幣(5)重要輸出入品及其経路 6、間島ノ鉱産及鉱業

冊子、謄写版、表紙1丁、目次3丁、本文81丁、「間島略図」あり、表紙に「統監府臨時間島派出所之印」朱印あり
negative microfile

【4】 6 [#19]

(6)間島ニ於ケル不逞鮮人団ノ状況

大正9年10月

(目次)1、緒論 2、間島ニ於ケル不逞鮮人団体ノ組織

国民会・軍政署・光復団・軍務都督府・義軍団・大韓獨立団・新民団 3、不逞団体ノ行動 軍資軍糧ノ募集・隊員募集・通信連絡ノ方法・武器蒐集・宣伝・武力侵襲 4、間島在住一般鮮人ノ態度 5、不逞団体ニ対スル支那官憲ノ態度 6、不逞団体ノ取締ニ関スル日支交渉ノ顛末 7、琿春事件ト出兵 8、結論

冊子、謄写版、表紙1丁、目次1丁、本文25丁、表紙はペン書き、目次下にペン書きにて「大正九年十月二十八日 高警第三四三一八号」とあり

【4】 7 [#15]

(2)軍隊出動後ニ於ケル間島在住鮮人ノ状況

警務局 大正9年11月

間島地方における不逞鮮人団の動きが活発化し、9月中旬に支那軍警が討伐するも事態は収まらず、10月7日以降日本軍を派遣した。その後の「一般鮮人ノ民心移動ノ状況」を分析する。

冊子、謄写版、表紙1丁、本文17丁、表紙右上に「秘」朱印あり、表題にはペン書きにて「(2)」とあり

【4】 8 [#17]

(4)西間島ニ於ケル不逞鮮人団体ノ状況

朝鮮総督府警務局 大正9年11月

緒言 1、西間島ニ於ケル不逞鮮人団ノ組織 獨立団・韓族会・軍備団・中興団・武士団・青年団及平安北道督弁府 2、不逞ノ行動 3、巡閱使派遣捜査班ノ出動 4、日本軍隊ノ示威的行軍 5、保民会 6、結論

冊子、謄写版、表紙1丁、目次1丁、本文14丁、仮表紙、表紙右上に「秘」朱印あり、末尾に参考として各不逞団の規則及び檄文等を別冊として添付するとあり、表題にはペン書きにて「(4)」とあり

negative microfile

【4】 9 [#18]

(5)西間島ニ於ケル不逞鮮人団ニ関スル参考書類

朝鮮総督府警務局 大正9年11月

大韓獨立団約章、大韓獨立団内地分置機関臨時通則、獨立団内各機関ノ進行すべき秘件、積文 獨立団ノ鮮内籍紳士林ニ対スル檄告文、執務怠慢ニ関スル件、獨立団決死隊規則、警告国内京邸各富戸、討伐令写、獨立団ノ宣言書、獨立団ノ警告文、韓族会規則、大韓獨立軍備総団約章、大韓獨立軍備団支援規則他

冊子、表紙1丁、本文61丁、表紙右上に「秘」朱印あり、表題には鉛筆書きにて「(5)」とあり

negative microfile

【5】 1 [#16]

(3)軍隊出動後ニ於ケル間島不逞鮮人団体ノ状況

大正10年

目次 1、軍事行動ノ概要 各支隊歩兵第二十八旅団及
江岸守備隊ノ行動 イ.磯林支隊 ロ.木村支隊 ハ.東支
隊 ニ.歩兵第二十八旅団ノ行動 2、各不逞団体ノ情勢
3、民心ノ情況(1)鮮人良民側(2)不逞鮮人側(3)支那
人側(4)日本人側 4、各宗教ノ情況(1)耶蘇教=外人
宣教師ノ言動(2)青林教ノ活動(3)濟愚教ノ活動(4)天
道教(5)侍天教 5、支那側ノ態度(1)官憲側(2)学生側
(3)民間側 6、結論

目次1丁、本文44丁、冊子、謄写版、表紙なし、表題は
目次横にペン書きにてあり

negative microfile

【5】 2-1

〔間島問題調査書〕

仮表紙

第1・第2・第3・第4・第5・第6の5冊を合本

【5】 2-2

間島問題調査書第一

1、康熙定界以前ノ境界上 清朝以前(1)新羅渤海ノ境
界 (2)高麗女真ノ境界 (3)朝鮮六鎮時代

冊子、謄写版、表紙1丁、本文26丁、表紙右上に「秘」朱
印あり

【5】 2-3

間島問題調査書第二

2、康熙定界以前ノ境界下 清朝勃興期(1)間荒、即ち
中立地帯ノ形成 (2)境上ノ開市 (3)越境ノ犯罪 (4)
崇徳役後ノ状態

冊子、謄写版、表紙1丁、本文45丁、表紙右上に「秘」朱
印あり

【5】 2-4

間島問題調査書第三

3、康熙定界事件(1)定界ノ来由 (2)定界始末 (3)定
界後ノ境上状態

冊子、謄写版、表紙1丁、本文26丁、表紙右上に「秘」朱
印あり

【5】 2-5

間島問題調査書第四・五

4、間島問題 日清戦争以前 5、間島問題下 日清戦
争以後

冊子、謄写版、表紙1丁、本文25丁、表紙右上に「秘」朱
印あり

【5】 2-6

間島問題調査書第六

6、地志ノ考証(1)間島ノ名称及ヒ区域 (2)豆満江ノ源

流

冊子、謄写版、表紙1丁、本文34丁、表紙右上に「秘」朱
印あり

【5】 3 [#11]

間島勘界備考

肅宗壬辰年清使穆克登定界ノ時、壬辰五月七日穆克
登回答、壬辰五月八日穆克登奏文、朝鮮接伴使朴等ヨ
リ穆克登ヘノ上書、土們江定界叙実、分水嶺定界碑文、
奏文(光緒11年7月20日軍機大臣奏す)、朝鮮国王咨
文写、光緒11年7月日李鴻章札飭(命令書)他
冊子、コンニャク版、33丁、間島に関する諸資料を集成
したもの

【6】 1 [#13]

統監府派出所設置以来ノ状況報告書

統監府派出所長 斎藤季治郎 明治41年1月31日

第1章 着任当時ヨリ陳吳来着迄ノ状況、1 前往準備
ト六道溝ニ到着舎営迄ノ状況、2 清国官憲ノ態度及ヒ
撤退ノ要求、3 清韓人民ノ態度、4 憲兵ノ配置 5 所
内執務ノ概況、6 韓人都社長、村長ノ任命、7 仮庁
舎併ニ仮宿舍ノ建設、8 調査事業ノ着手、9 清国官吏
ノ任免、10 白頭山定界碑并ニ土門江流ノ踏査、11 郵
便電信ノ開設、12 清兵ノ暴行、13 日本人犯罪ノ取扱、
第2章(タイトルなし)、1 恫喝手段ノ挫折、2 清韓人管
轄ノ告示之レニ対スル抗議、3 清国派弁所ノ設置、4
天宝山事件、5 伐木禁止、6

目次あり、堅帳、謄写版、本文54丁

【6】 2 [#27]

延吉庁領土問題之解決 訳文

明治42年6月写

第1章 延吉庁ノ価値、第2章 領土問題ハ[ヲ]速カニ
解決スベキ理由、第3章 日本ノ我レト開[]スル能ハザ
ルノ実情、第4章 解決ノ方法、附 朝鮮王ノ北洋大臣ニ
致セル咨文、光緒十三年清韓斯界使者回答期
湖北・熙民著、目次あり、堅帳、カーボン、罫紙、罫紙銘
「統監府」とあり、214丁

【6】 3 [#20]

朝鮮外ニ於ケル朝鮮人状況一般

拓殖局 [大正7年12月]

第1章 朝鮮人外国移住ノ沿革及原因、第2章 在外朝
鮮人数(附 帰還鮮人数)、第3章 朝鮮人ノ帰化及其ノ
手続、第4章 外朝鮮人ノ職業及生活状況、第5章 満
州及露領在留鮮人ノ農業経営方法、第6章 在外朝鮮
人子弟ノ教育、第7章 在外朝鮮人ノ結社団体及排日
思想、第8章 非排日の団体、第9章 在留鮮人ニ対ス
ル所在地官憲及人民ノ態度

「秘」とあり、目次あり、年代は凡例の墨書による、表紙破れ、縦帳、謄写版、68丁

【6】 4 [#26]

露領ニ於ケル不逞鮮人ノ状況

警務局 大正10年1月

第1 欧州戦乱勃発後ニ於ケル状況、第2 朝鮮騒擾勃発ヨリ大正九年四月迄ノ状況、第3 大正九年四月以後ノ状況、第4 過激派ト不逞鮮人トノ関係、第5 総論
「秘」(朱書)とあり、目次あり、標題の上に「(1)」とあり、縦帳、謄写版、14丁

【6】 5 [ナシ]

蔚山ニ於ケル清正公之遺蹟(かま城)

蔚正郡 大正12年

谷井濟一著書の写、縦帳、謄写版、22丁、「西生城ニ関スル記録ノ沿革」添付(7丁)

【6】 6 [#22]

鮮内重要事項

大正9年10月以降

高警通牒の写、発送先;内閣総理大臣・各省大臣・拓殖局長官・警視總監・検事総長・朝鮮軍司令官・両師団長・憲兵司令官・鎮海要港部司令官・関東長官・同軍司令官、「秘」(朱印)あり、縦帳、謄写版、216丁
negative microfilm

【6】 6-1

高警第22281号 不逞鮮人ノ凶行企画発見検挙ノ件

大正9年7月17日

3丁

【6】 6-2

高警第32419号 不逞鮮人ノ凶行企画発見検挙ノ件続報

大正9年10月25日

3丁

【6】 6-3

高警第26082号 不逞鮮人ノ暴行ニ関スル件

大正9年8月19日

1丁

【6】 6-4

高警第29992号 不逞鮮人ノ検挙ニ関スル件

大正9年9月22日

大正9年8月18日高警第26082号参照、5丁

【6】 6-5

高警第31046号

不逞鮮人ノ検挙ニ関スル件大正9年8月18日高警第26082号・同年9月22日高警第29992号・同年7月10日高警第21120号・同年8月19日高警第26188号参照、2丁

【6】 6-6

高警第30308号

大正9年9月24日

1丁

【6】 6-7

高警第31058号

大正9年10月6日

7丁

【6】 6-8

高警第33269号

大正9年11月3日

4丁

【6】 6-9

高警第30709号

大正9年9月28日

1丁

【6】 6-10

高警第31957号

大正9年10月14日

4丁

【6】 6-11

高警第30811号

大正9年9月30日

7丁

【6】 6-12

高警第31192号

大正9年10月2日

4丁

【6】 6-13

高警第31077号

大正9年10月8日

8丁

【6】 6-14

高警第34022号

大正9年10月25日

6丁

【6】 6-15

高警第32723号

大正9年10月21日

4丁

【6】 6-16

高警第33588号

大正9年10月27日

3丁

【6】 6-17

高警第33902号

大正9年11月4日

8丁

【6】 6-18

高警第34033号

大正9年11月5日

3丁

【6】 6-19

高警第32778号

大正9年11月6日

6丁

【6】 6-20

高警第35002号

大正9年11月9日

4丁

【6】 6-21

高警第36203号

大正9年11月17日

4丁

【6】 6-22

高警第37855号

大正9年12月8日

8丁

【6】 6-23

高警第36133号

大正9年12月9日

8丁

【6】 6-24

高警第39792号

大正9年12月22日

7丁

【6】 6-25

高警第39813号

大正9年12月24日

3丁

【6】 6-26

高警第41095号

大正9年12月28日

3丁

【6】 6-27

高警第40728号

大正10年1月11日

8丁

【6】 6-28

高警第501号

大正10年1月19日

1丁

【6】 6-29

高警第873号

大正10年1月13日

3丁

【6】 6-30

高警第41112号

大正10年1月24日

7丁

【6】 6-31

高警第2480号

大正10年1月26日

7丁

【6】 6-32

高警第2630号

大正10年1月29日

3丁

【6】 6-33

高警第2629号

大正10年1月29日

3丁

【6】 6-34
高警第41516号
大正10年1月27日
6丁

【6】 6-35
高警第3640号
大正10年2月4日
3丁

【6】 6-36
高警第2228号
大正10年1月31日
4丁

【6】 6-37
高警第2686号
大正10年2月9日
2丁

【6】 6-38
高警第2834号
大正10年2月3日
2丁

【6】 6-39
高警第1313号
大正10年2月7日
10丁

【6】 6-40
高警第3898号
大正10年2月12日
2丁

【6】 6-41
高警第39652号
大正9年12月23日
5丁

【6】 6-42
高警第40144号
大正9年12月24日
2丁

【6】 6-43
高警第40233号
大正9年12月27日
4丁

【6】 6-44
高警第21955号
大正9年7月20日
3丁、同一物もう一部あり

【6】 6-45
高警第349号
大正10年1月18日
15丁

【7】 1 [#22]
国境地方侵入及検挙情况
大正9年10月以降

高等警察発給文書の謄写
表紙に「秘」とあり、発送先、内閣総理大臣、各省大臣、
拓殖局長官、検事総長、警視總監、鎮海要港部司令官、
朝鮮軍司令官、朝鮮兩師団長、憲兵隊司令官、関東長
官、関東軍司令官、各法院長、各検事長、検事正、奉
天、吉林、上海、浦潮、間島各総領事、安東、鐵嶺領事、
各道知事、警務局各派遣員、謄写版、整帳、63丁

【7】 1-1
不逞鮮人ノ行動ニ関スル件
大正9年10月11日
高警第31923号、独立運動資金募集に関し謀議に付、
呂行烈他3名逮捕の事

【7】 1-2
不逞鮮人団侵襲
大正9年10月14日
高警第32619号、10月6日甲山郡雲興面太田坪里区長
宅に不逞鮮人襲来の事

【7】 1-3
不逞鮮人ノ兇行及資金強奪
大正9年10月20日
高警第33241号、咸鏡北道及び平安北道方面の巡査の
活動

【7】 1-4
惨虐無道ノ不逞鮮人検挙
大正9年10月25日
高警第33652号、平安北道江界郡從西面新城洞李聖達
方に侵入の不逞鮮人等の逮捕

【7】 1-5
不逞鮮人検挙ノ件
大正9年10月29日
高警第33858号、平安北道および平安南道における不

遑鮮人の逮捕および追跡の報告

【7】 1-6

不遑鮮人逮捕並撃攘

大正9年10月30日

高警第34685号、咸鏡南道および平安北道方面における報告

【7】 1-7

不遑鮮人ノ狂暴並検挙

大正9年11月6日

高警第35221号、平安北道方面6件の報告

【7】 1-8

不遑鮮人侵入及越江追撃

大正9年11月9日

高警第35554号、咸鏡北道鐘城警察署の警戒員、不遑鮮人を越江まで追撃

【7】 1-9

不遑鮮人団侵入

大正9年11月9日

高警第35809号

【7】 1-10

光復団員ト称スル軍資金募集者検挙

大正9年11月9日

高警第35320号

【7】 1-11

不遑鮮人ノ兇暴並二検挙

大正9年12月1日

高警第37310号

【7】 1-12

金丙洙死刑宣告文

紀元4253年陰月9月日

【7】 1-13

不遑鮮人軍資金強奪並二逮捕

大正9年12月3日

高警第38175号

【7】 1-14

不遑鮮人内地人射撃

大正9年12月6日

高警第38395号

【7】 1-15

不遑鮮人侵入並二検挙

大正9年12月7日

高警第38478号

【7】 1-16

対岸不遑鮮人ノ検挙

大正9年12月8日

高警第38293号(ママ)

【7】 1-17

不遑鮮人侵入

大正9年12月14日

高警第39309号

【7】 1-18

不遑鮮人ノ検挙

大正9年12月15日

高警第39752号

【7】 1-19

不遑鮮人ノ検挙

大正9年12月18日

高警第39476号

【7】 1-20

在内同胞ニ敬告ス

大韓独立団専権委員白鎮海 紀元4253年9月

1章軍人ノ資格、2章軍隊ノ親睦、3章、4章軍法ノ威信
訳文

【7】 1-21

不遑団員検挙

大正9年12月24日

高警第40216号

【7】 1-22

不遑鮮人ノ行動ニ関スル件

大正9年12月28日

高警第41000号

【7】 1-23

不遑鮮人ノ行動ニ関スル件

大正10年1月10日

高警第421号

【7】 1-24

不遑鮮人ノ行動ニ関スル件

大正10年1月13日

高警第799号

【7】 1-25

不逞鮮人侵入及検挙

大正10年1月14日

高警第872号

【7】 1-26

不逞鮮人ノ検挙並其ノ狂暴

大正10年1月18日

高警第1501号

【7】 1-27

不逞鮮人ノ狂暴

大正10年1月25日

高警第2029号

【7】 1-28

不逞鮮人ノ検挙並狂暴

大正10年1月28日

高警第2631号

【7】 1-29

対岸不逞鮮人団員及督弁府関係者検挙

大正10年2月7日

高警第3024号

【7】 1-30

不逞鮮人ノ兇行並資金強要

大正10年2月8日

高警第3072号

【7】 1-31

不逞鮮人侵入及検挙

大正10年2月8日

高警第4246号

【7】 1-32

不逞団員ノ検挙及警察官ノ殉職

大正10年2月4日

高警第3547号

【7】 1-33

不逞鮮人検挙

大正10年2月14日

高警第4386号

【7】 1-34

独立団派遣暗殺隊員検挙

大正9年12月14日

高警第39028号

【7】 1-35

不逞鮮人ノ検挙

大正9年12月18日

高警第39476号

【7】 1-36

〔在内同胞二撤告ス〕

前欠

【7】 2 [#24]

国外情報

大正9年自10月至12月

高等警察発給文書の謄写

表紙に「秘」とあり、謄写版、縦帳、64丁

【7】 2-1

高警30976号

【7】 2-2

高警32824号

【7】 2-3

高警33075号

【7】 2-4

高警33074号

【7】 2-5

高警33799号

【7】 2-6

高警28811号

【7】 2-7

嗚呼八月二十九日

檀君子孫不肖ナル孫等白

大韓民国2年8月29日

訳文

【7】 2-8

高警36490号

【7】 2-9

高警35711号

【7】 2-10
高警36374号

【7】 2-11
高警37234号

【7】 2-12
高警37231号

【7】 2-13
高警36606号

【7】 2-14
在「ホノルル」総領事発電報要領

【7】 2-15
高警38079号

【7】 2-16
高警38077号

【7】 2-17
高警38062号

【7】 2-18
高警38080号

【7】 2-19
教令第12号 臨時職員補助費規程

【7】 2-20
高警38481号

【7】 2-21
高警38480号

【7】 2-22
高警38452号

【7】 2-23
高警40046号

【7】 2-24
条約文
労農政府と大韓民国臨時政府の攻守同盟

【7】 2-25
高警40812号

【7】 2-26
高警40811号

【7】 2-27
高警40781号

【7】 2-28
高警40998号

【7】 2-29
高警40813号

【7】 2-30
国务院布告第2号 大韓民国臨時政府閣員一同ハ
露領僑民百万同胞ニ告ク
國務總理李東輝他9名 大韓民国2年11月1日
訳文

【7】 2-31
高警41324号

【7】 2-32
高警39381号

【7】 3 Ts Japan/C7H51
大正十一年頃平安南道治安状況
平安南道警察部
3-1〜6までを合冊したものの外表紙、堅帳

【7】 3-1
社会問題研究
平安南道警察部高等警察課
1過激思想伝播ノ概況、2社会問題ト社会主義、3無政
府主義、4サンヂカリズム、5I.W.W. 6ボリシエビズム、7
社会主義等ニ対スル批判
謄写版、堅帳、40丁

【7】 3-2
最近ニ於ケル管内状況
高等警察課 大正11年6月
1一般民心ノ推移、2不逞運動ノ経過、3社会主義過激
思想伝播ノ状況、4向学心勃興ノ情况、5内鮮人融和ノ
状況並ニ之ニ対スル施設、6各種団体及集会講演ノ状
況、7新聞雑誌ニ関スル事項、8宗教及類似団体ノ趨勢、
9内地留学生ノ状況、10外国人ニ関スル事項、11要視
察人ニ関スル事項、12在外鮮人
「秘」とあり、謄写版、堅帳、34丁

【7】 3-3

参考諸表

高等警察課

注意報告成績表、時局犯罪事件検挙表、全被害表、朝鮮人講演会調査表、宗教類似団体系統一覧表、在外不穩新聞雑誌其他一覧表、朝鮮内発行新聞一覧表、全雑誌一覧表、大正11年度新入学生状況調表、教育上ニ関スル特別施設表、朝鮮人新聞雑誌購読者表、内地留学生一覧表、公立普通学校就学不就学児童歩合表、私立学校通学児童数表、書堂通学児童数表
「秘」とあり、謄写版、堅帳、25丁

【7】 3-4

宗教類似団体ノ概況

平安南道警察部

「秘」とあり、謄写版、堅帳、27丁

【7】 3-5

在東京朝鮮人現況 附内地社会主義者ノ概況

平安南道警察部高等警察課 大正11年6月

「秘」とあり、謄写版、堅帳、8丁

【7】 3-6

鮮人ノ団体調

大正11年4月末現在、団体名・設立年月日・目的・会員数・操縦者の一覧表
謄写版、堅帳、2丁

【7】 4 [#25]

国外情報

大正10年1月以降

「秘」とあり、謄写版、堅帳、91丁

【7】 4-1

高警第224号

【7】 4-2

高警第95号

【7】 4-3

高警第41493号

【7】 4-4

高警第310号

【7】 4-5

高警第40109号

【7】 4-6

高警第189号

【7】 4-7

高警第621号

【7】 4-8

高警第41459号

【7】 4-9

高警第38801号

【7】 4-10

高警第305号

【7】 4-11

高警第1575号

【7】 4-12

高警第41197号

【7】 4-13

高警第2069号

【7】 4-14

高警第2068号

【7】 4-15

高警第2389号

【7】 4-16

司令部日誌

幕賓李楨 大韓民国2年7月1日ヨリ

写

9月13日まで、「士官鍊成所長之章」とあり、謄写版、22丁

【7】 4-17

高警2660号

【7】 4-18

高警3404号

【7】 4-19

高警3405号

【7】 4-20

高警3406号

【7】 4-21

高警3112号

【7】 4-22
高警3450号

【7】 4-23
高警3943号

【7】 4-24
高警3942号

【7】 4-25
高警2481号

【7】 4-26
高警4340号

【7】 5 [ナシ]
〔仮政府ノ組織ト不逞鮮人ノ行動〕
1仮政府組織前ニ於ケル不逞鮮人ノ行動、2仮政府ノ組織、3仮政府部内ノ党争、4仮政府ト過激派トノ関係、5仮政府ノ窮状、6仮政府ノ諸機関、7所謂仮政府ノ法令及不逞文書
表題は後筆のペン書による、謄写版、堅帳、137丁

【7】 6 [#1]
〔朝鮮独立運動ニ関スル文書〕
1民心ノ傾向、2保安状況、3在外朝鮮人ノ動静、4間島満蒙及西比利亞方面ニ対スル鮮人分布ノ状況並略年比較表、5結社ノ解散処分及集会禁止処分ヲ為シタル事件及事由、6輸入新聞紙種類(自大正8年10月1日至同9年9月末日)、7新聞紙雑誌処分件数表(全上)、8朝鮮内発行新聞雑誌(大正9年9月末日現在)、9代議士ニシテ朝鮮ニ事業ヲ経営スル者及其ノ概況
目次前半は後年の作成、表題は同目次による、謄写版、堅帳、150丁
negative microfilm

【8】 2
日韓関係諸資料
浦塩派遣軍政務部囑託朝鮮総督府事務官 山崎真雄
大正九年
裏表紙の内側に「篠田様 田中源市 安江」

【8】 2-1
在外鮮人懐柔ニ関スル件
手稿、ペン書、罫紙「平安南道」、4枚

【8】 2-1-1
目録
山崎真雄 明治16年1月12日

12枚、2-1-2以下の標題目録、但し 部分は散逸(目録にあつて現物はなし)

【8】 2-1-2
在漢城弁理公使竹添進一郎来信写
井上外務卿殿宛、冒頭に「機密第一号」有

【8】 2-1-2
(別表)在外施療機関壹個所所要経費概算
自筆、ペン書、罫紙「平安南道」、2枚

【8】 2-1-2-1
〔具申書〕
〔弁理公使 竹添進一郎〕〔明治16年1月12日〕
漢城に駐屯の兵に関し具申
2-1-1目録には「竹添弁理公使朝鮮事情内報」とあり、井上外務卿宛、機密第1号の写

【8】 2-1-2-2
〔具申書〕
〔在漢城 弁理公使竹添進一郎〕〔明治16年1月12日〕
総理事務衙門・内務衙門・外務衙門新設の件、朴泳孝内話の件、堀本教練の兵百名の件、日本派出の公使に税則の談判委任の件、海底電線の件
井上外務卿宛、機密第2号の写

【8】 2-1-2-3
〔申請書〕
〔特命全權大臣朴泳孝〕〔朝鮮開国491年11月28日〕
日本人7名雇入の件
日本弁理公使竹添進一郎宛、甲号の写

【8】 2-1-3
ホルワット長官ニ交渉スヘキ要点
露領内の朝鮮人独立陰謀を企てるもの達が、ウラジオストクなどで3月中旬(年は不明)に独立宣言をした。彼らに対する検挙取締を要請する内容。
自筆稿、ペン書き、罫紙「陸軍」、2枚

【8】 2-1-3
在朝鮮臨時公使外務書記官島村久来信写
釜山事務官 洪承均 大正十二年十月三十日
外務卿代理参議伊藤博文殿宛
冒頭に「甲号」とあり

【8】 2-1-3-1
在朝鮮臨時代理公使島村久ヨリノ機密信写
〔在朝鮮臨時代理公使 外務書記官島村久〕
〔明治17年2月20日〕

在旅順口提督宋慶兵隊を引率し渡韓の件、朝鮮国波
乱の件

2-1-1目録には「島村代理公使機密来信四通」とあり、
外務卿代理 参議伊藤博文宛

【8】 2-1-3-2

在朝鮮臨時代理公使島村久ヨリ機密来信写

〔在京城臨時代理公使外務書記官島村久〕

〔明治17年2月〕

大院君の帰国に際し朝鮮の状況に関する韓圭稷談話
外務省代理 参議伊藤博文宛

【8】 2-1-3-3

在朝鮮国京城島村臨時代理公使ヨリノ機密信写

〔在朝鮮臨時代理公使 外務書記官島村久〕

〔明治17年5月5日〕

4月28日当国王殿下内謁の際の談話
外務卿井上馨宛

【8】 2-1-3-4

吳大猷ト面会往復ノ事

貴我両国互いに兵隊を当地に差し置くことに関して
機密第1号の写

【8】 2-1-3-5

日記抄録

1月12日分、清兵演習の件

【8】 2-1-4

在朝鮮臨時代理公使島村久ヨリ機密来信写

星野桂吾 昭和三年四月

外務卿代理参議伊藤博文殿宛

8丁

【8】 2-1-4-1

極東露領ニ於ケル朝鮮人ノ取締及ビ懷柔ニ関スル
意見書

10箇条の意見書(草案)

意見書の草稿、自筆、ペン書き、罫紙「平安南道」、10
枚

【8】 2-1-4-1

〔報告〕

〔臨時代理公使近藤直鋤〕〔明治18年1月16日〕

左議正・右議正退職の件

2-1-1目録には「近藤代理公使来簡」、外務卿伯爵井上
馨宛、機密第2号の写

【8】 2-1-4-2

対朝鮮人方針ニ関スル意見書

篠田治策 大正8年2月

大谷軍司令官宛の意見書(草案)。ロシア革命によって、
極東ロシアの治安が悪化し、不逞朝鮮人に対する取締
が不可能になったので、次の3点の場合、強圧手段を取
りうる。「1, 国家自衛権の発動に基く場合。2, 軍の安全
を保つ必要なる場合。3, 秩序維持に必要な場合」。
なお、懷柔策マニュアル10, 調査事項14を付記。

自筆、ペン書、罫紙「平安南道」、5枚。罫紙「東京三越
製」5枚。

【8】 2-1-4-2

〔上申書〕

〔臨時代理公使近藤直鋤〕〔明治18年1月16日〕

先般締結の條款に基き当国政府より使臣我が国へ派遣
の義

外務卿伯爵井上馨宛、機密信第3号の写

【8】 2-1-4-3

〔上申書〕

〔臨時代理公使近藤直鋤〕〔明治18年1月18日〕

清国使節帰国の模様につき山田敬徳を移民方に遣わ
し談話の件

外務卿伯爵井上馨宛、機密信第4号の写

【8】 2-1-4-4

十八年一月十八日穆氏ト談話抄録

〔明治18年1月〕

清国使節近日帰国の模様について、李鴻章の考えに
ついて

【8】 2-1-5

在朝鮮国京城島村臨時代理公使ヨリ機密来信写

星野桂吾 昭和三年七月調

外務卿井上馨殿宛

16丁

【8】 2-1-5

明治十八年三月二日於神戸港 ブランクリー氏英
領事アストン氏ト問答

清兵を韓城より撤回することにつき英国の反応

2-1-1目録には「ブランクリー氏英領事アストン氏問答」
とあり

【9】 1 [ナシ]

台湾史料

明治32年12月

第1章 台湾ノ形成、第2章 台湾ノ名称、第3章 時代ノ

區別、第4章 古世紀、第5章 初世紀、第6章 附録第1
巻 中世紀初ノ行政制度、第7章 中世紀
大正6年3月複写とあり、表紙かすれにより一部文字読
み取れず、堅帳、謄写版、目次15丁、本文548丁

【9】 2 【ナシ】

附録自第一号至第廿六号 旅順要塞整理残務ノ概
況

署紙(署紙銘は「旅順要塞司令部」とあり)挟込あり(「一、
現況ノ説明 二、外国人ノ渡航ヲ許可ストセバ起ルベキ
□□ノ例示」等、堅帳、謄写版

【9】 2-1

附録第1号 千九百〇一年四月発布 旅順市有土
地払下規則

3丁

【9】 2-2

附録第2号 旅順市土地払下手續

9丁

【9】 2-3

附録第3号 地区競売ニ関スル市會議決書

3丁

【9】 2-4

附録第4号 地区競売執行調書

3丁

【9】 2-5

附録第5号 地区購買者義務規定書

3丁

【9】 2-6

附録第6号 土地台帳登記ノ写

3丁

【9】 2-7

附録第7号 新市街払下地区統計表

1丁

【9】 2-8

附録第8号 旅順市ニ於ケル特権地区貸下規則

7丁

【9】 2-9

附録第9号 龍河右岸新開土地貸下条件

4丁

【9】 2-10

附録第10号 龍河右岸材木倉庫用貸下競争ノ調書

4丁

【9】 2-11

附録第11号 龍河右岸貸下済地区一覧表

5丁

【9】 2-12

附録第12号 旧市街貸座敷営業用貸下地区契約
書

4丁

【9】 2-13

附録第13号 支那市街地土地貸下契約書之例

4丁

【9】 2-14

附録第14号ノ1 旅順市家屋統計表

3丁

【9】 2-15

附録第15号 旅順民政支署所管動産種別

1丁

【9】 2-16

附録第16号 露清銀行帳簿類処分ニ関スル上申案

3丁

【9】 2-17

附録第17号 「ギンスブルグ」倉庫ヨリ徴用物件目
録

6丁

【9】 2-18

附録第18号 開城当時彼我委員会見ノ概況

7丁

【9】 2-19

附録第19号 紀鳳台徳和外支那間諜ノ差押家屋目
録

4丁

【9】 2-20

附録第20号ノ1 附録第20号ノ2 残留財産調査方
針

4丁

【9】 2-21

附録第21号 財産調査其他外交事件ノ目録

5丁

【9】 2-22

附録第22号 要塞工場地区内ノ土地建築物、機械並ニ住民等処分ニ関スル告示

2丁

【9】 2-23

附録第23号 商会商社及商人ノ目録

4丁

【9】 2-24

附録第24号 旅順人口異動表(老虎尾半島清国人ヲ除ク)

1丁

【9】 2-25

附録第25号 旅順口退去者荷物搬出規則

4丁

【9】 2-26

附録第26号 臨時旅順市行政規則

6丁、「旅順要塞整理残務ノ概況」添付(15丁)

【10】 1 [ナシ]

外国人私有財産整理終結報告書

1章外国人私有財産整理委員設置ノ沿革、2章外国人私有財産整理委員ノ組織、3章外国人私有財産整理ニ関スル訓令及諸規則並ニ右ニ対スル整理委員会ノ決議、4章外国人私有財産整理委員ニ関スル予算、5章旅順外国人私有財産整理委員ノ業務一般、6章遺留財産下渡申請人ノ総員数及国籍別(但シ旅順委員会ニ関スル分)、7章整理委員ト他ノ官衙トノ関係、8章各申請人対委員会ノ関係、9章整理事務ノ終了、10章未整理ニ属スル不動産動産及礦山、11章結論

謄写版、堅帳、100丁、表紙に「旅順」とあり、「煙炭及び撫順炭鉱の没収に関する件」と題するメモ3枚を挿入

【10】 2 [ナシ]

外国人私有財産整理終結報告書附録書類

旅順外国人私有財産整理委員事務所

第1新市街地区不動産申請事件処分一覧表、第2旧市街及貸座敷営業用地不動産申請事件一覧表、第3支那市街不動産其他ノ雜及各種証明書旧市街土地申請処分一覧表、第4龍河右岸不動産申請事件処分一覧表、第5特権地区不動産申請事件処分及不動産評価表、第6別荘地区不動産評価表及申請事件処分一覧

表、第7撫順炭礦下戻申請処分一覧、第8動産申請処分一覧表、第9露清銀行動産不動産一括謄写版、堅帳、150丁、「末尾へ」と題された篠田治策のメモ1枚を挿入

【10】 3 [Ts Japan/F1 J24S]

大正八年頃シベリヤの状態

浦塩派遣軍調査

綴じ穴の痕跡から3-1~29は元来、一綴りであったと推測される

【10】 3-1

意見

篠田事務官

日本軍による東清鉄道の専用線利用に関する技術部長の通告に対して抗議し、現状を維持すること、下書きか

ペン書、罫紙(陸軍)堅帳(新クリップ留)3丁、クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-2

〔呼倫貝爾及在「ダウリヤ」蒙軍ニ関スル概情〕

1序言、2呼倫貝爾ノ概情、3在「ダウリヤ」蒙軍ニ関スル概情

カーボン、罫紙(陸軍)堅帳、26丁

【10】 3-3

QUARTIER GENERAL DE L'ARMEE JAPONAISE

アナーキスト宣言

カーボン、タイプ、1枚

【10】 3-4

連合軍作動地帯内ニ於ケル東支鉄道及西比利横断鉄道監督案

朱鉛筆にて「極秘」とあり、カーボン、罫紙(陸軍)堅帳(新クリップ留)2丁、クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-5-1

「カルムイコフ」隊ヨリ米軍ニ投降シタル者ノ武器返還要求ニ関スル意見

ペン書にて「諮問ニヨリ二月二十七日提出」とあり

3-5-1~3は新クリップ留、鉛筆書、罫紙(陸軍)2枚、クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-5-2

領事官職務規則ニヨル領事ノ職務(四十一年改正)

ペン書、罫紙(陸軍)1枚、綴じ穴あり

【10】 3-5-3

一九一九年三月二十二日「イワノフスク」村ノ被害

ペン書にて「第三師団報」とあり

ペン書、罫紙(陸軍)1枚、綴じ穴あり

【10】 3-6

西伯利亞ニ於ケル地方自治庁ニ関スル臨時法ノ概要

1総則、2構成区域、権限ノ範圍及自治庁行動ノ規則、
3自治庁職務員ノ任命及自治庁ノ服務条件、4自治庁ノ
所分ニ対スル訴願及自治庁行政部職員ノ責任、5自治
庁ニヨル地方人民ニ対スル拘束カアル命令

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳(新クリップ留)16丁、クリップ
の痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-7

黒河附近ノ情况

1黒河附近発達ノ沿革、2住民ノ情况、3在住外国軍ノ
情况、4地勢及交通、5氣候風土併ニ衛生、6兵学上ノ
見地ヨリ地形ノ觀察、7商況及ビ經濟、8地質礦物及殖
産興業、9将来開拓ニ関スル所見、10帝国根本的勢力
ヲ扶植ノ為メ採ル可キ手段、附表1黒河環環間各部落家
畜馬車調査表、11黒河ニ於ケル物価表

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳、52丁

【10】 3-8

西伯利自治庁ノ制度

西伯利ニ於ケル自治庁(未定稿)、「アルハンゲリスク」及
「シベリア」ニ於ケル地方自治庁ニ関スル臨時法

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳、75丁、綴じ穴あり

【10】 3-9

西伯利自治庁制度ノ概要

地方自治庁ノ権限義務及ビ其ノ発展、新法律ニ依ル地
方自治庁ノ権限、新法律第三十三条ニ述ブルウオゴス
自治庁ノ権限、郡地方自治庁(第三十二条ニ依ル)ノ権
限、県(州)自治庁ノ(第三十一条ニ依ル)特別権限、県及
郡自治庁ノ共同決定ヲ要ス可キ県及郡自治庁ノ権限
(法律第三十条ニ依ル)、自治庁ノ組織

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳、12丁、綴じ穴あり

【10】 3-10

復命書一

守屋参事官 大正8年3月18日

1極東ニ於ケル地方行政機関ノ現状、2極東露領ニ於ケ
ル民情風俗、3対露政策ニ関スル卑見、附表1黒龍州庁
ノ組織、2後貝加爾庁ノ組織、3後貝加爾庁組織改善案、
4黒龍州ゼームストウオノ組織、5後貝加爾州ゼームスト
ウオノ組織、6イルクーツク県ゼームストウオノ組織、7武
市市役所ニ於ケル事務分掌、8イルクーツク県ニ於ケル

県庁及ゼームストウオノ関係、9烏蘇里カザツクノ民政機
関

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳、68丁、綴じ穴あり

【10】 3-11

復命書

大正8年3月19日

極東露領ニ於ケル警察ノ状態、1警察機関ノ組織、2警
察官吏ノ素行、3民兵ノ配置並ニ勤務、4警察行政ノ概
況、5警察組織並警察行政改善案

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳、21丁、綴じ穴あり

【10】 3-12

猶太人ノ情况

1緒言、2チタニ於ケル情况、3吉江地区ニ於ケル情况、
4齊藤地区ニ於ケル情况、5前川地区ニ於ケル情况、6
緒言

後筆にて「第三師団報告」とあり、カーボン、罫紙(陸軍)
縦帳、33丁、クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-13

「オムスク」政府ノ制定セル新市会議員選挙法

山田内務書記官調

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳、45丁、クリップの痕跡・綴じ
穴あり

【10】 3-14

滿洲斯德ニ於ケル商品市場(バザール)ニ付テ

カーボン、罫紙(陸軍)縦帳(新クリップ留)9丁、クリップの
痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-15

西伯利自治庁ノ制度要領

ペン書、罫紙(陸軍)縦帳、4丁、クリップの痕跡あり

【10】 3-16

【記】

地方行政機関とゼムストヴォについて

ペン書、罫紙(陸軍)縦帳、4丁、綴じ穴あり

【10】 3-17

「ラティシュ」人銃殺事件ノ御諮問ニ対スル答申

篠田事務官

赤鉛筆にて「五月五日提出」とあり、2丁目に「廃案(参考
材料)」とあり、ペン書、罫紙(陸軍)縦帳(新クリップ留)2丁、
クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-18

西伯利亞ニ於ケル連合軍俘虜收容現況報告

謄写版、堅帳(新クリップ留)、27丁、クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-19

報告

篠田事務官 大正8年9月1日

俘虜に関する件、稲垣参謀長宛の下書き

ペン書、罫紙(陸軍)堅帳(新クリップ留)3丁、クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-20

連合軍俘虜収容ノ経過并ニ現況概要報告

大正8年2月28日

謄写版、堅帳(ステイプラー留)、クリップの痕跡・綴じ穴あり、10丁

【10】 3-21-1

【記】

浦潮派遣軍俘虜委員 大正8年8月9日

俘虜取扱に関し参考のため書類を送付す

「秘」とあり、謄写版、1枚、3-21-1～6まで新クリップ留、クリップの痕跡から元来も一綴りのものと推測される、綴じ穴あり

【10】 3-21-2

俘虜ニ関スル講和会議ノ模様

「秘」とあり、謄写版、堅帳(ステイプラー留)5丁、綴じ穴あり

【10】 3-21-3

対独講和条約案第六篇俘虜及墳墓訳文

「秘」とあり、謄写版、堅帳(ステイプラー留)4丁、綴じ穴あり

【10】 3-21-4

対独講和条約第六篇俘虜及墳墓ニ関シ次官ヨリ奈良中将ヘノ照会ニ対スル回答

「秘」とあり、謄写版、堅帳(ステイプラー留)3丁、綴じ穴あり

【10】 3-21-5

対独講和条約第二百十条ニ基ク委員会規定

「秘」とあり、謄写版、堅帳(ステイプラー留)4丁、綴じ穴あり

【10】 3-21-6

講和条約ニ基ク在本邦俘虜及墳墓ニ関スル取扱方

「秘」とあり、謄写版、堅帳(ステイプラー留)8丁、綴じ穴あり

あり

【10】 3-22

俘虜生活実歴談

ニコリスク収容所洪牙利俘虜バギ・ヴィクトール(歩兵39連隊兵卒)の談

ペン書、罫紙(陸軍)堅帳(ステイプラー留)、3丁、綴じ穴あり

【10】 3-23-1

俘虜帰還ニ関スル請願ノ件

10月7日付一番所俘虜収容所高級将校奥ビサチナ大尉、独エルケ少尉、洪ホーカー大尉、土ユスフー等軍医より浦塩派遣軍司令官大井將軍閣下宛のもの、欄外に「岡田」とあり

ペン書、罫紙(陸軍)堅帳(ステイプラー留)、2丁、綴じ穴あり

【10】 3-23-2

俘虜経歴

独逸歩兵第129連隊上等兵カール・マイヤーの談

ペン書、罫紙(陸軍)堅帳(ステイプラー留)、2丁、綴じ穴あり

【10】 3-24

常人ニ対スル軍法会議ノ裁判権ニ関スル件

大正8年8月2日発軍参謀長ヨリ第14師団参謀長へ電報、大正8年8月6日発7日受第14師団参謀長ヨリ軍参謀長へ電報、大正8年8月9日発軍参謀長ヨリ第14師団参謀長へ電報、常人ニ対スル軍法会議ノ裁判権ニ関スル件第14師団参謀長ヨリ軍参謀長宛電報
クリップの痕跡より3-24～27まで元来は一括されていたものと推測される。カーボン、罫紙(陸軍)堅帳(新クリップ留)、8丁、綴じ穴あり

【10】 3-25

第十四師団法官部長ヨリ軍法官部長宛書信

池田直矢 大正8年8月12日

西田部長宛、常人に対する軍法会議の裁判権について
カーボン、罫紙(陸軍)堅帳(新クリップ留)、3丁、綴じ穴あり

【10】 3-26

【電信写】

大正8年8月16日発20日受松平政務部長宛石田副領事電信の写、貴電第44号に関し従来の態度を維持せられたし

「写」の朱印あり、カーボン、罫紙(陸軍)堅帳(新クリップ留)、2丁、綴じ穴あり

【10】 3-27

〔電信写〕

大正8年8月23日 発軍参謀長より第14師団参謀長へ電報、大正8年8月28日 軍法官部長より第14師団法官部長へ書信
カーボン、罫紙(陸軍)堅帳(新クリップ留)、4丁、綴じ穴あり

【10】 3-28

帝国軍隊ノ出動地方ニ於ケル裁判管轄権ニ関スル私見

篠田治策

下書きか
ペン書、罫紙(外務省)堅帳(新クリップ留)、6丁、クリップの痕跡・綴じ穴あり

【10】 3-29

エヌ・エル・ゴンダッチ氏に関する件

大正14年3月10日記

元沿黒龍総督、枢密院議員、侍従ニコライ・リヨウイチ・コンダッチについて
謄写版、堅帳(ステイプラー留)、5丁、綴じ穴あり

【11】 1 [TsJapan/F1Ko76]

西比利亜の最近政情

編輯兼発行人 河野巳一、発行所 対露同盟会

大正9年7月25日発行

一 西比利亜の現勢、一 浦塩臨時政府、一 ウエルフネ政府、一 セミヨーノフ軍、一 緩衝地帯問題、一 西比利亜政策
パンフレット、活版、目次1頁、本文25頁

【11】 2 [ナシ]

海拉爾洗毛場概要

海拉爾洗毛場 昭和13年1月

1 諸言、2 沿革、3 洗毛場職制、4 位置及地勢、5 気候、6 用地面積、7 建造物、8 機械設備、9 其ノ他附属設備、10 従業員、11 作業概要、12 歴年業績、13 昭和12年度業績、14 本年度羊毛収買人
「山根蔵書」印あり、酸化、表紙破れ、堅帳(用紙ニヶ所ステイプラーとめ)、タイプ版、19丁

【11】 3 [ナシ]

富拉爾基酸乳製造所概況

〔富拉爾基酸乳製造所〕 昭和13年3月

第1章 一般概況、第2章 馬匹飼育状況、第3章 乳牛飼育状況、第5章 衛生状況
「富拉爾基站 昭和13.4.16」「富拉爾基避暑場 昭和13.4.16」「山根蔵書」印あり、酸化、表紙・裏表紙破れ、

堅帳(用紙ニヶ所ステイプラーとめ)、謄写版、16丁

【11】 4 [ナシ]

満蒙出兵問題に対する意見書 全国労農大衆党に提出したるもの

全国労農大衆党顧問 代議士 松谷与二郎

満蒙の権益とは何か、日露戦争は果たして帝国主義戦争か、無産党から見た満蒙権益放棄論、満蒙の出兵は果して不当か?、満蒙の権益は擁護すべし出兵は不可なりと謂ひ得るや、満蒙出兵問題に対する余の意見
酸化、パンフレット、活版、10頁

荒木貞夫関係文書目録

荒木貞夫関係文書に関しては、1989年に加藤陽子氏（現東京大学文学部助教授）によって調査がなされ、目録が作成されている。同目録は日本語ワープロ版であるが、フーバー研究所において日本語が読める閲覧者のための目録として提供されている。なお同目録には、同じく加藤氏による「荒木貞夫関係文書についてのスコープ」と題するアブストラクトと、荒木の履歴が添付されている。また文書のごく一部については、フーバー研究所の目録カード（英文）が添付されているものもある。ここに掲げるのは、加藤氏作成の目録をベースに、原文書を精査して全面的な補訂を加えたものである。なお加藤目録はボックス順の配列に従った記載を、荒木の履歴に基づく時期区分で区切っているが、以下の記載ではその区切りは除いている。荒木文書の概要については、上記の「荒木貞夫関係文書についてのスコープ」と題するアブストラクトを以下に全文掲載するので、参照されたい。なお本目録の作成・校訂は有馬学、内山一幸が担当した。

加藤陽子「荒木貞夫関係文書についてのスコープ」

荒木貞夫関係文書がどのような経緯でThe East Asian Collectionの所有するところとなったかは現段階では明らかではない。荒木家の談話からは次のような経緯が推測される。

東京大学法学部研究者を名乗る男が、戦後A級戦犯から仮釈放の身となった荒木のもとを訪れ、史料の寄託を申し入れた。荒木はそれを諒とし、史料の一部を東京大学法学部研究室へ寄贈することとした。しかし、後日判明したところによれば、そのような研究者は実在せず、史料は古書市場に売りに出されていたという。

以上の点から判断すれば、その際市場に出された史料の大部分をフーバー研究所が買いとったということになりそうである。

現在、荒木貞夫文書は、Ⅰ．フーバー研究所アーカイブス（本史料）、Ⅱ．東京大学法学部史料センター（購入史料と荒木の秘書からの寄贈史料からなる）、Ⅲ．国立国会図書館憲政資料室（荒木家からの寄贈史料からなる）の三ヶ所に分置されている。

分類は、陸軍歩兵少尉から文部大臣に至るまでの荒木の履歴に従って行い、その他に、書籍・新聞・パンフレット・書簡（意見書・具申類を除く私信に限った）の項を立てた。

荒木文書は、荒木の履歴の示す通り大部分が大正から昭和初期にかけての陸軍部内の得難い史料となっている。主なものとしては、日露戦後ロシア駐在時代のメモ、革命後のソビエトの内情についての諜報資料、上海事件関係電報、昭和9年防空資料、外務省情報部資料等があげられる。なかでも、参謀本部作戦課長時代から同第一部長時代にかけての史料は、ロシア革命直後のソ連に対する陸軍の情勢分析がいかなるものであったのかを知るのに絶好の資料群であるといえよう。

【凡例】

1. 文書の配列はフーバー研究所での収蔵形態に従っている。したがって、目録の番号はフーバー研究所におけるboxおよびfolderの番号をそのまま採用し、必要な場合はその下に個別史料一点ごとの番号をハイフンを付して与えた。
2. [] を付した文書名は目録編者による。年月日の[]は推定を示す。

B F

1 1-1

【文書名】知新録

【年月日】明治29年3月1日～

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ペン書き

1 1-2

【文書名】陸軍大学校在学日誌

【年月日】明治35年11月31日～明治36年7月15日

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ペン書き

1 1-3

【文書名】〔日誌〕

【年月日】明治36年8月6日～

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ペン書き。表紙に「従明治三十六年八月六日 第一回隊附勤務日誌 騎兵第十四聯隊附 第一学年 歩兵中尉荒木貞夫」とあり。

1 1-4

【文書名】〔日誌〕

【年月日】明治39年8月6日～

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ペン書き。表紙に「自明治三十九年八月六日 第二回隊附勤務 野戦砲兵第十三聯隊附 第二学年 歩兵大尉荒木貞夫」とあり。

1 1-5

【文書名】〔日誌〕

【年月日】明治40年8月6日～

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ペン書き。表紙に「自明治四十年八月六日至同十月 日 隊附勤務 第三回 歩兵第一大隊附 第三学年 陸軍歩兵大尉荒木貞夫」とあり。以下挟み込み。「自明治四十年八月六日至同四十一年八月五日 陸軍大学校業務日割表」(印刷、墨)、「聯隊命令」(謄写版)、「自明治三十九年八月一日至全十月九日各年兵第三学期予定実施比較対照表」(印刷、墨)、「判士長判士軍法会議出席規定」(蒟蒻版)

1 2

【文書名】野営日誌

【年月日】明治33年7月17日～9月9日

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】鉛筆、横書き。THE HOOVER INSTITUTION ON WAR, REVOLUTION AND PEACEの英文カード添付。

1 3

【文書名】三塊石山夜襲ニ関スル諸要件

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、14丁。

1 4

【文書名】所感

【年月日】明治38年3月

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ペン書。製本が壊れたノートの束。

1 5

【文書名】奉天会戦ニ於ケル戦闘詳報稿一

【年月日】明治38年2月25日～3月10日

【作成者】近衛設備混成旅団司令部

【宛先】

【備考】綴、23P。表紙墨、本文「戦闘詳報」用紙に鉛筆書き。THE HOOVER INSTITUTION ON WAR, REVOLUTION AND PEACEの英文カード添付。

1 6

【文書名】奉天会戦ニ於ケル戦闘詳報稿二

【年月日】明治38年3月11日～3月16日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、50p。表紙墨、本文「戦闘詳報」用紙に鉛筆書き。

1 7

【文書名】檄シテ日本朝野志士仁人ニ告グ

【年月日】明治38年8月

【作成者】鷗林瀕死之志士

【宛先】

【備考】綴、謄写版、10丁。本文末尾に「光武九年八月 鷗林瀕死之志士 謹白」とあり。封筒あり、表、東京芝区高輪、男爵渡邊国武殿、親展、裏、韓国、朴敏直。内容は商民救済問題と日本軍用地接收問題批判。

1 8

【文書名】極秘 韓國駐劄軍配置図

【年月日】明治39年12月

【作成者】古川少佐

【宛先】

【備考】地図1枚。文書名ペン書き。ロシア語で荒木の署名。

図左下に「兵要地学附図 明治三十九年十二月 古川少佐」とあり。

1 9

【文書名】参謀服務 清国鉄道経営一覽表

【年月日】明治39年12月

【作成者】三原少佐

【宛先】

【備考】文書名はペン書き。

1 10

【文書名】〔ロシア駐在時代のメモ〕

【年月日】

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ノート1冊、ペン書。挟み込みメモあり。THE HOOVER INSTITUTION ON WAR, REVOLUTION AND PEACEの英文カード添付。

1 11

【文書名】〔陸軍規則メモ〕

【年月日】

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】綴、9枚、ペン書き。

1 12

【文書名】〔ロシア語学習ノート〕

【年月日】

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】ノート6冊、手書。

1 13

【文書名】一八七七八年役 露軍ノ集中

【年月日】

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】大判1枚、鉛筆書。露土戦争の際のロシア軍の動員についての覚書。「七十七八年役鉄道設備及動員集中輸送」(大判1枚、鉛筆書)添付。

2 1

【文書名】鶴駕御東巡御模様

【年月日】明治41年9月12日

【作成者】川俣町

【宛先】

【備考】綴、表紙墨書、本文カーボン複写、11丁。表紙「明治四十一年九月十二日 鶴駕御東巡御模様 行啓川俣町」。本文冒頭には「鶴駕御東巡 本県に於ける御模様 明治四十一年九月十三日記」とあり。

2 2

【文書名】軍隊教育ノ為メ教育学ヲ応用スルノ研究

【年月日】大正6年12月5日

【作成者】陸軍歩兵大尉伴錦次

【宛先】

【備考】冊子、活版、79P。『偕行社記事』第521号附録。

2 3

【文書名】東露ニ於ケル時局ノ真相

【年月日】大正7年7月

【作成者】南満洲鉄道株式会社調査員森御蔭

【宛先】

【備考】冊子、活版、44P。表紙に「秘」印あり。

2 4

【文書名】哈爾濱商品陳列館館報

【年月日】大正8年8月

【作成者】哈爾濱商品陳列館

【宛先】

【備考】冊子、活版、106P。月刊、第三号。発行所、哈爾濱チヤゴナリーナヤ街二号、哈爾濱商品陳列館、代表者、山田小一、編輯人、北浦精、印刷所、哈爾濱新市ポチトワヤ街十八号、西伯利新聞社印刷部

2 5

【文書名】露国ノ飢饉救済問題ニ対スル觀察及対策

【年月日】大正10年8月15日

【作成者】参謀本部第二部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、10丁。表紙に「秘」印および「第五課長」(墨)、「対露策案参考」(赤鉛筆)の書き込みあり。THE HOOVER INSTITUTION ON WAR, REVOLUTION AND PEACEの英文カード添付。

2 6

【文書名】再ヒ欧洲ノ危機ヲ見テ我國民ノ覚悟ヲ問フ

【年月日】大正11年10月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、11丁。

2 7

【文書名】露國情勢判断

【年月日】大正11年

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、21丁、表1、図3。厚紙表紙付き。表紙に「秘」印。本文に墨書の修正あり。

2 8

【文書名】自千九百十七年三月至千九百二十三年五月
露國重要事件曆月輯

【年月日】

【作成者】参謀本部第二部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、10丁。

2 9

【文書名】聯隊長訓話

【年月日】大正12年9月17日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、6P。標題下に「九月十七日午前九時半 於感謝式」とあり。

2 10

【文書名】秘 参情報 第二年 第九十五号(露第二十九)

【年月日】大正12年11月10日

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】冊子、活版、58P。表紙に「秘 参情報 第二年 第九十五号(露第二十九) 大正十二年十一月十日調整 一、労農露国特別任務軍(「チヨン」)ノ概要 二、労農露国民兵制度 参謀本部」、扉「一、労農露国特別任務軍(「チヨン」)ノ概要」、表紙裏に「註 本記事ハ露国帝制時代ノ将校ニシテ千九百十七年迄対独戦ニ従事シ革命後南露ニ於テ「デニギン」軍ニ従軍シタルモ間モナク赤軍ノ捕虜トナリ一時監禁セラレ後赤軍ニ勤務シ漸次共産黨員ノ信用ヲ得テ黨員ニ採用セラレ爾來赤軍ノ要職ニ任用セラレ特別任務軍總司令官ノ輔佐官トナリ更ニ浦潮ノ特別任務軍隊司令官ニ任セラレシウ昨大正十一年浦潮ニ於テ監禁セラレタル多数ノ自軍將校ヲ歐露ニ輸送セル際旧知將校

多数ヲ独断ニ救助シ東支鉄道沿線ニ逃カシタルコト偶々「ゲベウ」ノ為探知セラレ遂ニ監禁セラレタルモ幸ヒ共産黨員中ノ僚友ニ救ハレ今回浦潮ヨリ武市ヲ經テ哈府ニ逃レ來レル者ヨリ得タルモノナリ」とあり。

2 11

【文書名】大正十三年度教育ニ関スル特別要求事項

【年月日】大正12年12月18日

【作成者】歩兵第八旅団長荒木貞夫

【宛先】

【備考】綴、謄写版、9P。

2 12

【文書名】復興日本の第一新年を迎へて我同志に檄す

【年月日】大正13年1月

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】綴、活版、6P。

2 13

【文書名】大正十三年度第二回体操科学生入退校時体格比較表

【年月日】大正14年1月20日

【作成者】陸軍戸山学校

【宛先】

【備考】綴、謄写版、9枚。「諸外国ノ体育要覧」(印刷二枚)と合綴。

2 14

【文書名】〔請願用紙〕

【年月日】大正14年2月

【作成者】

【宛先】総理大臣・貴族院議長・衆議院議長

【備考】活版一枚。来るべき軍縮會議に我が国の軍備比率を列強と均等ならしめる方針を予め決定し、かつ次回軍縮會議を米国以外で開催するよう取りはからうことの請願

2 15

【文書名】参謀長會議に於ける小松原少佐講話 露国の思想戦に就て

【年月日】大正14年3月

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、28丁。表紙に「荒木閣下」と墨書。本文に赤鉛筆及び鉛筆の書き込みあり。

2 16

【文書名】帰化外人身元調査ノ件

【年月日】大正14年4月22日

【作成者】憲兵司令部

【宛先】

【備考】綴、カーボン複写、2丁。元宣教師エドウィン・ペーカーについて。年月日は憲兵司令部スタンプによる。

2 17

【文書名】第一部長(黒澤少将)課題各部員作業ノ集成案

【年月日】〔大正12もしくは13年〕

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、カーボン複写、陸軍野紙6丁。問題は「科学方面ニ於テ日本軍ノ為メ如何ナル事ヲ望ムヤ」

3 1

【文書名】日本国及「ソヴィエト」社会主義共和国聯邦間ノ関係ヲ律スル基本的法則ニ関スル条約

【年月日】大正14年2月26日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、23丁。表紙に「秘」印、「第一部」(赤鉛筆)、「写」(青鉛筆)と書き込み。大正一四年二月二六日受領の印(年月日は赤インクで書き込み)。

3 2

【文書名】日露国交恢復と対露発展

【年月日】大正14年4月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、12丁。「御一読を願ひます而して若し宜しかったら読本へ寄贈されてハ如何かと存します小松原少佐 荒木閣下」との手書きメモ添付。

3 3

【文書名】労農当局ノ農民政策ニ就テ

【年月日】大正14年6月5日

【作成者】露班

【宛先】

【備考】綴、謄写版、16丁。年月日は表紙に印刷。表紙に「第一部長」と朱印。

3 4

【文書名】労農赤軍宣伝要務令

【年月日】大正14年6月

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】謄写版、16丁。表紙に「秘」印、「第一部長」と赤鉛

筆書き込み、100と鉛筆書き込み。年月は表紙に印刷。大正一四年六月二八日受領の印(年月日は赤インク書き込み)。

3 5

【文書名】労農露国の状態と其将来

【年月日】大正14年7月5日

【作成者】陸軍砲兵大尉橋本欣五郎

【宛先】

【備考】冊子、活版、22P。表紙に「大正十四年七月 特 偕行社記事第六百十号附録」とあり(大正十四年七月五日発行、編輯兼発行者、香月鏐一、発行者、財団法人偕行社)

3 6

【文書名】陸軍士官学校卒業及観兵式参列時ニ於ケル見聞(三毛報)

【年月日】大正14年8月10日

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、8丁。表紙に「第一部長」の朱印、大正十四年十一月十四日受領の印(年月日は赤インク)。在モスコ軍官区内士官学校の観兵式。田中大使に同行した陸軍武官による。年月日は表紙に印刷。本文「八、見聞雑見」の項に以下の記述あり。「イ、「トロツキ」ニツキ大使案内ノ一将校(軍管区騎兵監部々員)ハ曰ク「ト」ノ声望ハ当局ニ於テ殊更此ヲ破壊スルニ努メアルモ尚陰ニ彼ヲ欣慕シアル者多シ革命戦ニ於ケル彼ノ赫々タル功績ハ容易ニ一朝ニシテ消失スルモノニアラス」

3 7

【文書名】露国ト馮玉祥ト密約ニ就テ

【年月日】大正14年11月4日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、本文2丁。表紙に「極秘」、「第一部長」、「第二部支那班」の各朱印、大正十四年十一月五日受領の印(年月日は赤インク)。年月日は表紙に印刷。

3 8

【文書名】外国人土地法ニ関スル勅令ノ件

【年月日】大正14年11月5日

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版、1枚。標題下に「大正十四年十一月五日集成案」とあり

3 9

【文書名】外国人士地法ニ関スル勅令ノ件ニ就キ軍部、外務折衝経過ノ概要(大正十四年十一月六日調製)

【年月日】大正14年11月6日

【作成者】陸軍省軍事課

【宛先】

【備考】謄写版。1枚。同一文書二部あり。

3 10

【文書名】ソヴェエト聯邦ノ「スパイ」政策 警視庁報

【年月日】大正15年2月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、4丁。標題上に「秘」印、「第一部長」朱印、大正十五年二月二十日受領の印(年月日はペン書き)。

3 11

【文書名】労農露国の軍事新聞(十月二十日調)

【年月日】大正15年1月9日

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、7丁。表紙に「第一部長」の丸印、大正十五年一月九日受領の印(年月日は赤インク)。

3 12

【文書名】大正十五年度第二次参謀演習旅行記事

【年月日】大正15年4~5月

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】綴、謄写版、蒟蒻版。170丁。蒟蒻版の原表紙に「大正十五年度第二次参謀演習旅行関係書類(作戰ノ分)」とあり、「統裁官」の書き込み、「極秘」印。綴り込みの「大正十五年度第二次参謀演習旅行実施規定」(謄写版、「統裁官荒木貞夫」とあり)の日付は大正十五年四月十五日。

3 13

【文書名】在欧白系露人ノ情況

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、7丁。表紙に「秘」と印刷、「第一部長」と鉛筆書き。

3 14

【文書名】軍隊内ニ於ケル共産党機関 英「ソウェート」職業運動其後ノ経過

【年月日】

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、7丁。表紙に「第一部長」の朱印、表紙裏に「露国報」(カギ括弧原文)と印刷。

3 15

【文書名】「ソ」聯邦組織并赤化情況

【年月日】昭和2年4月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、27丁。標題墨書。表紙に「昭和二年四月(露資料)」とあり。「労農赤軍配兵要図(大正十四年九月調)」添付

3 16

【文書名】世界大戦以後特に最近に於ける仏国の対「ソヴェート」関係概観

【年月日】昭和2年10月1日

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、5丁。年月日は表紙に印刷。表紙に「第一部長」と赤ペン書き込み。

3 17

【文書名】昭和二年陸軍特別大演習記念愛知県勢統計図

【年月日】昭和2年11月5日

【作成者】愛知県

【宛先】

【備考】冊子、活版、25P。

3 18

【文書名】(極秘)朝鮮当面ノ諸問題ト之ガ対策

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、16丁。表紙に「昭和三年二月七日鮮于甲持参」と朱書。

3 19

【文書名】日蘇条約ト赤化宣伝 附録 一、蘇聯邦対各国間条約中宣伝防止ニ関スル条項 二、蘇聯邦対日赤化行為二三ノ例証

【年月日】昭和3年4月

【作成者】参謀本部第二部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、7丁。年月は表紙に印刷。表紙に「秘」の朱印、「第一部長」と鉛筆書き。

3 20

【文書名】聯隊區別各学校出身将校生徒志願者採用者人員一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。

3 21-1

【文書名】自大正十三年至昭和三年幼年学校生徒試験全
済者並採用予定者出身学校成績序列一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。21-1～21-7、一綴。

3 21-2

【文書名】自大正十三年至昭和三年士官学校予科生徒試
験全済者並採用予定者出身学校成績序列一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。

3 21-3

【文書名】昭和二年度昭和三年度士官学校予科、幼年学
校生徒志願者検査場別人員増減一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。

3 21-4

【文書名】大正十三年以降士官学校予科生徒幼年学校生
徒志願者及採用者師管別人員一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。

3 21-5

【文書名】大正十五年度昭和二年度将校生徒志願者検査
場別召募時及採用予定者着校時身体検査成績一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。

3 21-6

【文書名】自大正十三年至昭和三年幼年学校生徒志願者
及採用者本籍府県別人員一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。

3 21-7

【文書名】自大正十三年至昭和三年士官学校予科生徒志
願者及採用者本籍府県別人員一覽表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】活版、1枚。

3 22

【文書名】将校生徒召募ニ関スル調査表

【年月日】昭和3年4月

【作成者】教育総監部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、2P。内容は21の目次及び表第一「最
近十箇年間志願者一覽表」

3 23

【文書名】「ソウエト」聯邦反革命罪ニ関スル刑法

【年月日】昭和3年5月

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、本文5丁。表紙に「第一部長」と鉛筆
書き。

4 1

【文書名】秘 各国赤化被害ノ実例

【年月日】昭和3年6月

【作成者】参謀本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、本文19丁、附録表2点。表紙に「第一
部長」と書き込み。「浦汐要塞ニ関スル情報」(昭和三年五月初旬調、参謀本部)、「労農露国配兵一覽図」
(大正十四年九月調)合綴。

4 2

【文書名】露国通過帰朝者ニ対スル参考

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、9丁。

4 3

【文書名】戦時ニ於ケル帝国ノ戦争指導特ニ其指導機関ノ
組織及国民ノ指導ニ関スル事項

【年月日】

【作成者】岡部砲兵少佐

【宛先】

【備考】綴、謄写版、2丁。題目及び目次のみ。

4 4

【文書名】附録 露支語修得者ニ関スル調査

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、謄写版、9丁。表紙に「第一部長」と鉛筆書き。

4 5

【文書名】昭和二年陸軍大学校卒業式参考書

【年月日】昭和2年

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、11丁。内容は「昭和二年卒業陸軍大学校第三期専攻学生人名表」、「昭和二年卒業陸軍大学校第三十九期学生人名表」、「陸軍大学校職員並学生人名表」、「陸軍大学校略歴史」、「陸軍大学校卒業生名簿」、「陸軍大学校卒業人員明細表」

4 6

【文書名】卒業学生に与ふる処世上の注意

【年月日】昭和3年12月8日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、17丁。標題下に「昭和三年十二月八日幹事口演」とあり。

4 7

【文書名】昭和三年度卒業学生ニ与フル校長ノ訓示

【年月日】昭和3年12月8日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、2丁。右上に「校長」と赤鉛筆書き込み。

4 8

【文書名】新入学生訓示

【年月日】昭和3年12月24日

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】陸軍罫紙に墨書、6丁。赤、青、黒鉛筆で修正。陸

軍大学校訓示。

4 9

【文書名】〔訓示・意見具申控綴〕

【年月日】昭和3年～4年

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】第一部長、陸大校長、第六師団長時代

4 10

【文書名】〔書簡〕

【年月日】6日

【作成者】安岡正篤

【宛先】荒木貞夫

【備考】金鶏学院用箋に墨書、3枚。

4 11

【文書名】文教革新会趣意書

【年月日】昭和4年1月(20)日

【作成者】金鶏学院東方簾、安岡正篤、酒井忠正

【宛先】荒木貞夫

【備考】活版、封筒表、市外幡ヶ谷町本村六三、荒木貞夫殿、裏、東京市小石川区原町十二、金鶏学院、封筒裏は印刷。日付は消印。同じホルダーに軍人勅諭抜き書き(墨書)あり。

4 12

【文書名】文教革新会第四回議案(二月二十二日)

【年月日】(昭和4)年2月22日

【作成者】金鶏学院

【宛先】

【備考】謄写版1枚。鉛筆書き込みあり。

4 13

【文書名】陸軍士官学校中華民国学生ノ現況等雑件

【年月日】昭和4年3月

【作成者】陸軍士官学校中華民国学生隊

【宛先】

【備考】綴、謄写版、16丁。表紙にマル秘の印刷、丸付数字36および丸付数字右下に4の赤鉛筆書き込み。末尾「十八 余言」中に、「〔第二十期学生は〕從來ニ見サル好成绩ヲ収メツハアリ過去ニ比較スレハ現在一ノ黄金時代トイフモ過言ニアラス然レトモ本国ノ政情ノ激発スル所彼等ノ民性、境遇如何ニ之ヲ感受スヘキカ真ニ一日モ油断スルコト能ハサルナリ」とあり

4 14

【文書名】支那国将校候補生ノ配属ヲ受ケタル二、三部隊ノ希望

【年月日】昭和4年3月

【作成者】陸軍士官学校中華民国学生隊

【宛先】

【備考】綴、謄写版、3丁。表紙に「秘」の朱印、丸付数字36および丸付数字右下に1の赤鉛筆書き込み。

4 15

【文書名】支那国将校候補生陸軍士官学校派遣前教育課程案

【年月日】昭和4年3月

【作成者】陸軍士官学校中華民国学生隊

【宛先】

【備考】綴、謄写版、6丁。表紙にマル秘の印刷、丸付数字36及び丸付数字の右下に3の赤鉛筆書き込み。

4 16

【文書名】陸軍士官学校中華民国学生ノ帝国及陸軍士官学校其他ニ対スル希望

【年月日】昭和4年3月

【作成者】陸軍士官学校中華民国学生隊

【宛先】

【備考】綴、謄写版、7丁。表紙にマル秘の印刷、丸付数字36及び丸付数字の右下に2の鉛筆および赤鉛筆書き込み。

4 17

【文書名】支那国将校候補生在隊間教育取扱ニ関スル希望

【年月日】昭和4年3月

【作成者】陸軍士官学校中華民国学生隊

【宛先】

【備考】綴、謄写版、18丁。表紙に秘の印刷、丸付数字36及び丸付数字の右下に5の赤鉛筆書き込み。

4 18

【文書名】文教革新会第二回委員会議案

【年月日】

【作成者】金鶏学院

【宛先】

【備考】謄写版、5丁。赤鉛筆書き込みあり。

4 19

【文書名】東洋思想研究所金鶏学院に附帯する社会教育施設に就て

【年月日】昭和3年4月

【作成者】東洋思想研究所金鶏学院同人一同

【宛先】

【備考】謄写版、2丁。

4 20

【文書名】金鶏学院主催文教革新会報告

【年月日】昭和4年6月18日

【作成者】金鶏学院

【宛先】

【備考】冊子、活版、28P。発行兼印刷人、東方齋、発行所、金鶏学院。

4 21

【文書名】赤軍ノ戦法ト対赤軍戦法

【年月日】昭和5年12月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、29丁、附表2。第六師団司令部複写、表紙に「秘」と印刷、「師団長閣下」と墨書。

4 22

【文書名】決議

【年月日】昭和6年9月10日

【作成者】満蒙問題聯合大会

【宛先】

【備考】活版、1枚。主催団体名、北満居留民大会、対外同志会、満洲問題解決同盟、満洲青年聯盟、満蒙研究会、満鮮問題国民同盟、全満日本人自主同盟、其他。

4 23

【文書名】声明

【年月日】昭和6年10月

【作成者】対支救国青年同盟

【宛先】

【備考】活版、1枚。

4 24

【文書名】時局に対する意見書

【年月日】〔昭和6年11月〕

【作成者】石井三二馬

【宛先】

【備考】綴、謄写版、6丁。表紙に「為邦家閣下祈御健勝併卑見御高覧ニ供候 敬具 荒木閣下」と墨書。

4 25

【文書名】日本と満洲

【年月日】〔昭和6〕年

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、タイプ、カーボン複写、26丁。

4 26

【文書名】〔軍用地問題に関するメモ〕

【年月日】

【作成者】〔荒木貞夫〕

【宛先】

【備考】陸軍野紙、ペン書き、赤インクペン書き、1枚。

5 1

【文書名】意見書

【年月日】昭和7年5月17日

【作成者】石井秀雄、泉孝俊、西牟田重雄、岡本清一、渡辺亮太郎、金田竹次郎、柄沢敬次郎、立花静樹、高橋誠、田中敏夫、中平信行、古川幸雄、船口満寿

【宛先】

【備考】野紙、手書カーボン複写、5丁。冒頭に「現下ノ時局ニ於テ後継内閣ニ関シ帝国軍部ガ積極的意思表示ヲ為スコトニ対シ絶対ニ反対ス」とあり。

5 2

【文書名】〔電報写〕

【年月日】昭和7年5月21日～5月22日受付

【作成者】

【宛先】

【備考】陸軍電報用紙、9通。発信人は長野県上田小形〔ママ〕在郷将校会、皇人社代表李トウカ、安口庄三郎、熊本在郷将校、熱田守国会、鹿子木「日本ノ運命ハ満蒙ニ於テ決シ満蒙ノ経営ハ挙国一致ノ政府ニ依リテノミ可能ナリ閣下ノ一大決心ヲウナガス」、クニサキオタチ、福岡加茂大尉（予備砲兵）「政党否認ノ第一歩ヲ祝ス」、守国会

5 3

【文書名】〔電報〕

【年月日】昭和7年5月22日～5月23日受付

【作成者】

【宛先】

【備考】通信省電報用紙。10通（1通は二枚）。キシワダホリタ（岸和田堀田）以外は2の原文

5 4

【文書名】荒木大臣ノ留任ニ対スル挨拶状控

【年月日】昭和7年5月26日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、本文40丁。表紙墨書、本文カーボン複写。

5 5-1

【文書名】聯盟調査団ノ二大欠点発見

【年月日】昭和7年10月5日

【作成者】石村光三

【宛先】荒木貞夫

【備考】ペン書き2枚。

5 5-2

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和〔 〕年3月21日

【作成者】高橋克巳

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋に表裏ペン書き2枚。封筒表、from K.Takahashi 1053, Fedora st. Los Angeles、東京市陸軍省荒木陸軍大臣閣下、秘親展。封筒表に赤鉛筆で「社会制度ノ改革ノ必要 産業国家ノ必要 大家族主義ノコト」と荒木の書き込み。

5 5-3

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和7年7月21日

【作成者】杉山善夫

【宛先】荒木貞夫

【備考】野紙にペン書き、2枚。墨書の履歴書同封。封筒表、東京市麹町区陸軍省陸軍大臣荒木貞夫閣下、親展、封筒裏、米子市郭内四三、傷痍軍人杉山善夫。封筒表に赤鉛筆で「愛国財団ノ役員ニ御使用願度」と荒木の書き込み。

5 5-4

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和8年8月15日

【作成者】麻里汪

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋にペン書き4枚。うち2枚は「予言」と題するもの。封筒表、麹町区外桜田町陸相官舎荒木貞夫閣下、封筒裏、東京市渋谷区幡谷本町二ノ一四二、麻里汪。封筒表に赤鉛筆で「予言」と荒木の書き込み。

5 5-5

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和〔 〕年6月7日

【作成者】小沼秀之助

【宛先】荒木貞夫

【備考】野紙に墨書、1枚。封筒表、麹町区陸軍大臣官舎荒木貞夫殿、親展、封筒裏、荒川区日暮里町七丁目四百二十一、小沼秀之助。封筒表に赤インクで「一、政党無視ノ言ハ不可 二、軍部国ヲ誤ル」、裏に赤鉛筆で「如何ナル人物乎」と荒木の書き込み。

5 5-6

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和7年7月22日

【作成者】岡田熊太郎

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋に墨書、3枚。封筒表、麹町区永田町官舎、荒木陸軍大臣閣下、親展、封筒裏、中野町本町通四ノ十四、岡田熊太郎。封筒表に青鉛筆で「満洲統治ニ関スル意見」と荒木の書き込み。

5 5-7

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和〔 〕年11月4日

【作成者】増井潤一郎

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙に墨書。封筒表、荒木大臣閣下、持参川島喜太郎氏、封筒裏、大日本殉国会本部、東京市小石川区音羽町、増井純太郎(住所団体名はスタンプ)。

5 5-8

【文書名】大日本〇満洲国建設駐防及青州八旗軍

【年月日】昭和7年4月3日

【作成者】呼野義幸

【宛先】荒木貞夫

【備考】綴、本文野紙にカーボン複写5丁。表紙に標題と「陸軍省陸軍大臣閣下、前青島守備軍民政部、山東省青州日支語学校長、呼野義幸」と印刷。「青州日語学校長兼青州支那語学校長、呼野義幸」の名刺同封。封筒表、東京陸軍省、荒木陸軍大臣閣下、親展、封筒裏、川崎市砂子町一ノ五五。封筒表に赤鉛筆で「大日本〇満洲国建設駐防及青州八旗軍」と荒木の書き込み。

5 5-9

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和7年7月8日

【作成者】松浦市十郎

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙に墨書。封筒表、麹町区陸相官邸、荒木陸軍大臣閣下、至急親展、封筒裏、代々木山谷一八五、松浦市十郎。封筒表に赤鉛筆で「時局意見」と荒木の書き込み。

5 5-10

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和8年8月5日

【作成者】佃信夫

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙に墨書。封筒表、麹町区三宅坂上陸軍大臣

官邸、荒木陸相虎皮下、封筒裏、東京市杉並区天沼一丁目二二六、佃信夫。封筒表に朱筆で「一引見ヲ乞フ 二支那事情」と荒木の書き込み。

5 6-1

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和7年4月23日

【作成者】斎藤桜洲(日本医科大学ニテ)

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙に墨書。「上海事変肉弾三勇士ノ歌」、「満洲歌」同封。封筒表、市内麹町区陸軍省官邸、荒木陸軍大臣閣下、封筒裏、満蒙桜植会創立事務所、千駄ヶ谷六二八。封筒表に赤鉛筆で「対満蒙私見」と荒木の書き込み。

5 6-2

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和〔7〕年7月2日

【作成者】栗林信朗

【宛先】荒木貞夫

【備考】切紙に墨書、13枚。差し出し年は消印。封筒表、東京市麹町区永田町一ノ一官邸、荒木貞夫閣下、親展、封筒裏、旅順市吉野町官舎、栗林信朗。封筒表に赤鉛筆で「意見開陳」と荒木の書き込み。

5 6-3

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和〔7〕年4月20日

【作成者】三木恵照

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙に墨書。封筒表、東京市外代々幡町幡ヶ谷木村六三、荒木貞夫閣下、封筒裏、香川県高松市西浜新町、三木恵照。封筒表に赤鉛筆で「満鉄ヨリ収入金陸海軍部ニ取戻シ財団法人組織ヲ以テ満支ニ居住スル邦人ノ落伍者ヲ救済スル社会事業ヲ創設スル様御依頼等」と荒木の書き込み。

5 6-4

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和7年7月9日

【作成者】木原常三

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋にペン書、1枚。封筒表、陸軍省、荒木陸相閣下、封筒裏、東京府下碑倉町碑文谷千三百五拾老番地、木原常三。封筒表に赤鉛筆で「馬匪賊ノ実態御説明申上度御引見願上候」と荒木の書き込み。

5 6-5

【文書名】進言書

【年月日】昭和7年7月9日

【作成者】大塩平八郎、机龍之介

【宛先】荒木貞夫

【備考】切紙に墨書、3枚。封筒表、市内麹町区永田町官舎、荒木陸軍大臣殿、封筒裏、市外目黒二二五、机龍之介。封筒表に赤鉛筆で「梶原排斥」と荒木の書き込み。

5 6-6

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和〔8〕年9月17日

【作成者】鈴木昌雄

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙に墨書。差し出し年は消印。封筒表、市外三宅坂陸軍大臣官邸、荒木貞夫閣下、封筒裏、東京市本所区東駒形一ノ四奥田方、鈴木昌雄。封筒表に朱筆で「第二ノ五・一五ヲ実施スルト称セシ事件ニ就テ」と荒木の書き込み。

5 6-7

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和〔7〕年8月28日

【作成者】古谷清

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋にペン書き、3枚。封筒無し。

5 6-8

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和7年8月25日

【作成者】深沢孝

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋にペン書き、3枚。封筒表、東京市麹町区陸軍大臣官邸内、陸軍大臣荒木大将閣下、親展、封筒裏、山梨県甲斐中駒郡西条村、深沢孝。封筒表に赤鉛筆で「農村ニ於テ左翼組合跋扈ノ為地主ノ困窮甚シ」と荒木の書き込み。

5 6-9

【文書名】書簡

【年月日】昭和〔8〕年5月28日

【作成者】大塚文雄

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙墨書。

5 6-10

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和8年6月5日

【作成者】二宮治十郎

【宛先】荒木貞夫

【備考】巻紙に墨書。拓本同封。封筒表、東京陸軍省内、荒木貞夫殿、侍史、封筒裏、新旅順大迫町、二宮治十郎。封筒表に赤インクで「首相ニ対シ進言センヲ喜ブ 乃木將軍記念碑ノ石刷」と荒木の書き込み。

5 6-11

【文書名】〔書簡〕

【年月日】

【作成者】内田良平

【宛先】荒木貞夫

【備考】封筒のみ。封筒表、熊本市第六師団司令部、荒木貞夫殿、封筒裏、東京市赤坂区新町五丁目七番地、内田良平。

5 6-12

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和7年10月19日

【作成者】大熊喜邦

【宛先】荒木貞夫

【備考】封筒のみ。封筒表、陸軍大臣荒木貞夫閣下、封筒裏、建築学会々長、大熊喜邦。封筒表に青鉛筆で「失業救済建議案」と荒木の書き込み。

5 7-1

【文書名】嘆願書

【年月日】昭和8年6月

【作成者】土屋米吉

【宛先】荒木貞夫

【備考】原稿用紙にペン書き、表紙とも2丁。7-2合綴。

5 7-2

【文書名】進言書

【年月日】昭和8年5月

【作成者】土屋米吉

【宛先】永井拓務大臣

【備考】原稿用紙にペン書き、表紙とも16丁。台湾統治に関する意見。朱筆で荒木の書き込みおよび傍線あり。

5 7-3

【文書名】〔書簡〕

【年月日】

【作成者】土屋米吉

【宛先】荒木貞夫

【備考】封筒のみ。封筒表、荒木貞夫閣下御侍史、親展、封筒裏、政経研究会、土屋米吉。封筒表に朱筆で「台湾経営論」と荒木の書き込み。7-1、7-2に添付されたものと思われる。

5 8

【文書名】〔意見書〕

【年月日】昭和8年3月21日

【作成者】角田清彦

【宛先】荒木貞夫

【備考】綴、原稿用紙にペン書き、11丁。

5 9-1

【文書名】参同文 九師参六二

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】第九師団参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-2

【文書名】参同文 九師参六三

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】第九師団参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-3

【文書名】参同文 九師参七一

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】第九師団参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-4

【文書名】参同文 九師参七二

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】第九師団参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】上海事件関係電報。

5 9-5

【文書名】参同文 九師参七四

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】第九師団参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-6

【文書名】参同文 九師参七三

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】第九師団参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-7

【文書名】参同文 北電三一三

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】北平補佐官

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-8

【文書名】参同文 北電三一八

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】北平補佐官

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-9

【文書名】参同文 関参二三七

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】関東軍参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-10

【文書名】参同文 関参六六一

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】関東軍参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】謄写版。マル秘と印刷。上海事件関係電報。

5 9-11

【文書名】第六二番電 南京情報

【年月日】昭和7年2月16日

【作成者】一遣軍司令官

【宛先】次官吹長

【備考】謄写版。上海事件関係電報。

5 9-12

【文書名】上海付近支那軍配置要図(二月中旬)

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版1枚。マル秘と印刷。

5 9-13

【文書名】機密電第一八二番

【年月日】昭和7年2月16日

【作成者】三艦隊司令長官

【宛先】次官次長

【備考】謄写版。「秘」および「陸軍省」の朱印。上海事件関係電報。

5 9-14

【文書名】第六五番電

【年月日】昭和7年2月16日

【作成者】一遣司令官

【宛先】次官次長

【備考】謄写版。上海事件関係電報。

5 10-1

【文書名】高一〇三

【年月日】昭和7年2月15日

【作成者】関東庁警務局長

【宛先】拓務次官

【備考】タイプ印書。「秘」の朱印。満洲独立関係電報。

5 10-2

【文書名】参同文 朝参報一七六

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】朝鮮軍参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】満洲独立関係電報。

5 10-3

【文書名】参同文 朝参報一七七

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】朝鮮軍参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】満洲独立関係電報。

5 10-4

【文書名】参同文 朝参報一七八

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】朝鮮軍参謀長

【宛先】陸軍次官

【備考】「秘」と印刷。満洲独立関係電報。

5 10-5

【文書名】参同文 朝参報一八〇

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】朝鮮軍司令官

【宛先】陸軍次官

【備考】「秘」と印刷。満洲独立関係電報。

5 10-6

【文書名】S電七七

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】済南中野少佐

【宛先】陸軍次官

【備考】「秘」と印刷。満洲独立関係電報。

5 10-7

【文書名】参同文 北電三一五

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】北平補佐官

【宛先】陸軍次官

【備考】「秘」と印刷。満洲独立関係電報。

5 10-8

【文書名】参同文 S電七八

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】済南中野少佐

【宛先】陸軍次官

【備考】「秘」と印刷。満洲独立関係電報。

5 10-9

【文書名】北電三一六

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】北平補佐官

【宛先】陸軍次官

【備考】「秘」と印刷。満洲独立関係電報。

5 10-10

【文書名】高一〇二

【年月日】昭和7年2月15日

【作成者】関東庁警務局長

【宛先】拓務次官

【備考】「秘」の朱印。満洲独立関係電報。

5 11

【文書名】参同文 軍縮陸一〇

【年月日】昭和7年2月17日

【作成者】寿府建川少将

【宛先】陸軍大臣

【備考】電報。「秘」と印刷、「大臣」朱印。

5 12

【文書名】第五回満洲青年聯盟議会議事録

【年月日】昭和7年5月1日

【作成者】満洲青年聯盟

【宛先】

【備考】冊子、活版、18P。於奉天春日尋高講堂。

5 13

【文書名】空閑少佐ノ思出

【年月日】昭和7年5月

【作成者】富山県立魚津中学校長 前富山県立射水中学校長、中田栄三郎

【宛先】

【備考】綴、謄写版、29丁。

5 14

【文書名】満洲産業ノ現実的觀察 対満経済ノ实际的政策

【年月日】昭和7年6月

【作成者】寺西秀武

【宛先】

【備考】冊子、謄写版、87P。表紙に「秘」の朱印。

5 15

【文書名】日本道

【年月日】昭和7年12月

【作成者】竹葉秀雄

【宛先】

【備考】綴、謄写版、20丁。奥付には毎月一回発行とあり。
昭和7年12月1日発行、編輯兼発行印刷人、土居重雄(愛媛県北宇和郡三間村)、発行所、八洲社。

5 16

【文書名】陸軍大学校第四十三期生名簿

【年月日】昭和8年3月

【作成者】第四十三期生会

【宛先】

【備考】冊子、活版、4p。表紙に「秘」と印刷。

5 17

【文書名】科学的兵器研究状況要覧

【年月日】昭和8年10月

【作成者】陸軍科学研究所

【宛先】

【備考】綴、謄写版、本文8丁。標題横に「現況報告附帶書類」と墨書書き込み、表紙に「極秘」の朱印。

5 18

【文書名】〔日本の綿業について〕

【年月日】1933年12月11日

【作成者】

【宛先】

【備考】英文タイプ4枚および和文タイプ印書3枚。

5 19

【文書名】産業組合の必要なる所以

【年月日】昭和8年12月20日

【作成者】千石興太郎

【宛先】

【備考】冊子、活版、12P。「産業組合リーフレット3」、発行所、産業組合中央会。

5 20

【文書名】産業組合は中小商業者を圧迫してゐるか—反産運動の一批判として—

【年月日】昭和8年12月

【作成者】千石興太郎

【宛先】

【備考】冊子、活版、47P。全国農村産業組合協会発行。

6 1-1

【文書名】京都市防護要務規約

【年月日】昭和9年6月

【作成者】京都府庁、京都市役所、第十六師団司令部、京都聯隊区司令部、京都憲兵隊、大坂通信局、大坂鉄道局、宮内省内匠寮出張所、宮内省皇宮警察部出張所。

【宛先】

【備考】冊子、活版、22P。

6 1-2

【文書名】近畿防空演習事務打合事項

【年月日】昭和9年6月

【作成者】京都府

【宛先】

【備考】冊子、活版、7P。

6 1-3

【文書名】避難者誘導班服務要領

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】活版、2P。

6 1-4

【文書名】避難所管理班服務要領

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】活版

6 1-5

【文書名】配給班服務要領

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、2P。

6 1-6

【文書名】防毒班業務書

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、25P。

6 1-7

【文書名】救護班業務書

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、12P。

6 1-8

【文書名】連絡班服務要領

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、2P。

6 1-9

【文書名】警護班服務要領

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、5P。

6 1-10

【文書名】交通整理班服務要領書

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、14P。

6 1-11

【文書名】近畿防空演習京都府燈火管制實施規定及近畿

防空演習燈火管制規定同細則

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、14P。

6 1-12

【文書名】警報班業務書

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、4P。

6 1-13

【文書名】近畿防空演習消防關係服務要領

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、12P

6 1-14

【文書名】近畿防空演習消防關係實施要領附指導要領

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、13P

6 1-15

【文書名】防火班業務書

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、5P。

6 1-16

【文書名】工作班業務書

【年月日】

【作成者】京都市聯合防護団

【宛先】

【備考】冊子、活版、7P。

6 1-17

【文書名】工場防護団防空演習參加計畫ノ説明附「各般ノ
注意書」

【年月日】昭和9年7月15日

【作成者】工場防護団本部

【宛先】

【備考】冊子、活版、12P。

6 1-18

【文書名】大阪朝日新聞社工場防護分団規程、分団規程
細別、同別表、大阪朝日新聞社工場防護分団各班
業務書、大阪朝日新聞社工場防護分団編成表（総
司令以下二四二名）

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、活版、5枚。

6 1-19

【文書名】京都市公報号外
【年月日】昭和9年6月27日
【作成者】京都市役所
【宛先】
【備考】冊子、活版、15P。

6 1-20

【文書名】京都市公報号外
【年月日】昭和9年7月24日
【作成者】京都市役所
【宛先】
【備考】冊子、活版、11P。

6 1-21

【文書名】近畿防空演習に関する市民の心得
【年月日】
【作成者】京都市聯合防護団
【宛先】
【備考】活版、1枚

6 1-22

【文書名】防護分団内各班業務の概要
【年月日】
【作成者】室町防護分団
【宛先】
【備考】活版、1枚

6 1-23

【文書名】近畿防空演習必携 毒瓦斯の癡
【年月日】
【作成者】菅野病院編
【宛先】
【備考】活版、2P、発行所、京都タイムス社。

6 1-24

【文書名】近畿防空演習京都統監部教令
【年月日】昭和9年7月18日
【作成者】近畿防空演習京都統監部
【宛先】
【備考】綴、謄写版、10丁。表紙右下に年月日及び「第十六師団司令部留守部」と印刷。

6 1-25

【文書名】上京区室町防護分団防護計画
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】活版、1枚。

6 1-26

【文書名】京都防護団演習計画
【年月日】昭和9年7月26日
【作成者】京都市聯合防護団
【宛先】
【備考】冊子、活版、8P。

6 1-27

【文書名】防護団成立経過概要
【年月日】
【作成者】京都市中京区防護団
【宛先】
【備考】綴、謄写版、12枚。

6 1-28

【文書名】中京区防護団演習指導要領
【年月日】
【作成者】中京区防護団演習指導官
【宛先】
【備考】綴、謄写版、6枚。内容は「近畿防空演習間防護演習指導計画表」(秘の朱印)、「近畿防空演習間防護演習実施普及一覧表」(秘の朱印)、「警報班演習指導計画」、「防火作業指導計画」、「防毒並ニ救護作業指導計画」、「工作班演習指導計画」。

6 1-29

【文書名】中京区防護団々則案
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】綴、謄写版、3丁。

6 1-30

【文書名】〔京都地区地図〕
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】1枚

6 1-31

【文書名】〔京都市聯合防護団演習計画一覧表〕
【年月日】7月26日～7月28日
【作成者】
【宛先】
【備考】綴、活版、3枚。「演習第一日(七月廿六日)」～「第三日(七月廿八日)」とあり。

6 1-32

【文書名】防空予行演習プログラム

【年月日】昭和9年7月20日
【作成者】朝日新聞社工場防護分団
【宛先】
【備考】謄写版、1枚。

6 1-33

【文書名】本日ノ予定
【年月日】7月19日
【作成者】滋野防護分団本部
【宛先】
【備考】綴、謄写版、3丁。

6 1-34

【文書名】上京区防護団々則
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】綴、謄写版、13枚。

6 1-35

【文書名】燈火管制の心得
【年月日】
【作成者】府立医大防護分団本部
【宛先】
【備考】活版、1枚。一部赤字。「防空演習期間(七月二十六日～二十八日)」、「予行演習(七月十九日)」とあり。同一文書二部。

6 1-36

【文書名】近畿防空演習京都市主要防護演習位置要図
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】謄写版、1枚「(昭和九年七月二十六日乃至二十八日ニ於ケル)」とあり。

6 1-37

【文書名】燈火管制の心得
【年月日】昭和9年7月
【作成者】京都府
【宛先】
【備考】活版、1枚。

6 1-38-1

【文書名】奮へ起て全防護団員各位
【年月日】昭和9年7月25日
【作成者】室町防護分団長大橋理祐
【宛先】室町防護団各位殿
【備考】活版、1枚。1-38-2と合綴。

6 1-38-2

【文書名】団員各位ニ急告
【年月日】昭和9年7月16日
【作成者】室町防護分団長大橋理祐
【宛先】
【備考】活版、1枚。

6 1-39

【文書名】工場防護指導法ノ研究
【年月日】
【作成者】工場防護団本部
【宛先】
【備考】冊子、活版、19P。

6 1-40

【文書名】工場防護演習要項
【年月日】
【作成者】新興毛織株式会社中津工場
【宛先】
【備考】綴、謄写版、4丁。演習期日、七月二十六日、二十七日。

6 1-41

【文書名】久保田鉄工所工場防護分団統制図表
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】活版、1枚。

6 1-42

【文書名】久保田鉄工所工場防護分団編成図表
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】活版、1枚。

6 1-43

【文書名】深草第一防護分団編成一覧表
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】綴、謄写版、表紙墨書、表紙とも15枚。

6 1-44

【文書名】近畿防空演習一般教令
【年月日】昭和9年7月1日
【作成者】近畿防空演習大阪、京都、金沢、姫路統監部
【宛先】
【備考】冊子、活版、14P、付図。表紙右肩に畿演規乙第

一号とあり。

6 1-45

【文書名】防空演習を目ざして

【年月日】昭和9年7月23日

【作成者】近畿防空演習京都統監部

【宛先】

【備考】活版、新聞体、統監渋谷中将「地方側各位に告ぐ」、幕僚長片桐中佐「防空演習予行に鑑みて」、主任山脇参謀「演習雑観」他。二部。

6 1-46

【文書名】防演情報22

【年月日】昭和9年7月25日

【作成者】大阪憲兵隊本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版。5丁。表に「秘」の朱印。文書名の号数はスタンプ。内容は「共産党外廓団 防空演習反対ヲ宣伝ス 詳細ナル「パンフレット」発行」(大阪天王寺区大阪産業労働調査所)、「在留外国人灯火管制協力」、「防演ヲ非難セル外事新聞記事」、「都市武装講演会ヲ開催空襲下ノ日本都市建築物ノ危険性ヲ強調ス」(社団法人日本建築協会)、「防空演習ノ障害ナリトシ大阪機械工作所争議団ニ警告ス」、「駐神領事ノ在留外国人ニ対スル態度」、「防空演習ヲ契機ニ報国老勇団ヲ組織ス 老後ノ奉公ヲナサントス」、「役員ニ選衡洩レヲ不満ニ鶴橋分団ノ内紛」、「大阪機械工作所争議団五十五名会社ニ乗込ミ検束セラル」。

6 1-47

【文書名】防演情報24

【年月日】

【作成者】大阪憲兵隊本部

【宛先】昭和9年7月26日

【備考】綴、謄写版、9丁表に「秘」の朱印。文書名の号数はスタンプ。内容は「空襲下ニ於ケル『スパイ』売国奴防遏ノ為メ集隊ヲ組織ス」(神戸市亜細亜青年同志会)、「泉北郡鳳町ニ於ケル防護団設立内紛其ノ後ノ経過」、「極左団体軍関係工場内ニ防空演習反対「ビラ」投入」、「米国フォックス社「トーキー」撮影」、「予行演習ノ消灯ニ絡ム紛議」、「予行演習出場中妻急病ノ報アリタルモ演習ヲ継続ス」、「老人ト雖モ安閑トシテ居ル場合ニアラスト進シテ演習ニ参加」、「公設市場ノ消灯不応ヲ難詰」、「工場偽装ヲ拒否シ工場防護団本部ヨリ反省ヲ促ス」、「予行演習時ニ於ケル灯火管制ノ不当ヲ詰ル新聞記者ノ言動」、「神戸瓦斯タンク移転運動」、「防護団員中自己ノ任務ヲ脱逸シ警察行為類似動作ヲ為シ防護団員ニ対スル非難ノ声点在ス」(蘇聯邦武官並通商代表防空演習視察)、「防護

団ト国防婦人会ノ紛議」、「「ダンスホール」ニ夜間営業休止ヲ勧告ス」、「軍用自動車(愛国一三号)橋梁ニ激突ス」、「灯火管制予行演習中防護団員ト自動車運転手ノ論争」、「灯火管制時蠟燭ヨリ失火」、「軍用飛行機二機城東練兵場ニ不時着陸ス」。

6 1-48

【文書名】防演情報25

【年月日】昭和9年7月27日

【作成者】大阪憲兵隊本部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、10丁。表に「秘」の朱印。文書名の号数はスタンプ。内容は「蘇聯邦陸軍武官ノ動静」、「蘇聯邦通商代表ノ動静」、「兵卒自動車ト共ニ墜落人事不省ニ陥ル」、「陸相防護分団視察ノ際臨場ノ光栄ニ浴セサリシヲ不満ニ防護団ノ内紛」、「防演反対標語ヲ壁新聞ニ墨書 憲兵発見撤去セシム」、「防空監視員手当少額ナリテ不平ヲ洩ス」、「癩患者演習中静粛ヲ守ル旨申合ス」、「鮮人団体員ノ防護団加入」、「防護分団員ト警察署員ノ紛議」、「防護分団対所属国婦会員服装問題ニ発端紛議」、「情況現示将校防護団長同分団長間ニ紛糾セントセシモ解決ス」、「国防婦人会中途ニ於テ防護団ニ不参加ヲ表明ス」、「高射砲ノ性能技術ヲ非難ス 憲兵激論放遣」、「支那料理店ニ残置灯指定ハ不必要ナリテ野次馬連騒ク」、「演習中防護分団員負傷ス」、「警報一般状況」、「警報ノ誤伝」、「灯火管制状況」、「工場ノ消灯問題二件」。

6 2

【文書名】大日本国防婦人会関西本部ノ概況

【年月日】昭和9年7月

【作成者】大阪憲兵隊

【宛先】

【備考】綴、謄写版、8丁。

6 3

【文書名】昭和九年陸軍大学校卒業式参考書

【年月日】昭和9年11月

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、38P。

6 4

【文書名】亜細亜民族覚醒と団結

【年月日】昭和10年9月20日

【作成者】東亜聯盟総本部

【宛先】

【備考】冊子、活版、16P。「東亜聯盟パンフレット第式輯」、

6 5-1

【文書名】陸同文電報
【年月日】昭和11年1月17日
【作成者】関東軍参謀長
【宛先】参謀次長
【備考】謄写版5丁。「秘」と印刷。軍事参議官の印あり。日本機ソ連越境問題。

6 5-2-1

【文書名】陸同文電報
【年月日】昭和11年1月17日
【作成者】天津軍参謀長
【宛先】参謀次長
【備考】謄写版2丁。5-2-2と合綴。「秘」と印刷。軍事参議官の印あり。天津に於ける赤化宣伝機関紙。

6 5-2-2

【文書名】電報
【年月日】昭和11年1月18日
【作成者】暹羅公使館附武官
【宛先】参謀次長
【備考】謄写版2丁。5-2-1と合綴。「秘」と印刷。軍事参議官の印あり。暹羅政局。

6 5-3

【文書名】電報
【年月日】昭和11年1月18日
【作成者】蘇邦大使館附武官
【宛先】参謀次長
【備考】謄写版3丁。軍事参議官の印あり。満外蒙間覚書の新聞報道。

6 6

【文書名】満洲・北支及ビ西部支那視察報告書
【年月日】昭和11年2月
【作成者】神田正雄
【宛先】
【備考】綴、タイプ謄写版、62P。表紙に「秘」の朱印、700と鉛筆書き。

6 7-1

【文書名】対日批判資料第十一輯
【年月日】〔1936〕年
【作成者】社団法人東洋協会調査部
【宛先】
【備考】綴、タイプ謄写版、37P。表紙に「秘」の朱印。

6 7-2

【文書名】対日批判資料第十二輯
【年月日】〔1936〕年
【作成者】社団法人東洋協会調査部
【宛先】
【備考】綴、タイプ謄写版、28P。表紙に「秘」の朱印。

6 7-3

【文書名】対日批判資料第十三輯
【年月日】〔1936〕年
【作成者】社団法人東洋協会調査部
【宛先】
【備考】綴、タイプ謄写版、39P。表紙に「秘」の朱印。

6 8

【文書名】「独土新貿易協定協定税率」ニ関スル件
【年月日】昭和11年7月15日
【作成者】
【宛先】
【備考】綴、謄写版、2丁。右肩年月日横に「発第四八七号」(数字ペン書き)とあり。

6 9

【文書名】〔書簡綴〕
【年月日】昭和11年8月30日～9月28日
【作成者】哲雄
【宛先】角岡先生、奥様
【備考】綴、謄写版、13丁。表紙に「秘」の朱印。「盟秘第五号此度の英埃協定に付て」(昭和11年8月30日報告)、〔書簡〕(9月1日)、〔書簡〕(9月9日)、「普通第四号」(昭和11年9月20日報告)、「普通第五号 独逸の回教政策の一反面」(昭和11年9月28日報告)、「奥様宛書簡」(9月12日)、「奥様宛書簡」(9月24日)。

6 10

【文書名】ソヴェート地方住民ノ食養状態(1937年6月伯林発刊コントラ・コミンテルン誌ニ依ル)
【年月日】昭和12年9月
【作成者】国際思想研究会
【宛先】
【備考】冊子、タイプ謄写版、本文8p。表紙に50と鉛筆書き。

6 11

【文書名】日刊聯合情報
【年月日】昭和12年9月1日
【作成者】聯合情報社
【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版、11P。表紙に「特殊情勢偵察報告 第51回」とあり。編輯発行兼印刷人、田中辰志、発行所、麹町区丸ノ内二丁目十八番地昭和ビル、聯合情報社。

6 12

【文書名】銃後の財政経済

【年月日】昭和12年12月15日

【作成者】大蔵大臣賀屋興宣

【宛先】

【備考】冊子、活版、44P。発行所、国民精神総動員中央聯盟。

6 13

【文書名】融和事業指導者講習会要項

【年月日】昭和12年10月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、財団法人中央融和事業協会用紙にタイプカーボン複写、2丁。期日、昭和12年10月16日より23日まで。

6 14

【文書名】極東ソヴェート聯邦ノ近況

【年月日】1937年11月13日

【作成者】瀬尾栄太郎

【宛先】

【備考】綴、謄写版、表紙とも8丁。

6 15

【文書名】アフガニスタン記事 アラビア聯盟とイラク 其他の記事

【年月日】昭和12年12月

【作成者】アフガニスタン倶楽部

【宛先】

【備考】冊子、タイプ謄写版、71P。表紙右肩に「第七回情報」と印刷、130と鉛筆書き。

6 16

【文書名】東亜土木工業組合設立趣意書

【年月日】昭和13年2月

【作成者】東亜土木工業組合

【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版、9丁。「東亜土木工業組合同規約(案)」合綴。趣意書および規約案の「東亜」は「日華」を鉛筆書き訂正。

6 17

【文書名】銅自給自足ニ関スル国策要旨 附硫化鉍石開

発増進ニ就テ

【年月日】昭和13年4月

【作成者】ラサ工業株式会社社長小野義夫述

【宛先】

【備考】冊子、活版、18P。

6 18

【文書名】北支綿花ノ概要

【年月日】昭和13年5月

【作成者】拓務技手、村上龍助

【宛先】

【備考】綴、拓務省用箋にタイプカーボン複写、37丁。表紙右肩に「秘」の朱印、「参考」の朱印、23と赤鉛筆書き。

6 19

【文書名】答申参考案

【年月日】昭和13年6月10日

【作成者】東京府国民精神総動員運動実行委員会々長、東京府知事館哲二

【宛先】東京府知事館哲二

【備考】綴、タイプ謄写版、8丁。

6 20

【文書名】青年学校教員に関する試案

【年月日】昭和13年8月

【作成者】教育改革同志会調査部

【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版、9P。東京市麹町区丸ノ内仲四号館七号、昭和研究会内教育改革同志会。

6 21

【文書名】予算節約研究会要録(二)

【年月日】昭和13年8月31日

【作成者】昭和研究会事務局

【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版、25P。表紙右肩に「秘」の朱印、標題の(二)はペン書き。

6 22

【文書名】時事懇談会名簿

【年月日】昭和14年1月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版、表紙とも5丁。末尾に「(当分事務所を設置せず。本会に関する御問合せは渋谷区千駄ヶ谷二ノ三六三(青山一、三五八)唐沢俊樹方へ)」とあり。

6 23

【文書名】日独伊「三国協定」問題ノ経緯

【年月日】昭和14年1月9日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、26丁。表紙左肩に「極秘」の朱印、右肩に四拾部ノ内第三三号と印刷(三三は青鉛筆)。「別紙第一 笠原少将携行ノ独逸案」、「別紙第二 五相会議決定案」、「別紙第三 外務省第一次案」、「別紙第四 独逸ヨリ伊太利へ提議セシ案」、「別紙第五 外務第二次案」合綴。

6 24

【文書名】電力動員と電力管理

【年月日】昭和14年10月20日

【作成者】電気庁官房総務課

【宛先】

【備考】冊子、活版、29P。

6 25

【文書名】時事懇談会名簿

【年月日】昭和15年7月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版、表紙とも5丁。

6 26

【文書名】緊急施策基礎案

【年月日】昭和16年1月

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、本文12丁。表紙に「極秘第 号」と印刷(空白原文)。

6 27

【文書名】〔アメリカに於ける航空機生産〕

【年月日】〔1944以降〕

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、82P。表紙欠。

6 28-1-1

【文書名】『話の基地』『』は原文

【年月日】9月15日

【作成者】吉田曜生

【宛先】

【備考】綴、謄写版、3丁。内容は世界経済調査会理事芦野弘氏講演「米国の抗戦力について」(於国策研究会)、文中に「開戦十ヶ月後」とあり。表紙右肩に「秘」

の鉛筆書き。28-1-2~1-3と合綴。

6 28-1-2

【文書名】「話の基地」〔「』は原文〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版2丁。右肩に「秘」の朱印。内容は農林省農政局長石井英之助氏談話。

6 28-1-3

【文書名】話の基地

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版2丁。表紙に「極秘」と印刷。内容は、外務省調査部長田尻愛義氏談話。

6 28-2

【文書名】話の基地

【年月日】10月2日

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版2丁。表紙に「秘」の朱印。朝日新聞ロンドン特派員福井文雄氏談話。

6 28-3

【文書名】話の基地

【年月日】11月2日

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版2丁。表紙に「秘」の朱印。鉄道技師立花二郎氏談話。

6 28-4-1

【文書名】〔百瀬新聞記者談話〕

【年月日】12月15日

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版2丁。「親展」の朱印。4-2合綴。

6 28-4-2

【文書名】〔海軍省囑託西森久記氏談話〕

【年月日】11月24日

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版2丁。

6 28-5

【文書名】〔大本営海軍参謀臼井中佐談話〕

【年月日】12月15日

【作成者】

【宛先】

【備考】謄写版2丁、「親展」の朱印。

7 1

【文書名】露西亜革命経過

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、表紙とも15丁。

7 2

【文書名】〔ソ連国内情報〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版、48P、1～5PPが欠。

7 3

【文書名】蒙古軍隊ノ改造

【年月日】

【作成者】瀬尾栄太郎

【宛先】

【備考】綴、謄写版、本文13p、表紙に「秘」の朱印。

7 4

【文書名】橋本大尉講話筆記 労農露国の情况

【年月日】

【作成者】第十四師団司令部

【宛先】

【備考】綴、謄写版、37丁、附図3葉。表紙に「荒木閣下一昨日御尋ねの労農露国の組織の表か付してありますから御参考の為差上げて置きます 橋本」と鉛筆書きあり。

7 5

【文書名】青天白日旗 その由来と精神

【年月日】

【作成者】瀬尾栄太郎

【宛先】

【備考】綴、タイプカーボン複写、表紙とも8丁。表紙に17と赤鉛筆書き。

7 6

【文書名】ギロチン社事件ニ現レタル無政府主義者ノ心状

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、表紙、本文15丁。

7 7

【文書名】参考資料(第四十九編) 満、鮮、支旅行記

【年月日】昭和12年9月

【作成者】三井暹羅室

【宛先】

【備考】冊子、タイプ謄写版、表紙、序、本文30p。表紙に「盤谷タイムス掲載訳、ペストンヂー氏述」とあり。

7 8

【文書名】〔覚書〕

【年月日】

【作成者】荒木貞夫

【宛先】

【備考】15点、年代不明

7 9

【文書名】〔日本外交に関する所感〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ謄写版カ、2丁。前欠。

7 10

【文書名】アラビヤ語とアラビヤ文明

【年月日】大正15年11月21日

【作成者】土耳其学会

【宛先】

【備考】綴、謄写版、5丁。土耳其族バシキール人回教徒クルバンガー〔ヨリカ〕。発行所、東京青山穂田の一、土耳其学会。

7 11

【文書名】關神霧

【年月日】昭和12年

【作成者】日本学義塾

【宛先】

【備考】冊子、謄写版、本文17丁。日本学義塾小林世懿兩名の送付状(謄写版一枚)添付。

7 12

【文書名】米国々防方針

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、6～11丁。前欠、謄写版の付箋あり。

7 13

【文書名】労農ロシア政府并に其外郭に於ける最高重要人物の略歴

【年月日】

【作成者】回天時報社

【宛先】

【備考】綴、謄写版、本文16丁。

7 14

【文書名】先づ軍備の意義を正すを要す

【年月日】

【作成者】蜷川新

【宛先】

【備考】活版1枚。

7 15

【文書名】支那ノ国民道德ノ一面觀察綴

【年月日】

【作成者】中嶋虎吉

【宛先】

【備考】謄写版、5丁。100と鉛筆書き。

8 1

【文書名】Chapter XXX Recent Developments

【年月日】

【作成者】Harold L. Reed

【宛先】

【備考】Money and Banking in the United States, Louis A. Rufener (1938, Houghton Mifflin Company) のpp759-791

8 2

【文書名】Histoire de la Pensee Scientifique

【年月日】1951年

【作成者】Francois Russo

【宛先】

【備考】活版、本文pp7-123、アンカット、LA COLOMBE。

8 3-1

【文書名】甲種(中等程度)図書群目録

【年月日】昭和16年5月10日

【作成者】青年文化振興会

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文15P。「東京帝国大学図書館司書官・日本図書館協会常務理事中田邦造先生案」とあり。

8 3-2

【文書名】昭和十二年度事業概要并決算報告

【年月日】自昭和十二年四月至昭和十三年三月

【作成者】日伊学会

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文18P。

8 4-1

【文書名】国民党と共産派の離合

【年月日】昭和2年11月

【作成者】於北京 金井清

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文57P。

8 4-2

【文書名】国際眼より観たる支那

【年月日】昭和5年2月

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文125P。表紙に「秘」と印刷。

8 4-3

【文書名】調査資料第五輯 最近の支那事情

【年月日】昭和10年10月15日

【作成者】東洋協会調査部

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文75P。

8 4-4

【文書名】支那事変の結末を如何にすべきか

【年月日】昭和14年7月7日

【作成者】相馬昌三

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文37P。

8 5-1

【文書名】改正第七十八回営業報告書

【年月日】昭和7年上半年(自昭和6年12月至同7年5月)

【作成者】株式会社東京株式取引所

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文21P。

8 5-2

【文書名】会員名簿

【年月日】昭和8年12月1日現在

【作成者】社団法人東洋協会編

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文124P。

8 5-3

【文書名】独逸評論家の視たる第十一回オリンピック大会

馬術競技

【年月日】昭和11年11月25日

【作成者】グスターフ・ラウ氏記・有坂光威(騎兵少佐)訳

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文68P。発行者、財団法人日本国際馬術協会。

8 5-4

【文書名】乃木講叢書第一篇 財界の動向と致富策を語る

【年月日】昭和12年6月24日

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文41P。編集兼発行人、松本頼光、台南乃木講社。台南州参事会員台湾南部無尽株式会社社長栗山新造の講述。

8 5-5

【文書名】読書界 第二巻一号

【年月日】昭和13年2月1日

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文48P。編集兼発行人、稲垣秀邦、三笠書房。内閣参議陸軍大将荒木貞夫「支那と日本」あり。

8 6-1

【文書名】本願 第四巻第八号

【年月日】昭和6年8月20日

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文16P。編集兼発行人、水上暁範、本願社。

8 6-2

【文書名】反魂開世伝

【年月日】昭和7年11月10日

【作成者】中村平峰

【宛先】

【備考】冊子、謄写版、本文45P。編集印刷兼発行人、中村利一、反魂開世社。

8 6-3

【文書名】敬天愛人運動附録

【年月日】昭和8年8月25日

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文15P。編集発行兼印刷者、山田主一郎、敬天愛人運動本部仮事務所。未裁断。

8 6-4

【文書名】敬天愛人運動

【年月日】昭和8年8月25日

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文15P。編集発行兼印刷者、山田主一郎、敬天愛人運動本部仮事務所。

8 6-5

【文書名】第四事業年度自昭和八年七月一日至昭和八年十二月三十一日事業報告書

【年月日】昭和9年2月15日

【作成者】丹後縮緬工業組合

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文35P。

8 6-6

【文書名】帝国少年団協会叢書 第六号

【年月日】昭和11年1月

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文96P。編集兼発行人、大島長三郎、帝国少年団協会。

8 6-7

【文書名】国際パンフレット通信第986号 独逸に於ける物価騰貴統制の現状

【年月日】昭和12年2月16日

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文37P。編集兼発行人、小野俊一、株式会社タイムス出版社。

8 6-8

【文書名】日独旬刊 第七十号 第四巻第九号

【年月日】昭和14年5月25日

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文32P。編集兼発行人、岡上守道、日独旬刊社。

8 6-9

【文書名】非常時対策としての證券取引所改廃問題

【年月日】

【作成者】統制経済調査会幹事長高橋忠作

【宛先】

【備考】冊子、活版、本文18P。後欠か。

8 6-10

【文書名】インドの叫び

【年月日】

【作成者】ボース, ラスビハリ

【宛先】

【備考】冊子。表紙および口絵写真6頁のみ、後欠。三教書院。

8 7

【文書名】〔写真〕

【年月日】

【作成者】帝国在郷軍人会岡山市联合会

【宛先】

【備考】岡山市出身戦病死者忠魂塔。二部。

8 8

【文書名】夕張新聞

【年月日】大正14年4月7日～6月17日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版。海軍練習艦が南洋巡行中に発行したもの。41～112号。

8 9

【文書名】名取新聞

【年月日】昭和4年6月～10月21日

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版。海軍練習艦が発行したもの。1～74号。表紙に「渡辺」と鉛筆書き。

8 10

【文書名】〔露語新聞雑誌抜粋〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】6点。

8 11

【文書名】情報部資料第426号 "Colonial Raw Materials
"from " Round Table, March, 1936"

【年月日】昭和11年5月21日

【作成者】外務省情報部

【宛先】

【備考】綴、タイプ、本文14P。

8 12

【文書名】情報部資料第427号 "Peaceful Change" An
Address by Professor A. J. Toynbee At the Academie

fur Deutsches Rechts

【年月日】昭和11年5月25日

【作成者】外務省情報部

【宛先】

【備考】綴、タイプ、本文31P。

8 13

【文書名】情報部資料第442号 "The Red Army" by Lt.
Colonel H. de Watteville (late R.A.) from "The
Fortnightly"

【年月日】昭和11年7月6日

【作成者】外務省情報部

【宛先】

【備考】綴、タイプ、本文16P。

8 14

【文書名】情報部資料第443号

"Fast-Changing Manchoukuo" from "Atlanta
Constitution"

【年月日】昭和11年7月6日

【作成者】外務省情報部

【宛先】

【備考】綴、タイプ、本文3P。

8 15

【文書名】情報部資料第444号

"A Ruinous Principle" from "New York Times"

【年月日】昭和11年7月8日

【作成者】外務省情報部

【宛先】

【備考】綴、タイプ、本文3P。

8 16

【文書名】情報部資料第445号

"Puzzled France : Which Way?"

【年月日】昭和17年7月13日

【作成者】外務省情報部

【宛先】

【備考】綴、タイプ、本文13P。

8 17

【文書名】情報部資料第446号

"Blum Grapples with the Zoo Families" by P. J. Philip

【年月日】昭和17年7月14日

【作成者】外務省情報部

【宛先】

【備考】綴、タイプ、本文13P。

9 1-1

【文書名】〔書簡〕

【年月日】紀元節ノ日

【作成者】惣七

【宛先】荒木貞夫

【備考】罫紙、2枚。兵営内の消耗品について。1-1～3はクリップにて一括。

9 1-2

【文書名】〔書簡〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】罫紙、3枚。連隊經理の概要について。

9 1-3

【文書名】〔書簡〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】罫紙、2枚。兵卒一人の消費高について。

9 2-1

【文書名】〔書簡控〕

【年月日】10月16日

【作成者】荒木貞夫

【宛先】菊池次長

【備考】ノート1枚。士気の衰え、維新当時に比して衰えつつあること。2-1～3までクリップにて一括。

9 2-2

【文書名】〔書簡控〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】ノート1枚。大戦五年間の苦難と退嬰について。

9 2-3

【文書名】〔書簡控〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】ノート3枚。3枚目は1枚目と同じ内容で途中まで記す。縮軍の声に対して。

9 3

【文書名】〔書簡〕

【年月日】1929年3月12日

【作成者】〔ロシア名〕

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋3枚、タイプ。

9 4

【文書名】〔書簡〕

【年月日】1933年8月18日

【作成者】William E. Clark

【宛先】荒木貞夫

【備考】英語版、陸軍用箋1枚にタイプ、9部、日本語版、陸軍用箋1枚、活版、24部。アメリカにおいて日本帝が一般の同情を獲んとせば、日本文学を十分広範囲に刊行し常人にこれを親炙する機会を与える外に途なし。

9 5

【文書名】〔書簡〕

【年月日】1933年8月18日

【作成者】Glenm Walton Blodgett

【宛先】荒木貞夫

【備考】英語版、2枚ステイプラー留、タイプ、6部、日本語版、陸軍用箋2枚ステイプラー留、活版、21部。新聞紙上における、日本の満州に向けて膨張する権利を有することのご意見了解。今後の日本と米国との理解が進むことを願う。

9 6

【文書名】〔書簡〕

【年月日】1938年2月7日

【作成者】〔ロシア名〕

【宛先】荒木貞夫

【備考】便箋4枚、タイプ。

平沼騏一郎関係文書目録

平沼騏一郎関係文書に関しても、荒本文書と同様に1989年に加藤陽子氏（現東京大学文学部助教授）によって調査がなされ、日本語ワープロ版の目録が作成され、フーバー研究所において閲覧用の目録として利用されている。「平沼騏一郎関係文書についてのスコープ」と題するアブストラクトと、平沼の履歴が添付されているのも、荒本文書の場合と同様である。以下に掲げる目録についても、荒本文書の場合と同様に、加藤氏作成の目録をベースに、原文書を精査して全面的な補訂を加えたものである。ここでも、「平沼騏一郎関係文書についてのスコープ」と題するアブストラクトを以下に全文掲載するので、参照されたい。なお本目録の作成・校訂は有馬学、官田光史が担当した。

加藤陽子「平沼騏一郎関係文書についてのスコープ」

平沼騏一郎関係文書がどのような経緯でThe East Asian Collectionの所有するところとなったかは、現段階(1989年8月)では必ずしも明らかではない。平沼家の談話によれば、戦後直後研究者を名乗る人物に史料の一部を貸与したところ、それが返却されないまま行方がわからなくなったという。おそらく売りに出されていたものを、The East Asian collectionが買入れたものと思われる。

現在、平沼に関する文書は、本文書のほか、平沼家に所蔵されていたものが国会図書館憲政資料室に寄託されている。

分類は、大審院検事から、枢密院議長に至るまでの平沼の履歴に従って、クロノロジカルになされている。

平沼文書の大部分は、その履歴の示す通り、大審院長・枢密顧問官等の職務上、平沼の扱った関係書類からなっている。主なものとしては、大逆事件関係書類、虎ノ門事件関係書類、日ソ基本条約批准に関する審査報告一件書類、国民政府特派大使関係書類等があげられる。憲政資料室所蔵の平沼文書に比べた場合、特筆すべきことは、国本社解散についての一件書類がそろっており、解散時の国本社から遡及して、国本社と一体どのような組織であったのかを知る手だてとなりうる点であろう。

【凡例】

1. 文書の配列はフーバー研究所での所蔵形態に従っている。したがって、目録の番号はフーバー研究所におけるboxおよびfolderの番号をそのまま採用し、必要な場合はその下に個別史料一点ごとの枝番号をハイフンを付して与えた。なお、フーバー研究所のfolderにハイフンを付した枝番号が与えられているものがあり、その場合は目録の番号に*を付した。
2. [] を付した文書名は目録編者による。年月日の[]は推定を示す。

1 1

【文書名】大審院特別権限事件ニ干与シタル職員人名(東京ヲ除ク)

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】大審院検事局罫紙、墨書、6丁

1 2

【文書名】大逆事件に関する将来絶滅策に就き宇垣総督に与ふる書

【年月日】昭和七年一月廿五日

【作成者】前衆議院議員勲三等 多木久米次郎

【宛先】朝鮮総督宇垣一成閣下

【備考】冊子、印刷、8頁

1 3

【文書名】[大逆事件関係書類]

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】2点、以下内訳

1 3-1

【文書名】幸徳伝次郎外二十五名ニ対スル刑法第七十三条ノ罪ノ被告事件ノ発覚原因及其検挙并予審経過ノ大要

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】目次「第一 発覚ノ原因」「第二 被告事件ノ検挙並予審ノ経過」「第三 被告人以外ノ者ノ取調」、綴、謄写版、20丁、綴じはずれ(19、20丁)

1 3-2

【文書名】森近運平

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、28丁

1 4

【文書名】我国ニ於ケル社会主義運動ノ沿革

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、大審院罫紙、墨書、21丁

1 5

【文書名】学制意見 平沼騏一郎草案

【年月日】

【作成者】平沼騏一郎

【宛先】

【備考】綴、大審院検事局罫紙、墨書、鉛筆、3丁

1 6

【文書名】大正初年裕仁東宮の御学問所創設に付き、平沼枢密院副議長より提出の意見書草案

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、罫紙、墨書、24丁、1丁目「秘」(朱筆)、付箋あり

1 7

【文書名】同志に檄す

【年月日】大正七年七月

【作成者】花田仲之助

【宛先】

【備考】綴、罫紙、墨書、6丁

1 8

【文書名】浪人会主催東宮御外遊御延期祈願竝ニ上奏文ニ関スル件

【年月日】大正十年二月十五日

【作成者】頭山満

【宛先】

【備考】綴、カーボン、7丁、1丁目「至急」(朱印)、「大正一〇年二月一五日東特第二〇七号」(印、ペン)

1 9

【文書名】[皇太子妃選定に関する一件書類]

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】7点(以下内訳)、焼損あり

1 9-1

【文書名】上山県老公書

【年月日】[大正10年]

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、10丁

1 9-2

【文書名】上山県公爵書

【年月日】[大正10年]

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、8丁

1 9-3

【文書名】〔反対意見書〕

【年月日】〔大正10年〕

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、5丁

1 9-4-1

【文書名】色盲遺伝ニ関スル意見書 同上図解

【年月日】大正九年十月十一日

【作成者】侍医寮御用掛医学博士 保利真直

【宛先】宮内大臣男爵中村雄次郎殿

【備考】綴、謄写版、9-4-2合綴、18丁

1 9-4-2

【文書名】色盲ノ遺伝ニ付キ調査報告

【年月日】大正九年十二月二十一日

【作成者】東京帝国大学医学部教授 佐藤三吉、同 河本重次郎、同 三浦謹之助、同 永井潜、東京帝国大学理学部教授 藤井健次郎

【宛先】

【備考】綴、謄写版、9-4-1合綴、18丁

1 9-5

【文書名】宮内省の横暴不逞

【年月日】大正十年一月下浣

【作成者】某等再拝

【宛先】

【備考】綴、謄写版、6丁、表紙「極秘」(朱印)

1 9-6

【文書名】火急御力賛ヲ請フ

【年月日】大正十年二月十八日印刷換謄写

【作成者】編輯及印刷人 東京市麻布区筈町一一八 森田義郎

【宛先】

【備考】押川方義ほかの書簡など、活版印刷、25頁

1 9-7

【文書名】宮中重大事件に就て

【年月日】大正十年二月 日

【作成者】尽忠義会同人拝

【宛先】

【備考】冊子、活版印刷、10頁

1 10

【文書名】〔皇太子外遊反対意見書〕

【年月日】大正拾年二月十日

【作成者】押川方義、大竹貫一、松平康国、牧野謙次郎、佃信夫、五百木良三

【宛先】

【備考】綴、謄写版、8丁

1 11

【文書名】詔書案(甲)(乙)

【年月日】大正十年八月

【作成者】

【宛先】

【備考】李家に男子・女子誕生の際の待遇に関する詔書案、宮内省野紙、墨書、2枚、(甲)(乙)とも「秘」(朱印)、封筒あり、同封物〔送状〕2通(作成者、伊東巳代治皇室制度審議会総裁、宛先、平沼騏一郎、7月26日、9月16日付)あり

1 12

【文書名】〔後藤新平著作〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】2点、以下内訳

1 12-1

【文書名】露国最近ノ政情 過激主義ノ変遷

【年月日】大正十二年二月

【作成者】子爵後藤新平

【宛先】

【備考】冊子、活版印刷、9頁

1 12-2

【文書名】日露両国非公式交渉基礎案余論

【年月日】大正十二年五月十五日

【作成者】子爵後藤新平

【宛先】

【備考】タイプ、5枚

1 13

【文書名】〔虎ノ門事件関係書類一件〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】6点、以下内訳

1 13-1

【文書名】帝国議会開院式当日ニ於ケル事変ノ顛末

【年月日】〔大正12年12月〕

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、8丁、1丁目「秘」(朱印)

1 13-2

【文書名】仕込銃其ノ他変装シタル戎器類ノ取締ニ関スル件

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、謄写版、3丁

1 13-3

【文書名】〔送状〕

【年月日】大正十二年十二月二十八日

【作成者】内務省警保局高橋警務課長

【宛先】平沼司法大臣

【備考】内務省罫紙、ペン、1枚

1 13-4

【文書名】〔報告〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】難波大助供述の変更内容、東京地方裁判所検事局罫紙、ペン、1枚

1 13-5

【文書名】〔難波大助供述書〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】内閣罫紙、墨書、5枚

1 13-6

【文書名】判決書

【年月日】大正十三年十一月十三日

【作成者】大審院第一特別刑事部 裁判長 判事 横田秀雄、判事 豊島直口、磯谷幸次郎、松岡義正、西川一男

【宛先】

【備考】裁判用紙、謄写版、16枚、写添付、焼損あり

1 14

【文書名】〔日ソ基本条約〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】4点、以下内訳

1 14-1

【文書名】署名議定書

【年月日】〔大正14年〕

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版印刷、8頁、表紙「秘」(朱印)、「平沼顧問官」(印)

1 14-2

【文書名】日本国及「ソヴィエト」社会主義共和国聯邦間ノ関係ヲ律スル基本的法則ニ関スル条約

【年月日】〔大正14年〕

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版印刷、6頁、表紙「秘」(朱印)、「平沼顧問官」(印)

1 14-3

【文書名】議定書 声明書 交換公文 附属公文

【年月日】〔大正14年〕

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版印刷、15頁、表紙「秘」(朱印)、「平沼顧問官」(印)

1 14-4

【文書名】PROTOCOLS. DECLARATION. EXCHANGED NOTES. ANNEXED NOTE.

【年月日】〔大正14年〕

【作成者】

【宛先】

【備考】冊子、活版印刷、15頁、表紙「秘」(朱印)

1 15

【文書名】〔日ソ基本条約批准に関する枢密院審査報告〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】14点、以下内訳

1 15-1

【文書名】日本国及「ソヴィエト」社会主義共和国聯邦間ノ関係ヲ律スル基本的法則ニ関スル条約御批准ノ件

【年月日】大正十四年二月九日

【作成者】枢密書記官

【宛先】

【備考】綴、謄写版、2丁、1丁目「秘」(朱印)

1 15-2

【文書名】日本国及「ソヴィエト」社会主義共和国聯邦間ノ
關係ヲ律スル基本的法則ニ関スル条約御批准ノ件審
査報告案

【年月日】

【作成者】審査委員長 審査委員(連名)

【宛先】

【備考】綴、こんにやく版、15丁、1丁目「秘」(朱印)、「平沼
顧問官」(印)

1 15-3

【文書名】日本国及「ソヴィエト」社会主義共和国聯邦間ノ
關係ヲ律スル基本的法則ニ関スル条約御批准ノ件審
査報告

【年月日】大正十四年二月二十一日

【作成者】審査委員長 枢密院副議長 一木喜徳郎ほか
審査委員8名

【宛先】枢密院議長子爵 浜尾新殿

【備考】綴、こんにやく版、15丁、1丁目「秘」(朱印)、「平沼
顧問官」(印)

1 15-4

【文書名】海上一般漁区貸下条件

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、こんにやく版カ、49頁、1頁目「参照」(朱印)、
「平沼顧問官」(印)

1 15-5

【文書名】労働露国及列国間条約中宣伝、侵略及敵対行
為禁止ニ関スル條款

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ、こんにやく版カ、19頁、表紙「参照」(朱
印)、「平沼顧問官」(印)

1 15-6

【文書名】北樺太略図

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】油田、炭鉱の書き込みあり、木版カ、ペン、1枚、裏
面「参照」(朱印)、「平沼顧問官」(印)

1 15-7

【文書名】東部西比利亜富源調査

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ、7頁、1頁目「秘」(朱印)

1 15-8

【文書名】東京ニ於ケル日露非公式予備交渉ニ依ル了解
ト今回北京ニ於テ調印セラレタル日露協定トノ比較大
要

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ、18頁

1 15-9

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔1925年1月20日〕

【作成者】芳澤謙吉、カラハン

【宛先】

【備考】往復書簡、綴、タイプ、6頁、1、4頁目「極秘」(印)

1 15-10

【文書名】露国法令上ニ於ケル私有財産権ノ範圍

【年月日】大正十三年十月調

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ、6頁、1頁目「参照」(朱印)、「平沼顧問
官」(印)

1 15-11

【文書名】契約書

【年月日】大正十一年九月七日調印

【作成者】

【宛先】

【備考】スタヘエフ・北辰会の樺太島北部油田共同開発に
ついて、綴、株式会社北辰会用紙、タイプ、カーボン、
13頁

1 15-12

【文書名】三菱合資会社「イワン・スタヘエフ」商会北樺
太石炭共同経営契約訳文

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ、13頁

1 15-13

【文書名】日本国及「ソヴィエト」社会主義共和国聯邦間ノ
關係ヲ律スル基本的法則ニ関スル条約説明書

【年月日】

【作成者】
【宛先】
【備考】冊子、活版印刷、45頁、表紙「秘」(印刷)、「参照」(朱印)、「平沼顧問官」(印)

1 15-14

【文書名】〔漁区に関する報告書〕
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】綴、タイプ、2頁、1頁目「秘」(朱印)

1 16

【文書名】清浦内閣流産始末
【年月日】〔大正13年以降〕
【作成者】松本剛吉カ
【宛先】
【備考】綴、罫紙、墨書、21丁、包紙あり、焼損あり

2 1-1*

【文書名】各新聞及雑誌社並ニ諸団体発送分
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】1-2~1-7の袋、国本社用封筒、「本月十三日発送四十五通」(朱書)

2 1-2*

【文書名】〔書簡〕
【年月日】〔昭和11年7月20日〕
【作成者】竹内賀久治
【宛先】平沼騏一郎
【備考】国本社解散につき礼状、罫紙、墨書、〔書簡〕(昭和11年7月14日消印、作成者、住吉福次、宛先、竹内賀久治)同封

2 1-3*

【文書名】〔解散の挨拶状〕
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】国本社は3月10日の理事会決議をもって解散、一紙、活版印刷、決議(謄写版、2丁)あり

2 1-4*

【文書名】理事連名挨拶状
【年月日】昭和十一年六月十日
【作成者】国本社理事
【宛先】

【備考】国本社解散の旨、一紙、活版、国本社用封筒、封筒「四百四十九通」「本社評議員、尽力者、支部長等へ発送分」(墨書)、「本月十三日発送」(朱書)

2 1-5*

【文書名】理事挨拶状案承認方依頼状
【年月日】昭和十一年六月八日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】国本社関係者への解散事情の開陳を承認依頼、一紙、活版印刷、封筒「本月八日発送セリ 三十一通」(朱書)

2 1-6*

【文書名】平沼前会長挨拶状
【年月日】昭和十一年六月十日
【作成者】平沼騏一郎
【宛先】
【備考】国本社解散につき挨拶、一紙、活版印刷、封筒「四百二十四通」「本社理事、評議員、尽力者、各新聞社、諸団体、雑誌社へ発送分」「本月十三日発送」(朱書)、同一の封筒入挨拶状あり

2 1-7*

【文書名】決議
【年月日】昭和十一年 月 日
【作成者】
【宛先】
【備考】国本社解散の決議、理事会員24名の署名・印、和紙、墨書、表紙1丁、本文3丁、白紙3丁、裏表紙1丁

2 2-1*

【文書名】〔国本社解散に関する書類〕
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】2-2~2-4の袋、表紙破損、「十一月八日」(ペン)、「総裁 平沼騏一郎殿」(墨書)

2 2-2*

【文書名】〔昭和9-11年度収支計算報告書綴〕
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】20点(以下内訳)、いずれも「竹内」「矢萩」「持丸」(印)あり

2 2-2-1

【文書名】昭和九年度収支計算書

【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】謄写版、1枚

2 2-2-2

【文書名】昭和九年度収支明細表
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】謄写版、1丁

2 2-2-3

【文書名】昭和九年拾月収支計算報告書
【年月日】昭和九年十二月二十四日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-4

【文書名】昭和九年十二月収支計算報告書
【年月日】
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-5

【文書名】昭和拾年壹月収支計算報告書
【年月日】
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-6

【文書名】昭和拾年貳月収支計算報告書
【年月日】
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-7

【文書名】昭和拾年参月収支計算報告書
【年月日】昭和拾年五月十八日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-8

【文書名】昭和拾年四月収支計算報告書

【年月日】昭和拾年五月十八日

【作成者】国本社

【宛先】

【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-9

【文書名】昭和拾年五月収支計算報告書
【年月日】昭和十年六月六日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-10

【文書名】昭和拾年六月収支計算報告書
【年月日】昭和十年七月十日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-11

【文書名】昭和拾年九月収支計算報告書
【年月日】昭和十年十月七日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-12

【文書名】昭和拾年拾月収支計算報告書
【年月日】昭和十年十一月六日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-13

【文書名】昭和十年十二月収支計算報告書
【年月日】昭和十一年一月十日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-14

【文書名】昭和十年度収支計算書
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】カーボン、1丁

2 2-2-15

【文書名】昭和十年度収支明細表

【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】カーボン、1丁

2 2-2-16

【文書名】昭和十一年一月収支計算報告書
【年月日】昭和十一年一月五日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-17

【文書名】昭和十一年二月収支計算報告書
【年月日】昭和十一年三月六日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-18

【文書名】昭和十一年三月収支計算報告書
【年月日】昭和十一年四月六日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-19

【文書名】昭和十一年四月収支計算報告書
【年月日】昭和十一年五月七日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-2-20

【文書名】昭和十一年五月収支計算報告書
【年月日】昭和十一年六月八日
【作成者】国本社
【宛先】
【備考】謄写版、カーボン

2 2-3*

【文書名】国本新聞
【年月日】昭和11年6月15日
【作成者】
【宛先】
【備考】昭和11年6月10日国本社解散、3部

2 2-4*

【文書名】〔池田成彬辞任届〕

【年月日】昭和十一年五月一日

【作成者】

【宛先】竹内賀久治

【備考】国本社理事の辞任、一紙、墨書

2 3

【文書名】〔書簡〕
【年月日】〔昭和11年6月15日〕
【作成者】佐賀県武雄町西田小路 木村欽一
【宛先】竹内賀久治
【備考】国本社の円満解散につき礼、一紙、墨書、封筒あり

2 4-1*

【文書名】平沼先生必親展
【年月日】
【作成者】
【宛先】
【備考】4-2~4-6の袋、墨書、裏面「竹内賀久治」

2 4-2*

【文書名】〔受領書〕
【年月日】昭和十一年六月十七日
【作成者】
【宛先】
【備考】昭和11年6月給料分、受領者は太田耕造、矢萩富橘、曾村久良爾、村治三郎、北條正章、小池順次、井上實、廣田桂介、笠間文作、蜂谷吉之助、持丸忠次郎、11枚、クリップ留

2 4-3*

【文書名】〔書簡〕
【年月日】
【作成者】竹内賀久治
【宛先】平沼騏一郎
【備考】国本社解散にあたっての決算報告、継紙、1枚

2 4-4*

【文書名】〔領収書綴〕
【年月日】昭和十一年六月十七日
【作成者】
【宛先】
【備考】退職手当、曾村久良治、林治三郎、北條正章、井上實、持丸忠次郎、平山或也、西村善廣、廣田桂介、小池順次、笠間文作、蜂谷吉之助、所治夫、矢萩富橘、太田耕造、謄写版、墨書、14枚、クリップ留

2 4-5*

【文書名】職員俸給表

【年月日】昭和十一年六月現在

【作成者】

【宛先】

【備考】国本社用箋、謄写版、ペン、2部、ステープル留

2 4-6*

【文書名】終身会員会費返還金調

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、国本社用箋、謄写版、鉛筆、2枚、ステープル留

2 5-1*

【文書名】平沼先生必親展

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】5-2～5-3の袋、墨書

2 5-2*

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年7月12日〕

【作成者】竹内賀久治

【宛先】平沼騏一郎

【備考】会費払戻の件、一紙、同封物「超過会費返戻現況」「振替貯金ヨリ現金払出ノ実績」(謄写版、1枚、別表あり)

2 5-3*

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年5月28日〕

【作成者】竹内賀久治

【宛先】平沼騏一郎

【備考】同封物5点(以下内訳)、封筒(国本社用、「平沼先生必親展」)入

2 5-3-1

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和十一年七月十一日

【作成者】広島市牛田町 小早川隆次

【宛先】

【備考】便箋、墨書、4枚、封筒入

2 5-3-2

【文書名】〔書簡〕

【年月日】七月九日

【作成者】川田久信

【宛先】竹内賀久治

【備考】昨日金送付を受取る、一紙、墨書、封筒入

2 5-3-3

【文書名】公債売却目録

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】国本社用罫紙、謄写版、1枚

2 5-3-4

【文書名】〔書簡〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】公債を売却し振戻会費を支払う、一紙、墨書

2 5-3-5

【文書名】〔書簡〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】国本社解散につき社員月給・振戻会費の件、一紙、墨書

2 6-1*

【文書名】平沼先生会計書類

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】6-2～6-3の袋、墨書、裏面「九月十八日 竹内賀久治」

2 6-2*

【文書名】〔国本社清水支部収納表〕

【年月日】〔昭和11年8月21日〕

【作成者】清水支部長 鈴木与平

【宛先】国本社会長 平沼騏一郎

【備考】昭和11年8月まで清水支部が収納した会費を送付する、収納表、清水支部経費交付金領収証、会員納金書一括、納付書、金券、封筒入(表書「清水支部」)

2 6-3*

【文書名】〔国本社石川支部集金明細〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】2点(国本社用封筒入)、以下内訳

2 6-3-1

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年7月3日〕

【作成者】本多政樹

【宛先】竹内賀久治

【備考】昭和11年上期集金金額を小切手をもって送付、明細同封、便箋、カーボン、2枚

2 6-3-2

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕九月十一日

【作成者】前国本社石川支部長 本多政樹

【宛先】前国本社理事 竹内賀久治

【備考】残金700円の用途の件、便箋、カーボン、2枚

2 7

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和十一年六月十日

【作成者】松倉孝三郎

【宛先】竹内賀久治

【備考】国本社解散の件、一紙、墨書、封筒入

2 8

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕五月十三日

【作成者】小野鍾山

【宛先】竹内賀久治

【備考】便箋、3枚

2 9

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕六月十七日

【作成者】佐藤鐵太郎

【宛先】平沼騏一郎

【備考】国本社解散の件、一紙、封筒入

2 10

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕六月十七日

【作成者】国本社高知支部支部長 川田久信

【宛先】竹内賀久治

【備考】高知支部来歴、国本社解散につき挨拶状、郵便紙、2丁、ステーブル留、封筒あり

2 11

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕六月廿四日

【作成者】尾崎幾治郎

【宛先】竹内賀久治

【備考】国本社解散につき、継紙

2 12

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕六月十五日

【作成者】名古屋弁護士会長 大喜多寅之助

【宛先】東京第二弁護士会長〔竹内賀久治〕

【備考】上京時の配慮に礼、一紙、墨書、封筒入

2 13

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和拾一年六月貳拾貳日

【作成者】田村源吾

【宛先】竹内賀久治

【備考】会費の件、平沼閣下真筆の依頼、一紙、封筒入

2 14

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和十一年六月九日

【作成者】河田烈

【宛先】竹内賀久治

【備考】便箋、ペン、1枚

2 15

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕六月廿三日

【作成者】仙台地方裁判所 熊谷廣司

【宛先】竹内賀久治

【備考】国本社解散の件、一紙、墨書

2 16

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕六月十四日

【作成者】三宅重三郎

【宛先】竹内賀久治

【備考】国本社解散の件、便箋、墨書、1枚、封筒あり

2 17

【文書名】〔書簡〕

【年月日】六月二十三日

【作成者】青森地方裁判所内 藤林一太郎

【宛先】竹内賀久治

【備考】会費の件、一紙、墨書、封筒あり

2 18

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕七月十八日

【作成者】小早川隆次

【宛先】平沼騏一郎

【備考】礼状、継紙、墨書、封筒あり

2 19

【文書名】〔書簡〕

【年月日】〔昭和11年〕六月六日

【作成者】小倉正恒

【宛先】竹内賀久治

【備考】国本社解散の件、継紙、墨書、封筒あり

2 20

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和十一年九月十七日

【作成者】国本社沼津支部事務主任 植田弥太郎

【宛先】国本社

【備考】解散につき残務処理の件、継紙、墨書、封筒あり、別紙あり

2 21

【文書名】〔書簡〕

【年月日】昭和十一年九月十一日

【作成者】川田久信

【宛先】国本社残務整理委員会

【備考】残務処理報告、同封物「沼津支部会費徴収明細書」、〔葉書〕（作成者、植田弥太郎、宛先、国本社）、〔沼津、清水、石川支部の現況報告〕（国本社用便箋、ペン、2枚）

2 22

【文書名】〔国本社会員名簿〕

【年月日】〔昭和10年〕

【作成者】

【宛先】

【備考】国本社用箋、謄写版、10枚

2 23

【文書名】国本社残務取扱委員作成残務整理方針

【年月日】昭和十一年六月十七日

【作成者】国本社

【宛先】平沼閣下

【備考】残務取扱委員第一回決議書（便箋1枚、3丁、紙縫にて綴じる）、平沼述「国体に関する訓辞」送付先リスト（国本社用便箋、1枚）

2 24

【文書名】〔生産力拡充計画関係書類〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】3点（以下内訳）、焼損あり

2 24-1

【文書名】昭和十六年度生産拡充緊急対策

【年月日】〔昭和16年7月7日〕

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ、謄写版、3丁、「極秘」（朱印）

2 24-2

【文書名】昭和十六年度物資動員計画ノ策定方針ニ関スル意見

【年月日】

【作成者】内務省

【宛先】

【備考】綴、タイプ、謄写版、3頁

2 24-3

【文書名】昭和十六年度物資動員計画ノ策定方針ニ関スル件

【年月日】〔昭和16年7月7日〕

【作成者】

【宛先】

【備考】綴、タイプ、謄写版、3丁、「極秘」（印）

2 25

【文書名】〔特派大使関係書類〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】3点、以下内訳

2 25-1

【文書名】中華民国国民諸君ニ告ク（平沼特派大使放送原稿）

【年月日】〔昭和17年9月〕

【作成者】

【宛先】

【備考】王精衛国民政府下の中国に対して、綴（綴じはずれ）、用紙、タイプ、謄写版、17枚、焼損あり

2 25-2

【文書名】答訪特派大使御進講案

【年月日】

【作成者】臣〔平沼〕騏一郎、臣〔有田〕八郎、臣〔永井〕柳太郎

【宛先】

【備考】王精衛国民政府答訪の際、綴（綴じはずれ）、外務省用紙、タイプ、謄写版、12枚、「極秘」（朱印）、「第一按」（墨書）、焼損あり

2 25-3

【文書名】答訪特派大使御進講案

【年月日】

【作成者】臣〔平沼〕騏一郎、臣〔有田〕八郎、臣〔永井〕柳太郎

【宛先】

【備考】王精衛国民政府答訪の際、綴（綴じはずれ）、外務省用紙、タイプ、謄写版、19枚、「極秘」（朱印）、「第二按」（墨書）、焼損あり

2 26

【文書名】〔答訪使節と汪主席其他との会談関係書類〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】4点、以下内訳

2 26-1

【文書名】答訪使節ト陳公博、周佛海両氏トノ会談要録

【年月日】〔昭和17年9月26日〕

【作成者】

【宛先】

【備考】「昭和十七年九月二十六日午前十一時半至零時半於汪公館（清水書記官同席）」とあり、綴（綴じはずれ）、外務省用紙、タイプ、謄写版、20枚、「部外極秘」（朱印）、焼損あり

2 26-2

【文書名】陳公博、周仏海両氏ト答訪使節会談ノ要旨摘録

【年月日】〔昭和17年9月26日〕

【作成者】

【宛先】

【備考】「（昭和十七年九月二十六日）」とあり、綴（綴じはずれ）、外務省用紙、タイプ、謄写版、「極秘」「部外極秘」（朱印）、焼損あり

2 26-3

【文書名】友邦ニ対スル感謝ト希望

【年月日】〔昭和17年9月〕

【作成者】

【宛先】

【備考】「（答訪使節ニ対スル汪主席ノ談話）」とあり、縦帳（綴じはずれ）、用紙、タイプ、謄写版、12枚（11頁）、「三〇部ノ内第三号」（印、ペン）、「極秘」（朱印）、焼損あり

2 26-4

【文書名】汪主席ノ答辞

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】綴（綴じはずれ）、用紙、タイプ、謄写版、2枚、焼損あり

2 27

【文書名】〔平沼騏一郎任免書類〕

【年月日】

【作成者】

【宛先】

【備考】3点、以下内訳

2 27-1

【文書名】依頼免本官

【年月日】〔昭和16年10月18日〕

【作成者】内閣総理大臣東條英機

【宛先】国務大臣平沼騏一郎

【備考】辞令、御璽あり、焼損あり

2 27-2

【文書名】内閣総理大臣たる前官の礼遇を賜う

【年月日】〔昭和16年10月18日〕

【作成者】内閣総理大臣従三位勲一等東條英機

【宛先】正二位勲一等男爵平沼騏一郎

【備考】辞令、御名御璽あり、焼損あり

2 27-3

【文書名】任枢密院議長

【年月日】〔昭和20年4月9日〕

【作成者】内閣総理大臣正二位勲一等功三級男爵鈴木貫太郎

【宛先】正二位勲一等男爵平沼騏一郎

【備考】辞令、御名御璽あり、焼損あり

2 28

【文書名】祭祀の本義（一）

【年月日】

【作成者】皇典講究所

【宛先】

【備考】縦帳、罫紙、タイプ、カーボン、8丁、「（一）」（後筆）、焼損あり

1989 - J1

荒木貞夫関係文書目録

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

1 陸軍歩兵少尉、陸軍大学入学、日露戦争出征

- 1 〔文書名〕知新録 〔年 月〕M29.3.1~39.8.6 〔備考〕荒木貞夫、冊子、手書、士官学校時代、陸大時代、隊附勤務時代の日誌
- × 2 〔文書名〕野営日誌 〔年 月〕M33.7.17~9.9 〔備考〕荒木貞夫、小版ノート
- 3 〔文書名〕三塊石山夜襲ニ関スル諸要件 〔備考〕綴、謄写版、14丁
- 4 〔文書名〕所感 〔年 月〕(M38.3) 〔備考〕荒木貞夫、ノート断片、ペン書
- × 5 〔文書名〕奉天会戦ニ於ケル戦闘詳報稿一 〔年 月〕M38.2.25~3.10 〔備考〕近衛設備混成旅団、綴、謄写版、23P
- × 6 〔文書名〕奉天会戦ニ於ケル戦闘詳報稿二 〔年 月〕M38.3.11~3.16 〔備考〕綴、謄写版、50P
- 7 〔文書名〕檄シテ日本朝野志士仁人ニ告グ 〔年 月〕M38.8 〔備考〕鷄林瀕死之志士、綴、謄写版、10丁
- 8 〔文書名〕《極秘》韓國駐劄軍配置図 〔年 月〕M39.12 〔備考〕古川少佐、地図1枚
- 9 〔文書名〕清國鐵道経営一覧表 〔年 月〕M39.12 〔備考〕三原少佐
- 10 〔文書名〕〔ロシア駐在時代のメモ〕 〔備考〕荒木貞夫、ノート1冊、ペン書
- 11 〔文書名〕〔陸軍規則メモ〕 〔備考〕荒木貞夫、綴、9枚、ペン書
- 12 〔文書名〕〔ロシア語学習ノート〕 〔備考〕荒木貞夫、ノート6冊、手書
- 13 〔文書名〕^ミ七十七・八年露軍ノ集中 〔備考〕荒木貞夫、大判2枚、鉛筆書、1878.9年の露土戦争の際のロシア軍の動員についての荒木の覚書
- 2 1 〔文書名〕鶴駕御車巡御模様 〔年 月〕M41.9.12 〔備考〕川俣町、綴、謄写版、11丁

ロシア駐在、陸大教官、ロシア軍従軍、シベリア・満洲駐在、ウラジオ派遣軍参謀

- 2 〔文書名〕軍隊教育ノ為教育學ヲ應用スルノ研究 〔年 月〕T6.12 〔備考〕偕行社記事第521附録、石井良次郎編、冊子、印刷、79P
- 3 〔文書名〕東露ニ於ケル時局ノ真相 〔年 月〕T7.7 〔備考〕南満洲鉄道株式会社調査員森御蔭、冊子、印刷、44P

B F [文書名] [年 月] [備 考]

2 4 [文書名] 哈爾濱商品陳列館館報 [年 月] T8.8 [備 考] 哈爾濱商品陳列館、冊子、印刷、106P

参謀本部作戰課長

- × 5 [文書名] 《秘》露國ノ饑饉救済問題ニ對スル觀察及對策 [年 月] T10.8.15
[備 考] 参謀本部第二部、綴、謄写版、10丁、表紙に「第五課長」と書込
- 6 [文書名] 再ヒ歐洲ノ危機ヲ見テ我ガ国民ノ覺悟ヲ問フ [年 月] T11.10 [備 考] 綴、謄写版、11丁
- 7 [文書名] 《秘》露國情勢判断 [年 月] T11 [備 考] 綴、謄写版、21丁

陸軍少将、歩兵第八旅団長

- 8 [文書名] 自千九百十七年三月~千九百二十三年五月 露國重要事件曆月輯 [備 考] 参謀本部第二部、綴、謄写版、10丁
- 9 [文書名] 聯隊長訓話 [年 月] T12.9.17 [備 考] 綴、謄写版、6P
- 10 [文書名] 《秘》参情報 1. 勞農露國特別任務軍(「チヨン」)概要 2. 勞農露國民兵制度 [年 月] T12.11.10 [備 考] 冊子、印刷、58P
- 11 [文書名] 大正十三年度教育ニ関スル特別要求事項 [年 月] T12.12.18 [備 考] 荒木貞夫、綴、謄写版、9P

憲兵司令官

- 12 [文書名] 復興日本の第一新年を迎へて我同志に檄す [年 月] T13.1 [備 考] 綴、印刷、6P
- 13 [文書名] 大正十三年度第二回体操科学生入隊校時体格比較表 [年 月] T14.1.20 [備 考] 陸軍戸山学校、綴、謄写版、8枚
- 14 [文書名] [請願用紙] [年 月] T14.2 [備 考] 印刷1枚
- 15 [文書名] 参謀長會議に於ける小松原少佐講話「露國の思想戦に就て」 [年 月] T14.3 [備 考] 参謀本部、綴、謄写版、28丁、表紙に「荒木閣下」と墨書
- 16 [文書名] 帰化外人身元調査ノ件 [年 月] T14.4.22 [備 考] 憲兵司令部、綴、謄写版、2丁
- 17 [文書名] 第一部長(黒澤少将)課題各部員作業ノ修正案 [年 月] (T12or13)

B F [文書名] [年 月] [備 考]

2 [備 考] 綴、コンニャク版、陸軍野紙6丁

参謀本部第一部長

- 3 1 [文書名] 《秘》日本國及「ソヴィエト」社会主義共和国聯邦間ノ關係ヲ律スル基本的法則ニ関スル條約 [年 月] T14. 2. 26 [備 考] 綴、謄写版、23丁、表紙に「第一部」「寫」と書込
- 2 [文書名] 日露國交恢復と對露發展 [年 月] T14. 4 [備 考] 綴、謄写版、12丁
- 3 [文書名] 勞農当局ノ農民政策ニ就テ [年 月] T14. 6. 5 [備 考] 露班、綴、謄写版、16丁、表紙に「第一部長」と朱書
- 4 [文書名] 《秘》参謀本部 勞農赤軍要務令 [年 月] T14. 6 [備 考] 参謀本部、綴、謄写版、16丁、「第一部長」朱印
- 5 [文書名] 勞農露國の状勢と其將來 [年 月] T14. 7 [備 考] 偕行社、冊子、印刷、22P
- 6 [文書名] 陸軍士官學校卒業及觀兵式ニ於ケル見聞(三毛報) [年 月] T14. 8. 10 [備 考] 参謀本部、綴、謄写版、8丁、「第一部長」の朱印
- 7 [文書名] 《極秘》露國ト馮玉祥トノ密約ニ就テ [年 月] T14. 11. 4 [備 考] 綴、謄写版、2丁、「第一部長」、「第二部支那班」と朱書
- 8 [文書名] 外國人土地法ニ關スル勅令ノ件ニ就キ軍部・外務折衝經過ノ概要(修正案) [年 月] T14. 11. 6 [備 考] 謄写版1枚
- 9 [文書名] 外國人土地法ニ關スル勅令ノ件ニ就キ軍部・外務折衝經過ノ概要(2部) [年 月] T14. 11. 6 [備 考] 陸軍省軍務課、謄写版1枚
- 10 [文書名] 《秘》ソビエト聯邦ノ「スパイ」政策 警視廳報 [年 月] T15. 2 [備 考] 綴、謄写版、4丁
- 11 [文書名] 勞農露國の軍事新聞(十月二十日調) [年 月] T15. 1. 9 [備 考] 参謀本部、綴、謄写版、7丁、「第一部長」の朱印
- 12 [文書名] 大正十五年度第二次参謀演習旅行記事 [年 月] T15. 4. 15 [備 考] 荒木貞夫、綴、謄写版、170丁
- 13 [文書名] 《秘》在歐白系露人ノ情況 [備 考] 綴、謄写版、7丁、「第一部長」と書込

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 3 14 [文書名] 軍隊内ニ於ケル共産党機関 英「ソウェート」職業運動其後ノ経過 [備考] 参謀本部、綴、謄写版、7丁、「第一部長」の朱印
- 15 [文書名] 「ソ」聯邦組織並赤化情報(露資料) [年 月] S2.4 [備考] 綴、謄写版、27丁
- 16 [文書名] 世界大戦以後特に最近に於ける佛国の對「ソウェート」關係概観 [年 月] S2.10.1 [備考] 参謀本部、綴、謄写版、5丁、「第一部長」と朱書
- 17 [文書名] 昭和二年陸軍特別大演習記念 愛知縣勢統計図 [年 月] S2.11 [備考] 愛知県、冊子、印刷、25P
- 18 [文書名] 《極秘》朝鮮當面ノ諸問題ト之ガ對策 [年 月] S3.2.7 [備考] 綴、謄写版、16丁
- 19 [文書名] 《秘》日蘇條約ト赤化宣傳 附録1 蘇聯邦對各国間條約中宣傳防止ニ關スル條項、附録2 蘇聯邦對日赤化行為ニ・三の例證 [年 月] S3.4 [備考] 参謀本部第二部、綴、謄写版、7丁、表紙に「第一部長」と書込
- 20 [文書名] 聯隊區別各学校出身將校生徒志願者採用者人員一覽表 [年 月] S3.4 [備考] 教育總監部、印刷1枚
- 21 [文書名] 自大正十三年 至昭和三年 幼年學校生徒試験全済者並採用豫定者出身學校成績序列一覽表その他 [年 月] S3.4 [備考] 教育總監部、綴、印刷、7P
- 22 [文書名] 將校生徒召募ニ關スル調査表 [年 月] S3.4 [備考] 教育總監部、綴、謄写版、2P
- 23 [文書名] 「ソウエト」聯邦反革命罪ニ關スル刑法 [年 月] S3.5 [備考] 参謀本部、綴、謄写版、5丁、「第一部長」と書込
- 4 1 [文書名] 《秘》各國赤化被害の實例 [年 月] S3.6 [備考] 参謀本部、綴、謄写版、19丁、「第一部長」と書込
- 2 [文書名] 露国通過帰朝者ニ對スル参考 [備考] 綴、謄写版、9丁
- 3 [文書名] 戦時ニ於ケル帝国ノ戦争指導特ニ其指導機關ノ組織及国民ノ指導ニ關スル事項 [備考] 岡部砲兵少佐、綴、謄写版、2丁
- 4 [文書名] 露支語修得者ニ關スル調査 [備考] 冊子、謄写版、9丁、「第一部長」と書込

陸軍大学校校長

- 5 〔文書名〕昭和二年陸軍大学校卒業式参考書 〔年 月〕S2 〔備考〕冊子、印刷、11丁
- 6 〔文書名〕卒業學生に與ふる處世上の注意 〔年 月〕S3.12.8 〔備考〕綴、謄写版、17丁
- 7 〔文書名〕昭和三年度卒業學生ニ与フル校長ノ訓示 〔年 月〕S3.12.8 〔備考〕綴、謄写版、2丁
- 8 〔文書名〕新入學生訓示(陸軍大学) 〔年 月〕S3.12.24 〔備考〕荒木貞夫、陸軍野紙6丁、手書
- 9 〔文書名〕〔訓示・意見具申控綴〕 〔年 月〕S3 〔備考〕荒木貞夫、1綴
- 10 〔文書名〕荒木貞夫宛安岡正篤書簡 〔備考〕便箋3枚
- 11 〔文書名〕荒木貞夫宛金鷄学院書簡 〔年 月〕S4.1 〔備考〕文教革新會趣意書同封
- 12 〔文書名〕文教革新會第四回議案 〔年 月〕(S4)2.22 〔備考〕金鷄学院、謄写版1枚、書込
- 13 〔文書名〕《秘》陸軍士官學校中華民國學生ノ現況等雜件 〔年 月〕S4.3 〔備考〕陸軍士官學校中華民國學生隊、綴、謄写版、16丁
- 14 〔文書名〕《秘》支那國將校候補生ノ配屬ヲ受ケタル二・三部隊ノ希望 〔年 月〕S4.3 〔備考〕陸軍士官學校中華民國學生隊、綴、謄写版、3丁
- 15 〔文書名〕《秘》支那國將校候補生 陸軍士官學校派遣前教育過程案 〔年 月〕S4.3 〔備考〕綴、謄写版、6丁
- 16 〔文書名〕《秘》陸軍士官學校中華民國學生ノ帝國及陸軍士官學校其他ニ對スル希望 〔年 月〕S4.3 〔備考〕陸軍士官學校中華民國學生隊、綴、謄写版、7丁
- 17 〔文書名〕《秘》支那國將校候補生在隊間教育取扱ニ関スル希望 〔年 月〕S4.3 〔備考〕陸軍士官學校中華民國學生隊、綴、謄写版、18丁
- 18 〔文書名〕文教革新會 第二回委員會議案 〔備考〕金鷄學院、謄写版5丁、書込
- 19 〔文書名〕東洋思想研究所金鷄學院ニ附帶スル社会教育施設ニ就テ 〔備考〕金鷄學院、謄写版2丁
- 20 〔文書名〕金鷄學院主催文教革新會報告 〔年 月〕S4.6 〔備考〕金鷄學院、冊子、印刷、28P

B F [文書名] [年 月] [備 考]

第六師団長

- 4 21 [文書名]《秘》赤軍ノ戦法ト對赤軍戦法 [年 月] S5.12 [備 考] 第六師
団司令部複寫、綴、謄写版、29丁

教育總監本部長

- 22 [文書名] 決議 [年 月] S6.9.10 [備 考] 満蒙問題聯合大会、印刷1枚
23 [文書名] 聲明 [年 月] S6.10 [備 考] 對支救國青年同盟、印刷1枚
24 [文書名] 時局に對する意見書 [年 月] (S6.11) [備 考] 石井三二馬、綴、
謄写版、6丁
25 [文書名] 日本と満洲 [年 月] (S6) [備 考] 冊子、タイプ、26丁
26 [文書名] [軍用地問題に関するメモ] [備 考] 荒木貞夫、陸軍野紙、ペン書、1
枚

陸軍大臣

5・15関係資料

- 5 1 [文書名] 意見書 [年 月] S7.5.17 [備 考] 野紙5丁
2 [文書名] [事件後の陸軍大臣激励の電報]11通 [年 月] S7.5.21~5.22受付
[備 考] 逓信省電報用紙に各1枚
3 [文書名] [事件後の陸軍大臣激励のための電報]9通 [年 月] S7.5.22~5.23
受付 [備 考] 陸軍野紙各1枚
4 [文書名] 昭和七年五月二六日 荒木大臣ノ留任ニ對スル挨拶状控 [年 月] S
7.5.26 [備 考] 綴、謄写版、40丁

意見書類

- 5 [文書名] [意見書]10点
内訳・「聯盟調査団ノ二大缺點発見」石村光三、ワラ半紙2p、ペン書
・高橋克巳、()3.31、便箋2枚
・杉山善夫、S7.7.21、野紙4丁
・麻里汪、S8.8.15、便箋5枚
・小沼秀之助、()6.7、野紙1丁
・岡田熊太郎、S7.7.22、便箋3枚

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

- 5
- ・増井潤一郎、()11. 4、巻紙
 - ・呼野義幸、S7. 4. 3、1綴
 - ・松浦市十郎、S7. 7. 8、巻紙
 - ・佃信夫、S8. 8. 5、巻紙

6 〔文書名〕〔意見書〕10点

内訳 ・満蒙桜植會「創立事務所」、S7. 4. 24、巻紙

- ・栗林信朗、S7. 7. 2、巻紙
- ・三木恵照、S7. 4. 20、巻紙
- ・木原常三、S7. 7. 9、便箋1枚
- ・机龍之助、S7. 7. 9、和紙3枚
- ・鈴木昌雄、S8. 9. 17、巻紙
- ・古谷清、S7. 8. 28、便箋3枚
- ・深澤孝、S7. 8. 25、便箋3枚
- ・大塚久雄、S8. 5. 29、便箋3枚
- ・二宮治十郎、S8. 6. 5、巻紙

封筒のみ・内田良平、大熊喜邦

7 〔文書名〕〔嘆願書〕〔年 月〕S8. 6 〔備考〕政経研究所土屋米吉、原稿用紙19枚、手書

8 〔文書名〕〔意見書〕〔年 月〕S8. 3. 21 〔備考〕角田清彦、原稿用紙11枚、手書

上海事件関係電報

9 〔文書名〕〔上海事件関係電報〕14点

- 内訳 ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 九師参62 陸軍次官宛第九師団参謀長
- ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 九師参63 陸軍次官宛第九師団参謀長
- ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 九師参71 陸軍次官宛第九師団参謀長
- ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 九師参72 陸軍次官宛第九師団参謀長
- ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 九師参73 陸軍次官宛第九師団参謀長
- ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 九師参74 陸軍次官宛第九師団参謀長
- ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 北電313 陸軍次官宛北平補佐官
- ・〈秘〉参同文 S7. 2. 17 北電318 陸軍次官宛北平補佐官

- 5
- ・《秘》参同文 S7.2.17 関参237 陸軍次官宛関東軍参謀長
 - ・《秘》参同文 S7.2.17 関参661 陸軍次官宛関東軍参謀長
 - ・一遣軍司令官次官次長宛 第62番電 S7.2.16 南京情報
 - ・上海附近支那軍配置要図 謄写版1枚
 - ・《秘》《陸軍省》三艦隊司令長官 S7.2.16 次官次長宛 機密第82番電
 - ・一遣司令官 次官次長宛 S7.2.16 65番電

満洲独立関係電報

- 10 [文書名] [満洲独立関係電報]12点

内訳 ・《秘》《大臣》S7.2.15 高103 拓務次官宛関東廳警務局長

- ・参同文 S7.2.17 朝参報176 陸軍次官宛朝鮮軍参謀長
- ・参同文 S7.2.17 朝参報177 陸軍次官宛朝鮮軍参謀長
- ・《秘》参同文 S7.2.17 朝参報178 陸軍次官宛朝鮮軍参謀長
- ・《秘》参同文 S7.2.17 朝参報180 陸軍次官宛朝鮮軍司令官
- ・《秘》S7.2.17 S電77 陸軍次官宛済南中野少佐
- ・《秘》参同文 S7.2.17 北電315 陸軍次官宛北平補佐官
- ・《秘》参同文 S7.2.17 S電78 陸軍次官宛済南中野少佐

その他

- 11 [文書名] 《秘》参同文 軍縮陸10 陸軍大臣宛壽府建川少将 [年 月]
S7.2.17 [備 考] 建川美次
- 12 [文書名] 第5回満洲青年聯盟議会議事録 [年 月] S7.5.1 [備 考] 満洲
青年聯盟、冊子、印刷、18P
- 13 [文書名] 空閑少佐ノ思出 [年 月] S7.5 [備 考] 綴、謄写版、29丁
- 14 [文書名] 《秘》満洲産業ノ現実的觀察對滿經濟ノ實際的政策 [年 月] S7.6
[備 考] 寺西秀武、冊子、謄写版、87P
- 15 [文書名] 日本道 [年 月] S7.12 [備 考] 八洲社、綴、謄写版、20丁
- 16 [文書名] 《秘》陸軍大學校 第四十三期生名簿 [年 月] S8.3 [備 考] 第
43期生會、冊子、印刷、4丁
- 17 [文書名] 《極秘》科學的兵器研究狀況要覽 [年 月] S8.10 [備 考] 陸軍
科學研究所、綴、謄写版、10丁
- 18 [文書名] [日本の綿業について] [年 月] 1933、12、11 [備 考] タイプ

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備 考〕

5 7枚

19 〔文書名〕産業組合の必要なる所以 〔年 月〕S8.12 〔備 考〕産業組合中央會發行、リーフ、印刷、12P

20 〔文書名〕産業組合は中小商業者を壓迫してゐるか 〔年 月〕S8.12 〔備 考〕全國農村産業組合協會、冊子、印刷、47P

軍事参議官

6 1 〔文書名〕〔防空演習關係資料〕

内訳・京都市防護要務規約 S9.6 京都府庁他、冊子、印刷、22P

・近畿防空演習事務打合事項 S9.6 京都府他、冊子、印刷、7P

・避難者誘導班服務要領(2部) 京都市聯合防護団、冊子、印刷、2P

・配給班服務要領、京都市聯合防護団、冊子、印刷、2P

・防毒配給班業務書、京都市聯合防護団、冊子、印刷、25P

・救護班業務書、京都市聯合防護団、冊子、印刷、12P

・連絡班服務要領、京都市聯合防護団、冊子、印刷、2P

・警護班服務要領、京都市聯合防護団、冊子、印刷、5P

・交通整理班服務要領書、京都市聯合防護団、冊子、印刷、14P

・近畿防空演習京都府燈火管制実施規定及近畿防空演習燈火管制規定同細則、京都市聯合防護団、冊子、印刷、14P

・警報班業務書、京都市聯合防護団、冊子、印刷、4P

・近畿防空演習消防關係服務要領、京都市聯合防護団、冊子、印刷、12P

・近畿防空演習消防關係實施要領附指導要領、京都市聯合防護団、冊子、印刷、13P

・防火班業務書、京都市聯合防護団、冊子、印刷、5P

・工作班業務書、京都市聯合防護団、冊子、印刷、7P

・工場防護團、防空演習參加計畫ノ説明、S9.7.15、工場防護團本部、冊子、印刷、12P

・大阪朝日新聞社工場防護分團規定、綴、印刷、5枚

・京都市広報、S9.6.27、印刷、15P

・京都市広報、S9.7.24、印刷、11P

・近畿防空演習に關する市民の心得、京都市聯合防護団、印刷、1枚

6

- ・防護分團内各班業務の概要、室町防護分團、印刷、1枚
- ・毒瓦斯の葉、菅野病院、印刷、2P
- ・近畿防空演習京都統監部教令、S9, 7, 18、近畿防空演習京都統監部、綴、謄写版、10丁
- ・上京區室町防護分團防護計畫、印刷1枚
- ・京都防護團演習計畫、S9, 2, 26、京都市聯合防護團、冊子、印刷、8P
- ・防護團成立經過概要、京都市中京區防護團、綴、謄写版、12枚
- ・中京區防護團演習指導要領、中京區防護團演習指導官、綴、謄写版、6枚
- ・中京區防護團々則案、綴、謄写版、3丁
- ・[京都地区地図]、綴1枚
- ・演習第一日京都市聯合防護團演習計畫一覽表、()7, 26、綴、印刷、3枚
- ・防空豫行演習プログラム、S9, 7, 20、朝日新聞社工場防護分團、謄写版1枚
- ・本日ノ豫定、()7, 19、滋野防護分團本部、綴、謄写版、3丁
- ・上京區防護團々則、綴、謄写版、13枚
- ・燈火管制の心得(2部)、府立醫大防護分團本部、印刷1枚
- ・近畿防空演習京都市主要防護演習位置要図、S9, 7, 26、謄写版1枚
- ・燈火管制の心得、S9, 7、京都府、印刷1枚
- ・奮へ起て全防護團員各位、S9, 7, 25、室町防護分團長、印刷2枚
- ・工場防護指導法ノ研究、工場防護團本部、冊子、印刷、19P
- ・工場防護演習要項、()7, 26、新興毛織株式会社中津工場、綴、コンニャク版、4丁
- ・久保田鐵工所工場防護分團統制圖表、印刷1枚
- ・久保田鐵工所工場防護分團編成圖表、印刷1枚
- ・深草第一防護分團編成一覽表、綴、謄写版、15P
- ・近畿防空演習一般教令、S9, 7, 1、近畿防空演習統監部、冊子、印刷、14P+付図
- ・防空演習を目ざして(2部)、S9, 7, 1、近畿防空演習京都統監部、タブロイド版新聞
- ・〈秘〉防演情報22 共産党外郭團 防空演習反對ヲ宣傳ス、S9, 7, 25、大阪憲兵隊本部、綴、謄写版、5丁
- ・〈秘〉防演情報24 空襲下ニ於ケル『スパイ』賣國奴防遏ノ為メ隼隊ヲ組織

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

6 ス、S9. 7. 26、大阪憲兵隊本部、綴、謄写版、9丁

・〈秘〉防演情報25、蘇聯邦陸軍武官ノ動静、S9. 7. 27、大阪憲兵隊本部、綴、謄写版、10丁

2 〔文書名〕大日本國防婦人會関西本部ノ概況 〔年 月〕S9. 7 〔備考〕大阪憲兵隊、綴、謄写版、8丁

3 〔文書名〕昭和九年陸軍大學校卒業式參考書 〔年 月〕S9. 11 〔備考〕冊子、印刷、38P

4 〔文書名〕亞細亞民族覺醒と團結 〔年 月〕S10. 9 〔備考〕東亞聯盟、冊子、印刷、16P

5 〔文書名〕〔電報〕4通

内訳・〈秘〉陸同文電報 S11. 1. 17 参謀次長宛関東軍参謀長

・〈秘〉陸同文電報 S11. 1. 17 参謀次長宛天津軍参謀長

・〈秘〉電報 S11. 1. 18 参謀次長宛暹羅公使館附武官

・電報 S11. 1. 18 参謀次長宛蘇邦大使館附武官

6 〔文書名〕〈秘〉満洲・北支及ビ西部支那視察報告書 〔年 月〕S11. 2 〔備考〕神田正雄、綴、謄写版、62P

予備役

7 〔文書名〕對日批判資料第11~第13輯 〔年 月〕(1936) 〔備考〕東洋協會調査部、綴、謄写版、各37P, 28P, 39P

8 〔文書名〕独土新貿易協定ト協定税率ニ関スル件 〔年 月〕S11. 7. 15 〔備考〕日土協定、綴、謄写版、2P

9 〔文書名〕〈秘〉盟秘第5號 昭和十一年八月三十日報告 此度の英埃協定に付て 〔備考〕綴、謄写版、13丁

10 〔文書名〕ソヴェート地方住民ノ食養状態(1937年6月伯林発刊コントラコミンテルン誌ニ依ル) 〔年 月〕S12. 9 〔備考〕国際思想研究会、冊子、タイプ、8P

11 〔文書名〕月刊 聯合情報 〔年 月〕S12. 9. 1 〔備考〕聯合情報社、綴、謄写版、タイプ、11P、内容は在郷陸軍大將偵察記

12 〔文書名〕銃後の財政經濟 〔年 月〕S12. 12 〔備考〕國民精神總動員中央

6 聯盟、冊子、印刷、44P

内閣参議

- 13 〔文書名〕融和事業指導者講習会要項 〔年 月〕S12.10 〔備考〕中央融和事業協会、綴、タイプ、2丁
- 14 〔文書名〕極東ソヴェート聯邦ノ近況 〔年 月〕1937.11.13 〔備考〕瀬尾榮太郎、綴、謄写版、8丁
- 15 〔文書名〕アフガニスタン記事 〔年 月〕S12.12 〔備考〕アフガニスタン倶楽部、冊子、タイプ、71P
- 16 〔文書名〕東亜土木工業組合設立趣意書 〔年 月〕S13.2 〔備考〕綴、謄写版、9丁
- 17 〔文書名〕銅自給自足ニ關スル國策要旨 〔年 月〕S13.4 〔備考〕ラサ工業株式会社、綴、印刷、18P
- 18 〔文書名〕《秘》北支綿花ノ概要 〔年 月〕S13.5 〔備考〕拓務技手、村上龍助、綴、タイプ37丁

文部大臣

- 19 〔文書名〕答申参考案 〔年 月〕S13.6.10 〔備考〕東京府知事、綴、タイプ、8丁
- 20 〔文書名〕青年学校教員に関する試案 〔年 月〕S13.8 〔備考〕教育改革同志会調査部、綴、タイプ、9P
- 21 〔文書名〕予算節約研究會要録(二) 〔年 月〕S13.8.31 〔備考〕昭和研究會事務局、綴、タイプ、25P
- 22 〔文書名〕時事懇談会名簿 〔年 月〕S14.1 〔備考〕綴、タイプ、5丁
- 23 〔文書名〕極秘 日独伊「三国協定」問題ノ経緯 〔年 月〕S14.1.9 〔備考〕綴、謄写版、26丁
- 24 〔文書名〕電力動員と電力管理 〔年 月〕S14.10 〔備考〕電気廳、冊子、印刷、29P
- 25 〔文書名〕時事懇談会名簿 〔年 月〕S15.7 〔備考〕綴、タイプ、5丁

6 その他

- 26 [文書名] 緊急施策基礎案 [年 月] S16.1 [備 考] 綴、謄写版、12丁
27 [文書名] 生産数量 [年 月] (1944以降) [備 考] 綴、謄写版、82P
28 [文書名] 《秘》『話の基地』 [備 考] 吉田曄生、綴、謄写版、5点

年代不明

- 7 1 [文書名] 露西亞革命経過 [備 考] 綴、謄写版、15丁
2 [文書名] [ソ連国内情報] [備 考] 綴、タイプ謄写版、48P、1~5PPが欠
3 [文書名] 《秘》蒙古軍隊ノ改造 [備 考] 瀬尾榮太郎、綴、謄写版、8P
4 [文書名] 橋本大尉講話筆記 勞農露國の情況 [備 考] 第十四師団司令部、綴、謄写版、37丁+付図
5 [文書名] 青天白日旗 その由来と精神 [備 考] 瀬尾榮太郎、綴、タイプ、8丁
6 [文書名] ギロチン社事件ニ現レタル無政府主義者ノ心状 [備 考] 綴、謄写版、17丁
7 [文書名] 満・鮮・支旅行記 [備 考] 盤谷タイムス掲載譯、ペストンヂー氏述、三井暹羅室、冊子、タイプ、29P
8 [文書名] [年代不明覚書]15点 [備 考] 荒木貞夫
9 [文書名] [外交] [備 考] 綴、タイプ、2丁
10 [文書名] アラビヤ語とアラビヤ文明、綴、謄写版、5丁
11 [文書名] 關神霧 [備 考] 日本學義塾、冊子、謄写版、17丁
12 [文書名] 米國々防方針 [備 考] 綴、謄写版、6丁、付箋
13 [文書名] 勞農ロシア政府并其外郭に於ける最高重要人物の略歴 [備 考] 回天時報社、綴、謄写版、16丁
14 [文書名] 先づ軍備の意義を正すを要す [備 考] 蜷川新、印刷1枚
15 [文書名] 支那ノ國民道德ノ一面觀察 [備 考] 中嶋虎吉、綴、謄写版、5丁

書籍・新聞・パンフレット等

書籍

- 8 1 [文書名] Money and Banking in the United States , Louies A. Rufener, 1938.
Houghton Mifflin Company.
-

B F [文書名] [年 月] [備 考]

8 2 [文書名] Historio de la Pensee Scientifique, François Russo, LA COLOMBE
パンフレット

3 [文書名] [パンフレット] 2点

内訳・甲種(中等程度)圖書群目録、S16. 5, 10、青年文化振興会、冊子、印刷、15P

・昭和十二年度事業概要并決算報告、S13. 3、日伊學會、冊子、印刷、18P

4 [文書名] [満洲・北支関係] 4点

内訳・國民黨と共産派の離合、S2. 11、冊子、印刷、57P

・《秘》國際眼より観たる支那、S5. 2、冊子、印刷、125P

・最近の北支事情、S10. 10、東洋協會調査部、冊子、印刷、75P

・支那事變の結末を如何にすべきか、S14. 7、相馬昌三、冊子、印刷、37P

5 [文書名] [雑パンフレット] 5点

6 [文書名] [雑パンフレット] 10点

7 [文書名] [写真] [備 考] 岡山市出身戦病死者忠魂塔(2部)、帝國在郷軍人會
岡山市聯合分會

新聞

8 [文書名] 夕張新聞 [年 月] T14. 4. 7~6. 17 [備 考] 綴、謄写版、海軍練習艦が巡航中に発行したもの

9 [文書名] 名取新聞 [年 月] S4. 6~10. 21 [備 考] 綴、謄写版、海軍練習艦が巡航中に発行したもの

露語抜粹

10 [文書名] [露語新聞雑誌抜粹] 6点

外務省情報部資料 [外務省発行パンフレット]

11 [文書名] 第426号 "Colonial Raw Materials" from "Round Table, March, 1936"
[年 月] S11. 5. 21 [備 考] 綴、タイプ、14P

12 [文書名] 第427号 "Peaceful Change" An Address by Professor A. J. Tynbee.
[年 月] S11. 5. 25 [備 考] 綴、タイプ、31P

13 [文書名] 第442号 "The Red Army" [年 月] S11. 7. 6 [備 考] 綴、タイプ、16P

14 [文書名] 第443号 "Fast-changing Manchukuo" [年 月] S11. 7. 6 [備 考]
綴、タイプ、3P

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 8 15 [文書名] 第444号 "A Ruinous Principle" [年 月] S11.7.8 [備 考]
綴、タイプ、3P
- 16 [文書名] 第445号 "Puzzled France" [年 月] S11.7.13 [備 考] 綴、タイプ、13P
- 17 [文書名] 第446号 "Blum Grapples with the families" [年 月] S11.7.14
綴、タイプ、13p

書簡

- 9 1 [文書名] 荒木貞夫宛 [年 月] ()2.10 [備 考] 野紙6枚
- 2 [文書名] 菊池慎之助宛荒木貞夫書簡控 [年 月] T10.10.16
- 3 [文書名] 荒木貞夫宛Ф. Лоротинов書簡 [年 月] 1929.3.12
- 4 [文書名] 荒木貞夫宛W. E. Clark書簡 [年 月] 1933.8.18 [備 考] 英語版
コピー8部、日本語訳24部
- 5 [文書名] 荒木貞夫宛G. W. Blodgett書簡 [年 月] 1933.8.18 [備 考] 英語
版コピー12部、日本語訳21部
- 6 [文書名] 荒木貞夫宛Архивариат Василии書簡 [年 月] 1938.2.7 [備
考] 便箋4枚

荒木貞夫関係文書についてのスコープ

荒木貞夫関係文書がどのような経緯で The East Asian Collection の所有するところとなったかは現段階では明らかではない。荒木家の談話からは次のような経緯が推測される。

東京大学法学部研究者を名乗る男が、戦後A級戦犯から仮釈放の身となった荒木のもとを訪れ、史料の寄託を申し入れた。荒木はそれを諒とし、史料の一部を東京大学法学部研究室へ寄贈することとした。しかし、後日判明したところによれば、そのような研究者は実在せず、史料は古書市場に売りに出されていたという。

以上の点から判断すれば、その際市場に出された史料の大部分をフーバー研究所が買いとったということになりそうである。

現在、荒木貞夫文書は、Ⅰ、フーバー研究所アーカイブス[本史料]、Ⅱ、東京大学法学部史料センター[購入史料と荒木の秘書からの寄贈史料からなる]、Ⅲ、国立国会図書館憲政資料室[荒木家からの寄贈史料からなる]の三ヶ所に分置されている。

分類は、陸軍歩兵少尉から文部大臣に至るまでの荒木の履歴に従って行い、その他に、書籍・新聞・パンフレット、書簡[意見書・具申類を除き私信に限った]の項を立てた。

荒木文書は、荒木の履歴の示す通り、大部分が大正から昭和初期にかけての陸軍部内の得難い史料となっている。主なものとしては、日露戦後のロシア駐在時代のメモ、革命後のソビエトの内情についての諜報資料、上海事件関係電報、昭和九年防空関係資料、外務省情報部資料等があげられる。なかでも、参謀本部作戦課長時代から同第一部長時代にかけての史料は、ロシア革命直後のソ連に対する陸軍の情勢分析がいかなるものであったのかを知るのに絶好の情報群であるといえよう。

荒木貞夫(1877.5-1966.11)略歴

- 1877(M10) 5月26日、旧一橋家家臣荒木貞之助(小学校長・東京府士族)の長男として生まれる
- 1897(M30) 日本中学(中退)を経て11月、陸軍士官学校 卒(9期)
- 1898(M31) 6月、少尉、近衛歩兵第1連隊付
- 1900(M33) 11月、中尉
- 1901(M34) 3月、中央幼年学校生徒隊付
- 1902(M35) 8月、陸軍大学校(卒)
- 1904(M37) 2月、近衛後備歩兵第1連隊中隊長として動員される 5月、近衛後備混成旅団副官 6月、日露戦争出征 8月、大尉
- 1905(M38) 11月、日露戦争より復員 12月、近衛歩兵第1連隊付
- 1906(M39) 4月、陸軍大学校へ復校
- 1907(M40) 11月、陸軍大学校 卒(19期・首席卒業生)、参謀本部出仕(ロシア班)
- 1908(M41) 4月、参謀本部部員
- 1909(M42) 11月、少佐 12月、ロシア駐在
- 1912(M45) 5月、ロシア公使館付武官補佐官
- 1913(T02) 4月、参謀本部部員
- 1914(T03) 3月、陸軍省副官 8月、陸軍大学校教官
- 1915(T04) 4月、ロシア出張 6月、ロシア軍従軍(1918.4月まで) 8月、中佐、参謀本部付仰付
- 1918(T07) 1月、シベリア・満州駐在(1919.7月まで) 7月、大佐 11月、浦塩派遣軍参謀
- 1919(T08) 7月、歩兵第23連隊長
- 1921(T10) 4月、参謀本部課長
- 1923(T12) 3月、少将、歩兵第8旅団長
- 1924(T13) 1月、憲兵司令官
- 1925(T14) 5月、参謀本部第1部長
- 1927(S02) 7月、中将
- 1928(S03) 8月、陸軍大学校校長
- 1929(S04) 8月、第6師団長
- 1931(S06) 8月、教育総覧部本部長 12月、陸軍大臣(1934.1月まで、犬養・斎藤内閣)
- 1933(S08) 10月、大将
- 1934(S09) 1月、軍事参議官

1935(S10) 12月、男爵 ←
1936(S11) 3月、予備役
1937(S12) 10月、内閣参議(1938. 5月まで)
1938(S13) 5月、文部大臣(1939. 8月まで、第1次近衛・平沼内閣)
1939(S14) 12月、内閣参議(1940. 8月まで)
1948(S23) 11月、終身刑宣告(A級戦犯)
1954(S29) 5月、仮釈放
1966(S41) 11月2日、死亡

〔備考〕 ★弟・荒木貞亮も軍人、海軍少将

1989 - J2

いりえ としお

入江俊郎(1901.1-1972.7)略歴

- 1901(M34) 1月10日、入江正機(東京府士族)の2男として生まれる
- 1923(T12) 12月、高等試験行政科試験合格
- 1924(T13) 4月、東京帝国大学法学部独法科 卒 5月、内務属・地方局勤務
- 1925(T14) 10月、地方事務官・埼玉県勤務
- 1927(S02) 6月、法制局参事官
- 1934(S09) 5月、東京帝国大学農学部講師嘱託(1939.3月まで) 8月、行政裁判所評定官
を兼任(1939.5月まで)
- 1938(S13) 1月、法制局書記官を兼任(1939.4月まで)
- 1939(S14) 4月、法制局第3部長
- 1945(S20) 9月、法制局第1部長 11月、法制局次長
- 1946(S21) 3月、法制局長官 5月、貴族院議員(勅選、1947.5月まで)
- 1947(S22) 5月、法制局長官辞職
- 1948(S23) 4月、国立国会図書館専門調査員 7月、衆議院法制局長
- 1952(S27) 8月、最高裁判所判事
- 1971(S46) 1月、定年退官 4月、駒沢大学教授
- 1972(S47) 7月18日、死亡

〔備考〕 ★著書に『憲法成立の経緯と憲法上の諸問題－入江俊郎論集－』（第一法規
出版、S51）

入江俊郎関係文書目録

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備 考〕

- 1 1 〔文書名〕 労災法(昭和三)、警務官タル事務官勅任ノ件(昭和三)、視学官及視学特別任用ノ件(昭和三)、治安維持法中改正一件 〔備 考〕 S2~3年までの書類の合冊

内訳・労働者扶助法案 謄写版、5丁、書込

・官國幣社職制中改正一件 (S3) 謄写版、15丁、書込

・官制俸給及任用改正勅令案 S3. 6. 22 謄写版、22丁、書込、「特別高等警察期間充実の為」の一連の法改正

・視学官及視学ノ任用ニ關スル件及警官ノ初級官等ニ關スル件
S2. 10~3. 3 謄写版、内務省用箋に78枚、法案から決定案まで

・〔治安維持法改正一件書類〕 S3. 5. 21~5. 26

1. 國體擁護ニ關スル件 謄写版、15丁、

2. 治安維持法理由 司法省刑事局作成、冊子、印刷、13P

3. 治安維持法改正立法資料 司法省刑事局作成、謄写版、31丁

1989 - J3

(仮)

篠田治策関係文書に関するメモ

篠田治策関係文書がどのような経緯でThe East Asian Collectionの所有するところとなったかは、現段階(1989. 8)では定かでない。おそらく、戦後直後の時期に何らかの事情で売りに出されたものをThe East Asian Collectionが買い取ったのであろう

分類は大きく次のようになされている。

I・・・The East Asian Collection地下2階の書庫でBoxに保存されていたもの。No. 12・13・14の番号をもつ旧Boxから明らかに篠田以外のものだと判断される文書を取り除き、新たにBox No. 1・2・3として整理した。

II・・・Iの周辺に未整理のまま積み上げられていた文書のうち、その保管位置、文書のテーマと篠田の履歴との対照、綴込みの書簡などから篠田のものと考えてよい文書を、間島関係(Box No. 4・5)、朝鮮関係(Box No. 6・7・8)、その他(Box No. 9・10)として整理した。

Ⅱ その他の朝鮮relation

篠田文書は、その履歴の示す通り、大部分が朝鮮半島に拘わるものとなっている。統監府などの官僚として自然に入手される各種の情報・調査書類に加えて、学位論文・朝鮮史編修・その他の著作執筆のためになんか意識的に収集・整理された史料が残されている。日露戦争以降の朝鮮・間島問題を考える際、貴重な示唆を与えてくれる史料である。

末松保和 『朝鮮学報』

篠田 治 策 (1879.10-1946.1) 略 歴

- 1879(M09) 10月12日、篠田次郎七の長男として静岡県小笠郡池新田村に生まれる
- 1899(M32) 錦城中学・第一高等学校を経て、東京帝国大学法科大学仏法科 卒
12月、弁護士登録、東京にて開業
- 1904(M37) 日露国交断絶(2月)を機に、6月、第三軍国際法顧問として従軍
- 1907(M40) 6月、統監府臨時間島派出所事務官(総務課長)
- 1909(M42) 10月、統監府秘書官・農商工部書記官
- 1910(M43) 10月、平安南道内部部長
- 1912(T01) 家督を相続
- 1915(T04) 5月、平安南道第一部長
- 1919(T08) 浦鹽派遣軍政務部嘱託を経て、9月、平安南道知事
日露戦争後、主に間島問題の解決に当たる
- 1922(T11) 学位論文「間島に関する國際爭議」「日露戦役國際公法」を東大教授会に提出、
3月30日付をもって法学博士の学位を受く
- 1923(T12) 2月、李王職次官、朝鮮史編修委員
- 1927(S02) 李王垠殿下同妃欧州渡航に随行、帰国後『欧州御巡遊随行日記』を著す
- 1932(S07) 7月、李王職長官
- 1940(S15) 3月、李王職長官退職 7月、京城帝国大学総長
- 1944(S19) 3月、京城帝国大学総長辞職
- 1946(S21) 1月23日、死亡

〔備 考〕 ★趣味－柔道（講道館三段、財団法人講道館朝鮮支部長、朝鮮有段者会長）、ゴルフ

★その他の著書に『會社法釋義』、『日露戦役國際公法』、『文祿役と平壤』（平安道教育會、1919、J220.497 Sh66）、『臺灣を視る』、『白頭山定界碑』（樂浪書院、1938、J221.05 Sh66）など（番号は The East Asian Collection のもの）

★弟・篠田次助は軍人、台湾守備司令官・軍人会館理事長など歴任、陸軍中将

〔参考文献〕『人事興信録』（株式会社人事興信所、各年度版）、『新日本人物体系』（東方經濟出版部、1936）、『帝大出身録』（同編集所、1922、6、20）、『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』（東京大学出版会、1981）

朝鮮

17

篠田治策関係文書

I 旧Box関係(旧Box番号12・13・14)

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] 江華島條約関係資料 [備 考] 合冊(主に4点の資料)、手書
内訳・江華島條約締結當時及前後事情 史料蒐集件、高宗13年丙子、書込、墨、漢文、「李王職實録編纂用紙」使用
・江華島條約、丙子正月、墨、漢文、「李王職實録編纂用紙」使用
・朝鮮ニ使節ヲ派遣スルノ旨意・機密別信第二號ノ一 [その他]、書込、ペン書、森大臣と沈大臣の対談記録など収録
・謹將朝鮮陪臣金允植投遞密書照鈔恭呈・論日本派使入朝鮮 [その他]、書込、ペン書、主に漢文(一部に日本文あり)、主に「李王職實録編纂用紙」使用
- 2 [文書名] 大正八年 シベリヤにおける朝鮮人 浦塩派遣軍政務部調査及び篠田治策意見 [備 考] 一件書類、手書・謄写版・タイプ・カーボン・印刷を含む、「露領極東ニ於ケル韓國人ノ状態」「西伯利亞移住朝鮮人ニ關スル意見書」など、各種調査書・意見書・書翰を収録
- 3 [文書名] 関東大震災當時 朝鮮人ノ感想 [年 月] T12.10.30 [備 考] 洪承均報告、冊子、謄写版、17丁
[文書名] 在滿鮮人に就て〔第一〕附在滿鮮人思想團體の概況 [年 月] S3.4
[備 考] 星野桂吾記、冊子、印刷、21p
[文書名] 供高覽 在滿鮮人思想團體分布の概要 第二 附高麗共和國建設籌備委員會に就て [年 月] S3.7 [備 考] 星野桂吾記、冊子、謄写版、18丁、巻末に「在滿鮮人思想團體分布圖」あり

● 朝鮮人 在滿鮮人思想團體分布圖

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 2 1 [文書名] 韓末外交秘史 [年 月] S5. 秋 [備 考] 西四辻公堯著、冊子、謄写版、133丁
- 2 [文書名] 日韓関係諸資料 [備 考] 一件書類、手書・謄写版・タイプを含む、表紙に青字のチェックのはいった目次あり、それに従って散逸分を整理したがなお不正確、裏表紙に「篠田様 田中源市 安江」と墨書
- 3 [文書名] 《極秘》韓国忘失ノ原因(太院君、李太王、閔妃ノ罪惡録) [備 考] 冊子、謄写版、60丁、書込
- 4 [文書名] 朝鮮人の満洲進出 朝鮮銀行・領事館・満鉄・関東庁調査 [備 考] 二件書類、手書・謄写版・タイプ・カーボン・コンニャク版を含む、「鴨緑江右岸及渾江流域居住韓人ノ状態」「北滿在住朝鮮人の状況」など26点の調査書・意見書・書翰及び「間島各社別韓清住民數比較圖」「滿洲國軍警配置圖」など16点の地図を収録
- 3 1 [文書名] 《秘》朝鮮獨立騒擾事件概要 [備 考] 冊子、謄写版、58p、目次あり
- 2 [文書名] 不逞事件ニヨツテ得タル朝鮮人側面觀 [備 考] 國友尚謙述、合冊、謄写版、「《秘》不逞事件ニ依ツテ觀タル朝鮮人」(226丁)、「《秘》不逞事件ニ依ツテ得タル朝鮮人ノ側面觀」(76丁)収録、書込

⑧ 〇 朝鮮銀行

〇 領事館

〇 朝鮮銀行 大10

〇 領事館 大10

〇 朝鮮銀行 大10

旧Box外関係

B F [文書名] [年 月] [備 考]

〈間島関係〉

- 4 1 [文書名] 間島勘界事實 [年 月] M19-21 [備 考] 合冊(二・光緒12年、三・光緒13年、四・光緒14年の3冊合本)、コンニャク版
- 2 [文書名] 間島ニ關スル鍾城郡郷廳ノ公文書 [年 月] M40.9 [備 考] 冊子、謄写版、漢文、M15~17頃の郷廳公文書
- 3 [文書名] 間島ト日韓及ヒ北滿州トノ関係 [年 月] M41.12 [備 考] 統監府臨時間島派出所長 齋藤季治郎作成、冊子、墨書、32丁、朱で書込
- 4 [文書名] 清國政府來覆間島問題境界論覺書ニ對スル意見 [年 月] M42.6 [備 考] 統監府臨時間島派出所調、冊子、コンニャク版、44丁
- 5 [文書名] 間島一班 [年 月] (M42) [備 考] 冊子、謄写版、81丁、表紙に「統監府臨時間島派出所之印」あり、目次あり
- 6 [文書名] (6)間島ニ於ケル不逞鮮人團ノ状況 [年 月] T9.10 [備 考] 冊子、謄写版、25丁、目次あり
- 7 [文書名] 《秘》軍隊出動後ニ於ケル間島在住鮮人ノ状況 [年 月] T9.11 [備 考] (朝鮮總督府)警務局作成、冊子、謄写版、17丁
- 8 [文書名] 《秘》西間島ニ於ケル不逞鮮人團體ノ状況 [年 月] T9.11 [備 考] 朝鮮總督府警務局作成、冊子、謄写版、15丁、目次あり *negative*
- 9 [文書名] 《秘》西間島ニ於ケル不逞鮮人團ニ關スル參考書類 [年 月] T9.11 [備 考] 朝鮮總督府警務局作成、冊子、謄写版、69丁、「大韓獨立團約章」「大韓獨立團内地分置機關臨時通則」など収録 *negative*
- 5 1 [文書名] 軍隊出動後ニ於ケル間島不逞鮮人団体ノ状況 [年 月] T10 [備 考] 冊子、謄写版、44丁、表紙なし、目次あり *negative*
- 2 [文書名] 《秘》間島問題調査書 [備 考] 合冊(第1、第2、第3、第4・5、第6の5冊の合本)、主に境界問題を扱う
- 3 [文書名] 間島勘界備考 [備 考] 冊子、コンニャク版、33丁

B F [文書名] [年 月] [備 考]

〈 朝 鮮 関 係 〉

- 6 1 [文書名] 統監府派出所設置以来ノ状況報告書 [年 月] M41.1.31 [備 考]
統監府派出所長 齋藤季治郎作成、冊子、謄写版、54丁
- 2 [文書名] 延吉廳領土問題之解決 譯文 [年 月] M42.6 [備 考] 湖北・匡
熙民著の翻訳、冊子、カーボン、214丁
- 3 [文書名] 《秘》朝鮮外ニ於ケル朝鮮人状況一般 [年 月] T7.12 [備 考]
拓殖局作成、冊子、謄写版、68丁、目次あり
- 4 [文書名] 《秘》露領ニ於ケル不逞鮮人の状況 [年 月] T10.1 [備 考] 警
務局作成、冊子、謄写版、14丁、目次あり
- 5 [文書名] 蔚山ニ於ケル清正公之遺蹟(かま城) [年 月] T12 [備 考] 谷
井濟一編述論文の写し及び資料、冊子、謄写版、29丁
- 6 [文書名] 《秘》大正九年十月以降 鮮内重要事項 [備 考] T9.7.17-T10.1.18
の高警情報など写し、冊子、謄写版、216丁、書込
- 7 1 [文書名] 《秘》大正九年十月以降 國境地方侵入及檢舉情況 [備 考] T9.10.1
T10.2.14の高警情報写し、冊子、謄写版、63丁
- 2 [文書名] 《秘》大正九年自十月至12月 國外情報 [備 考] T9.10.2-12.28の高
警国外情報写し、冊子、謄写版、64丁
- 3 4 [文書名] 大正十年一月以降 國外情報 [備 考] T10.1.7-2.14の高警・国外情
報写し及び大韓民国2年7月1日-9月13日の司令部日誌写し、冊子、謄写版、91丁
- 4 5 [文書名] 假政府ノ組織ト不逞鮮人ノ行動 [備 考] 冊子、謄写版、149丁、目次
あり
- 8 6 [文書名] 朝鮮独立運動ニ関スル文書 [備 考] 冊子、謄写版、一部欠損、目次
あり

② 3 大正九年頃平安南道治安状況

平安南道警察部

大正九年頃作成

B F [文書名] [年 月] [備 考]

✓

(資料関係)

- 8 1 [文書名] (朝鮮関係論文綴) [備 考] 合冊(「南漢山城」「朝鮮國通信使易地行聘考」など15点の論文)、手書き・謄写版・印刷を含む、書込、表紙に収録論文の一覧あり
- 2 [文書名] 食糧政策再建と朝鮮 [年 月] S14. 11. 5 [備 考] 京城日報經濟部 嶋元勤記、京城日報社刊、パンフ、印刷、53P
[文書名] 躍動する兵站基地半島 [年 月] S16. 2. 10 [備 考] 京城日報經濟部 高田信一郎記、京城日報社刊、パンフ、印刷、60P
[文書名] 食糧基地朝鮮を見直せ [年 月] S16. 8. 20 [備 考] 京城日報經濟部次長 近藤一馬記、京城日報社刊、パンフ、印刷、31P
- 3 [文書名] 王公族審議會參考書類 [備 考] 合冊(「王公族審議會次第」「李王家財政ノ現況」など約13点の資料)、タイプ・手書き・謄写版を含む、186丁、書込・付箋、裏表紙に簡単な目次あり

〈 そ の 他 〉

- 9 1 [文書名] 臺灣史料 [年 月] M32. 12(T6. 3複写) [備 考] 表紙署名は「外務省」カ、冊子、謄写版、563丁
- 2 [文書名] 附録自第一号至第廿六号 旅順要塞整理残務ノ概況 [備 考] 冊子、謄写版、117丁、旅順要塞司令部用箋にメモ、書込
- 10 1 [文書名] 外國人私有財産整理終結 報告書 [備 考] 冊子、謄写版、102丁、「煙炭及び撫順炭鑛の没収に関する件」と題された別紙、書込、表紙に「旅順」の印
- 2 [文書名] 外國人私有財産整理終結報告書 附録書類 [備 考] 旅順外國人私有財産整理委員事務所作成、冊子、謄写版、152丁、「末尾へ」と題された篠田治策メモ、書込
- 3 [文書名] 大正8年頃 シベリヤの状態 [備 考] 一件書類、手書・謄写版・カーボン・青ヤキを含む、「聯合軍作動地帯内ニ於ケル東支鐵道及西比利橫断鐵道監督案」「『カルムイコフ』隊ヨリ米軍ニ投降シタル者ノ武器返還要求ニ關スル意見」「大正八年三年十八日 復命書一」「猶太人ノ情報(第三師團報告)」「帝國軍隊ノ出動地方ニ於ケル裁判管轄權ニ關スル私見」など、27点の調査書・報告書・意見書を収録

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 11 1 [文書名] 西比利亞の最近政情 [年 月] T9, 7, 25 [備 考] 對露同盟會、パンフレット、印刷、25P
- 2 [文書名] 海拉爾洗毛場概要 [年 月] S13.1 [備 考] 海拉爾洗毛場作成、冊子、タイプ、20P、後半部欠損
- 3 [文書名] 富拉爾基酸乳製造所概況 [年 月] S13.3 [備 考] 冊子、謄写版、18丁、書込
- 4 [文書名] 滿蒙出兵問題に對する意見書 全國勞農大衆黨に提出したるもの [備 考] 全國勞農大衆黨顧問代議士 松谷與二郎作成、冊子、印刷、10P、未整本

1992. 8. 13

水野直樹作成

Hoover Institution

篠田治策関係文書

Box 7	File 2	内容
〔表紙〕大正八年 シベリヤに於ける朝鮮人 浦潮 3枚 遺軍政務部調査 及び 篠田治策意見		
〔内容〕① 露領極東ニ於ける 韓国人の状況 統監府外務部 明治40年 12月 印刷 4枚 地圖 2枚 (表紙に 統監府印出所之印あり) 〔「浦潮新徳本邦貿易事務官ヨリ 統監府ニ提出シタル 報告書」〕		
・ 在外 韓人帰来ニ関スル件 手書 6枚 (別表ニ含む) 平安道用紙		
・ ホルワット長官ニ交渉スルキ要約 手書 2枚 陸軍用紙		
② 極東要領ニ於ける 朝鮮人ニ関スル意見書 手書 草稿 22枚 大正8年 2月 篠田 事務官 大谷軍司令官宛		
③ 西伯利亞に在る朝鮮人ニ関スル意見書 篠田治策 大正10年3月4日 2470 16丁		
④ 在露領 排日 朝鮮人取締ニ関スル私見 統監府通次官 木藤克己 大正7年10月3日 手書 カボン 10枚		
⑤ 在岡島 未松吉次 ヨリ 篠田 事務官 宛 手書 カボン 5枚 大正8年5月15日		
⑥ 露領 在在朝鮮人統治ニ関スル 意見提出ノ件 浦發第4号 大正10年3月4日 浦潮 遺軍司令官 政務部 喉舌 事務官 山崎 雄		
(文書本体系 大正10年2月 謄写版 9丁)		
・ 〔三矢 協定 関係 文書 4点 28丁〕		
・ 朝鮮ニ於ける 従来ノ 帰化法ニ 就テ 手書 7枚 (篠田?)		
・ 1899年 編纂 露国法律在書 第10輯 第3章中 外人ノ 帰化ニ関スル 法規 手書 カボン 5枚 (陸軍用紙)		
⑦ 搬文 4252年7月 韓人会 (「露文ヨリ 再訳 原文朝鮮語」) 手書 カボン 2枚		

Box 1. File 2 (続1)

① 独立運動反対宣言書 在滿朝鮮実業協会

手書 カーボン 4枚 (陸軍用紙 ^{頭紙} 大正4年滿洲ニ於テ朝鮮人ニテ振布シタル原案アリ、此計画大ニ効果アリ、云々の
書出サ。篠田のサイン ~~あり~~ あり)

・ 蘇城住民ノ情况 手書 カーボン 3枚

② 地滿地方朝鮮人ノ状況 (大正4年?) 手書カーボン 34枚 陸軍用紙

・ 鮮人終結ノ沿革 (ロシア書出の翻訳) ゴルザトーフスキー

手書 2枚

・ 在露朝鮮人ノ人口其他 (1915年調査表)

手書 カーボン 22丁

・ 千九百十二年ニ至ル露國極東ニ於ケル鮮人ニ付キテ

[グラデー著の翻訳] 手書カーボン 40丁 陸軍用紙

③ 露領滿洲方面 在住朝鮮人ニ對スル健康施設ノ状況

大正4年 総督府事務官 山崎真雄

謄写版 5丁

④ 極東西伯利亞ニ於ケル水産事業ト朝鮮人

謄写版 75丁 大正10年2月 総督府政務官 山崎真雄

・ 極東露領ニ於ケル朝鮮人ノ状況

[グラデー著の翻訳] 謄写版 15丁

Box 2 File 4

〔表紙〕 朝鮮人の満洲進出 朝鮮銀行・領事館・滿鉄・関東庁 調査

〔内容〕・鴨綠江右岸及渾江流域居住韓人ノ状況 (在關安東領事館調査書摘要) 〔明治42年?〕. コニヤク版 20丁 地圖2枚

・朝鮮人ノ南滿洲居住状況 (朝鮮銀行月報臨時増刊)

活版 12頁

① 滿洲ニ於ケル 居住韓人ノ状況 大正5年11月

安東某尾田内 朝鮮人組合 発行 活版 37頁

・ 滿洲^在居住朝鮮人ノ現状ト其ノ政情問題 石津半治

大正5年7月 謄写版 33丁

・ 問島ノ富源 (大正¹⁰¹年發行社記事(特号))

〔筆者佐 達早ニ筆主正平山 多次郎〕 活版7頁

写真2頁 地圖1枚

・ 吉林地方朝鮮人ノ現状調査 牛書カ-ホ 9枚 滿鉄用紙

・ 滿洲地方ニ於ケル朝鮮人ノ経済及金融状況 朝鮮銀行

調査部 活版 34頁 〔大正10年頃〕

② 國 朝鮮人概況 関東庁警務局 〔大正10年12月^末調査^{未調査}〕

謄写版 49丁

③ 北滿在居朝鮮人ノ状況 在哈爾濱 朝鮮總督府派遣員

大正11年5月 活版 21頁 地圖1枚

・ 西豊果梅鹿 領事分館調査 大正12年1月4日回答

タ17° 14丁 滿鉄用紙 〔朝鮮人状況、以下同く〕

・ 新民屯 副領事調査 大正12年1月25日

タ17° 9枚 滿鉄用紙

Box 2 File 4 (続)

- ・ 東蒙方面ニ於ケル鮮人ノ現状 鄭家屯公署 大正12年1月中旬
手書 カ-ボン 35丁 瑞鉄用紙
- ・ 長春附近鮮人状況調査 長春地方事務所長 大正12月1日25日
タ170 4丁 瑞鉄用紙
- ・ 鮮人ニ関スル回答ノ件 在牛莊大日本帝國領事 大正12^年11月17日
タ170 15枚 瑞鉄用紙
- ① 間島ノ状態改善ニ関スル私見 法学博士 篠田篤策
昭和9年7月1日 タ170 5丁
- ・ 第一節 最近間島問題ノ経緯^(??)と我々外務省方針
〔昭和6年〕 謄写版 14丁 〔此ノ節は全し〕
- ① ④ 間島在住四十万ノ日僑王政ニ 附 朝鮮人 難受難 調査報告書と
間島ノ事情概要 間島協会 昭和5年10月20日
謄版 27頁+7頁
- ① ④ 間島農兵隊 設置意見書 岩佐少将 昭和7年10月
謄写版 17丁 表2、地図1
- ・ 〔在瑞朝鮮人人口表 6枚〕
- ・ 〔長居件 意見書 (在瑞朝鮮人問題) 篠田宛〕 手書 6枚
- ② 在瑞朝鮮人指導要綱 関東軍司令部 昭和11年4月15日
タ170 3枚 朝鮮総督府用紙
- ③ 瑞洲国ニ於ケル鮮農兵概要 関東軍司令部 昭和11年4月24日
手書 2枚 朝鮮総督府用紙
- ④ 鮮農兵連親制 延安定実施要領 拓民事務処理委員会
昭和12年1月22日
- ・ 地図数種

濱田徳海関係文書についてのスコープ

HAMADA uchir

濱田文書がどのような経緯で The East Asian Collection の所有するところとなったかは、現段階(1989年8月)では、必ずしも明らかではない。おそらく、戦後直後の時期に何らかの事情で売りに出されたものを The East Asian Collection が買いとったのであろう。

・ 濱田はその履歴の示す通り、本来大蔵省税務畑の人物であるが、本関係資料に収録されているものは、興亜院華中連絡部の囑託となって中支那派遣軍の税制に関する^{adviser}アドバイザーとしての職務を果たした時期にほぼ集中している。よって、項目を立てて分類することはせず、史料の作成時期によって~~クロノロジカル~~な分類を行った。
年月日順に

濱田文書は、その大部分が、日中戦争期の現地日本軍による占領地域・傀儡政権行政区の治安維持と経済的施策に関する極秘史料とからなっている。主なものとしては、海関金問題に関する資料、阿片制度実施書類、南京特務機関関係書類、中支那派遣軍直轄地治安関係資料等があげられる。日本政府や陸軍中央の意向からある程度の独自性をもった中支那派遣軍が、警察・教育・産業・税制と多岐に亘る^{Grand Plan}グランドデザインをどのように実行に移そうとしていたのかということが明らかとなる、極めて貴重な史料である。

5 boxes 22
 31
 28
 19
 11
 11
 11 1 莫

✓ 徳

はまだ

くつかい

濱田 徳海 (1899. 8. 7-1958. 6. 15) 略 歴

- 1899(M32) 8月7日、濱田時中の2男として鹿児島県に生まれる
- 1923(T12) 12月、高等試験行政科・司法科合格
- 1924(T13) 3月、東京帝国大学法学部政治科 卒 4月、大蔵省入省、以後大蔵本省・税務署
長勤務等を経験
- 1939(S14) 8月、興亜院事務嘱託・興亜院華中連絡部 12月、興亜院調査官兼大蔵書記官・
興亜院華中連絡部・大蔵省理財局・陸軍省事務嘱託・支那派遣軍司令部付(1940.
5月まで)
- 1940(S15) 5月、大蔵書記官・銀行局銀行課長
- 1941(S16) 大臣官房会計課長
- 1942(S17) 11月、専売局理事・塩脳部長
- 1945(S20) 1月、大使館参事官・中華民国在勤
- 1946(S21) 6月、大蔵事務官・大臣官房 同月、辞職
- 1958(S33) 6月15日、死亡

[付記] この略歴は、柴田善雅氏(大蔵省財政金融
研究所財政史室、1989年現在)のご協力を
得て作成した。

濱田德海關係文書目錄

B F [文書名] [年 月] [備考]

- 1 1 [文書名] 國際思想研究會設立趣意書 [年 月] S10. 3. 30 [備考] 綴、タイプ、謄写版、21丁
- 2 [文書名] 海南島開發現狀及開發方針 [年 月] 民国24. 10 [備考] 綴、謄写版15丁
- 3 [文書名] 蒙疆羊毛事情 [年 月] 民國27. 8 [備考] 蒙疆銀行總裁室調查課、冊子、印刷、35P+表
- 4 [文書名] 治安警察暫行條例 [年 月] 民國27. 11. 5 [備考] 司法行政部顧問室、冊子、印刷5丁
- 5 [文書名] 《秘》地方交付金内訳表 [備考] 綴、タイプ、陸軍野紙9枚
- 6 [文書名] (第一~二回)第一種地方交付金一覽 [備考] 財政部顧問室調、綴、タイプ5丁、同種のもの3部
- 7 [文書名] 日々命令 [年 月] (S13), 1. 23~11. 14 [備考] 中支特務機關本部、タイプ、謄写版
- 8 [文書名] 《極秘》民國二十八年度維新政府行政大綱案 [年 月] (S13)、2 [備考] 行政院議政會議決定、冊子、タイプ、12丁
- 9 [文書名] 《極秘》各省市長會議々事録(3部) [年 月] (S13)3. 23 [備考] 綴、タイプ、6丁
- 10 [文書名] 《秘》各省市長會議議事ニ對スル維新政府指導協力要領案 [年 月] (S13), 3. 23 [備考] 綴、タイプ、6丁
- 11 [文書名] 各地班ニ關スル三省長提案意見 [年 月] (S13), 3. 24 [備考] 綴、タイプ、謄写版、3丁
- 12 [文書名] 民國二十七年¹⁹³⁸度吳江縣收入予算書提出ノ件 [年 月] (S13), 5. 9 [備考] 吳江宣撫長小林清治、綴、謄写版、3丁、「地方税 六」と朱書
WU-KIANG County Revenue budget
- 13 [文書名] 《極秘》支那海關ニ於ケル日本人増加計畫ニ關スル件照會 [年 月] S13. 5. 22 [備考] 北支那方面軍特務部長 喜多誠一、綴、タイプ、謄写版、陸軍用箋、2枚
- 14 [文書名] 各國新聞論調概要 [年 月] S13. 7. 29 [備考] 外務省情報部、冊子、タイプ、謄写版、15P

B F [文書名] [年 月] [備考]

fla la

- 1 15 [文書名] 各國新聞論調概要 [年 月] S13. 8. 1 [備 考] 外務省情報部、冊子、タイプ、謄写版、18P
- 16 [文書名] 議政委員會々會議開催ノ件 [年 月] (S13, 7) [備 考] 綴、タイプ、謄写版、38丁
- 17 [文書名] 《秘》蔣政權側ヨリ見タル贛湘地方喪失ニ依ル資源ニ及ス影響 [年 月] S13. 8. 22 [備 考] 参謀本部、冊子、謄写版、4丁
- 18 [文書名] 南京特務機關管下各班匪賊分布圖11月現在 [年 月] S13. 8. 26 [備 考] 第二野戦測量隊印刷、地図1枚
- 19 [文書名] 中南支ニ於ケル主要資源ト其價值 [年 月] S13. 8. 26 [備 考] 参謀本部、冊子、謄写版、12丁、書込
- 20 [文書名] 《極秘》中特情報第29號 半月報(式) [年 月] S13. 8. 26 [備 考] 軍特務部情報班、綴、タイプ、謄写版、73丁
- 21 [文書名] 押収食鹽輸送ニ關スル件(2種) [年 月] S13. 8. 30 [備 考] 畑部隊特務部長、タイプ1枚
- 22 [文書名] 《極秘》中支阿片制度實施要領(案) [年 月] S13. 8. 31 [備 考] 連絡會議決定、綴、タイプ、謄写版、11丁
- 2 1 [文書名] 海關金單位引上ニ關スル試論(3部) [年 月] S13. 8. 31 [備 考] 理財局外事課、綴、タイプ謄写版、55P
- 2 [文書名] (第六回~第八回)第二種地方交付金一覽 [年 月] 民國28. 9 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、5丁
- 3 [文書名] 《極秘》中支財政ノ概況 [年 月] S13. 9. 12 [備 考] 軍特務部、綴、タイプ、謄写版、18丁
- 4 [文書名] 海關金單位ニ關スル調査 [備 考] 陸軍野紙24枚に手書
- 5 [文書名] 《極秘》海關金單位ニ關スル調査 [年 月] S13. 9. 13 [備 考] 中支那派遣軍特務部、綴、タイプ、謄写版、6丁、4の成稿と思われる
- 6 [文書名] 滬西地区食塩販賣店開設ノ件 [年 月] S13. 9. 28 [備 考] 濱田徳海、手書、陸軍野紙、6枚
- 7 [文書名] 事變後ニ於ケル支那民心ノ動向ト大民會ニ就テ [年 月] S13. 10 [備 考] 畑部隊特務部、冊子、タイプ謄写版、73P+16P
- 8 [文書名] 《極秘》中特情第55號 中支狀況 [年 月] S13. 11. 11 [備 考] 中

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備 考〕

2 支那派遣軍特務部情報班、綴、タイプ、謄写版、178P+付図

9 〔文書名〕《極秘》廣東 阿片麻藥制度ニ關スル參考資料 〔備 考〕冊子、タイプ、謄写版、30P

10 〔文書名〕《極秘》廣東 阿片麻藥制度実施要領(案) 〔備 考〕冊子、タイプ、謄写版、16P、2部

11 〔文書名〕〔麻藥取締に関する書類〕 〔備 考〕冊子、タイプ、謄写版、18丁、表紙欠

12 〔文書名〕維新政府治下縣名調 〔年 月〕S13.12.3 〔備 考〕タイプ、謄写版1枚

13 〔文書名〕《極秘》南京特務機關工作月報 〔年 月〕S13.12.10 〔備 考〕南京特務機關長大西一、綴、タイプ、謄写版、8丁

14 〔文書名〕《秘》近時支那阿片問題及阿片政策 〔年 月〕S13.12.25 〔備 考〕北支那方面軍司令部、冊子、タイプ、謄写版、105丁

⑮ 〔文書名〕〔興亞院設置關係書類〕2点

内訳・《極秘》興亞院連絡部設置ニ伴フ現地措置要領ノ概要 綴、タイプ、謄写版、5丁

・《極秘》軍ト興亞院連絡部トノ事務分掌ニ伴フ文化關係事業ニ關スル處理要領ノ件 綴、タイプ、謄写版、5丁

16 〔文書名〕《秘》民國二十八年度治安肅正實施要領 〔年 月〕S14.1.10 〔備 考〕中央治安委員會、綴、タイプ、謄写版、3丁

17 〔文書名〕《極秘》治安委員會決定 〔年 月〕S14.1.13 〔備 考〕中支軍司令部、冊子、印刷、5P ^規

18 〔文書名〕軍事 極秘 中支那派遣軍直轄地域治安肅正要綱 〔年 月〕S14.1.13 〔備 考〕中支那派遣軍司令部、冊子、印刷、11P

19 〔文書名〕軍事 極秘 歸順兵匪處理要領 〔年 月〕S14.1.13 〔備 考〕中支那派遣軍司令部、冊子、印刷、6P

20 〔文書名〕《秘》警察現況調査表 〔年 月〕S14.1 〔備 考〕特務機關本部警政班、綴、謄写版、7枚

21 〔文書名〕安徽省各縣豫算概況 〔年 月〕S14.1.25 〔備 考〕蚌埠特務機關、綴、タイプ、謄写版、31丁

22 〔文書名〕《秘》中支那ニ於ケル警察行政費調査 〔年 月〕S14.1.29 〔備

B F [文書名] [年 月] [備 考]

2 考] 綴、タイプ、11P

23 [文書名] 《秘》維新政府所轄(南京特務機關本部管内)警察力並裝備基準表 [年 月] S14.1末 [備 考] 謄写版1枚

24 [文書名] 維新政府第一回地方税整理要綱 [年 月] S14.1.31 [備 考] 特務機關本部、綴、タイプ、謄写版、3丁

25 [文書名] 班長會議録 [年 月] S14.2.5 [備 考] 蛙埠特務機關、綴、謄写版、4丁、「濱田顧問」と朱書

26 [文書名] 《秘》電報寫送附ノ件 [年 月] S14.2.9 [備 考] 中支那派遣軍參謀長 吉本貞一、綴、タイプ、謄写版、2P

27 [文書名] 《極秘》治安委員會地區區分要圖 [年 月] S14.2.10 [備 考] 中央治安委員會、地図1枚

28 [文書名] 《秘》治安交通網整備計画基準要圖 [年 月] S14.2.10 [備 考] 中央治安委員會、綴、タイプ、謄写版、20丁

29 [文書名] 《秘》中支經主第92號 救恤及宣撫費使用ニ關スル件通牒 [年 月] S14.2.12 [備 考] 中支那派遣軍參謀長

30 [文書名] 《極秘》第2課長講演要旨 [年 月] S14.2.15 [備 考] 中支那派遣軍司令部、綴、タイプ、謄写版、20丁

31 [文書名] 《極秘》教育鍊成ニ關スル參謀副長口演要旨 [年 月] S14.2.15 [備 考] 中支那派遣軍司令部、綴、タイプ、謄写版、13丁

3 1 [文書名] 《極秘》軍司令官訓示(2部) [年 月] S14.2.15 [備 考] 中支那派遣軍司令部、綴、タイプ、謄写版、10丁

2 [文書名] 現役ニ服セントスル者ニ關スル通牒 [年 月] S14.2.17 [備 考] 特務機關本部長、綴、謄写版、6丁

3 [文書名] 《極秘》訓示 [年 月] S14.2.18 [備 考] 中支那派遣軍司令部、山田乙三、綴、謄写版、12丁

4 [文書名] 三月分交付金交付ニ關スル件 [年 月] S14.3.27 [備 考] 特務機關本部長 原田熊吉、タイプ、謄写版、1枚

5 [文書名] 《秘》遊撃隊ニ於ケル政治工作 [年 月] S14.4.12 [備 考] 中支那派遣軍司令部參謀部第2課、綴、タイプ、謄写版、5丁

6 [文書名] 四月特務機關長會議ニ提出事項 [備 考] 綏靖部顧問、綴、タイプ、

3 謄写版、2丁

- 7 〔文書名〕《秘》各地班及人員表 〔備 考〕綴、タイプ、謄写版、2丁
- 8 〔文書名〕《秘》各地班長ノ任務(案) 〔備 考〕タイプ、謄写版、1枚
- 9 〔文書名〕《極秘》押収品處理規定 〔年 月〕S14. う 〔備 考〕中支那派遣軍司令部、綴、タイプ、謄写版、12丁
- 10 〔文書名〕《秘》海軍部隊ノ土地及建物取得ニ關スル件通牒 〔年 月〕S14. 4, 10 〔備 考〕中支那派遣軍司令部參謀長吉本貞一、綴、タイプ、謄写版、3丁
- 11 〔文書名〕《秘》治安費支出ニ關スル件通牒 〔年 月〕S14. 4, 16 〔備 考〕中央治安委員會、綴、タイプ、謄写版、2P、「濱田顧問殿」と印
- 12 〔文書名〕機關長會議要求意見事項 〔年 月〕S14. 4, 20 〔備 考〕綴、タイプ、謄写版、3丁、「財政部顧問殿」と印
- 13 〔文書名〕部長口述事項要目 〔年 月〕S14. 4, 23 〔備 考〕綴、タイプ、謄写版、2丁
- 14 〔文書名〕四月及五月交付金及追加政務費ニ關スル件 〔年 月〕S14. 5, 29 〔備 考〕タイプ、謄写版、4枚
- 15 〔文書名〕《秘》漢口上海間ノ法幣送付狀況ニ關スル件報告「通牒」 〔年 月〕S14. 6, 5 〔備 考〕中支那派遣軍警兵隊司令官島本正一、綴、タイプ、謄写版、6丁、「軍特務機關本部長殿」と印
- 16 〔文書名〕《秘》徐機文政情第47号 徐洲ニ於ケル鹽務一般狀況 〔年 月〕S14. 8, 10 〔備 考〕徐洲陸軍特務機關、綴、タイプ、謄写版、11丁、「財政顧問へ」と朱書
- 17 〔文書名〕《秘》敵側ノ我金融政策破壊ヲ目的トスル宣傳大綱 〔年 月〕S14. 8, 29 〔備 考〕中支那派遣軍警兵隊司令部、綴、謄写版、11丁
- 18 〔文書名〕《極秘》安特情第9号 治安月報(八月一日 八月三十一日) 〔年 月〕S14. 9, 10 〔備 考〕安慶特務機關長神山悦雄、冊子、謄写版、7丁
- 19 〔文書名〕土鹽產地調査 〔年 月〕S14. 10, 11 〔備 考〕徐洲陸軍特務機關、綴、謄写版、2丁
- 20 〔文書名〕《秘》政府要人上海外國銀行預金調査表 〔年 月〕S14. 10, 17 〔備 考〕登集團參謀部、綴、謄写版、5丁
- 21 〔文書名〕《極秘》新政權樹立ニ伴フ新上海市處理要綱案 〔年 月〕S14. 10, 31

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 3 [備 考] 上海特務機關長 竹下義晴 綴、タイプ、謄写版、6丁
- 22 [文書名] 《極秘》經濟週報(第1~3号) [年 月] S14.10 [備 考] 支那派遣軍經理部上海軍用手票交換許可所、綴、謄写版
- 23 [文書名] 在支各銀行ノ在貨貸付投資、通貨発行損益増減比較表 [年 月] S14.12.8 [備 考] 中支那派遣軍警兵隊司令部、綴、謄写版、10丁
- 24 [文書名] 《秘》特務機關別警察現況表 [年 月] S14.12末調 [備 考] 内政部顧問、綴、謄写版、7枚
- 25 [文書名] [支那方面經濟概況調査書類]11点 [年 月] S14 [備 考] 一件書類、謄写版、タイプを含む。
- 26 [文書名] 《秘》合作社工作指導監督並ニ工作資金關係 [年 月] S15.1.18 [備 考] 特務機關本部、綴、タイプ、謄写版、20P
- 27 [文書名] 《秘》敵側ニ食塩を密送セントシタル維新政府財政部長顧問檢舉ノ件報告「通牒」 [年 月] S15.2.17 [備 考] 中支那派遣軍警兵隊司令部十川次郎、綴、謄写版、3枚、「維新政府最高顧問殿」と書込
- 28 [文書名] 《秘》金融事情 [年 月] S14~15 [備 考] 支那派遣軍經理部、綴、謄写版、第60.62.63.64.65.66.67.68.69.71.97号の合冊
- 4 1 [文書名] 各機關ニ對スル業務取扱方要望ノ件 [備 考] 南京特務機關本部、タイプ、謄写版、1枚
- 2 [文書名] 《極秘》華中連絡部業務日誌(一月分) [年 月] S15.2.1 [備 考] 興亞院華中連絡部、綴、タイプ、謄写版、31丁 1929
- 3 [文書名] 北京郊外ノ鄉村(掛甲村)家庭--民國十八年商務印書館發行 李景漢著「北京功之鄉村家庭」ヨリ摘出-- [備 考] 綴、タイプ、謄写版、26丁 *Li Ching-han*
- 4 [文書名] 北京・西郊・掛甲村現況 [年 月] S15.8末 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、9P
- 5 [文書名] 歷城縣冷水溝莊ニ於ケル質問應答(一) [年 月] S16.1 [備 考] 北支經濟調査所第3班、冊子、タイプ、謄写版、28P
- 6 [文書名] 歷城縣冷水溝莊ニ於ケル質問應答(五) [年 月] S16.1 [備 考] 北支經濟調査所第3班、冊子、タイプ、謄写版、36P
- 7 [文書名] 歷城縣冷水溝莊ニ於ケル質問應答(七) [年 月] S16.1 [備 考] 北支經濟調査所第3班、冊子、タイプ、謄写版、53P

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 4 8 [文書名] 山東省歷城縣冷水溝莊ニ於ケル質問應答(十) [年 月] S16.1 [備考] 北支經濟調查所第3班、冊子、タイプ、謄写版、29P
- 9 [文書名] 樊城縣北柴村ニ於ケル質問應答(五) [年 月] S16.1 [備 考] 滿鐵北支經濟調查所第3班、冊子、タイプ、謄写版、41P
- 10 [文書名] 《秘》中支ニ於ケル葉煙草ノ狀況 [年 月] S18.8.20 [備 考] 長江産業貿易開發協會、綴、謄写版、11丁
- 11 [文書名] 桐樹及桐油關係事情 [年 月] S18.10.15 [備 考] 長江産業貿易開發協會、綴、謄写版、15丁
- 12 [文書名] 《秘》重慶糧食對策ノ概略(1) [年 月] S18.12.10 [備 考] 長江産業貿易開發協會、綴、謄写版、10丁
- 13 [文書名] 同上(2) [年 月] S18.12.10 [備 考] 長江産業貿易開發協會、綴、謄写版、10丁
- 14 [文書名] 《秘》經理概況書 [年 月] (S18) [備 考] 綴、タイプ、謄写版、14丁
- 15 [文書名] 《秘》清算進行狀況報告書 [年 月] 19.5.31 [備 考] 軍配組合、綴、タイプ、謄写版、5丁
- 16 [文書名] 「市政概要」四月一日發行以後ニ於ケル施政現状 [備 考] 綴、タイプ、謄写版2枚、「地方税三」と朱書
- 17 [文書名] [地方税關係メモ] [備 考] 起案用紙1枚、鉛筆書
- 18 [文書名] 吳江縣自治委員會学務局 第1期開辦学校豫定表 [年 月] ()4.11 [備 考] 軍特務部吳江宣撫班、綴、謄写版、9枚、「建設班岡田中佐」「地方税一」と書込
- 19 [文書名] [占領地經濟政策綴] [備 考] 綴、タイプ、謄写版、39丁、表紙欠
- 5 1 [文書名] 治安委員會規定 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、7丁
- 2 [文書名] 政務ニ關スル事項 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、2丁、(部分)
- 3 [文書名] 地方交付金配当基準額 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、2丁
- 4 [文書名] 第一回交付金内訳 [備 考] タイプ、謄写版、1枚
- 5 [文書名] 取引系統圖表 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、104丁
- 6 [文書名] 特務機關長會議書類 [備 考] 手書4枚、「濱田書記官」
- 7 [文書名] 所管区域内ニ於ケル物資流動狀況 [備 考] 冊子、謄写版、8丁、書込、

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備 考〕

5 「安慶特務機関」の印

8 〔文書名〕〔支那農民に対する質問応答①〕 〔備 考〕 284P中、表紙から126Pまで
欠損、タイプ、謄写版

9 〔文書名〕〔支那農民に対する質問応答②〕 〔備 考〕 188P中、表紙欠損、タイプ、
謄写版

10 〔文書名〕 海拉爾案内記編纂資料 〔備 考〕 綴、謄写版、7丁

11 〔文書名〕 村民趙廷魁ノ家計簿「出入流水老販」ニツイテ 〔備 考〕 綴、謄写版、
38丁

平沼騏一郎関係文書についてのスコープ

平沼騏一郎関係文書がどのような経緯で The East Asian Collection の所有するところとなったかは、現段階(1989年8月)では必ずしも明らかではない。平沼家の談話によれば、戦後直後研究者を名乗る人物に史料の一部を貸与したところ、それが返却されないまま行方がわからなくなったという。おそらく売りに出されていたものを、The East Asian Collection が買い入れたものと思われる。

現在、平沼に関する文書は、本文書のほか、平沼家に所蔵されていたものが国会図書館憲政資料室に寄託されている。

分類は、大審院検事から、枢密院議長に至るまでの平沼の履歴に従って、クロノロジカルになされている。

平沼文書の大部分は、その履歴の示す通り、大審院長・枢密顧問官等の職務上、平沼の扱った関係書類からなっている。主なものとしては、大逆事件関係書類、虎ノ門事件関係書類、日ソ基本条約批准に関する審査報告一件書類、国民政府特派大使関係書類等があげられる。憲政資料室所蔵の平沼文書に比べた場合、特筆すべきことは、国本社解散についての一件書類がそろっており、解散時の国本社から遡及して、国本社とは一体どのような組織であったのかを知る手だてとなりうる点であろう。

平沼騏一郎 (1867. 9. 28-1952. 8. 22) 略歴

- 1867(M3) 9月28日、津山藩(岡山)藩士・平沼晋の2男として生まれる
- 1888(M21) 大学予備門を経て、7月、東京帝国大学法科大学英法科 卒 12月、司法省参事官試補
- 1890(M23) 8月、判事試補、芝区治安裁判所詰 10月、判事、京橋区裁判所判事 12月、東京地方裁判所判事
- 1892(M25) 11月、千葉地方裁判所部長
- 1893(M26) 12月、横浜地方裁判所部長
- 1895(M28) 9月、東京控訴院判事
- 1898(M31) 7月、東京控訴院部長
- 1899(M32) 4月、東京控訴院検事
- 1902(M35) 12月、司法省参事官(民刑局)を兼任
- 1903(M36) 10月、司法省参事官・検事を兼任
- 1905(M38) 11月、大審院検事
- 1906(M39) 1月、司法省民刑局長・検事を兼任
- 1907(M40) 3月、欧米各国へ差遣 6月、法学博士
- 1908(M41) 2月、帰朝
- 1909(M42) 7月、検事・司法省民刑局長を兼任
- 1911(M44) 4月、司法省刑事局長を兼任 9月、司法次官
- 1912(T01) 12月、検事総長
- 1921(T10) 10月、大審院長
- 1923(T12) 9月、司法大臣(1924. 1月まで、第2次山本内閣) 10月、日本大学総長(1932. 3月まで) (印)
- 1924(T13) 1月、貴族院議員(1924. 2月まで) 2月、枢密顧問官
- 1926(T15) 4月、枢密院副議長 10月、男爵
- 1936(S11) 3月、枢密院議長
- 1939(S14) 1月、内閣総理大臣(1939. 8月まで)
- 1940(S15) 12月、内務大臣(1941. 7月まで、第2次近衛内閣)
- 1941(S16) 7月、国务大臣(1941. 10月まで、第3次近衛内閣)
- 1945(S20) 4月、枢密院議長(1945. 12月まで) 12月、A級戦犯に指定
- 1946(S21) 4月、巣鴨プリズンに入所起訴

1948(S23) 11月、終身禁錮の判決

1952(S27) 8月22日、死亡

〔備考〕 ★兄・平沼淑郎も法学博士

★自伝に『平沼騏一郎 回顧録』(学陽書房、S30)

平沼騏一郎関係文書目録

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

1 大審院検事

- 1 〔文書名〕大審院特別権限事件二千與シタル職員人名(東京ヲ除ク) 〔備考〕
大審院検事局用箋、墨書、6丁
- 2 〔文書名〕大逆事件に關する將來絶滅策に就き宇垣総督に與ふる書 〔備考〕
前衆議院議員多木久米次郎、冊子、印刷、8P
- 3 〔文書名〕〔大逆事件関係書類〕3点
内訳・幸徳傳次郎外二十五名ニ對スル刑法第七十三條ノ罪ノ被告事件発覺
原因及其檢挙並豫審経過ノ大要 〔備考〕綴、謄写版、18丁
・第三被告人以外ノ者ノ取調 〔備考〕綴、謄写版、2丁
・森近運平 〔備考〕綴、謄写版、28丁
- 4 〔文書名〕我國に於ケル社會主義運動ノ沿革 〔備考〕綴、墨書、大審院用箋、
21丁
- 5 〔文書名〕教學 〔備考〕平沼騏一郎、墨書、大審院検事局用箋3丁

検事総長

- 6 〔文書名〕《秘》大正初年裕仁東宮の御學問所創設ニ付、平沼枢密院副議長より提
出の意見書草案、綴、墨書、野紙24枚
- 7 〔文書名〕同志に檄す 〔年 月〕T7.7 〔備考〕花田仲之助、綴、墨書、6丁

大審院長

- 8 〔文書名〕至急 浪人會主催東宮御外遊御延期祈願竝ニ上奏文ニ關スル件 〔年
月〕T10.2.15 〔備考〕頭山滿、綴、謄写版、7枚
- 9 〔文書名〕〔皇太子妃選定に關する一件書類〕6点
内訳・上山縣老公書 綴、謄写版、10丁 T10
・上山縣公爵書 綴、謄写版、8丁 T10
・〔反対意見書〕 綴、謄写版、11丁 T10
・色盲遺傳ニ關スル意見書 同上図解
・色盲ノ遺傳ニ付キ調査報告、綴、謄写版、18丁

1

・火急御力賛ヲ請フ 冊子、印刷、25P

・宮中某重大事件に就いて 冊子、印刷、10P

- 10 [文書名] [皇太子外遊反対意見書] [年 月] T10. 2. 10 [備 考] 押川方義、冊子、印刷、8丁

- 11 [文書名] 《秘》詔書案(甲)(乙) [年 月] T10. 8 [備 考] 宮内省用箋に墨書、同封物として「平沼騏一郎宛伊東巳代治帝室制度審議會総裁送状」

- 12 [文書名] 露國最近ノ政情 [年 月] T12. 5. 15 [備 考] 後藤新平、冊子、印刷、9P、同封物として「日露兩國非公式交渉基礎案餘論」

- 13 [文書名] [虎ノ門事件関係書類一件] 6点

内訳・《秘》帝國議會開院式當日ニ於ケル事変リ顛末 T12. 12 綴、謄写版、2丁

・仕込銃其ノ他變装シタル戎器類ノ取締ニ関スル件 綴、謄写版、3丁

・内務省警保局高橋警務課長より平沼司法大臣宛送状 T12. 12. 28 内務省用箋、ペン書、1枚

・[報告]東京地方裁判所検事局用箋、ペン書、1枚

・[難波大助供述書]内閣用箋、ペン書、5枚

・判決書 T13. 11. 13

枢密顧問官

- 14 [文書名] 日ソ基本条約 [年 月] 1925年 [備 考] 署名議定書(英文、各1部)印刷、枢密院関係配布資料

- 15 [文書名] [日ソ基本条約批准に関する枢密院審査報告] 14点 [年 月] T14. 2. 21 [備 考] 一件書類

内訳・《秘》條約御批准ノ件 綴、謄写版、2丁

・《秘》日本國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律スル基本的法則ニ關スル條約御批准ノ件審査報告案 綴、謄写版、15丁、「平沼顧問官」の印

・《秘》日本國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律スル基本的

- 1 法則ニ關スル條約御批准ノ件審査報告 綴、謄写版、15丁、「平沼顧問官」
・海上一般漁區貸下條件 綴、謄写版、49P、「平沼」の印
・勞農露國及列國間條約中宣傳、侵略及敵對行為禁止ニ關スル條款 綴、謄写版、19P、「平沼」の印
・北樺太略図一枚
・《秘》東部西比利亞富源調査 綴、タイプ、謄写版、6P
・東京ニ於ケル日露非公式豫備交渉ニ依ル了解ト今回北京ニ於テ調印セラレタル日露協定トノ比較大要、綴、タイプ、謄写版、18P
・1925年1月20日付芳澤謙吉・カラハン往復書簡 綴、タイプ、謄写版、6P
・露國法令上ニ於ケル私有財産権ノ範圍 T13, 10 綴、タイプ、謄写版、6P、「平沼」の印
・契約書 綴、タイプ、謄写版、13P
・三菱合資會社「イワン・スタヘーエフ」商會北樺太石炭共同經營契約訳文 綴、タイプ、謄写版、13P
・《秘》日本國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律スル基本的法則ニ關スル條約説明書 冊子、印刷、45P、「平沼」の印
・〔漁區に関する報告書〕 綴、タイプ、謄写版、2P
- 16 〔文書名〕清浦内閣流産始末 〔年 月〕(1924以降) 〔備考〕松本剛吉、綴、墨書、罫紙、21丁

枢密院議長

- 2 1-1 〔文書名〕各新聞及雜誌社並に諸団体發送分 〔備考〕「本月十三日發送45通」と朱書、以下の枝番号のフォルダーを同封していた袋
1-2 〔文書名〕平沼騏一郎宛竹内賀久治書簡 〔年 月〕S11, 7, 20 〔備考〕S11, 7, 14消印の竹内賀久治宛住吉福次書簡同封
1-3 〔文書名〕決議・解散の挨拶状 〔備考〕謄写版、2丁
1-4 〔文書名〕平沼騏一郎挨拶状 〔備考〕印刷、1枚
1-5 〔文書名〕理事連名挨拶状 〔備考〕印刷、1枚
1-6 〔文書名〕理事挨拶状承認方依頼状 〔備考〕印刷、1枚
1-7 〔文書名〕決議 〔備考〕和紙、手書、3枚

B F 〔文書名〕 〔年 月〕 〔備 考〕

- 2 2-1 〔文書名〕 国本社解散に関する書類 〔備 考〕 以下の枝番号のフォルダーを同封していた袋
- 2-2 〔文書名〕 昭和9-11年度収支計算報告書 〔備 考〕 謄写版1丁、手書
- 2-3 〔文書名〕 国本社新聞 〔年 月〕 S11.6.15 〔備 考〕 3部
- 2-4 〔文書名〕 池田成彬辞任届(竹内賀久治宛) - 〔年 月〕 S11.5.01 〔備 考〕 和紙、手書、1丁
- 3 〔文書名〕 竹内賀久治宛木村欽一書簡 〔年 月〕 S11.6.15 〔備 考〕 「平沼先生」と墨書した袋に入っていたもの
- 4-1 〔文書名〕 平沼先生必親展 〔備 考〕 以下の枝番号のフォルダーを同封していた袋
- 4-2 〔文書名〕 受領書 〔年 月〕 S11.6.17 〔備 考〕 11枚、昭和11年6月給料分、受領者は、太田耕造・矢萩登橋、曾村久良爾、林治三郎、北條正章、小池順次、井上實、廣田桂介、笠間文作、蜂谷吉之助、持丸忠次郎
- 4-3 〔文書名〕 平沼騏一郎宛竹内賀久治書簡 〔備 考〕 和紙1枚、国本社解散にあたっての決算報告
- 4-4 〔文書名〕 領収書綴 〔年 月〕 S11.6.17 〔備 考〕 謄写版、14枚
- 4-5 〔文書名〕 職員俸給表 〔備 考〕 国本社用箋2部
- 4-6 〔文書名〕 終身会員会費返還金調 〔備 考〕 国本社用箋2枚
- 5-1 〔文書名〕 平沼先生必親展 〔備 考〕 以下の枝番号のフォルダーを同封していた袋
- 5-2 〔文書名〕 平沼騏一郎宛竹内賀久治書簡 〔年 月〕 S11.7.12 〔備 考〕 和紙1枚、同封物として、「過超会費返戻現況・貯金より現金払出の実績」
- 5-3 〔文書名〕 平沼騏一郎宛竹内賀久治書簡 〔年 月〕 S11.5.28 〔備 考〕 同封物として・公債売却目録・送状・竹内賀久治宛小早川隆次書簡(S11.7.11)・竹内賀久治宛川田久信書簡(S11.7.9)
- 6-1 〔文書名〕 平沼先生会計書類 〔備 考〕 裏書には「六月十八日竹内賀久治」とある、以下の枝番号のフォルダーを同封していた袋
- 6-2 〔文書名〕 国本社清水支部収納表 〔年 月〕 S11.8.21
- 6-3 〔文書名〕 国本社石川支部集金明細 〔年 月〕 S11.7.3

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備 考〕

- 2 7 〔文書名〕竹内賀久治宛松倉孝三郎書簡 〔年 月〕S11. 6. 10
- 8 〔文書名〕竹内賀久治宛小野鍾山書簡 〔年 月〕(S11), 5. 13 〔備 考〕便箋
3枚
- 9 〔文書名〕平沼騏一郎宛佐藤鐵太郎書簡 〔年 月〕S11. 6. 17
- 10 〔文書名〕竹内賀久治宛川田久信書簡 〔備 考〕罫紙2丁
- 11 〔文書名〕竹内賀久治宛尾崎歳治郎書簡 〔年 月〕S11. 6. 24
- 12 〔文書名〕竹内賀久治宛大喜多寅乃助書簡 〔年 月〕S11. 6. 15
- 13 〔文書名〕竹内賀久治宛田村源吾書簡 〔年 月〕S11. 6. 22
- 14 〔文書名〕竹内賀久治宛河田烈書簡 〔年 月〕S11. 6. 9
- 15 〔文書名〕竹内賀久治宛熊谷廣司書簡 〔年 月〕S11. 6. 23
- 16 〔文書名〕竹内賀久治宛三宅重三郎書簡 〔年 月〕S11. 6. 14
- 17 〔文書名〕竹内賀久治宛藤林石太郎書簡 〔年 月〕S11. 6. 23
- 18 〔文書名〕平沼騏一郎宛小早川隆次書簡 〔年 月〕S11. 7. 18
- 19 〔文書名〕竹内賀久治宛小倉正恆書簡 〔年 月〕S11. 6. 06
- 20 〔文書名〕国本社宛国本社沼津支部 〔年 月〕S11. 9. 22
- 21 〔文書名〕国本社残務整理委員会宛川田久信書簡 〔年 月〕S11. 9. 16 〔備
考〕同封物として・沼津支部会費徴収明細書・国本社宛林弥太郎書簡・沼津、清
水、石川支部の現況報告
- 22 〔文書名〕国本社会員名簿 〔年 月〕(S10作成) 〔備 考〕国本社用箋10枚
- 23 〔文書名〕国本社残務取扱委員作成残務整理方針 〔年 月〕S11. 6. 17 〔備
考〕藁半紙5枚

内務大臣

- 24 〔文書名〕〔生産力拡充計画関係書類〕3点

内訳・《極秘》昭和十六年度生産擴充緊急対策 S16. 7. 7 綴、タイプ、謄写版、3丁
・昭和十六年度物資動員計畫ノ策定方針ニ關スル意見 内務省、綴、タイプ、
謄写版、3P
・《極秘》昭和十六年度物資動員計畫ノ策定方針ニ關スル件 S16. 7. 7 綴、
タイプ、謄写版、3丁

国民政府特派大使

25 [文書名] [特派大使関係書類] 3点

内訳・中華民國國民諸君ニ告ク(平沼特派大使放送原稿) [年 月] S17, 9

[備 考] 綴、タイプ、謄写版、17P

・《極秘》答訪特派大使御進講案 第一按 綴、タイプ、謄写版、12P

・《極秘》答訪特派大使御進講案 第二按 綴、タイプ、謄写版、19P

26 [文書名] [答訪使節と汪主席其他との会談関係書類] 4点

内訳・《部外極秘》答訪使節ト陳公博、周佛海兩氏トノ會談要録 S17, 9, 26 綴、
タイプ、謄写版、20P

・《部外極秘》陳公博・周佛海兩氏ト答訪使節會談ノ要旨摘録 S17, 9, 26
綴、タイプ、謄写版、14P

・《極秘》友邦ニ對スル感謝と希望 S17, 9 謄写版、11P

・《部外極秘》汪主席ノ答辭 綴、タイプ、謄写版、2P

任免書類

27 [文書名] [平沼騏一郎任免書類] 3点

内訳・依願免本官 S16, 10, 18

・前官禮遇 S16, 10, 18

・任枢密院議長 S20, 4, 9

その他

28 [文書名] 《秘》祭祀の本義(一) [備 考] 皇典講究所、綴、タイプ、謄写版、8丁

1989 - J6

戦前日本の左翼・革新運動等に関する官憲側 収集資料についてのスコープ

本資料は、警視庁特別高等課警部矢野豊次郎がその職務上入手し、資料としての保存を意図した上で、編集の手を加えた、矢野豊次郎関係文書というべき資料群を中心としている。そこに更にフーバー研究所の収集意図に従って集められた戦前期日本の共産主義・社会主義運動に関する官憲側資料を加えた上で、ひとまとまりの文書として目録を作成した。長期に亘る収集過程の中で、矢野文書とそれ以外という形で明確に分別することが不可能となったため、上述のような分類を試み、全体として昭和期を中心とした日本の共産主義運動を官憲側がどう認識していたのかを明示できるようにした。

本資料全体がひとつの項目をなしていると考えられるので、^順分類は、資料の作成年月日^順に従って、^{西暦}クロノロジカルなものとした。

本資料は、治安維持法改正後の三・一五事件、四・一六事件、人民戦線事件等のいわゆる「治安維持法違犯被告事件」予審調書をはじめとして、山東出兵反対運動に関する書類、日本共産党公判闘争代表陳述速記録等、その大部分が特高部内の極秘資料、官憲側の押収した共産党出版物よりなっており、戦前期の共産主義運動・無産運動の本格的な研究に不可欠の資料となっている。

矢野 豊太郎 (福岡)

1936(S11).11 ~ 1939(S14).12 警視庁在職.

S13. 5. 1 現在

警視庁 特別高等警察部 特高第一課 第一係
警部 (功)

S17. 5. 1 現在

堀留警察署署長 . 警視 (功) 矢野豊次郎

日本橋区堀留町 1-1

官舎 日本橋区本町石

4-3-2

(24)-570

△ 警視庁職員録

S13. 17 によろ.

矢野豊次郎文書を中心とする「共産主義運動」に関する史料目録

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] 《秘》幸徳秋水ノ獄中ヨリ辨護士ニ贈ル書 [年 月] M43, 12, 18 [備考] 幸徳傳次郎、綴、謄写版、17丁
- 2 [文書名] 米國ニ於ケル日本人社會主義者無政府主義者沿革 [年 月] M44, 7 [備考] 綴、墨書、189丁+19丁
- 3 [文書名] 小池張造宛孫文書簡コピー [年 月] 1915, 3, 14 [備考] 8P
- 4 [文書名] 平民 第13號、19號 [年 月] T6, 10, T8, 1 [備考] 片山潜、新聞各1部
- 5 [文書名] 第二回報告(其一、其二、其三) [年 月] T10, 5 [備考] 綴(三分冊、原稿用紙、ペン書、「國體と民主主義との關係」についての論稿
- 2 1 [文書名] 《秘》要視察要注意人名簿 [年 月] T10, 8 [備考] 統監官房高等課、綴、謄写版、448丁
- 2 [文書名] 大正八・九年当時同十年度 近藤栄蔵、川崎悦行、蒲田武雄、仲宗根源和其他同志ノ出版法並治安警察法違反事件送致記録並ニ豫審調書抜粹写 [備考] 綴、手書、原稿用紙250枚
- 3 [文書名] 大正十年度特別要視察人状勢調 [備考] 特別高等係、綴、謄写版、76丁、「第一号」と書込
- 4 [文書名] 《秘》日本共産党ノ成立ト活動
内訳・《秘》日本共産黨ノ成立ト其活動 謄写版、11丁
 - ・治安警察法違犯被告事件追求豫審報告 T12, 6, 5 綴、墨書、7丁
 - ・治安警察法違犯被告事件追求豫審報告 T12, 8, 30 綴、謄写版、43丁
- 5 [文書名] 朴準植調書[1~11回] [年 月] T12, 10~T13, 5 [備考] 綴、謄写版、47丁
- 3 1 [文書名] 大正十三年度 特別要視察人竝水平社状勢調 [年 月] T13 [備考] 警視廳、綴、謄写版、54丁
- 2 [文書名] 北滿ノ赤化狀況ト勞農ロシアノ現状 [年 月] T14 [備考] 朝鮮軍司令部、綴、謄写版、57丁+42丁
- 3 [文書名] 右翼團體状勢 反動的思想團體ノ情勢ト其取締ノ狀況 [年 月]

B F [文書名] [年 月] [備 考]

3 T14, 1. 11 [備 考] 綴、謄写版、20丁

4 [文書名] 共産党に就いて スターリン著『レーニズム』 [年 月] T15, 3. 10
[備 考] 北岡忠翻訳、綴、謄写版、19P、「福田」の印

5 [文書名] [治安維持法違犯事件(三・一五事件、四・一六事件を含む)] [年 月]
1926~1928 [備 考] 一件書類、目次あり、以下に示した外5点

内訳・五色温泉会合者人名及取調関係 東京地方裁判所検事局用箋

- ・自昭和三年三月二五日、昭和七年五月 日本共産党関係治安維持法違犯起訴人員表 東京地方裁判所検事局
- ・全国被告人、年齢、学校、所属団体別人員表
- ・豫審請求書 S3, 4, 28, S3, 5, 3
- ・資本主義社会 プロレタリア獨裁 共産主義社会ノ特質 S7, 7. 31 東京地方裁判所検事局思想部
- ・日本共産黨規約
- ・黨員名簿訳文其二ノ訂正 S3, 5. 1 東京地方裁判所検事局

6 [文書名] 新ロシアの婦人 近藤栄蔵 [年 月] S2, 11. 13 [備 考] 無産社、冊子、印刷、46P

7 [文書名] コミンテルンの日本問題に関する決議 [年 月] S3, 3 [備 考] 志賀義雄、綴、謄写版、25P、[1927年世界共産党拡大執行委員会での決議]

8 [文書名] 第三「インターナショナル」執行委員会幹事會ノ本邦共産主義運動ニ関スル決議ノ件 [年 月] S3, 4, 20 [備 考] 外務次官出淵勝次、綴、謄写版、5P

9 [文書名] 聲明書 [年 月] S3, 4, 26 [備 考] 新黨組織準備會、謄写版1枚

10 [文書名] [山東出兵反対についての共産党系リーフレット]4点 [年 月] (1928) [備 考] 謄写版、各1枚

11 [文書名] 搜索押収一覧表 S3, 5. 1 [備 考] 東京地方裁判所検事局

12 [文書名] 全極東被壓迫青年は反軍國主義の為に戦へ!! [年 月] (1928. 5. 25) [備 考] 極東被壓迫青年反軍國主義同盟準備會、綴、謄写版、3丁

13 [文書名] 對支出兵反對の大衆的運動を起せ [年 月] (1928) [備 考] 對支被干涉大阪地方同盟、リーフレット1枚

14 [文書名] [大阪府知事通牒]2点

Y-2a

B F 〔文書名〕 〔年 月〕 〔備 考〕

- 3 ・支那出兵ニ関シ不穩宣傳ビラ取締ノ件 S3, 5, 25 大阪府知事田辺治通、綴、謄写版、3P
 ・日本共産党残党黨員ノ再興運動情勢ニ関スル件 S3, 6, 11 大阪府知事、綴、謄写版、4丁
- 15 〔文書名〕 水平社ノ成立ト初期ノ運動 〔年 月〕 S3, 9 〔備 考〕 警保局保安課、66P
- 4 1 〔文書名〕 共産党事件諸資料 〔年 月〕 1928 〔備 考〕 司法省、東京地方裁判所、綴、謄写版、218丁
- 2 〔文書名〕 国会府会選挙資料 〔年 月〕 S3 〔備 考〕 日本農民黨、豊島南部支部、綴、謄写版、98丁
- 3 〔文書名〕 赤色戦士同盟ノ結成 前田一盛調書 〔年 月〕 S4 〔備 考〕 綴、謄写版、27丁、聴取書
- 4 〔文書名〕 左翼労働組合の行動綱領 経済闘争と政治闘争との結合 〔年 月〕 1929, 2 〔備 考〕 無産者新聞社発行、パンフレット26P
- 5 〔文書名〕 《極秘》共産黨員ノ感想録手記 〔年 月〕 S4, 5 〔備 考〕 東京地方裁判所検事局思想部、綴、謄写版、134丁
- 6 〔文書名〕 農民労働党解散後の新労農党結成準備過程の内情 〔年 月〕 S4, 8 〔備 考〕 警視総監丸山鶴吉、綴、謄写版、70丁
- 5 1 〔文書名〕 《極秘》参考諸調査(共産関係)(六) 原本 〔年 月〕 (S4) 〔備考〕 特高係、綴、謄写版、「永久保存」と書込
- 2 〔文書名〕 社会主義 共産主義系 無産階級代表各政党 〔年 月〕 S5, 1 〔備考〕 警視廳特別高等課、綴、謄写版、表紙に「福田」と書込、117丁
- 6 1 〔文書名〕 徳田球一外三十六名治安維持法違犯被告事件 〔年 月〕 S5, 4 〔備考〕 豫審終結決定書寫 東京地方裁判所、綴、謄写版、276P
- 2 〔文書名〕 杉浦啓一豫審調書補足上申書 治安維持法違犯被告事件 〔年 月〕 S5, 6~5, 9 〔備考〕 法律事務所、冊子、謄写版、98丁+100丁+40丁
- 3 〔文書名〕 xx制廃止に対する日本共産党の革命的任務の一節---1929年9月指令---共産党中央委員会 〔年 月〕 1930, 11 〔備考〕 日本共産党青年同盟中央委員会、綴、ペン書、原稿用紙、78丁
- 4 〔文書名〕 社会運動現況 無産政党本支部署名簿 〔備考〕 合冊

- 6 内訳・我國社会運動の現況 綴、謄写版、32丁、「福田」の印
- ・寫 無産政黨綱領に関する報告 〔年 月〕 T13.12 政治研究會調査委員會、綴、謄写版、13丁
 - ・無産政黨署名簿 警視廳 綴、謄写版、14丁、「福田」の印
 - ・無産政黨本支部署情報 S2.7.30 警視廳、綴、謄写版、3丁
 - ・無産政黨本(支)部状況調査表 S5.6 警視廳特別高等課、綴、謄写版、13丁
- 5 〔文書名〕《秘》無産政黨に関する正統派並勞農派の見解に関する資料 〔年 月〕 1931.1.2 〔備 考〕 東京檢事局思想部集録、綴、タイプ、謄写版、54丁
- 7 1 〔文書名〕 佐野學豫審調書 補足上申書 治安維持法違犯被告事件 〔年 月〕 S6.2.23 〔備 考〕 法律事務所、冊子、謄写版、79丁、1丁目に「上申書(解黨派ニツイテ)」とある
- 2 〔文書名〕 鍋山貞親豫審訊問調書 治安維持法違犯被告事件 〔年 月〕 S5.10.6~S6.4.8 〔備 考〕 冊子、謄写版、140丁
- 8 1 〔文書名〕 [日本共産党公判闘争代表陳述速記録] 〔年 月〕 1931.7~1931.9
- 1-1 〔文書名〕 第四回七月十一日 第五回七月十四日 佐野學 總論第三 總論第四 〔備 考〕 綴、謄写版、131丁
- 1-2 〔文書名〕 第六回七月十六日 第七回七月十八日 鍋山貞親 總論第一 總論第二 〔備 考〕 綴、謄写版、137丁
- 1-3 〔文書名〕 第八回七月廿一日 第九回七月廿三日 鍋山貞親 總論第三 市川正一 党史第一 党史第二 〔備 考〕 綴、謄写版、96丁
- 1-4 〔文書名〕 第一七回九月十五日 第一八回九月十七日 高橋貞樹 農業政策第二 農業政策第三 徳田球一 青年運動第一 〔備 考〕 謄写版、144丁
- 1-5 〔文書名〕 第十九回九月十九日 第二十回九月廿二日 徳田球一 青年運動第二 三田村四郎 治安維持法駁撃第一 〔備 考〕 綴、謄写版、132丁
- 1-6 〔文書名〕 第二十一回九月廿六日 第二十二回九月廿九日 三田村四郎治安維持法駁撃第二 佐野學 代表陳述總括 〔備 考〕 綴、謄写版、111丁
- 9 1 〔文書名〕 組織活動のABC 〔年 月〕 1932 〔備 考〕 A・ペーヴェル、希望閣、81P
- 2 〔文書名〕 未定稿 社会主義運動關係年代表 〔年 月〕 S7.6 〔備 考〕 東京地方裁判所檢事局思想部作成、綴、謄写版、25丁

- B F [文書名] [年 月] [備 考]
- 9 3 [文書名] 左傾運動竝に思想関係主要用語略解表 [年 月] S7.6 [備 考]
文部省學生部
- 4 [文書名] 日本共産黨史 [年 月] 1932.7.10 [備 考] 日本共産黨中央委員會アジプロ部、冊子、印刷、119P
- 5 [文書名] 七年十月三十日アジア大会 [年 月] S7.10.30 [備 考]
一〇:三〇事件当時黨規約草案、綴、謄写版、49丁(表紙欠)
- 6 [文書名] 日本共産党特別資金局ギャング担当責任者今泉喜一調書 [年 月]
S7.10~7.12 [備 考] 綴、謄写版、58丁+49丁+51丁
- 7 [文書名] 日本共産党特別資金局所属大森第百銀行ギャング事件担当者中村経一調書 [年 月] S7.11.27 [備 考] 綴、謄写版、54丁
- 8 [文書名] 日本共産党新興教育同盟(表紙)、新興教育同盟準備會發展過程 [年 月] S7.11 [備 考] 綴、謄写版、200丁
- 10 1 [文書名] 日本共産黨民主々義的集権主義組織圖解 [年 月] S3.5~7.6.10現在 [備 考] 東京地方裁判所検事局、綴、謄写版、19丁
- 2 [文書名] 《秘》臺灣ニ於ケル社会思想運動ノ概況 [年 月] S8.4 [備 考]
高等法院検察局思想部、綴、謄写版、37丁
- 3 [文書名] 《極秘》特輯號
内訳・外事高等警察報 S8.6 警保局保安課 綴、タイプ、謄写版、51P
" " S8.7 " 綴、タイプ、謄写版、25P
- 4 [文書名] 日本赤色救援會 日本勞農辨護士團檢舉 [年 月] S8.9.13 [備 考] 綴、謄写版、14P、「毛利基」「福田」「高橋」の印
- 5 [文書名] 《秘》外郭團躰研究資料 [年 月] S8.10 [備 考] 高等法院検察局思想部、綴、謄写版、44丁
- 6 [文書名] 《秘》国際共産黨綱領日本共産黨テーゼ [年 月] S8.10 [備 考]
高等法院検察局思想部、綴、謄写版、6P
- 7 [文書名] 文化團體の再編成か新規提唱か 其他数編 加藤勘十の寄稿せるもの [年 月] S10.11 [備 考] 東京地方裁判所検事局思想部、綴、謄写版、27丁
- 8 [文書名] 日本無政府共産党ノ一齊檢舉 特高《秘》第六四六四號 日本無政府共産黨關係者ノ檢舉表ニ關スル件 [年 月] S10.12.28 [備 考] 警視總監小栗一雄、綴、謄写版、52丁
- 9 [文書名] 反乱事件關係者記録 [年 月] S11 [備 考] 矢野豊次郎、冊子、

謄写版、事件容疑者の聴取書

- 11 1 [文書名] 反乱事件記録 矢野 [年 月] S11 [備 考] 綴、謄写版
内訳・北一輝の國體論

・北輝次郎ノ國體論ニ関スル陳述ノ一部

・二・二六事件被疑者犯罪事實概要

- 2 [文書名] 日本無政府共産党結成ト其檢舉 同 議事録並全國組織網 [備 考]
一件書類

内訳・日本無政府共産党ノ組織ト其ノ檢舉ニ関スル件 S10, 11, 17 警視總監小
栗一雄 綴、謄写版、14丁

・日本無政府共産党組織圖 綴、謄写版、6丁

・植村諦聞ノ証據品 日本無政府共産黨中央委員會議事録 綴、謄写版、
16丁

・《秘》日本無政府共産党中央委員候補者 伊藤悦太郎所持品寫 S11, 1, 17
東京刑事地方裁判所検事局思想部、綴、謄写版、12丁

・日本無政府共産党関東地方委員會状況 特高第一課、綴、謄写版、16丁

- 3 [文書名] アナーキストノ性格ト思想解放文化聯盟ノ活動ト党ノ工作 アナキズ
ムノ現状ト将来性ニ就キ 岡本保太郎手記 [備 考] 一件書類

内訳・[年表・組織図] 警視廳用箋、ペン書、3P

・アナーキストノ性格ト思想 S11, 1, 23 植村諦聞、綴、謄写版、12丁

・解放文化聯盟ノ活動及之ニ對スル党ノ工作 S11, 2, 21 植村諦聞、綴、謄
写版、21丁

・アナキズムの現状と将来性に就て S11, 1, 15 岡本保太郎、綴、謄写版、
13丁

・日本無政府共産黨結成ノ概要 綴、タイプ、謄写版、5丁

- 4 [文書名] 日本無政府共産党尾村幸三郎手記 [年 月] S11, 2, 13 [備 考]
綴、77丁

- 5 [文書名] 無政府主義者 大場正史手記 [年 月] S11, 2, 14 [備 考] 綴、謄
写版、34丁

- 6 [文書名] 日本無政府共産党中央委員 植村諦聞聴書 [年 月] S11, 2, 21 [備
考] 綴、タイプ、謄写版、101丁

- 12 1 〔文書名〕大眼目 第4増刊号 〔年 月〕S11.2.24 〔備 考〕新聞
2 〔文書名〕叛亂前後の模様 〔年 月〕(S11.3) 〔備 考〕綴、タイプ、謄写版、13丁
3 〔文書名〕労農無産者協議會結成ト各被告ノ公訴事實 〔年 月〕S11.5.5 〔備 考〕上田特別高等警察部長、綴、謄写版、44丁
4 〔文書名〕辨證法及唯物論研究會員変名調
内訳・《極秘》辨證法 門屋博手記 東京地方裁判所検事局複寫
・特高一秘第5762號 S11.12.18 警視総監石田馨、唯物論研究會員ペン
ネーム調査ノ件、綴、謄写版、18丁+3丁
5 〔文書名〕〔青年将校運動パンフレット〕 〔備 考〕合冊、冊子、謄写版、174P+10P
+26P+14P、以下の外2点
内訳・肅軍ニ関スル意見書
・肅軍問題ノ経緯
6 〔文書名〕日本共産党再建母体 日本政治経済研究所の検挙状況 〔年 月〕S1
2.1 〔備 考〕綴、謄写版、27丁
内訳・事件概要 ・附個人経歴
7 〔文書名〕昭和皇道大維新綱領書 原本 〔年 月〕S12.10.24 〔備 考〕綴、
謄写版、52丁
13 1 〔文書名〕《極秘》コミンテルン新方針の我國に於ける反映状況 〔年 月〕S12.
10 〔備 考〕警保局保安課、綴、タイプ、謄写版、106P
2 〔文書名〕日本無産党労農派グループ コミンテルン資料 〔年 月〕S12 〔備
考〕綴、謄写版、500P、「矢野」の印
内訳・取調分擔表
・捜査打合會議速記録 S12.12.24
・日本共産党ノ概要(改訂版) S12.12 特高第一課
・労農派に就て 警視庁特高第一課
14 1 〔文書名〕無産運動資料 〔年 月〕S11.7~S12.12 〔備 考〕特別高等警察部
長、綴、謄写版、「復本綴其二」「高木」と書込
2 〔文書名〕労農派 矢野 〔備 考〕警視廳特高第一課、綴、謄写版
内訳・労農派に就て 警視廳特高第一課 24丁

・日本無産黨に就て 警視廳特高第一課 33丁

3 [文書名] 赤色辯護士團ノ結成參考資料等

内訳・辯護士辯論

・解放運動犠牲者救援辯護士團創立總會議事録

・第二回聴取書

・公判期日延期申請

・判決 S7, 2. 20

・日本勞農弁士団 関西支部ニュース

・解放運動犠牲者救援辯護士團ニュース 1932, 9. 15

・特高一《秘》第一〇二一号 S12, 4. 9

15 14 1 [文書名] 《極秘》二・二六事件関係 杉田省吾手記 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、332丁

2 [文書名] 勞農派法政大学経済学部教授 阿部勇[聴取書] [年 月] S13, 3
[備 考] 綴、謄写版、聴取書、「矢野」の印

16 1 [文書名] 《秘》日ソ一般情勢ニ關スル所見 [年 月] S13, 4. 23 [備 考] 長谷川照悟、綴、タイプ、謄写版、20P

2 [文書名] 日本主義革新運動の理論 [年 月] S13, 5 [備 考] 青年懇談会、綴、謄写版、26丁

3 [文書名] 勞農派理論家東大助教授 大森義太郎[聴取書] [年 月] S13, 3, 1~7, 12 [備 考] 綴、謄写版、「矢野」の印

17 1 [文書名] [超国家主義運動についての考察] [年 月] S13, 8, 23 [備 考] 警保局保安課 第二係丹羽、冊子、謄写版、90丁+付録

2 [文書名] 《極秘》米國加州地方邦人共產主義者に関する件 [年 月] S13, 8, 31
[備 考] 内務省警保局長、綴、タイプ、謄写版、9P

3 [文書名] 昭和維新綱領書 昭和維新方畧寫 [年 月] S13, 9, 1 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、107丁

4 [文書名] [在米共産黨員よりの日本向発送宣傳文章] [備 考] 綴、謄写版、26p、陸軍用箋1枚の連絡文、朝日軍曹→特高第一課矢野警部宛

5 [文書名] 日本共産党よりコミンテルン宛て 一九三八年度上半期報告の全文及ソ聯被監禁者の談話(北樺鉦業 相見富次)

- 17 内訳・極秘 日本共産党ノ「コミンテルン」ニ宛テタル一九三八年度上半期報告ノ
全譯及其ノ要旨 警視廳用箋9丁、タイプ
・極秘 特高一秘第二三八〇號 S13.12.5
- 6 [文書名] 教授グループの公訴事実 [年 月] S13.10. [備 考] 特別高等警
察部長、綴、謄写版、16丁
- 7 [文書名] モップル検挙過程 [備 考] 綴、警視廳用箋、鉛筆39丁、「矢野」の名
前が文中にあり
内訳・日本プロレタリア科学同盟の組織機構と本月一月以降検挙取調表
綴、謄写版、2枚
・[極秘]特高一秘第二三八〇號 S13.12.5 警視總監安倍源基 ソ聯
被監禁者ノ言動ニ関スル件
- 18 1 [文書名] 山川均手記 [年 月] S13 [備 考] 特高第一課、綴、謄写版、警視
廳用箋、1505丁
- 19 1 [文書名] 労農グループ員ノ陳述経過表 [年 月] S13 [備 考] 特高第一
課、特高打合會資料、綴、謄写版、12丁「矢野」の印
- 2 [文書名] 大内兵衛被疑事實 [年 月] (S12.13) [備 考] 綴、タイプ、警視
廳用箋2丁
- 3 [文書名] 日本無産党並労農派関係者ノ公訴事實 [年 月] S14.1.22 [備
考] 警視總監萱場軍蔵、綴、謄写版、40丁
- 4 [文書名] 日本共産党概史 [年 月] S14.4 [備 考] 特高第一課、綴、謄写
版、10丁+付図、「矢野」の印
- 5 [文書名] 《極秘》重要情報 第一號 [年 月] S16.1.29 [備 考] 綴、謄写
版、105丁
- 6 [文書名] 日本ファシスト軍部反対東洋民族大會 [年 月] 1942.2 [備 考]
在華日本人反戦同盟延安支部出版部、冊子、謄写版、63P
- 7 [文書名] 華北日本人反戦團體代表者第1回大會決議集(全) [年 月] 1942.8
[備 考] 在華日本人反戦同盟華北聯合會発行、冊子、印刷、120P
- 8 [文書名] 五・一五事件関係者上申書 [年 月] 綴、謄写版、13丁
- 9 [文書名] 《秘》猪俣津南雄「日本無産階級の一般戦略」 [備 考] 東京刑事地方
裁判所検事局思想部、綴、謄写版、12丁

15 F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

- 19 10 〔文書名〕《秘》日本無産階級の戦畧論史 伊藤好道 〔備考〕東京刑事地方裁判所検事局思想部、綴、謄写版、65P
- 11 〔文書名〕身分関係目録 〔備考〕綴、謄写版、91丁、治安維持法違犯者
- 12 〔文書名〕コップ潰滅後ノ状況 〔備考〕綴、タイプ、5丁
- 20 1 〔文書名〕被告人瀧澤一郎上申書 日本赤色救援會史 〔備考〕東京刑事地方裁判所検事局思想部、綴、謄写版、207丁
- 2 〔文書名〕高麗共産讀本 〔備考〕平安南道警務部訳、綴、謄写版、52丁+31丁
内訳・《秘》土地問題 高麗共産黨
・《秘》共産讀本二 高麗共産黨
・《秘》直接行動
- 3 〔文書名〕特秘 青年急進将校を中心とする陰謀事件に関する特別資料 〔備考〕日本政治経済調査所、綴、謄写版、「矢野」の印
- 4 〔文書名〕水平社ノ運動實況概要〔矢野が調査編纂したもの〕 〔備考〕綴、謄写版、107丁
- 5 〔文書名〕《極秘》赤露ヨリ秘密命令書 〔備考〕綴、謄写版、10丁
- 6 〔文書名〕山田盛太郎手記 〔備考〕鉛筆書5枚、封筒裏に「警視廳用」の印
- 7 〔文書名〕過激思想の研究 〔備考〕冊子、謄写版、55丁
- 8 〔文書名〕日本アナキズム運動年表 〔備考〕警視廳特高第一課、綴、タイプ、謄写版、15丁

1989 - J7

戦前 国内関係雑纂資料

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

- 1 1 〔文書名〕〔御觸書その他 近世郷土資料 写〕〔備考〕神科小学校郷土室、冊子、謄写版、88丁、S12~13年に写したもの
- 2 〔文書名〕・復古論 活版賣買禁 第一、第二 〔備考〕綴、活版7丁+6丁
・形勢論 活字板禁賣買 〔備考〕綴、活版、7丁
- 3 〔文書名〕策論 〔年 月〕（慶應四年抜本）〔備考〕英国士官サトウ著、綴、タイプ、謄写版、7丁
- 4 〔文書名〕明治二年 集議院議案録 第1、2、3、4、5、6 〔年 月〕M2 〔備考〕綴、活版、12丁、12丁、14丁、14丁、14丁、11丁
- 5 〔文書名〕・職官表 式號ノ六 全式冊 〔年 月〕M6, 11、M7, 9 〔備考〕記録課編纂、冊子、活版、55丁、22丁
- 6 〔文書名〕軍旗布告 勅諭 〔年 月〕M8 〔備考〕冊子、印刷、15P
- 7 〔文書名〕鹿兒島縣統計表 〔年 月〕M15, 10 〔備考〕鹿兒島縣蔵版、綴、活版、76丁
- 8 〔文書名〕小作調査書 〔年 月〕M45, 6, 26 〔備考〕朝鮮總督府内務部属針替理平、冊子、墨、85丁
- 9 〔文書名〕復命書（小作慣行、内鮮人融和ノ状況等分） 〔年 月〕T2, 5 〔備考〕朝鮮總督府事務官田中卯吉
- 2 1 〔文書名〕海外事情附録 蒙古ニ於ケル露國〔附 庫倫之略圖〕 〔年 月〕1913. 5 〔備考〕参謀本部、綴、印刷、23P
- 2 〔文書名〕〔厄港事件についての新聞切り抜き〕10点 〔年 月〕T9
- 3 〔文書名〕〔大陸浪人についての資料〕（英文の目録あり）
内訳・杉山茂丸書簡 S2, 4, 27
 - ・條約草案 厳秘 綴、墨書、12丁
 - ・肇國會 T9 綴、墨書、7丁、「末永節郎」の印
 - ・露西亞帝国復興主旨大綱 T10, 10初草案 綴、墨書、3丁、「末永節郎」の印
 - ・露西亞帝国復興会大綱 1921. 10, 4 綴、墨書、3丁、「末永節郎」の印
 - ・露西亞帝国復興主旨大綱 T10, 10, 4 綴、墨書、5丁、「末永節郎」の印
 - ・極東大自由國肇造大綱 綴、墨書、5丁、「末永節郎」の印

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 2 4 [文書名] 《秘》《写》金銭強請要注意人物名簿 [年 月] T12.12 [年 月] 特別高等課労働係、冊子、謄写版、41丁
- 5 [文書名] 《極秘》朝鮮事情機密通信 第一號、第二號、第四號、第五號、第六號 [年 月] T13.12, 15, T14.2.1, T14.2.15, T14.2.24, T14.3.23、(二号まで)冊子、印刷、3
2P、38P、(四号から)綴、謄写版、16P、27P ←
- 6 [文書名] 昭和新政の初頭に立ちて [年 月] S2.4.10 [備 考] 松林亮編集発行、パンフ、印刷、6P
- 7 [文書名] ・《秘》大審院昭和三年(オ)第一〇〇五号上申事件ノ参考 黒木親慶氏とセメノフトノ關係 [年 月] S3.11 [備 考] 訴訟代理人竹内賀久治、冊子、謄写版、17丁
・告訴及告發書 [年 月] S3.12 [備 考] 綴、謄写版、27丁
・《秘》ポツチャギン事件ニ関スル諸事件 [年 月] S3.11 [備 考] 黒木親慶手記、冊子、謄写版、69丁
- 8 [文書名] 建白書 署名芳名録 [年 月] (S7) [備 考] 救國學生同盟によるリットン調査団に対する建白書及び署名芳名録
- 9 [文書名] 豫審終結決定[血盟団事件關係] [年 月] S8.1.31 [備 考] 東京地方裁判所豫審判事 中里龍、綴、謄写版、35丁
- 10 [文書名] 満洲建國の意義と我等の同胞主義 亞細亞古道への復歸 [年 月] S9.12.8 [備 考] 大亞細亞同胞協會、パンフ、印刷、7P
- 11 [文書名] 《秘》治安維持法改正案ト現行治安維持法トノ對照 [年 月] S10.2.21 [備 考] 司法省刑事局、綴、謄写版、10丁
- 12 [文書名] 軍部と其の革新思想(上編)---「國家革新思想の諸体系」第八分冊--- [年 月] S12.3.2 [備 考] 青年懇談會國家革新思想研究會編、冊子、謄写版、45P
- 13 [文書名] 世界大戰中に於ける増税の經濟界に及ぼしたる影響 [年 月] S12.12 [備 考] 主税局企畫課、冊子、謄写版、188P
- 14 [文書名] 氣象學教室集誌 [年 月] 1937 [備 考] 白鳥勝義、冊子、印刷、1
- 15 [文書名] 國際司法事務共助調 外國裁判所ノ囑託ニ因ル刑事共助事件數調
自大正二年至昭和十二年外國裁判所ノ囑託ニ因ル民事共助事件數調 [年 月] S13.1 [備 考] 司法省民・刑事局調、一覽表3枚、謄写版

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 2 16 [文書名] 有限會社法案參考書 自昭和七年至昭和十一年 會社數及資本金調
[年 月] S13.1.27 [備 考] 司法省民事局作成、綴、謄写版、3枚
- 17 [文書名] 商法中改正法律案ニ關スル參考資料 [年 月] S13.1.21 [備 考]
司法省民事局作成、綴、謄写版、3丁
- 18 [文書名] 司法省所管昭和十三年度歳出概算 [年 月] S13.1.13 [備 考]
司法省会計課印刷、冊子、謄写版、3丁
- 3 1 [文書名] 《秘》四國地方ニ於ケル産業報國運動ノ概要 [年 月] S13.5 [備
考] 協調會大阪支所、冊子、謄写版、33P
- 2 [文書名] 《秘》輿論ニ反映シタル張鼓峰事件ニ對スル各國ノ態度(三) [年 月]
S13.8.17 [備 考] 外務省情報部第二課、綴、タイプ、謄写版、13丁
- 3 [文書名] 事變後ニ於ケル支那民心ノ動向ト大民會ニ就テ [年 月] S13.10
[備 考] 畑部隊特務部、綴、タイプ、謄写版、76P
- 4 [文書名] 《秘》第七十三帝國議會 [年 月] S13.12 [備 考] 滿洲ニ關スル
參考書、理財局外事課、冊子、タイプ、謄写版、92丁
- 5 [文書名] [皇戰會關係書類]合冊 [年 月] S14.5 [備 考] ファイル1冊
内訳・[メモ] 戦争文化研究所、ペン書、4P
- ・皇戰會設立趣意書 冊子、印刷、4P
 - ・《秘》皇戰地誌研究要領(案) S14.5.3 綴、謄写版、5丁
 - ・皇戰一心會設立趣意書 S14.5.8 綴、謄写版、4丁
 - ・「日本國際年鑑」総目次 綴、謄写版、28丁
 - ・[メモ]ペン書2P
 - ・《極秘》編輯方法案 S14.5.17 綴、謄写版、6丁
 - ・《秘》皇戰展覽會主題 綴、タイプ、謄写版、7丁
 - ・世界維新教育協會要覽
 - ・[皇戰展に關するメモ] ペン書1枚
 - ・昭和十四年六月二十七日ノ議題 ペン書4枚
- 6 [文書名] ・滿洲特殊会社一覽表 [年 月] 康德6.9.30 [備 考] 印刷1枚
・滿洲國特殊会社一覽表 [年 月] 康德6.9.30 [備 考] ①査課臨時資金
統制係、謄写版、1枚
- 7 [文書名] 杉情特第三號 支那事變ニ於ケル列國ノ對支經濟援助ノ實相 [年

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

- 3 月〕S14.6.25 〔備考〕杉山部隊本部、綴、タイプ、謄写版、37丁
- 8 〔文書名〕《秘》〔齋藤隆夫議会演説抄〕〔年 月〕(1940.2) 〔備考〕綴、タイプ、謄写版、26丁
- 9 〔文書名〕蘭領印度ニ於ケル華僑 〔年 月〕S15.10.10 〔備考〕営業部企畫課、綴、タイプ、謄写版、24P、「小関」の印
- 10 〔文書名〕杭州案内概要 〔年 月〕民国30 〔備考〕杭州駅、綴、謄写版、6丁
- 11 〔文書名〕財團法人日本棉花栽培協會概要 〔年 月〕(S15) 〔備考〕パンフ、印刷、7P
- 12 〔文書名〕《秘》「都市の防空措置に関する意見」に就て 〔年 月〕S16.3 〔備考〕全国都市問題會議事務局、綴、謄写版、5丁
- 4 1 〔文書名〕第二次及第三次近衛内閣ニ於ケル日米交渉ノ經過 〔備考〕本文(98P、印刷)一冊と別紙(72P、印刷)一冊
- 5 1 〔文書名〕〔真珠湾攻撃の写真〕8枚 〔備考〕東京日日新聞社・大阪毎日新聞社
- 2 〔文書名〕〔高等学校制度改正に関する書類〕
- ・高等學校制度改正委員名簿 S17.12 専門教育局大学教育課 綴、謄写版、11P
 - ・《秘》教授要綱作成ノ要領 綴、タイプ、謄写版、13丁
 - ・《秘》高等學校高等科學科目要旨(案) 綴、タイプ、謄写版、3丁
 - ・《秘》化学科教授方針 S18.1.16 綴、謄写版、11丁
- 3 〔文書名〕76出張日誌〔太平洋鋁業株式会社比律賓支社の出張報告書〕〔年 月〕1943.3~1944.3 〔備考〕太平洋鋁業株式会社、1綴
- 4 〔文書名〕〔読売新聞よりの切り抜き〕67点 〔年 月〕S18.1~S19.9
- 5 〔文書名〕大陸國策を現地に見る〔新聞切抜帳〕〔年 月〕S18.6.15 〔備考〕同封物として、・評議員会開催ニ関スル件
- ・〔切抜〕12点
- 6 1 〔文書名〕第八十四回帝國議會ニ於ケル賀屋大藏大臣財政演説 〔年 月〕S19.1.29 〔備考〕冊子、印刷、18P、「塩腦部長」の印
- 2 〔文書名〕外務省戦時經濟局報索引 〔年 月〕S20.2 〔備考〕戦時經濟局、印刷、5P
- 3 〔文書名〕大日本學院設立趣意書並學科内容案 〔備考〕冊子、謄写版、8丁
- 4 〔文書名〕財團法人大日本學院寄附行為(案) 〔備考〕冊子、謄写版、5丁

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 6 5 [文書名] 大日本學院事業並財政計畫案等 [備 考] 冊子、謄写版、8丁
- 6 [文書名] 日本乃姿顯彰會 宣言綱領規約 [備 考] 冊子、謄写版、6丁
- 7 [文書名] [第三南遣艦隊軍法會議のための諸書式] [備 考] 謄写版
- 8 [文書名] 年次別及國別に繋けて觀たる社會保險發展段階一覽 [備 考] 印刷
1枚
- 9 [文書名] w1法實施要領[鐵筋コンクリート株式會社] [備 考] 海軍工場兵
舍用施設図
- 10 [文書名] 基隆郷土館案内 [備 考] 綴、謄写版、11丁
- 11 [文書名] DECLARATION [備 考] 前園直健、タイプ13P
- 12 [文書名] [各工場所在地、製品、事業主調]2冊 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、30
P&26P 図、外紙
- 13 [文書名] 國學講座 全五卷[目次] [備 考] 山田孝雄、久松潜一監修、綴、謄写
版、7丁
- 14 [文書名] 日本佛教と神道 [備 考] 赤松俊秀、綴、タイプ、謄写版、13丁

1989 - J8

戦前・戦後直後国外関係雑纂資料目録

B F [文書名] [年 月] [備 考]

1. 中国・旧満州関係

- 1 1 [文書名] 《秘》昭和五年度 総合資料(木村理事用) [備 考] 合冊、タイプ、謄写版
 内訳・《秘》昭和五年度 総合資料 考察 資料須知目録
 ・交資綜(総合資料)第1号(S5. 7. 3)~第45号(S6. 3. 26)
 ・総合資料号外(一、二)収録
- 2 [文書名] 《秘》昭和六年度 総合資料(木村理事用) [備 考] 合冊、タイプ、目次に「南満洲鐵道株式會社」タイプ紙使用
 内訳・総合資料六 第1号(S6. 4. 11)~第23号(S6. 6. 22)収録
- 3 [文書名] 滄石鐵道関係 [備 考] 一件書類、タイプ・手書・青焼を含む、「南満洲鐵道株式會社東京支社」用紙など使用
 内訳・滄石鐵道
 ・《特秘》滄石鐵道ニ関スル情報
 ・牛島→木村宛《極秘》暗號電報譯文寫
 ・《特秘》昭和六年九月調滄石鐵道契約ニ関スル経緯
- 2 1 [文書名] 《極秘》炭鑛鑛区問題 [備 考] 一件書類、タイプ・カーボン・青焼・手書を含む、各種の調査書、報告書、地図を収録、「南満洲鐵道株式會社」・「在奉天日本總領事館」・「東亞興信公所」用紙など使用
 内訳・油頁岩採掘問題經過概要
 ・《極秘》東郷坑自然發火事件並支那側ノ坑内檢查要求ニ關スル經過概要
 ・《秘》塔連炭礦權利移轉關係抜粹
 ・《極秘》復州粘土問題ニ関スル經過概要
 ・《極秘》新邱炭坑概要
- 2 [文書名] 《秘》日系官吏ノ治績ニ就テ 《秘》日系官吏以外ノ在滿日本人就中特殊會社従業員ノ活動ニ就テ [年 月] S11. 5. 6カ [備 考] 枢密院書記官カ、綴、謄写版、4丁
- 3 [文書名] 昭和十四年八月支那滿洲ニ於ケル農業關係文献 [備 考] 綴、タイプ、謄写版、9丁

- 2 4 〔文書名〕《極秘》中支ニ於ケル農事試験研究機関整備要綱(案) 〔年 月〕 S17. 7. 10 〔備 考〕綴、タイプ、謄写版、11P
- 5 〔文書名〕《極秘》昭和十八米穀年度在支邦人食糧米對日期待數量 〔備 考〕綴、タイプ、謄写版、11P
- 6 〔文書名〕《極秘》昭和十八年華北農産物増産方策實施要領 〔年 月〕 S18. 1. 10 〔備 考〕甲第一八〇〇部隊在北京大日本帝國大使館、綴、タイプ、謄写版、24P
- 7 〔文書名〕《秘》支那食糧事情概況 〔備 考〕綴、タイプ、謄写版、4丁
- 8 〔文書名〕《極秘》昭和十九年度華北農産物増産對策要綱 〔年 月〕 S18. 12. 7 〔備 考〕甲第一八〇〇部隊在北京大日本帝國大使館、綴、タイプ、謄写版、8丁
- 9 〔文書名〕《秘》昭和十九年度華北農産物増産對策實施要領 〔年 月〕 S18. 12. 29 〔備 考〕在北京大日本帝國大使館、綴、タイプ、22丁
- 10 〔文書名〕《極秘》支大總經第四八號 〔年 月〕 S19. 2. 28 〔備 考〕在中華民國特命全權大使谷正之、綴、タイプ、5丁、附図あり
- 11 〔文書名〕《秘》昭和二十年度華北農産物増産對策要綱 〔年 月〕 S19. 12 〔備 考〕甲第一八〇〇部隊在北京大日本帝國大使館、綴、タイプ、8丁
- 12 〔文書名〕《極秘》昭和二十食糧年度食糧需給計畫、綴、タイプ、4丁
- 13 〔文書名〕《極秘》20年度中支食糧需給計畫 〔備 考〕綴、タイプ、5枚
- 14 〔文書名〕《極秘》華北食糧公社組織要綱 〔備 考〕綴、タイプ、6丁
- 15 〔文書名〕運河關係 〔備 考〕一件書類、タイプ、印刷、謄写版、青焼、カーボンを含む、中国の運河に関する、約11点の報告書・調査書・計畫書・地図・名刺を収録、「在中華民國日本大使館」用紙、「全國經濟委員會」用紙などを使用
内訳・《秘》第四八號 國民政府水利委員會ノ蘇北新運河開鑿計劃ニ關スル件
S18. 1. 21 在中華民國全權大使重光葵→大東亞大臣青木一男
・《秘》民國三十二年十月稿 大運河改修計畫私案(殷汝耕)
・調査報告書 民國三十三年四月五日

Ⅰ、朝鮮關係

- 3 1 〔文書名〕《秘》意見書 〔年 月〕 T8 〔備 考〕綴、手書、37丁、三・一獨立運動に際しての意見書、表紙に「小田」の印、「朝鮮總督府」用紙使用、書込、訂正多数
- 2 〔文書名〕朝鮮人の心の聲 〔年 月〕 T13. 12 〔備 考〕楊在河作成、綴、謄写

B F 〔文書名〕 〔年 月〕 〔備 考〕

3 版、13丁

- 3 〔文書名〕《極秘》朝鮮人民會處理要綱案 〔年 月〕 康德3.6.17 〔備 考〕 總務廳民政部、綴、謄写版、4丁、書込
- 4 〔文書名〕《極秘》在滿朝鮮人民會調 〔備 考〕 拓政司第二科、綴、謄写版、31P
- 5 〔文書名〕《秘》朝鮮人民會處理方策 〔備 考〕 綴、謄写版、43P、内部に「治外法權撤廢參考資料(昭和十一年五月調)在滿朝鮮人民會調」
- 6 〔文書名〕 陳情書 〔年 月〕 1945.10.23 〔備 考〕 朝鮮建國咸陽郡委員會作成の米政府当局に対する要望書と署名捺印一覽、綴、手書、墨書、謄写版を含む、要望書は英語・韓国語2通

南満洲鉄道株式会社交渉部資料課「総合資料」

Folder 1およびFolder 2のファイルは南満洲鉄道株式会社理事兼交渉部長であった木村鋭市の保管したものである。交渉部は満鉄が張作霖、張学良の東北交通委員会との間で東北三省(満州)の鉄道権益獲得などのための交渉を行うために設置した組織であり、「総合資料」は交渉部資料課において収集された中国側の情報を編纂し、社内関係者に配布したものである。社内文書であり、いわゆる情報にあたるものであるため、配布先が限定されていたために、現在利用可能なものは京都大学経済学部の一部が所蔵されているだけである。満鉄が昭和五、六年当時中国側の状況をいかに把握していたか、入手した情報の内容がどのようなものであったか、満鉄が中国の国内政治経済状況などにもっていた関心を明らかにする資料であり、貴重なものである。このファイルは昭和五、六年の「総合資料」としては完全な揃いである。

Folder 1:

昭和五年度総合資料(木村理事用) 一綴

昭和五年度総合資料、考察、資料須知目録

「当資料課設置以来発行ノ昭和五年七月ヨリ本年三月末ニ至ル総合資料、考察、須知目録御参考ニ供シマス

昭和六年六月六日

資料課長[南満洲鉄道株式会社交渉部資料課長]

と前書きにあり、外務省亜細亜局長から満鉄理事兼交渉部長兼奉天公所長に就任した木村鋭市用に合冊したものであろう。

内容:

[交資綜(総合資料)・考察・須知(資料須知)目録] 8枚 タイプこんにゃく版
第二四号まで「交資綜」、第二五号から「総合資料」に改題。不定期刊。

交資綜 第一號 閻錫山ノ天津海關乗取 昭和五年七月三日 2折 謄写

第二號 中央党部擴大會議ノ成立 昭和五年七月二五日 2折 謄写

第三號 ハート満洲ニ於ケル共產黨 昭和五年八月五日 3折 謄写

第四號 赤軍ト中國共產党中央部トノ關係ニ就テ 昭和五年八月廿一日
4折 謄写

第五號 長江筋共匪暴動ト英米ノ態度 昭和五年八月廿二日 5折 謄写

第六號 最近ニ於ケル東北四省ノ對滿鐵交通政策 昭和五年八月二十八日
6折 謄写

第七號 滿洲ニ於ケル最近ノ國貨提唱運動 昭和五年八月二十五日 3折

タイプ謄写 秘

第八號 最近米國對支輿論ノ趨勢 昭和五年九月三日 3折 タイプ謄写

第九號 張學良ノ南北時局ニ對スル態度ニ関スル觀測 昭和五年九月六日

3折 タイプ謄写 秘

第十號 南京政府パトロンノ變更ニ就テ 昭和五年九月十三日 5折

タイプ謄写 秘

第十一號 北京政府ノ外債擔保侵犯問題 昭和五年九月十八日 3折 タイ

プ謄写

第十二號 北京政權ノ失落傾向概括 昭和五年九月二十二日 5折 タイプ

謄写

第十三號 銀落ト滿洲日支經濟界不況實情（考察二・綜合七 参考） 昭和

五年九月二十三日 5折 タイプ謄写 秘

第十四號 最近ニ於ケル東北四省ノ鐵道敷設計畫 昭和五年九月二十六日

24枚 タイプこんにゃく版 秘

第十五號 鮮人共產黨ノ暴動ト其影響 昭和五年九月三〇日 10枚 タイプ

こんにゃく版

第十六號 再ヒ治外法權撤廢問題ニ就テ 昭和五年九月三十日 3折 タイ

プ謄写

第十七號 東支鐵道露國持分讓渡說 昭和五年九月三十日 8枚 タイプこ

んにゃく版 極秘

第十八號 英國團匪賠償金ノ處分 昭和五年十月三日 5枚 タイプこんにゃ

く版

第十九號 獨乙實業團ノ滿洲投資說ニ就テ 一、獨乙實業視察團ノ來滿 二、

東北交通委員會トノ假協定 三、其ノ後ノ經過 昭和五年十月十

日 11枚 タイプこんにゃく版 極秘

第二〇號 今次戰亂ニ於ケル總軍費問題 昭和五年十月二十一日 25枚 タ

イプこんにゃく版

第二一號 滿洲經濟界ノ仲秋節關越ヘ 昭和五年十月二十四日 11枚 タイ

プこんにゃく版

第二二號 大連ニ於ケル中國共產黨ノ活動ニ就テ 昭和五年十一月十日 7

枚 タイプこんにゃく版 極秘 社外発表嚴禁

第二三號 獨乙ノ對滿投資說（下） 昭和五年十一月十日 6枚 タイプこ

んにゃく版 極秘

第二四號 第四回太平洋會議ノ準備經過 昭和五年十一月二十日 9枚 タ

イブこんにゃく版

以下、「綜合資料」と改題。

- 綜合資料 第二五號 葫蘆島築港ノ進捗状況 昭和五年十一月二十七日 5枚 地図1枚 タイプこんにゃく版 秘
- 第二六號 再ヒ獨乙ノ對滿投資說ニ就テ 昭和五年十一月廿八日 4枚 タイプこんにゃく版 極秘
文末に「筆者野坂」との書き込みあり
- 第二七號 最近支那本部鐵道新設計畫並ニ資金 昭和五年十二月二日 22枚 タイプこんにゃく版 22枚
文末に「筆者伊藤[武雄]」との書き込みあり
- 第二八號 滿洲ニ於ケル國產獎勵と新工業ノ勃興 昭和五年一二月四日 11枚 タイプこんにゃく版
- 第二九號 米支銀融問題ノ經過 昭和五年十二月八日 7枚 タイプこんにゃく版 秘
文末に「筆者大泉」との書き込みあり
- 第三〇號 張學良南京行ノ結果 昭和五年十二月十二日 15枚 秘
- 第三一號 廣東事變紀念日ニ於ケル各地ノ情勢 昭和五年十二月廿四日 5枚 タイプこんにゃく版 秘
- 第三二號 天津ニ於ケル北方善後協議 昭和五年十二月廿四日 5枚 タイプこんにゃく版
- 第三三號 滿蒙鐵道問題ニ關スル支那側新聞論調 昭和五年十二月廿六日 18枚 タイプこんにゃく版 秘
- 第三四號 滿蒙鐵道問題ニ關スルルーター東京電（一月十二日）ニ對スル支那側論調 昭和六年一月二十六日 8枚 タイプこんにゃく版
- 第三五號 滿蒙鐵道問題ニ關スル支那側論調（三續） 昭和六年一月三十一日 6枚 タイプこんにゃく版
- 第三六號 在支各國航空事業ノ近況 昭和六年二月六日 8枚 タイプこんにゃく版 秘
執筆者塩見
- 第三七號 在奉米國商務委員ノ赴滬ト米國の對支銀融 昭和六年二月九日 4枚 タイプこんにゃく版
文末に「本稿在奉渡亮之介氏資料ニヨル」とあり
- 第三八號 中国新鐵道法案ニ就テ 昭和六年二月十九日 4枚 タイプこんにゃく版 秘

- 第三九號 中国共産党最近ノ動搖ニ就テ 昭和六年二月十八日 20枚 タイプ
こんにゃく版 秘
執筆者大塚[令三]
- 第四〇號 對支借款說種々相 昭和六年二月二十四日 12枚 タイプこんにゃ
く版 秘
- 第四一號 撫順炭礦発火事件ノ誤報ニ就テ 昭和六年三月三日 11枚 タイプ
こんにゃく版
執筆者戸倉
- 第四二號 松花江航業聯合營業組織ノ成立 昭和六年三月五日 4枚 タイプ
こんにゃく版
塩見課員
- 第四三號 吉會豫定線上ノ自動車交通状況 昭和六年三月七日 8枚 地図1枚
タイプこんにゃく版 秘
筆者塩見
- 第四四號 北寧路ノ河北碼頭築造ニ就テ 昭和六年三月十二日 4枚 地図1枚
タイプこんにゃく版 秘
筆者長島
- 第四五號 鄒作華ノ外遊ニ就テ 昭和六年三月二十六日 5枚 タイプこんにゃ
く版 秘
- 号外一 最近政治事情(一月二十日迄) 13枚 タイプこんにゃく版 秘 発行
年月日の記入なし
タイトルページに「本号ハ時局ニ對する総裁ヘノ上申ナルカ、一般
的ニモ便利ト考フルヲ以テ通報ス」とあり
執筆は政治関係大矢[信彦]
なお目次の起稿月日の欄には「一、二六」とあり昭和6年1月26日か
- 号外二 最近經濟交通事情(一月二十日迄) 10枚 タイプこんにゃく版 秘
発行年月日の記入なし
タイトルページに「本号ハ総裁ニ上申セルモノヲ便宜ノ為通報ス」
とあり
執筆は「伊藤[武雄]」
なお目次の起稿月日の欄には「一、二六」とあり、昭和6年1月26日か

Folder 2:

綜合資料 昭和6年度

カバーに、「昭和六年度 綜合資料 (木村理事用) 秘」とあり。

- 六第一号 内蒙国民革命党略史 昭和六年四月十一日 21枚 タイプこんにゃく版 極秘
本文冒頭に「本稿ハ一内蒙国民革命党员ノ手ニ成ルモノテアル」とあり
- 六第二号 最近支那経済ト英国 昭和六年四月十八日 14枚 タイプこんにゃく版 秘
上海英国商業會議所会頭R、C、マーシャルの年次大会での定期報告の抄訳
- 六第三号 経済 一、列国ノ支那市場戦激烈 二、戻税廢止ト大連港ノ二重課税問題 交通 開鑿炭礦貨車抑留問題 政治 張学良関内ヘ以下四節 昭和六年四月廿五日 [16]枚 タイプこんにゃく版 秘
伊藤[武雄]、長島、大矢[信彦]執筆
- 六第四号 遼寧全省国民外交協會ノ活動(遼寧国民外交協會聯合大會) 昭和六年四月二十四日 [28]枚 タイプこんにゃく版 秘
戸倉執筆
- 六第五号 最近ノ支那市場ニ於ケル投資戦 昭和六年五月五日 [14]枚 タイプこんにゃく版 秘 外部発表オ断リ
上海事務所報ニ拠ル
- 六第六号 万国商工會議所大會ト支那有力者提唱ノ「国際銀問題會議」 昭和六年五月五日 [15]枚 秘 タイプこんにゃく版
執筆者は松尾
上海中国銀行支配人張公権の提唱した銀問題解決策の紹介
- 六第七号 支那ノ三ケ年計畫ト全国經濟委員會ノ設立 昭和六年四月二七日 [9]枚 タイプこんにゃく版 秘
「本資料ハ「上事資第六五号」(六年五月二日)トシテ[上海事務所長より]資料課長宛報告サレタルモノ……」
- 六第八號 最近ノ松花江 一、成立後ノ航業聯合局ト計画 二、聯合局ノ航路ト開河初期ノ航運 三、松花江船隊ノ船舶屯数及輸送能力 四、航業聯合局反對運動ノ経緯 五、支那鉄道ト航運ノ聯絡計画 昭和六年五月十日 26、[1]枚 タイプこんにゃく版 秘
執筆者は塩見
- 六第九號 東北交通委員會ヲ中心トスル外國商活動ノ状況(秘) 昭和六年五月十四日 56枚 タイプこんにゃく版 秘
タイトルページに「本資料は奉天公所ノ報告ニ係リ極メテ有益ナ

ルヲ以テ弘く通報スルコトトセリ(資 交通係)」とあり

六第一〇号 国際聯盟ノ對支經濟活動経緯 昭和六年五月十六日 [17]枚 タイプこんにゃく版 秘

タイトルページに「本編ハ五月八日附上海事務所長ヨリ資料課長宛情報ナルモ時節柄極メテ興味アリ且ツ注目スヘキ問題ナルヲ以テ綜合資料トナシタリ。」とあり

六第十一号 最近ニ於ケル列国ノ對支經濟活動ニツイテ 昭和六年六月四日 [15]枚 タイプこんにゃく版 秘

執筆は松尾

六第十二號 官銀号ノ瀋海鐵路乗取策 昭和六年六月二日 [7]枚 タイプこんにゃく版 秘

執筆は押川[一郎]

六第一一號 上の「六第一一號」と同一文書がここに合冊されている。

六第十三号 附屬地課税問題ノ現状 昭和六年六月八日 [18]枚 タイプこんにゃく版

執筆は大泉

六第一四号 最近ノ北滿大豆事情 昭和六年六月二〇日 [23]枚 タイプこんにゃく版

タイトルページに「本資料ハ哈爾濱事務所ノ報告ニ係ルモノナルカ好資料ナルヲ以テ綜資トナシテ弘ク通報ス」とあり

六第一五号 中日鉄道交渉ニ関スル日本側提案豫測ト我ノ態度及準備(六月八日大公報) 昭和六年六月二十二日 [2]、28枚 タイプこんにゃく版

資料課交通係訳

六第一六号 各省紅軍ノ近状(江西南部ヲ除ク) 昭和六年六月二十五日 [1]、25枚 タイプこんにゃく版

六第一七號 各国ノ團匪賠償金処分問題 昭和六年六月三十日 6、86枚 タイプこんにゃく版 秘

タイトルページに「本稿ハ上海事務所カ某所ヨリ入手セル調査テアル」とあり

六第一八號 滿洲ニ於ケル共產主義運動 昭和六年七月十三日 10枚 タイプこんにゃく版

大塚[令三]執筆

六第一九號 東北ニ於ケル中国国民党 昭和六年七月十日 [1]、14枚 タイプこんにゃく版

執筆者は戸倉

六第二〇號 廣東政權ノ現状ト將來 昭和六年七月十五日 [1]、20枚 タイプ
こんにゃく版

執筆者は戸倉

六第二一号 萬寶山事件及朝鮮事件ニ對スル英字紙ノ論調 昭和六年七月一五
日 16枚 タイプこんにゃく版

松尾執筆

六第二二号 北寧鐵道ニ對スル中国共産党ノ活動(極秘) 昭和六年七月二〇日
20枚 タイプこんにゃく版 極秘

大塚[令三]執筆

六第二三号 学良周囲ノ勢力(秘) 昭和六年六月二二日 [3]、36枚 タイプこ
んにゃく版 秘

筆者小林

Folder 3:

滄石鐵道關係

滄石鐵道 1綴 極秘

南滿洲鐵道株式会社用籤にタイプされたもののカーボンによる写し

石太鐵道(石家莊-太沽)建設契約の交渉経緯に関する文書

この鐵道は中華民國鐵道部が「滄石鐵道」(滄州-石家莊)の名称で建設を許可したた
めに、「滄石鐵道」の名義を使用したとされている(「一、各項成立経緯」)。山西炭利権
獲得のために満鉄が借款契約の交渉を行った。

この文書は、昭和3年12月から昭和4年7月31日お借款契約と工事請負契約の調印まで
の経緯および調印後契約破棄にいたる経緯関係文書を含む。交渉部作成か。これも木
村理事の保管文書と考えられる。

内容:

滄石鐵道ニ關スル契約締結ノ經過 [16]枚

一、各項成立経緯 21枚

文末に「十月十五日現在」とあり

滄石鐵道借款契約調印後ノ經過 [7]枚

(附屬第一號) 滄石鐵道借款契約 償還表 [32、2]枚

中国政府と中法聯合会(「支那側北京銀行團及佛國資本家ノ一
團」)との間の秘密契約案(昭和2年締結) 北伐のために調印さ
れなかったとされる

- 10
- (附屬第二號) 石太鐵道借款契約案 石太鐵道建設請負契約案 [8、4]枚
滿鉄重役会の決定を基に作成した牛島吉郎滿鉄北京公所長が
昭和4年1月に作成した案
- (附屬第三號) 借款契約[修正部分のみ] [3]枚
付屬第2号について何滄石鐵道工程局 何局長の修正案
- (附屬第四號) 滄石鐵道借款契約案 滄石鐵道建設請負契約案 [5、5]枚
付屬第4号にもとづく滿鉄側の第2次案(昭和4年3月5日)
- (附屬第五號) [(附屬第二号) 石太鐵道借款契約案の追加修正] [2]枚
滿鉄第2次案についての何局長の再修正案(4月22日)
- (附屬第六號) 滄石鐵道借款契約書 [14]枚
[滄石鐵道借款契約書第十三條に基づく運炭用車両貸与の細目
に関する交換文書]および滄石鐵道建設請負契約案を含む
付屬第5号に対する滿鉄側第3次案
- (附屬第七號) 滄石鐵道借款契約 [26]枚
[滄石鐵路工程局と華昌公司との議定書](2枚)、[借款金額の
変更可能に関する交換文書](中文の訳および日文)(2枚)、[鉄
道開通後の華昌公司による石炭一手販売契約に関する協定書]
(日文および中文の訳)(4枚)、滄石鐵道建設請負契約(3枚)、建
設計画書(2枚)、参考材料(滄石鐵道建設費、建設請負額)(3枚)
を含む
昭和4年7月31日滄石鐵路工程局何局長と華昌公司代表市吉徹
夫との間で調印された契約
- (附屬第八號) 合名會社華昌公司定款 [4]枚
華昌公司是滿鉄の名を秘密にしておくために三菱北京支店の
市吉徹夫を代表として作られた合名会社
- (附屬第九號) 差入證 [3]枚
南滿洲鐵道株式会社總裁山本条太郎から市吉、秀村あての承諾
書(1枚)を含む
秀村得一、市吉徹夫(華昌公司代表)から南滿洲鐵道株式会社總
裁山本条太郎に差し入れたもの
華昌公司与滿鉄との關係を規定する証書
- (附屬第十號) [借款契約書の効力発生日の更正に関する書簡](中文の訳およ
び日文) [2]枚 昭和4年8月1日付
滄石鐵路工程局 何局長と華昌公司 市吉徹夫との間で交わ
されたもの

- (附屬第十一號) 石炭依託販賣契約書草案 [3]枚
華昌公司による山西炭の委託販売に関する満鉄側作成の草案
- (附屬第十二號) 石炭委託販賣契約案 [9]枚
[契約実施時期に関する交換文書(案)](4枚)を含む
石井交渉部庶務課長と牛島北京公所長が保晋、正豊炭鉱代表などと交渉した際に満鉄側の提示した
- (附屬第十三號) [国民政府外交部長 王正廷あて特命全權公使 佐分利貞男
発書簡] 昭和4年10月22日付 [2]枚
滄石鐵道に関する契約は無効であるとの外交部書翰に対する反論
- (附屬第十四號) [滄石鐵道契約の無効の根拠を述べる中国外交部の再反論の
書簡] 11月15日付 [4]枚
- (附屬第十五號) [何局長宛梁寒操発書簡(訳文)] [1]枚
- (附屬第十六號) 滄石鐵道借款ノ經過 鐵道部長 孫科 [8]枚
上海新聞報に掲載された鐵道部の中央政府に対する報告書
滄石鐵道借款經過とその無効を主張する中国鐵道部側の見
解を詳述したもの
- (附屬第十七號) [駐支代理公使 堀内謙介宛華昌公司代表者 市吉徹夫発書簡
(昭和一四年十二月二十七日付)、[中華民國国民政府鐵
道部長 孫科宛日商華昌公司代表 市吉徹夫発書簡] [2、
2]枚
滄石鐵道に関する契約取り消し通知の書簡および契約取り
消しに関して満鉄側でとりまとめた經過

滄石鐵道借款契約其後の經過 [7]枚

(以上1綴り)

滄石鐵道ニ関スル情報 北平 市吉徹夫 タイプカーボン写 極秘 1綴

- (其一) 昭和五年四月十日 [5]枚
(其二) 昭和五年五月三日 [4]枚
(其三) 昭和五年六月二十日 [5]枚
(其四) 昭和五年一二月五日 [11]枚
(其五) 昭和六年二月二十一日 [10]枚
(其六) 昭和六年六月二十四日 [9]枚
(其七) 昭和六年六月二十四日 [9]枚

(其七[8]) 昭和六年九月八日 [7]枚

滄石鐵道に関する契約破棄後の状況を市吉徹夫がまとめたもの
以上1綴

[木村理事宛牛島[吉郎北京公所長]発の暗号電報訳文写] 昭和六年三月二七日 [2]
枚 タイプカーボン写 極秘

[木村理事宛牛島[吉郎北京公所長]発の暗号電報訳文写] 昭和六年三月二九日 [2]
枚 タイプカーボン写

[北京公所長宛木村理事発の暗号電報訳文写] 昭和六年四月一日 [1]枚 タイプカ
ーボン写
以上3点1綴

支那側ニ滄石鐵道促進ノ必要アリ 北京 市吉徹夫 昭和六年四月三日 [6]枚 タ
イプカーボン写 極秘

[木村理事宛市吉徹夫発書簡] 4月6日付 [1]枚 ペン書
滄石鐵道ニ関スル件 昭和六年四月六日 [2]枚 タイプ

木村理事宛北京公所長牛島吉郎発

[木村鋭市宛市吉徹夫発書簡] 昭和六年六月十二日付 [2]枚 ペン書
以上3点1綴

山西省首脳者□□借款ニ関スル件 [11]枚 ペン書

木村理事宛牛島吉郎発書簡 昭和6年7月17日

滄石鐵道借款交渉再開 青島 松山 昭和6年6月30日 [3]枚(青島第四号) タイプ
カーボン写

満鉄青島駐在員よりの情報

滄石鐵道契約ニ関スル経緯 昭和六年九月調 [13]枚 特秘

満鉄交渉部作成か

滄石鐵道契約ニ関スル経緯附屬文書 [54]枚

石太鐵道線路圖 4・10・7 2枚 青焼き

Box 2

Folder 1:

炭鐵鑛區關係 1綴 極秘

このファイルも木村理事の保管文書であったと考えられる。満鉄が所有した東北における炭鉦利権を中国側が回収をめざす動きを詳述した文書が含まれている。中国側の満鉄に対する利権回収運動については、鉄道をめぐるものに視点がおかれがちであるが、これらの一連の文書は炭鉦など満鉄の他の事業部門に対するものであり、内容も交渉経緯、満鉄と中国側の往復文書を含む重要なものである。

内容：

油頁岩採掘問題経過概要 30枚 タイプカーボン写

撫順炭鉦が石炭採掘に限定されているにも関わらず、油頁岩を採掘しているのは条約違反であるとする中国側の抗議の経緯と交換された文書の写(昭和2年6月から昭和6年3月の間)。

[鉦区の範囲、鉦産税及油頁岩に関する交渉署から奉天総領事あて公文(写)] 4枚 タイプカーボン写

[撫順炭坑庶務課長あて満鉄奉天公所長発書簡] 昭和6年5月16日付を冒頭に付す
東郷坑自然発火事件並支那側ノ坑内検査要求ニ關スル経過概要 5枚 タイプカーボン写

塔連炭坑沿革 22枚 タイプカーボン写

大興公司ニ關スル件 昭和六年五月三十日 9枚(殖産鉦三一第三四号六) タイプカーボン写

炭礦部庶務課長宛殖産部庶務課長發文書

塔連炭礦權利移轉關係抜粹 5枚 秘 タイプカーボン写

復州粘土問題ニ關スル経過(昭和六年六月八日) 45枚 極秘 タイプカーボン写

復州粘土問題ニ關スル経過概要 昭和六年九月十日調 [南満洲鐵道株式会社]総務部
外事課 24枚 極秘 タイプカーボン写

振興公司關係諸問題経過概要 23枚

中日合弁鞍山振興鐵礦公司關係問題の経過

振興公司所有菱苦土及長石礦區ノ權利取消ノ経過概要 殖産部庶務課鉦務係 32枚

× 鞍山振興無限公司係争問題調査書 [東亜興信所作成] 12枚 カーボン写

昭和6年9月9日付南満洲鐵道株式会社總裁伯爵 内田康哉宛東亜興信公所発書簡
を冒頭に付す

振興公司名義鑛區税ノ件 昭和六年九月八日 2枚 秘

[南満洲鐵道株式会社]総務部長宛振興公司採鉦総局長発

煙台鑛區ニ就テ 炭鉦部庶務課 高久肇 33枚 極秘 タイプカーボン写

開採煤礦鑛區圖 地図1枚 青焼

煙臺炭礦區圖 地図1枚 青焼

復興公司ノ整理ニ関スル件 5枚 機密 タイプカーボン写

南滿洲鐵道株式会社總裁 伯爵内田康哉宛奉天總領事林久次郎発 昭和六年九月
二日付 機密第五九號

奉天事務所長木村銳市宛奉天總領事林久次郎発の書簡を付す

記録(昭和六年五月廿八日奉天瀋陽館ニ於テ) 9枚 極秘 タイプカーボン写

[木村奉天事務所長と]林奉天總領事との打ち合わせ結果記録 撫順炭鉱、鞍山、
付屬地内課税問題、付屬地内外国人の土地権問題などに関する打ち合わせ

新邱炭礦ニ關スル從來の計畫案 極秘 タイプカーボン写

新邱炭礦視察報告 撫順炭鉱務課長 久保孚 大正13年2月 13枚 タイプカ
ーボン写

新邱炭礦開發計畫 撫順炭礦務課長 大正14年1月 10枚 タイプカーボン写

新邱-新城子鐵道ノ件 重役會議議案 興業部提出 [大正]14年2月 6枚 タイ
プカーボン写

既定方針ヲ基礎とする新邱炭利益豫想(運炭線布設ニ關スル籌備費支出限度) [南
滿洲鐵道株式會社興業部庶務課調] 昭和二年一月二十八日 8枚

新邱炭坑概要 南滿洲鐵道株式會社總務部外事課 昭和六年八月調 56枚 地図
1枚 極秘 タイプカーボン写

新邱炭鉱問題対策案 昭和六年七月 58枚 極秘 タイプカーボン写

張學良氏ノ炭礦經營 英人エルダー氏ト共同ニ(河村報) 南滿洲鐵道株式会社奉天
公所長 昭和六年二月十四日 2枚(奉公資第一〇九九號) タイプカーボン写

炭鉱鐵道ノ敷設ニ關スル件(秘) [南滿洲鐵道株式会社奉天公所長 昭和六年三月四
日 2枚(奉商情報第四一八一號) タイプカーボン写

張學良氏ノ炭礦ト運炭線ニツキ 南滿洲鐵道株式会社奉天公所長 昭和六年三月十
六日 2枚(奉公資第一二〇五號) タイプカーボン写

孫家灣、芳山鎮間鐵道敷設計畫 南滿洲鐵道株式会社奉天公所長 昭和六年四月十五
日 2枚(奉公資第一二〇五號) タイプカーボン写

新邱東拓礦區ニ關スル件(第一案)、(第二案)、附録、理由 10枚 年月日の記入なし
タイプカーボン写

昭和4年に滿鉄が譲渡を受けた新邱炭鉱の東洋拓殖会社保有鉱区の処理案とその
理由。昭和5年ないし6年のものか。

戦前農民問題 資料目録

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名]《秘》最近ニ於ケル本邦農業労働運動ノ大勢 [年 月] T12.12 [備考] 綴、謄写版、33丁
- 2 [文書名]《秘》土地會社ト農民組合ノ抗争ニ就テ [年 月] S9.10 [備考] 福岡縣内務部、綴、謄写版、20丁(例企救町爭議)
- 3 [文書名] 國民經濟に於ける農業の地位の再認識 [年 月] S11.9.1 [備考] 綴、タイプ、謄写版、14丁
- 4 [文書名]《秘》農業組合の農業者、工業者、商業者、金貸業者等に及ぼしたる影響に關する調査概要 [年 月] S11.10 [備考] 内閣調査局、綴、タイプ、謄写版、18P
- 5 [文書名] 我國農業共同經營に關する研究(記述の部) [年 月] S12.9 [備考] 企畫廳、綴、タイプ、謄写版、78P
- 6 [文書名]《極秘》春季農繁期農村勞力調整調査集計報告 [年 月] S15.2.15 [備考] 農林省臨時農村對策部、綴、謄写版、54丁
- 7 [文書名] 農村負擔輕減問題と人口の移動 [備考] 上田貞次郎、綴、謄写版、14丁
- 8 [文書名] 農民運動の概況 [備考] 冊子、印刷、793P(4~522P欠)
- 9 [文書名] 農村負債整理方針並其要綱案 [備考] 兵庫縣農村負債整理調査委員會、綴、謄写版、24丁
- 10 [文書名] 長野縣農民運動沿革の概畧 [備考] 綴、謄写版、6丁(以下欠)
- 11 [文書名] 收穫分配方法ヲ調停條項ヲ以テ定メタル事例 [備考] 綴、謄写版、14丁

日本郵船関係資料目録

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] 東亞共榮圈内航路ニ關スル協議会記録 第一~第四回 [年 月] S16, 2~16, 5 [備 考] 貨物課、企畫課、綴、タイプ、謄写版、各11P, 6P, 7P, 3P
- 2 [文書名] ・《秘》陸軍輸送船定期傭船契約書 [年 月] S16, 4, 1 [備 考] 陸軍省經理局、日本郵船株式会社、冊子、謄写版、18P
 ・軍需品運賃輸送契約書 [年 月] S16, 4, 1 [備 考] 船舶輸送經理部長、日本郵船株式会社、綴、タイプ、謄写版、8丁
- 3 [文書名] 南方諸地域貿易調 [年 月] S17, 1, 6 [備 考] 主税局関税課、綴鉛筆、31P
- 4 [文書名] 《極秘》参考資料 [年 月] S17, 6 [備 考] 貨物部総務課、綴、タイプ、謄写版、24P
- 5 [文書名] [陸軍配當船々腹関係書類] 6点
 内訳・厳秘 陸軍配當船々腹傭上契約書 S17, 6, 1 綴、タイプ、謄写版、5丁
 ・厳秘 陸軍配當船々腹傭上契約實務處理概要 綴、タイプ、謄写版、7丁
 ・厳秘 配當船焚料炭油及燃料消費量検査竝ニ證明要項 綴、タイプ、謄写版、5丁
 ・陸軍配當船勘定處理方ノ件 S18 綴、タイプ、5P
 ・軍人、軍屬便乗者糧食官給トナリタル件 S18, 6, 9 綴、タイプ、謄写版、2丁
 ・陸軍配當船便乗一般渡航者乗船賃一部改訂ニ關スル件 S18, 8, 3 綴、タイプ、謄写版、3丁
- 6 [文書名] 《秘》繼續新造船工事豫定表 [年 月] S18, 4, 23 [備 考] 青焼1枚
- 7 [文書名] [株主總會での社長演説パンフレット] 4点
 内訳・昭和十四年十一月二十八日開催定時株主總會ニ於ケル大谷社長ノ演説 冊子、印刷、28P
 ・昭和十五年五月二十八日開催定時株主總會ニ於ケル大谷社長ノ演説 冊子、印刷、14P
 ・昭和十五年十一月二十九日開催定時株主總會ニ於ケル大谷社長ノ演説

- 1 冊子、印刷、14P
・昭和十八年五月二十八日開催定時株主總會ニ於ケル寺井社長ノ演説 冊子、印刷、20P
- 8 〔文書名〕昭和十八年度南方方面定期交通船運賃輸送契約書寫送附ノ件 〔年 月〕S18. 6. 15 〔備 考〕貨物部輸送課長、綴、タイプ、謄写版、12P
- 9 〔文書名〕本年四月一日以降各種運賃能率増進奨励金制度ニ關スル件 〔年 月〕S18. 8. 10 〔備 考〕貨物部総務課長、綴、タイプ、謄写版、23P
- 10 〔文書名〕船客営業成績証明書送附ノ件 〔年 月〕S18. 10. 15 〔備 考〕船客部長、綴、タイプ、17P
- 11 〔文書名〕貨物部二月収入総額 〔年 月〕S19. 2 〔備 考〕綴、謄写版、8丁
- 12 〔文書名〕〔運輸関係新聞切抜帳〕 〔年 月〕S18~19
内訳・〔諸新聞切抜〕 S17. 8
・海運界ノ新体制 S18. 7. 26
・特急造船 S18. 9
・戦時航運対策ニ關スル意見(経聯) S18. 9. 5
・運輸通信省設置ニ關スル件 S18. 10. 3
・運輸省ト航運ノ動向 S18. 10. 14
・決戦輸送ヘノ出発(座談會) S18. 11. 20
・船舶輸送効率ノ増進 S19. 1
・〔『ダイヤモンド』切抜〕 S19. 3
・〔同盟通信切抜〕 S18. 12~S19. 6
・寺井社長運営會総裁ニ就任 S19. 6. 8
・戦争第三年と決戦輸送力
・戦時海運經濟の動向発展
・大東亜ノ交易計画 井上貞蔵著
・航空機増産ニ關スル件
- 13 〔文書名〕〔航路運賃所要時間調〕 〔備 考〕コンニャク版 4枚
- 14 〔文書名〕〔船舶運営會規則〕2点
内訳・船舶運営會業務規程 冊子、印刷、16P
・船舶運営會會規 冊子、印刷、7P

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 15 [文書名] ["Fairplay" Oct. 3, 1940, PP. 349~350からの引用] [備 考] 英文タイプ3P
- 16 [文書名] [傭船ニ関スル諸表]7枚 [備 考] 綴、コンニャク版
- 17 [文書名] [運賃率表] [備 考] タイプ、謄写版、1枚
- 18 [文書名] 旅客運送約款 [備 考] 日本郵船株式会社、印刷1枚

1989 - J11

区会 dates は各令 a.k. - check

dates ? 区会、町会

にてはよくしてはな...か?

訂正 (清) (訂正)

長野県を中心とする明治地方議会日誌

B F [文書名] [年 月] [備考]

- 1 1 [文書名] 臨時縣會議事録 同決議案 完 [年 月] M15.8 [備考] 冊子、印刷、29p
[文書名] 長野縣縣会日誌 [年 月] M12.3 [備考] 冊子、印刷、16p
[文書名] 地方官會議日誌第拾四號 [年 月] M13.2.7 [備考] 翻刻人・長尾景弼、冊子、印刷、4p
- 2 [文書名] 長野縣々会日誌第十四號 [備考] 冊子、印刷、48p
[文書名] 長野縣縣会日誌第十七號 [備考] 冊子、印刷、43p
[文書名] 長野縣縣会日誌第拾九號 [備考] 冊子、タイプ謄写、25p
[文書名] 成議案 [備考] 冊子、印刷、44p、長野県のもの ?
- 3 [文書名] 長野縣々会日誌 北大區之部 [年 月] M10.1 [備考] 冊子、印刷、11p、付図あり
[文書名] 長野縣北第拾六區區會日誌 [年 月] M11.2 [備考] 冊子、印刷、65p
[文書名] 臨時區會成議案 [年 月] M11.2 [備考] 長野県北第八大区作成、冊子、印刷、20p、表紙に「明治十一年七月 丸山猛起」と書込
- 4 [文書名] [長野県区会日誌] [年 月] M11.2 [備考] 合冊、印刷、「長野縣南第十九大區區會日誌 第壹號」「長野縣第廿二大區區會日誌」など11点、書込
- 5 [文書名] 長野町臨時町會日誌 [年 月] M15.7 [備考] 冊子、印刷、80p
[文書名] 長野町會議事細則 [備考] 冊子、印刷、15丁
- 6 [文書名] 村會議事細則 [年 月] M15 [備考] 長野県小縣郡滋野村作成、冊子、印刷、20p、朱で訂正^日書込、訂正前の表題は「村會議事細則」
[文書名] 小縣郡滋野村々會 議事細説 [備考] 冊子、印刷、16丁、書込

MEMO.

分類は、旧番号を参考に
県会関係^A、区会関係^B、町村会関係^Cの
順で整理。

A... F 1 ~ 2
B... F 3 ~ 4
C... F 5 ~ 8

- 7 [文書名] 第一回上伊那郡町村聯合會日誌 [年 月] M14.3 [備考] 冊子、
印刷、110丁、書込
[文書名] 上伊那郡臨時町村聯合會日誌 [年 月] M14.10 [備考] 冊子、
印刷、41丁、書込、付箋
[文書名] 第三回長野縣上伊那郡町村聯合會議事録 [年 月] M16.3 [備
考] 冊子、印刷、7丁
[文書名] [長野県上伊那郡町村聯合会議員当選者] [年 月] M16.2 [備
考] 冊子、印刷、5丁
- 8 [文書名] 中野町々會成議案 [年 月] M16.9 [備考] 冊子、印刷、29丁
[文書名] 長野縣上水内郡小根山村々會日誌 [年 月] M12.10.15 [備考]
冊子、印刷、33p

PAUL GOFORTH COLLECTION

B F [文書名] [年 月] [備 考]

1 1 [文書名] [関東軍関係書類]

内訳・雑誌記事切り抜きを写真撮影したもの 4片

- ・投下ビラ 4枚「守れ空、護國の第一線」、「祝 満洲國承認 日満國交開始」

- ・通常為替證書 1枚

- ・護照 1枚

- ・大日本軍司令官布告、S6, 9, 19、大日本關東軍司令官本庄繁、印刷、漢文、1枚

2 [文書名] ["KWANTUNG ARMY PROCLAMATION"と題された原稿]タイプ1綴

日清戦争報道スクラップ

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

1 1 〔文書名〕明治貳拾七年 日清韓交渉事件掲載日々新聞切抜〔帳〕〔年 月〕M27.
5. 20~27, 8. 31 〔備考〕冊子、スクラップ、41丁両面に添付

日本国

戦後憲法問題関係資料目録憲法問題

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] 憲法改正件案 [備 考] マイクロからの引伸し、12P
- 2 [文書名] 帝國憲法改正ノ必要 [年 月] 1945. 11. 23 [備 考] 内大臣御用掛 佐々木惣一奉答、冊子、手書、248P、原本のほかにコピー版
- 3 [文書名] [帝國憲法改正経緯書類] [年 月] (1946)
 内訳・[仮刷 修正案]2部 冊子、印刷、11P、「小委員会」、「八月二日」と書込
 ・帝國憲法改正案 S21. 8. 24 冊子、印刷、32P、衆議院から貴族院への送付案
 ・憲法改正草案 2部 冊子、印刷、31P
 ・皇室経済法案 冊子、印刷、9P
 ・皇室典範案 冊子、印刷、13P
 ・日本國憲法 冊子、印刷、32P
 ・THE JAPANESE CONSTITUTION 1946. 10. 30 英文タイプ、23P
 ・日本国憲法 1946. 11. 20 綴、謄写版、25P、付 THE JAPANESE CONSTITUTION (Official Text)
- 4 [文書名] 平和憲法擁護研究会趣意書 [年 月] S28. 6 [備 考] 英文、日本語とも印刷1枚
- 5 [文書名] 憲法改正問題の経過 [年 月] S31 [備 考] 自由民主党憲法調査会、印刷1枚
- 6 [文書名] 「憲法改正の方向」と題する意見書を読んで [年 月] S38. 11. 15
 [備 考] 高柳賢三、綴、タイプ、謄写版、48P
- 7 [文書名] [小委員会報告書の『結論』に対する意見書]2部 [備 考] 綴、印刷、2P
- 8 [文書名] 『日本国民憲法』試案 [備 考] 神川[彦松]委員、冊子、印刷、44P
- 9 [文書名] ・[The members of the Commission on the Constitutionについての分析] [備 考] 綴、英文タイプ、日本語書込、5p
 ・[Kempo Mondai Kenkyukaiについての分析] [備 考] 綴、英文タイプ、2p
- 10 [文書名] COMMENTS AND OBSERVATIONS BY FOREIGN SCHOLARS ON PROBLEMS CONC

B F 〔文書名〕 〔年 月〕 〔備 考〕

- 1 -ERNING THE CONSTITUTION OF JAPAN 〔年 月〕 1964 〔備 考〕 冊子、印刷、7P

国会

- 11 〔文書名〕・参議院絵はがき 〔備 考〕 参有会、4枚
・国会絵はがき 〔備 考〕 2枚
12 〔文書名〕 衆議院議員宿所一覧表 〔年 月〕 S39.3.2 〔備 考〕 印刷1枚

その他

- 13 〔文書名〕《秘》行政機構及び公務員制度並びにその運営の根本改革に関する件
〔年 月〕 S21.8 〔備 考〕 綴、謄写版、4丁
14 〔文書名〕 日本証券取引所の解散等に関する法律案 〔備 考〕 冊子、印刷、9P
15 〔文書名〕 明治大正昭和 歴代内閣政党政治史一覧表 〔備 考〕 印刷1枚
16 〔文書名〕 A 文官制度改正案ノ主旨ナルモノノ政府ニ於ケル審議立案経過 〔備
考〕 綴、タイプ、謄写版、30P
B 所謂文官身分保障制成立ノ経過 〔備 考〕 綴、タイプ、謄写版、8丁

極東国際軍事裁判弁護側証拠書類

B F [文書名] [年 月] [備考]

1 1 [文書名] [裁判関係諸書類]18点

内訳・APPLICATION ON BEHALF OF THE PROSECUTION UNDER RULE 6(b)(1) PERTAINING TO THE INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION DOCUMENT NUMBERS -3008, 3030B, 3030C, 3333, 3146A, 3196A、英文タイプ1枚

・MOTION TO DISMISS ON BEHALF OF CERTAIN DEFENDANTS DIRECTED TO THE JURISDICTION THE TRIBUNAL AND POWERS VESTED IN THE SUPREME COMMANDER, ALLIED POWERS FOR THE PACIFIC、英文タイプ7枚

・ORDER FOR THE PRODUCTION OF A CERTAIN WITNESS NECESSARY FOR THE DEFENSE OF THE ACCUSED UMEZU Yoshijiro UNDER THE CHARTER、英文タイプ1枚

・[弁護側提出書類諾否一覧]2点、英文タイプ10P

・ORDER OF PROOF、9点、英文タイプ

・[日程表 その他]4点

2 [文書名] [弁護側証拠書類]Def. Doc. No. 146

3 [文書名] Def. Doc. No. 301, 307

4 [文書名] Def. Doc. No. 387

5 [文書名] Def. Doc. No. 602, 617, 619, 626, 696

6 [文書名] Def. Doc. No. 820, 894

7 [文書名] Def. Doc. No. 954, 955

8 [文書名] Def. Doc. No. 1025, 1029, 1069, 1071, 1081, 1082

9 [文書名] Def. Doc. No. 1280, 1281

10 [文書名] Def. Doc. No. 1383

11 [文書名] Def. Doc. No. 1401, 1455, 1500, 1761

2 1 [文書名] Def. Doc. No. 1820, 1834, 1838, 1870, 1900

2 [文書名] Def. Doc. No. 1929, 1973, 1981

3 [文書名] Def. Doc. No. 2053

4 [文書名] Def. Doc. No. 2142, 2189, 2462, 2475

5 [文書名] Def. Doc. No. 2462, 2475

B F 〔文書名〕 〔年 月〕 〔備 考〕

- 2 6 〔文書名〕 〔弁護側証拠書類〕Def. Doc. No. 2572
7 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2668, 2679, 2695
8 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2710, 2711, 2717, 2735, 2752, 2753, 2760, 2775, 2790
9 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2807, 2810, 2811, 2814, 2846, 2848, 2849, 2878, 2892, 2897
10 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2901-2904, 2906, 2908-2910
11 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2911, 2912, 2915
12 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2927
13 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2923, 2931-2934, 2936
14 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2941, 2942, 2944-2947, 2949
3 1 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2953-2956, 2958-2960
2 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2962-2970
3 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2971-2978
4 〔文書名〕 Def. Doc. No. 2981, 2987, 2990, 2992-3000
5 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3001-3007, 3010
6 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3011-3020
7 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3021, 3024-3030
8 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3031, 3035, 3036, 3038, 3040
9 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3041, 3042, 3045-3047, 3049, 3050
10 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3051-3053, 3055, 3057, 3059, 3060
11 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3061-3069
4 1 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3072-3080
2 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3081-3087
3 〔文書名〕 Def. Doc. No. 3300, 3363, 3510, 4091

琉球問題

1989年8月

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] AVERAGE PER ACRE AND DATA FOR STANDARDS OF COMPUTATION [備考] 綴、タイプ謄写版
- 2 [文書名] APPRAISING FOR ARMY LAND ACQUISITION [備 考] Halold S. Goodric
 ②h、綴、タイプ謄写版
- 3 [文書名] [その他の関係書類] 10点
 内訳・LAND ACQUISITION PROCEDURE. 1953. 4. 3、Office of the Deputy Governor
 綴、タイプ謄写版、3p
 ・A BILL CONCERNING LAND EXPROPRIATION.
 ・COMPENSATION FOR USE OF REAL ESTATE WITHIN MILITARY AREAS
 ・EXTRACTION OF INSTRUCTIONS FOR COMPUTATION FOR SUBMERGENCE AND OTHERS CAUSED BY THE DEVELOPMENT OF POWER RESOURCES.
 ・INSTRUCTIONS FOR COMPUTATION FOR DAMAGE OF LAND STATIONARY FORCES
 ・AFFIDAVIT
 ・APPRAISING FOR ARMY LAND ACQUISITION
 ・UNCLASSIFIED DEFERRED
 ・STATEMENT ON OKINAWA
 ・AFFIDAVIT
- 4 [文書名] 訴願手続一般規則 [年 月] 1954. 4. 1 [備 考] 琉球列島米国土
 地収用委員会
- 5 [文書名] OPENING REMARKS BY CHAIRMAN OF THE COMMISSION [年 月] 1954. 7.
 6 [備 考] タイプ2P
- 6 [文書名] STATEMENT OF GENERAL OGDEN AT PRESS CONFERENCE [年 月] 19
 54. 11. 10 [備 考] タイプ、3P
- 7 [文書名] BEFORE THE UNITED STATES LAND ACQUISITION COMMISSION FOR THE R
 ②-UKU ISLANDS. DETERMINATION OF THE COMMISSION DOCKET NO. 7~10 [年 月]
 1955. 2 [備 考] タイプ7P
- 8 [文書名] 軍用地関係資料抜粋 [年 月] 1955. 6 [備 考] 琉球政府経済企
 画室、冊子、謄写版、150P
- 9 [文書名] 琉球農業経済と軍用地 [年 月] (1955以降) [備 考] 綴、謄写

版、訴訟の為の準備書類、FOLDER NO. 10の元原稿

- 10 〔文書名〕 沖縄における軍用地問題 〔年 月〕 1955. 10 〔備 考〕 軍用地問題解決委員会、冊子、印刷、100P
- 11 〔文書名〕 [沖縄の軍用地問題について] 〔備 考〕 綴、タイプ謄写版、173P、FOLDER NO. 10の要約
- 12 〔文書名〕 那覇市長選挙にさいして 〔年 月〕 1961. 11 〔備 考〕 那覇市政民主化共闘会議、ビラ印刷1枚

戦後の共産主義運動関係資料目録

B F [文書名] [年 月] [備考]

日本共産党北海道地方委員会関係[官憲側収集資料]

1 1 [文書名] [北海道地区細胞新聞] 25点

内訳・大参考資料 北労會議脱退反対の趣旨 綴、謄写版、4p

- ・北海道電通労務速報(4)(6)(7)(9) 1949, 12 謄写版、各2枚
- ・サッポロ通信22, 24, 25, 26 1951, 8 謄写版、各1枚
- ・おたけび NO. 1 1951, 5 謄写版、1枚
- ・そうえん 1951, 4 謄写版、1枚
- ・北海労働者(札幌版) 謄写版、1枚
- ・北海電産 1950, 2 印刷
- ・とよひら 日本共産党 (), 4 謄写版
- ・札幌郵政労務速報 S25, 4 謄写版
- ・部外労務情報 (), 12
- ・官業労働速報 S24, 12, 1
- ・文化部報 日本共産党北海道地方委員会 1951, 1, 20
- ・平和のために 日本共産党苗工細胞 1951, 1, 10
- ・日雇せんせん 日本共産党札幌自由労働者細胞準備会
- ・[電産労組北海道地区本部ビラ] 1950, 3, 11
- ・[日本民主青年団札幌支部ビラ] 1950, 11, 11
- ・[日本共産党東北居住細胞ビラ]
- ・[日本共産党道庁細胞ビラ] 1951, 4, 25
- ・[国鉄労働組合ビラ] 1950, 3, 10
- ・[あけぼのの市民え] (), 4, 22
- ・幌南しんぶん 1951, 4, 20
- ・人民の信頼の下に 日本共産党北海道地方委員会 1950, 7, 28
- ・通達 1951, 7, 1
- ・闘争ニュース NO. 92, NO. 93, NO. 100, NO. 101, NO. 102, NO. 104, NO. 105
- ・活動指針(青年祖国戦線全国委員会事務局) 1950, 11, 1

2 [文書名] 十九中総に提出されたテーゼ草案とその批判意見 [年 月] 1950.

B F [文書名] [年 月] [備 考]

1 6.6 [備 考] 冊子、印刷、184P、日本共産黨黨内資料

3 [文書名] [講和問題に関する日本共産党北海道地方委員会の見解] 1950, 1951
内訳・リーフレット 19枚

・ポスター 2枚

・[全面講和 署名用紙]1枚

・パンフレット 衆議院本會議における日本共産黨川上貫一代表演説

・その他 10点

4 [文書名] 日共黨員の秘密会合について [年 月] 1951. 6. 30 [備 考] 札幌市警察、綴、謄写版、3枚

・付)日本共産党北海道地区委員会資料 16点

講和問題リーフレット

5 [文書名] [日本共産党札幌支部及び周辺団体のリーフ・ビラ類]42点 [年 月] 1950~51

6 [文書名] [京都大学・同志社大学で収集された講和問題に関する日本共産党及び周辺団体発行のリーフ・ビラ類]45点 [年 月] 1950

7 [文書名] [京都大学・同志社大学で収集された講和問題に関する日本共産党京都府委員会・日本共産党島津細胞発行のリーフ・ビラ類]29点 [年 月] 1950

8 [文書名] [京都大学構内にて収集された京都大学同学会発行のリーフ・ビラ類]52点 [年 月] 1950. 11~1951

9 [文書名] [GHQ SCAP JOHN. W. ROURKが長崎三菱重工業内日本共産党長崎地区委員会発行ビラ]4点 [年 月] 1950. 9

10 [文書名] 松川事件最終公判にあたっての訴え [年 月] 1958 [備 考] 松川事件対策協議会、印刷、ビラ、1枚

11 [文書名] [日本共産党各地方委員会発行のビラ]41点 [年 月] 1950. 6~, 9

12 [文書名] [日本共産党各細胞発行のビラ]40点 [年 月] 1950

13 [文書名] 中田弘(札幌市警察)収集、札幌での共産党活動に関する資料]13点、(写真13点) [年 月] 1950 [備 考] フーバー研究所東内四郎宛書簡

2 1 [文書名] [京大構内で収集されたビラ]5綴 [年 月] 1951

2 [文書名] 日本共産黨第6回大會報告集(2種) [年 月] 1948. 1. 11 [備 考]

B F [文書名] [年 月] [備 考]

日本共産黨中央委員會書記局、冊子、印刷、12P

- 3 [文書名] [中田弘(札幌市警察)収集、札幌での共産黨活動に関する資料]63点
[年 月] 1950, 1951 [備 考] 日本共産黨北海道地区委員会発行ビラ等

その他の共産主義運動関係[官憲収集資料]

- 4 [文書名] [PARDEE LOWE作成による1945年11月現在中国新聞の目録]タイプ用紙3P

- 5 [文書名] MEMORANDUM FOR THE RECORD [年 月] 1946. 3. 16 [備 考] Meeting of Local Government Br. Governments Section, with TOKUDA, Kyuichi, Secretary-General of the Communist Party, 15 Mar 46, 1500 to 1750、タイプ3枚

- 6 [文書名] 祖国を愛する道(THE WAY OF TO LOVE THE FATHERLAND) [年 月] 1947. 9 [備 考] 神山茂夫、英文タイプ、26P、神山茂夫の著作の要旨

- 7 [文書名] [在日朝鮮人による朝鮮統一運動関係資料]11点 [年 月] 1946~1948

- 3 1 [文書名] 《外》資料一〇三号 藤原 [年 月] 1950 [備 考] 1綴、謄写版、日本共産黨の活動に関する公安資料

- 2 [文書名] 朝鮮の情勢について NO.1 [年 月] (1950) [備 考] 冊子、印刷、51P

- 3 [文書名] 帝國主義戦争とプロレタリア國際主義 [年 月] (1950) [備 考] 國際問題研究會テキスト、冊子、印刷、50P

- 4 [文書名] CHOKUK BULLETIN NO. 12, 13, 14, 15, 16, 19, 20, 21 [年 月] 1951年3月1日~6月1日

- 8 [文書名] 國際共産黨第6回大会の反帝國主義戦争テーゼ [年 月] 日本共産黨中央委員會編、赤旗パンフレット[26]、冊子、印刷、66P

5 球根栽培法

(X) 7. 濟州島事件 1948. 4 ~ 6?

8. 朴烈 関係文書

1. 在日本朝鮮人同胞会誌 T.J.

道義를 昂揚 = 義 (do)

2. 在日本同胞(学生)을 세지 1946. 3

2 leaves (double page)

3. 反蘇大會に於ける在日本中国同胞 1946. 2. 12 - 15

9. over

6~8 2次

濟州島の戦いに関する資料の提供？

Box 2, 3, 4, 7 ~~9~~ ⁹ ~~10~~ ¹⁰

系統 [総論大臣演説 19 Aug. 1949] ? 翻譯英文

4 typed pages - carbon copy

It is suggested the translation was made after WWII by
Americans for some reason

File 9

Press Release
mc. ~~2~~ ^{summit} ~~memorandum~~

Nov. 7, 1945

1 枚

戦後の共産主義運動

BOX3

凡6. 内外進新研究所『共産研究資料』1953.2.28

7 中共在留邦人“帰国”に対する連の新戦略

8 特殊資料 第3号 1953年6月

戦後の労働運動・農民運動 関係資料目録11413
↓

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] 米ノ供出ニ就テ [備 考] 福島縣農業會食糧課長河田留蔵、綴、タイプ、謄写版、5丁、「二十一米穀年度」用
- 2 [文書名] [大阪機工株式会社労働組合資料]6点 [年 月] 1946. 8. 1~1950
内訳・給与状況調査表 ・昭和二十五年度収支豫算案
- 3 [文書名] 昭和二十三年事業所賃金調査及び個人別賃金調査結果の概要 [備
考] 総理府統計局労働大臣官房労働統計調査部、冊子、謄写版、12P
- 4 [文書名] ・[福岡地区労働組合資料]2点 [年 月] 1949
内訳・越年闘争状況資料
・[伊丹地区労働組合資料]2点 [年 月] 1949
- 5 [文書名] LABOR RELATIONS IN JAPAN AFTER THE WAR [年 月] 1949. 12 [備
考] THE SECRETARIAT JAPAN FEDERATION OF EMPLOYERS' ASSOCIATION、綴、タイ
プ、謄写版、31P
- 6 [文書名] [京都島津製作所労働組合関係資料]25点 [年 月] 1950. 5~, 8 [備
考] 謄写版
- 7 [文書名] ・公團の不正をつく [年 月] 1950. 6. 10 [備 考] 全公團労協不
正摘發委員會、冊子、印刷、30P
・調査旬報 [年 月] 1950. 9. 25 [備 考] 産別会議、冊子、印刷、16P
- 8 [文書名] 日本農民新聞 12点 [年 月] 1949. 4~1950. 3
- 9 [文書名] [農林省農業改良局発行パンフレットを中心とした農村開化運動]16点
[年 月] 1949~1950
- 10 [文書名] [JAPAN FEDERATION OF ASSOCIATION 関係資料]5点
- 11 [文書名] 不正弾圧と闘う 十八才の青春 [年 月] 1959. 9. 20 [備 考] 全
国金属成光電機支部支援共闘会議、冊子、印刷、9P
- 12 [文書名] 中小企業金融実態調査 昭和35年10~12月期 [年 月] S36. 2 [備
考] 中小企業庁振興部調査公報課、冊子、謄写版、45P

戦後公安 (2) 関係資料目録

1989年7月

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] 池田新内閣の政策に望む--7月24日までの主要新聞放送から-- [年 月] S37. 7. 24 [備 考] 冊子、謄写版、15p
- 2 [文書名] マスコミ情報(6)--報道・出版代表の訪中報告-- [年 月] S37. 7. 12 [備 考] 冊子、謄写版、4p、表紙左肩に「岡崎」との書込あり
- 3 [文書名] マスコミ情報(7)--「新週刊」再刊第1号を発売、出版労協夏季闘争の結末-- [年 月] S37. 7. 18 [備 考] 冊子、謄写版、6p、「岡崎」
- 4 [文書名] マスコミ情報(8)--最近のマスコミ界の動きについて-- [年 月] S37. 10. 9 [備 考] 冊子、謄写版、14p
- 5 [文書名] マスコミ情報(13)--新聞労連の春闘盛り上がり、再建に悩む「東京新聞」、産経 共同から脱退のうわさその後、マスコミの中の日共勢力 [年 月] S38. 3. 30 [備 考] 冊子、謄写版、5p、「岡崎班長」
- 6 [文書名] 社会風潮調査資料10「文学者の政治的発言」 [年 月] S37. 9 [備 考] 冊子、謄写版、8p
- 7 [文書名] 社会風潮調査資料13「日本映画と社会風潮の諸相」 [年 月] S38. 1 [備 考] 冊子、謄写版、6p
- 8 [文書名] 社会風潮調査資料14 [年 月] S38. 2 [備 考] 冊子、謄写版、7p
- 9 [文書名] 第17回国連総会におけるグロムイコソ連代表の演説要旨 [年 月] 1962. 9. 22 [備 考] ソ連社会主義共和国連邦大使館広報課作成、タブロイド版2部
- 10 [文書名] 地方選挙の状況(1)--各地方紙の報道から-- [年 月] S38. 1. 23 [備 考] 冊子、謄写版、4p
- 11 [文書名] 地方選挙の状況(2) [年 月] S38. 1. 26 [備 考] 冊子、謄写版、3p
- 12 [文書名] 地方選挙の状況(3) [年 月] S38. 1. 30 [備 考] 冊子、謄写版、2p、表紙の左上に「岡崎班長」との書込あり
- 13 [文書名] 地方選挙の状況(4) [年 月] S38. 2. 7 [備 考] 冊子、謄写版、2p、「岡崎班長」
- 14 [文書名] 地方選挙の状況(5) [年 月] S38. 2. 20 [備 考] 冊子、謄写版、3p、「岡崎班長」

- | | | | |
|----|-------------------------------|------------------|----------------|
| 15 | 〔文書名〕 地方選挙の状況(6)
p、「岡崎班長」 | 〔年 月〕 S38. 2. 23 | 〔備 考〕 冊子、謄写版、3 |
| 16 | 〔文書名〕 地方選挙の状況(7)
p、「岡崎班長」 | 〔年 月〕 S38. 3. 11 | 〔備 考〕 冊子、謄写版、4 |
| 17 | 〔文書名〕 地方選挙の状況(8)
3p、「岡崎班長」 | 〔年 月〕 S38. 3. 26 | 〔備 考〕 冊子、謄写版、1 |
| 18 | 〔文書名〕 地方選挙の状況(9)
5p、「岡崎班長」 | 〔年 月〕 S38. 3. 27 | 〔備 考〕 冊子、謄写版、1 |

1960

安全保障条約改定をめぐる 諸団体発行リーフレット

1989年8月

あてはまる

B F [文書名] [年 月] [備 考]

1 1 [文書名] [安保改定阻止のバッチ] [年 月] (1960)

2 [文書名] 日本とソビエト NO. 83 [年 月] 1960. 3. 15 [備 考] 日ソ協会、印刷、新聞紙大1枚

3 [文書名] [安保条約改定阻止国民会議発行リーフレット] 5種
内訳・国民のこらず起ち上がろう! 1960. 5

・5月14日国会に請願に行こう!

・もう黙ってはおれません! 1960. 6. 11

・11日はみんなで国会へ

・6月22日は汽車も電車もとまります

4 [文書名] [諸派発行リーフレット] 18種

内訳・在日朝鮮人総联合会 1960. 5. 9

・今こそみんなで国会へ! 1960. 5

・総力を結集して新安保条約をたゝたきつぶそう 1960. 5. 24

・全ての怒りを岸内閣打倒国会解散え 1960. 6

・新安保阻止のため、都民のみなさんへ訴え 1960. 6. 2

・全生保 1960. 6. 3

・声明書 安保阻止新劇人会議 1960. 6. 7

・ジャーナリスト 1960. 6. 10

・全通新聞 1960. 6. 10

・日本教職員組合 1960. 6. 13

・市民のみなさんへ 東大教授団、茅総長声明

・国会前で逢いましょう 1960. 6

・アイク訪問を延期させましょ~~う~~ 1960. 6

・国公労 1960. 6. 21

・アイク来るな

・アイク訪日を延期させよう

・友を奪った警官に抗議し岸内閣の退陣を要求しよう

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

1 ・[インターナショナルその他の歌詞]

5 〔文書名〕〔学生諸団体発行リーフレット〕14種

内訳・明治大学学生会 1960. 5. 13

- ・東京教育大学文学部自治会
- ・東大経済学部自治会有志 1960. 6. 2
- ・東大文学部学友会 1960. 6. 3
- ・東大総長 1960. 6. 16
- ・東大教養学部二年文二六D 1960. 6. 17
- ・民主主義擁護のための明大大学院生の会 1960. 6. 20
- ・東大工学部精密工学科
- ・法政大学学生自治会
- ・東大理学部化学科学生
- ・東京工業大学学生
- ・東京大学農学部自治会
- ・東京大学文学部西洋史学科
- ・東京学芸大学学生自治会

6 〔文書名〕〔日本共産党発行リーフレット〕7種

内訳・アカハタ 1960. 5 31

- ・アカハタ特報(2種)
- ・愛国と正義の闘争を発展させよう
- ・アカハタ 1960. 6. 11
- ・アカハタ特報 1960. 6. 15
- ・安保阻止国会解散 岸政府打倒 1960. 6

7 〔文書名〕〔国鉄労組発行リーフレット〕4種

内訳・岸内閣総辞職 国会を即時解散せよ

- ・足も目も耳もとまる
- ・6月15日を闘いとうろ
- ・もう我慢は出来ません。岸内閣の即時退陣を要求します

8 〔文書名〕〔日本社会党発行リーフレット〕4種

内訳・6月4日 国会解散をめざし皆で立ち上がろう

ふな

- 1 ・いま岸の暴挙を許したら必ず“徴兵制”がしかれる!
 ・安保条約改定に対する社会党の主張はこうだった
 ・社会新報
- 9 [文書名] [総評発行リーフレット]5種
 内訳・もう戦争はゴメンだ! 1960, 5, 27
 ・一人残らず立ち上がろ! 1960, 6, 1
 ・さらに“岸”へ抗議スト
 ・6月22日は“岸やめろ”の行動日です
 ・ILO条約87号を直ちに批准させよう 1961, 5, 16
- 10 [文書名] 声を出して行動に移りましょう [年 月] 1960, 6, 13 [備 考]
 日本教職員組合
- 11 [文書名] みんなが起上るとき [年 月] 1960, 6, 17 [備 考] 日本新聞労
 働組合連合
- 12 [文書名] [国会を守る会発行リーフレット]2種
 内訳・新安保批准は国のため
 ・安保反対運動の国会七不思議
- 13 [文書名] [学生土曜会発行リーフレット]2種
 内訳・“新安保”は改善されている
 ・アイクを暖かく迎えよう
- 14 [文書名] [世界タイムス発行リーフレット]2種
 内訳・即刻「新安保」を通せ
 ・岸首相解散を決意 1960, 6, 11
- 15 [文書名] [ヘリコプターから散布された無署名リーフレット]2種
 内訳・デモは果して正しいか
 ・混乱の真相を知れ
- 16 [文書名] [大日本生産党本部]2種 発行リーフレット
 内訳・安保に反対する左翼の闘争は日本革命への恐ろしい路線だ
 ・安保は既に成立決定している
- 17 [文書名] アイクを歓迎せよ [年 月] 1960, 6, 11 [備 考] 大日本愛国党
 赤尾敏、印刷ビラ1枚

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

- 1 18 〔文書名〕〔右翼系発行リーフレット〕8種
内訳・国会ニュース社
・防共挺身隊隊長福田進
・民族社会党
・自由民主同志会
・民主社会党
・国民同志会
・至真会
・大日本愛国党
- 19 〔文書名〕〔自由日本を護る会発行リーフレット〕2種
内訳・暴力革命から祖国を護ろう！
・真相を究めて責任を問うべきである！
- 20 〔文書名〕〔政府系諸派発行リーフレット〕6種
内訳・新日本婦人連盟
・新政経研究会
・議会政治擁護連盟
・国会ニュース社
・安保改定国民連合
・各生長の家学生会
- 21 〔文書名〕ASAHI EVENING NEWS 〔年 月〕1960.6.16
- 22 〔文書名〕アサヒグラフ 〔年 月〕1960.6 〔備考〕「安保の嵐 一ヶ月」
- 23 〔文書名〕〔日付不明リーフ〕6種 〔年 月〕1960
内訳・アイク来るな 印刷、ビラ1枚
・声なき声の会
・IKE AND U2 NOT TO JAPAN アイク訪日反対
・デモは果して正しいのか
・議会政治擁護連盟
・国賓アイク訪日の延期は日本國民の恥辱
- 24 〔文書名〕日本平和大会開催 〔年 月〕1960.12 〔備考〕日本平和委員会

戦後日本の選挙

1989年8月

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 21 [文書名] 国民は斯く要求す [備 考] 新日本青年黨、謄写版、ビラ1枚
- 22 [文書名] 都民新聞創刊号 [年 月] S21, 3, 30
- 23 [文書名] 改正選挙運動一覽(衆議院議員センキョ [年 月] S29, 12, 10
[備 考] 日本社会党選挙対策委員会事務局、印刷1枚
- 24 [文書名] 昭和三十年二月二十七日執行衆議院議員総選挙最高裁判所裁判官国民
審査 結果調 [年 月] S30, 2, 28 [備 考] 自治庁、綴、謄写版、8P
- 25 [文書名] 衆議院議員候補者選挙公報、最高裁判所裁判官国民審査公報 [年
月] S33, 5, 22 [備 考] 東京都選挙管理委員会、印刷ビラ1枚
- 26 [文書名] [第5回参議院選挙立候補者ポスター]13枚 [年 月] 1959, 6
- 27 [文書名] [東京区議会議員選挙立候補者ポスター]9枚 [年 月] 1960, 4
- 28 [文書名] [第29回総選挙立候補者ポスター]5枚、自由民主党選挙ポスター3枚
[年 月] 1960, 11
- 29 [文書名] ・衆議院議員候補者選挙公報(3部)、最高裁判所裁判官国民審査公報(3
部) [年 月] S35, 11, 20 [備 考] 東京都選挙管理委員会、印刷ビラ1枚
・都のお知らせ [年 月] S35, 11, 16 [備 考] 東京都広報室広報部、印刷4
P
- 30 [文書名] [国家公務員法改悪ビラ]2種 [年 月] 1961, 4 [備 考] 印刷、各
1枚

戦後雑纂資料目録

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 1 1 [文書名] JAPANESE ARCHITECTURE AND GARDENS [年 月] S21.7.11 [備 考]
藤原銀次郎、タイプ8P
- 2 [文書名] 調査局総発第230號 特殊物件及び兵器処理後における軍施設等の清掃
について [年 月] S22.2.27 [備 考] 内務省調査局長、綴、タイプ、謄写
版、3丁
- 3 [文書名] 文化の日の歌 [年 月] 1949 [備 考] 文部省、タイプ、謄写版、1
枚
- 4 [文書名] 上申書[被告人 来栖赳夫] [年 月] S25.5.30 [備 考] 綴、謄
写版、500P
- 5 [文書名] 国連管理下日本自衛義勇軍之提唱 [年 月] S25.7.7 [備 考]
瀧澤操六、綴、謄写版、20P
- 6 [文書名] [初代公選知事就任に関する沖縄の新聞切り抜き]7点 [年 月] 195
0.11.5~11.7
内訳・OKINAWA HERALD
・OKINAWA TIMES
・RYUKYU NIPPO
・URAMA SHIMPO
・南琉日日新聞
・自由民報
・海南時報
- 7 [文書名] ソ聯邦糾弾の声明 [年 月] S31.5.14 [備 考] ソ聯邦糾弾国民
委員会、冊子、印刷、24P
- 8 [文書名] ソ連貿易統計年鑑 [年 月] 1957 [備 考] ソ連貿易省計画経済
局編、国際事情研究会訳、冊子、印刷、150P
- 9 [文書名] 全造船中小企業対策部会(一九五八年八月二十日於全造船本部) [備
考] 綴、謄写版、13P
- 10 [文書名] 医療保険改善運動に御協力下さい [年 月] S36.2 [備 考] 日
本歯科医師会作成、印刷ビラ1枚

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 2 1 [文書名] 国家安全保障に関する議員懇談会 [年 月] (S36) [備 考] 綴、
謄写版、「国家安全保障会議(仮称)設定に関する構想」「防衛体制の確立について」
など、7点の資料収録
- 2 [文書名] 党政調 安全保障委員会 [年 月] (S37・S38のもの) [備 考] 綴、
手書、コンニャク版・謄写版・印刷を含む、「安全保障調査会名簿」、「37年度参議院
自由民主党予算」、「安全保障に関する調査会経過概要」等
- 3 [文書名] [外交調査会 ソ連小委員会関係資料]6点
内訳・ソ連小委員会委員一覧
- ・外交調査会ソ連、中国、共産圏貿易小委員会速記録 S38. 3. 20
 - ・外交調査会共産圏貿易中国ソ連小委員会速記録 S38. 5. 17
 - ・共産党モスクワ会議に関する国府の見方 S36. 4
 - ・ソ連の軍事力について
 - ・フルシチョフのスターリン評
- 4 [文書名] 社会風潮調査資料18 [年 月] S38. 7 [備 考] 戦後世代の歴史
意識とその背景(要旨)、綴、謄写版、8P
- 5 [文書名] 春にそなえて 種まきの知識 [備 考] 農事研究社、綴、謄写版、28P、
内容は「県内の諸情勢と縣党の任務---民族解放民主統一戦線をたたかいとれ---」
- 6 [文書名] [天皇家写真]7枚
- 7 [文書名] SUMMARY OF INTERROGATIONS OF GENERAL YAMASHITA AND OTHER RESPON
-SIBLE COMMANDERS AND STAFF OFFICERS
- 8 [文書名] 一人一人の生命を尊ぶ保険に改め誤魔化しの皆保険を阻止しよう!
[備 考] 日本医師会、印刷ビラ1枚
- 9 [文書名] 中央委員会資料 全造船火災・生命共済制度運用状況 [備 考] 更生
対策部、冊子、謄写版、9P
- 10 [文書名] 新学校制度実施準備の案内 [備 考] 文部省学校教育局、冊子、印刷、
29P
同封物・[月次報告の仕方についてのガイダンス]綴、謄写版、4P
- 11 [文書名] 中華映画提供 中国聯合影業公司新華作品「家」 [備 考] 綴、謄写版、
2丁

地図

1989年8月

I 国内関係

B F [文書名] [年 月] [備 考]

1 1 [文書名] [島の地図14点]

内訳・黒島 M25.3 大日本帝国陸地測量部 20万分の1地図1枚 「岡田蔵書」の
印

・中之島 M25.3	"	"	"
・寶島 S11	"	"	"
・奄美大島 S11	"	"	"
・徳之島 S11	"	"	"
・仲尾次 S5	"	"	"
・伊平屋島 S11	"	"	"
・沖縄 S11	"	"	"
・久米島 S11	"	"	"
・赤尾嶼 S11	"	"	"
・宮古島 S6	"	"	"
・石垣島 S11	"	"	"
・西表島 S6	"	"	"
・沖大東嶋 S11	"	"	"

- 2 [文書名] 日本近海水深圖 [年 月] S12.1, 15 [備 考] 日本水路部
- 3 [文書名] 市町村別人口増減圖(第一 北海道、第二 奥羽、第三 關東、第四 中部、
第五 近畿、大正一四年～昭和十年) [備 考] 企畫院、第一のみ100万分の1、
他は50万分の1
- 4 [文書名] 最新日本詳圖 [年 月] 1944.11 [備 考] 敵情、225万分の1
- 5 [文書名] TOKYO, SOUTHEAST, CENTRAL HONSHU [年 月] 1944 [備 考] P-
repared under the direction of the Cheif of Engineers, US Army, by the
Army Map Service(CV), U. S. Army, Washington, D. C. 5万分の1
- 6 [文書名] 戦災消失區域表示帝都近傍圖 [年 月] S20.12.25 [備 考]
日本地図株式会社、4万分の1

B F [文書名] [年 月] [備 考]

- 7 [文書名] 大日本帝國油田第四十五區(其ノ一、其ノ二) [年 月] S22, 10, 20
再版 [備 考] 商工省
内訳・北海道初山別油田地形及地質圖、3万分の1
・秋田縣白雪川油田地形及地質圖、2万分の1
- 8 [文書名] TOKYO CITY PLAN MARUNOUCHI [年 月] 1948.5 [備 考] Prepared under the direction of the Chief Engineer, GHQ FEC, by the Nihon Chihei Sha, Tokyo, Japan. 5千分の1
- 9 [文書名] 五十万分一地方圖 [備 考] 地理研究所、全8枚
内訳・1 北海道東部、S23, 6, 30
・2 北海道西南部、S23, 6, 30
・3 東北地方、S22, 10, 30
・4 関東及信越地方、S23, 3, 30
・5 東海及北陸地方、S23, 7, 30
・6 近畿地方、S23, 5, 30
・7 中国地方及四国地方、S23, 7, 30
・8 九州地方、S23, 5, 30
- 10 [文書名] 福井地震 被害と地変 [年 月] S23, 9調査 [備 考] 建設省地理研究所、5万分の1
- 2 1 [文書名] 高松 高松縦行一六横行二九圖幅第二二五號地理説明書 [年 月] S23第二版 [備 考] 商工省、75千分の1の地図と説明書
- 2 [文書名] 地質調査所報告第129号 群馬鉾山の鐵明礬石褐鐵鑛鑛床 調査報告付圖 [年 月] S24, 5 [備 考] 地質調査所、附図7点
- 3 [文書名] 漁業用図 [備 考] 海上保安庁、5万分の1
内訳・遠州灘沖、S24, 11, 1
・土佐沖、S24, 11, 26
- 4 [文書名] パイロットチャート [年 月] S24, 11, 20 [備 考] 海上保安庁、2千万分の1、裏に「ローラン(Loran)について(その1)」
- 5 [文書名] 日本近海底質分布図第1, 第2, 第3, 第4 [年 月] S24, 11, 15 [備 考] 海上保安庁、120万分の1、全4枚

B F [文書名] [年 月] [備 考]

(11)

- 6 [文書名] 参考図 北海道南岸汐首岬至恵山岬 [年 月] S24. 11. 28 [備考] 海上保安庁、32千分の1
- 7 [文書名] 四國沖水深圖 紀州大島至大隅海峡 [年 月] S24. 12. 10 [年 月] 海上保安庁、50万分の1
- 8 [文書名] 北海道炭田圖 [年 月] S12. 1. 15 [備 考] 日本水路部
- 9 [文書名] 富士箱根及伊豆 [年 月] S22. 7. 15 [備 考] 地理調査所、20万分の1
- 10 [文書名] 増脩改正攝州大坂地圖全 攝州大坂画圖 [備 考] 浪速叢書刊行會、「附所収圖撰出之辨」
- 11 [文書名] 帝亞丸一般配置図(其ノ一、其ノ二) 普通三等客室圖 [備 考] 青ヤキ、全3枚

II 国外・旧植民地関係

B F 〔文書名〕 〔年 月〕 〔備 考〕

- 3 1 〔文書名〕 花蓮港地質圖 〔年 月〕 S14 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、10万
分の1
- 2 〔文書名〕 觀音山地質圖 〔年 月〕 S9 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、10万
分の1
- 3 〔文書名〕 豐濱地質圖 〔年 月〕 S14 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、10万分
の1
- 4 〔文書名〕 新店地質圖 〔年 月〕 S7 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、5万分の
1
- 5 〔文書名〕 頭圍地質圖 〔年 月〕 S9 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、5万分の
1
- 6 〔文書名〕 羅東地質圖 〔年 月〕 S11 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、5万分
の1
- 7 〔文書名〕 白沙屯地質圖 〔年 月〕 S9 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、5万分
の1
- 4 1 〔文書名〕 臺南州嘉義油田地質圖 〔年 月〕 S5, 4, 15 〔備 考〕 臺灣總督
府殖産局、3万分の1
- 2 〔文書名〕 山子脚油田地形及地質圖 〔年 月〕 S13 〔備 考〕 臺灣總督府
殖産局、1万分の1
- 3 〔文書名〕 旗山南西部油田地質圖 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、3万分の1
- 4 〔文書名〕 小梅油田地質圖 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、3万分の1
- 5 〔文書名〕 旗山油田地質圖 〔備 考〕 臺灣總督府殖産局、3万分の1
- 6 〔文書名〕 錦水油田地質圖 〔備 考〕 小林印刷所、6千分の1
- 5 ① 〔文書名〕 滿洲國地圖 〔年 月〕 S8, 4 〔備 考〕 南滿洲鐵道株式會社總務
部料課、200万分の1、「臺北市富田町四七臺北帝國大學農學部畜産學教室 山根甚
信」の印
- ② 〔文書名〕 大滿洲國詳圖 〔年 月〕 S8, 1, 25 〔備 考〕 小林又七著作・印刷、
200万分の1
- 3 〔文書名〕 新世界朝日新聞 北支要圖 〔年 月〕 1937, 8, 18

11442

5 ①
②

B F 〔文書名〕〔年 月〕〔備考〕

- 4 〔文書名〕最新支那詳密大地圖 附蘇・滿・支關係要圖 〔年 月〕S12.11.5
〔備考〕伊林書店、書込
- 5 〔文書名〕雄辨新年號第二附録東亞現勢大地圖・附支那邊境圖 最新支那重要地詳
圖・附東部滿ソ國境圖 〔年 月〕S13.1.1 〔備考〕帝國地圖學館
- 6 〔文書名〕キング第40卷第三號附録 廣東香港明細圖 漢口南昌明細圖 〔年
月〕S13.3.1 〔備考〕2部あり、1部は下部欠損、書込
- 7 〔文書名〕模範最近世界大地圖 〔年 月〕S13.4.5 〔備考〕文彰堂、「海
軍中將佐藤鐵太郎閣下校閲」と印刷
- 8 〔文書名〕中支那 〔年 月〕S13.8.30 〔備考〕大日本帝國陸地測量部、1
00万分の1
- 9 〔文書名〕滿洲支那全土明細地圖 滿洲國全圖 上海・南京附近(中支ノ部^Y其一)
〔年 月〕S14.1.1 〔備考〕讀賣新聞社、400万分の1、両面
- 10 〔文書名〕海南島産業分布圖 〔年 月〕S14.4 〔備考〕臺灣拓殖株式會
社、50万分の1、「山根蔵書」の印
- 11 〔文書名〕週報附録 新支那現勢圖 〔年 月〕S15.4.10 〔備考〕内閣情
報部、裏面に「支那新中央政府一覽」
- 12 〔文書名〕佛領印度支那産業地圖 〔年 月〕S15.11.3 〔備考〕日本印度
支那協會、200万分の1、「山根蔵書」の印
- 13 〔文書名〕マレー半島地質圖 〔備考〕台灣總督府外事部編、Scale 12 Miles
to an Inch
- 14 〔文書名〕江蘇・浙江交通明細圖 〔備考〕日本堂、上半分欠損
- 15 〔文書名〕貴州省銅仁府屬梵淨山等處鑛産之圖 〔備考〕ハترون紙に主に
墨書
- 16 〔文書名〕木浦府近傍圖 〔備考〕1万分の1
- 17 〔文書名〕蘭領東印度及佛領印度支那 〔備考〕川俣鐵也著、442万分の1
- 18 〔文書名〕南方輿地圖 〔備考〕600万分の1、4部あり
- 19 〔文書名〕OUR STAND IN KOREA 〔備考〕Prepared by TIE SECTION. GHQ.,
FEC

B F 〔文書名〕 〔年 月〕 〔備 考〕

20 〔文書名〕 旅順大観 〔年 月〕 S4, 3, 10 〔備 考〕 ジャパン・ツーリスト・
ビューロー大連支部、観光案内図、「山根蔵書」の印

21 〔文書名〕 臺灣パノラマ 〔備 考〕 観光案内図